

平成30年度入学生2年次開講

# シラバス

学校法人 純美禮学園

滋賀短期大学

# 目 次

## 平成30年度入学生教育課程

1. 共通科目	3
2. 生活学科	65
3. 幼児教育保育学科	153
4. ビジネスコミュニケーション学科	291

平成30年度入学生2年次開講

# シラバス

共通科目

# 平成31年度開講授業科目一覧表

## 共通科目

こ と ば と 人 間	金 澤 雄 介	6P
美 術 を み る 目	安 井 良 尚	8P
音 楽 と は 何 か	柚 木 たまみ	10P
テ レ ビ ジ ャ ー ナ リ ズ ム に 学 ぶ	岩 下 隆	12P
教 育 を 考 え る	笹 倉 千佳弘	14P
心 理 学	林 幸 範	16P
心 と 身 体 の ヘ ル ス ケ ア	神 村 有 紀	18P
生 活 文 化 論	森 治 子	20P
現 代 社 会 と 福 祉	松 木 宏 史	22P
現 代 の 健 康	堀 池 喜八郎	24P
数 の 不 思 議	久 米 央 也	26P
英 語 I ( 製 菓 )	今 村 梨 沙	28P
英 語 I ( 製 菓 )	野 中 美 賀 子	30P
英 語 II ( 製 菓 )	今 村 梨 沙	32P
英 語 II ( 製 菓 )	野 中 美 賀 子	34P
フ ラ ン ス 語 I ( 製 菓 )	柴 田 秀 樹	36P
フ ラ ン ス 語 II ( 製 菓 )	柴 田 秀 樹	38P
中 国 語 I ( 製 菓 )	李 景 芳	40P
中 国 語 II ( 製 菓 )	李 景 芳	42P
健 康 ス ポ ー ツ 論 ( 製 菓 )	村 井 愛 美	44P
健 康 ス ポ ー ツ 論 ( 幼 教 )	山 下 伸 一	46P
ス ポ ー ツ 実 技 ( テ ニ ス )	河 野 梨 香	48P
ス ポ ー ツ 実 技 ( フ ィ ッ ト ネ ス )	北 尾 岳 夫	50P
ス ポ ー ツ 実 技 ( バ レ ー )	山 村 聡	52P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 ( 食 健 康 )	灰 藤 友 理 子 他	54P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 ( 製 菓 )	灰 藤 友 理 子 他	56P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 ( 幼 教 )	柚 木 たまみ 他	58P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 ( ビ ジ 前 半 )	金 澤 雄 介 他	60P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 ( ビ ジ 後 半 )	金 澤 雄 介 他	62P



授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>ことばと人間</b>	金澤 雄介(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Human and Language							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ことばに関する基礎的知識の学習を通じて、「ことば」と「人間」と「社会」との関係について理解する。							
<b>授業の内容</b> 私たちは「ことば」というものを普段何気なく使っているが、そこには大変面白い現象・事実がたくさん観察される。国語や英語の時間に習った「文法」とは一味違う、ことばの世界の奥深さを学んでみよう。 毎回の授業後、テーマに関連したコメントシートを提出する。							
教科書	なし						
参考書	授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	日ごろからことばというものに親しみを持ってください。 配付したプリントはすべてファイルにとじて、レポート執筆に備えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回提出してもらったコメントシートからピックアップしたものを、翌週の授業で紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業後に提出するコメントシート				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容からテーマをひとつ選び、レポートを作成する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	金澤研究室（3号館4階） 月曜日 10時30分～12時						
担当教員E-mail	y-kanazawa@sumire.ac.jp（金澤）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション：ことばとは何か？	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
2 /	ことばと性差	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
3 /	ことばと年齢差	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
4 /	役割語	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
5 /	方言について	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
6 /	ことばと国家	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
7 /	ことばの変化	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
8 /	ことばと場面・状況	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
9 /	敬語について	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
10 /	オノマトペ	金澤	講義・DVD視聴	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
11 /	ことばと文化・世界観	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
12 /	比喩表現・ことわざ・慣用句	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
13 /	消滅の危機に瀕したことば	金澤	講義・DVD視聴	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
14 /	レポート作成について	金澤	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
15 /	まとめ・レポート提出	金澤	レポートの推敲	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>美術をみる目</b>	安井 良尚(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Appreciation of Arts							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・造形表現活動を考察することにより美術という作品を見る手がかりを習得する。 ・美術鑑賞に欠かせない、主題、形式、材質、技法、様式などの観点を理解できる。							
<b>授業の内容</b> この授業では、写真や映像をもとに古今東西の美術作品を鑑賞し、美術を見るための観点を学びながら、簡単なワークの中で、美とはなんであるかを考察する。 さらに、実際に美術館に行く機会を持ち、作品と対話し、鑑賞する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	各自が行う美術館での作品の鑑賞レポート、毎回の授業の美術研究ノートの作成だけでなく、授業中のワークへの積極的関与も重要です。 未知なるもの、知らなかったことを学ぶことは楽しいことです。積極的に自分の世界を広げましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業ノート、美展覧会レポートを評価し返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業態度と提出物について評価する				
	授業内試験	10	授業最終日の小テストにおいて授業の理解度を評価する				
	定期試験						
	レポート	10	レポートにおける着眼点と独自性を評価する				
	その他	50	授業内で配付するプリントでつくる研究ノートの充実度を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yoyasui.23@gmail.com (安井)						
教員相互授業参観	9,10回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	「イントロダクション」授業概要、美術研究 ノートの使い方について	安井	講義	美術について、今までに習ったことや知っていることを整理する	90
2 /	「遠近法について」立方体を描いてみる	安井	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	「遠近法から逃れる」ピカソとキュビズム	安井	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	「印象派の表現」光を表現する	安井	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	「浮世絵版画」浮世絵と版画	安井	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	「マティスの切り絵」地と図の関係	安井	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	「シュールな世界」想像の世界	安井	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	「抽象絵画とは」カンディンスキーとモンド リアン	安井	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	「絵の具のもつ力」ポロックの時間	安井	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	「デュシャンの<泉>」考え方を学ぶ	安井	講義	講義内容をまとめる	90
11 /	「<もの>を通して観る」ストーリーを考える	安井	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	「ポップアート」日常と美術	安井	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	「日本の美術」琳派から現代	安井	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	「現代美術の視点」	安井	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	「授業を振り返って」小テスト、美術研究 ノートの提出	安井	講義、小テスト	ノートを完成させる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>音楽とは何か</b>	柚木たまみ(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Consideration to Music							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・音楽とは何かについて考え、音楽と人間とのつながりを知る。 ・音楽のルーツと歴史について知り、様々な音楽のジャンルに触れる。 ・音楽の持つ「力」を学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 音楽とは何であるか。それは、人間にとってなくてはならないものである。 授業では、毎回異なったテーマで音楽について知り、考えていく。目には見えない音楽というものを、実際に私たちはどのように感じているのかを改めて意識してほしい。 そして、教員の、長年にわたる演奏家として、また音楽療法士としての経験を生かした講義内容とする。 レポートを通して、質問や感想等を伝えてもらい、また、学生相互の意見交換もしていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	音楽経験の有無は問いません。 自分の音楽に対する知識と考えを、毎回の授業参加時のレポート等で反映してください。 そして、さらに新しい音楽についての視点を見つけてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回提出してもらった小レポートの内容について、受講生全体で共有できるように授業内で質問等への回答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	毎回授業の最後に小レポートを書く				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	45	授業最終回到提示テーマによるレポートを作成する				
	その他	15	プレゼンテーションの機会に積極的な参加を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション(授業構成と取り組み方) 「音楽とは何か」(1) 自分にとっての音楽とは、生活の中の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	30
2 /	「音楽とは何か」(2) 音楽の定義と特性、様々な捉え方	柚木	講義	講義ノート作成	45
3 /	「音楽のルーツ」	柚木	講義	講義ノート作成	45
4 /	「時代と音楽」(1) 古代、中世の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
5 /	「時代と音楽」(2) バロック、古典派の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
6 /	「時代と音楽」(3) ロマン派、そして近現代の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
7 /	「声楽と器楽」	柚木	講義	講義ノート作成	45
8 /	「音楽と舞踊」	柚木	講義	講義ノート作成	45
9 /	「音楽と劇場」	柚木	講義	講義ノート作成	45
10 /	「西洋と日本」	柚木	講義	講義ノート作成	45
11 /	「世界の様々な音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーションについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備	60
12 /	「ポピュラー音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーション レポートのテーマについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備 レポート準備	120
13 /	「音楽療法」(1) 音楽療法とは その定義について	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
14 /	「音楽療法」(2) 音楽療法の様々な在り方	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
15 /	まとめ	柚木	講義 レポート作成についての助言	講義レポート作成 レポート準備、作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
テレビジャーナリズムに学ぶ	岩下 隆(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Studying by TV Journalism							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テレビ放送の歴史や現状について認識を深め、「テレビジャーナリズム」が社会生活に及ぼす影響について理解することで「社会の中で生きている事」の自覚を高めようとする。</li> <li>自分の心を伝え人と理解し合う事の大切さについて学び、その為の方法や技を磨き学生の「コミュニケーション力」の向上を目指す。</li> <li>情報社会で生活する事の意味を認識し、学生たちの「社会性意識」を向上しようとする。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>講師は放送局（朝日放送）でスポーツ一筋に44年間勤務してきたテレビマン。番組制作現場で心や目に刻み感じた経験を基に講義を進める。前段では「テレビの歴史や現状」について、時代背景を踏まえながらテレビの果たしてきた役割や新しいテレビの使命について考え、時にはテレビ局で働く人間の活動についても紹介する。後段では「人と人の繋がり大切さ」に視点を置き、日常生活や就職活動にも活用できる実践的な「コミュニケーション力の向上」についても触れ、時には、講師が制作に関わったドキュメンタリー番組を視聴し、更にコミュニケーションの根幹を成す発音・発声を始めとする「話し方＝アナウンスメント」についても基本から講義を進める。一方向の講義にならぬ様留意しながら「親しめる授業」を目指す。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	アナウンサーを起点としてディレクターやプロデューサーなどテレビマンとしての体験だけでなく、長年の人生経験を活かしながら皆さんのこれからの人生に役立つ授業を皆さんと一緒に進めようと考えています。それを実現する為にも毎講義ごとの『受講カード』を活用し、心の行き交う講義の進め方を実践したいと考えます。受講態度は受講カードの記載内容によっても評価します。朝一番の眠気や寒さを吹き飛ばすよう、共に頑張りましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎講義終了時にテーマを提示し『受講カード』に記述して貰います。その都度『講師返信欄』にて各自に応え、次回講義の冒頭で感想を含め説明します。 4回実施する予定の『レポート』についてはその都度『A～C』の3段階で評価し、次の回の講義冒頭で際立ったものを紹介します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講態度や「受講カード」の記載内容によって評価する				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業で説明した内容の確認（ノートの持ち込みも可とする）				
	レポート	20	各レポートの記載内容を3段階で評価（正しい漢字使いを求める）				
	その他						
自由記載	先ずは講義を聴き、興味を膨らませ、様々な事に気付き、自分で考える習慣を身につけよう						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける 気軽に声を掛けてください						
担当教員E-mail	mana_takarin@i.zaq.jp（岩下）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって～人生、一期一会～ 自分を知って貰う事の重要性を理解して貰うと共に、講義全般について内容を説明する	岩下	講義	自宅課題(レポート「自己紹介」) 予定あり	90
2 /	テレビの歴史1～テレビ誕生前後の話～ テレビの開発から普及・発展、日本の社会に与えた影響について説明	岩下	講義	前回レジュメを読み返す	90
3 /	テレビの歴史2～日本のテレビの成長記録～ テレビの存在意義やテレビの発展が世界の歴史を変えた事実等について知る	岩下	講義	自宅でテレビニュースを視聴する	90
4 /	テレビの存在理由～伝え続けた大切なもの～ 日本の文化や人情・国民性、様々なものについてもう一度考えてみよう	岩下	講義	自宅課題(感想、ニュース原稿を書く) 予定あり	90
5 /	テレビが発信し続けるもの～情報とニュース～ 情報社会を生き抜くために重要な事について考える	岩下	講義	自宅課題(レポート) 予定あり	90
6 /	ニュース番組を考える～ニュースとは? 情報とは?～ 正確な情報を見極めるには? 情報に惑わされない為に心掛ける事について説明	岩下	講義	自宅でニュース番組を視聴する	90
7 /	ドキュメンタリーを見る～心に残る情報～ 報道ドキュメンタリー番組は何故人の心を打つのかを実感する	岩下	講義とDVD視聴	自宅課題(視聴感想レポート) 予定あり	90
8 /	スポーツ番組の現場から～スポーツの力～ スポーツドキュメンタリーを見てアスリートの心に触れ、スポーツの力を知る	岩下	講義とDVD視聴	自宅で情報番組を視聴する	90
9 /	情報番組を考える～正しい情報活用とは～ 正しい情報と誤った情報を見極める方法を身につける	岩下	講義	レジュメを読み返す	90
10 /	テレビの表現 ～人を傷つけないために～ テレビの表現の中に見られる様々な配慮や優しさについて考える	岩下	講義	自宅でニュース番組を視聴する	90
11 /	コミュニケーション1 ～コミュニケーションを見直そう～ 苦手意識について分析し、克服するためのヒントや方法について考える	岩下	講義	自宅課題(喋り自己分析レポート) 予定あり	90
12 /	コミュニケーション2～生活の中のコミュニケーション～ コミュニケーション向上の為の基本の基『挨拶』について考える	岩下	講義	レジュメを読み返し、挨拶を実践する	90
13 /	コミュニケーション3～テレビの中の以心伝心～ ある甲子園名監督と選手に見た究極のコミュニケーションについてDVDを視聴しながら考える	岩下	講義とDVD視聴	自宅課題(視聴感想レポート) 予定あり	90
14 /	コミュニケーション4 ～物事の本質について考える～ 物事の本質とは? 本当に相手に伝えたい心と言葉について考える	岩下	講義	レジュメを読み返す	90
15 /	まとめと総括 ～テレビと共に生きる～ 地球環境問題や人として成すべきことについて説明し、未来に伝える大切な事について一緒に考える	岩下	講義	レジュメを読み返す	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
<b>教育を考える</b>	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
On Education							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・日本の教育状況に関する基本的な事項を理解する。 ・日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得する。							
<b>授業の内容</b> 日本の教育状況に関する基本的な事柄を、文部科学省の意図に沿って説明する。そのうえで、教育現実に根差した批判的な議論をとおして、日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得できるよう講義する。							
教科書	『(仮)わかちあい』の共育学』 齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美 (明石書店)						
参考書	『子どもを育てない親、親が育てない子ども－妊婦健診を受けなかった母親と子どもへの支援』井上寿美・笹倉千佳弘(生活書院)(本体2,200円+税) 『虐待ゼロのまちの地域擁護活動－施設で暮らす子どもの「子育ての社会化」と旧沢内村』井上寿美・笹倉千佳弘(生活書院)(本体2,200円+税)						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp (笹倉)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見通しを たてる	90
2 /	教職の意義及び教員の役割・職務内容（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	教職の意義及び教員の役割・職務内容（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	道徳の理論と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	道徳の理論と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	「総合的な学習の時間」の意義と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	「総合的な学習の時間」の意義と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	特別活動の意義と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	特別活動の意義と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	生徒指導の理論と方法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	生徒指導の理論と方法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	現代の教育・学校と地域（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	現代の教育・学校と地域（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
<b>心 理 学</b>	林 幸範(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Psychology							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・心理学についての基本的な知識や考え方を理解することができる。 ・それらの知識や考え方を基に「こころ」について自分なりの考え方ができる。							
<b>授業の内容</b> 心理学とは、「こころの諸現象を心理学的方法で研究する科学である」といえ、学問の一領域である。そこで、本講義では、「こころとは何か」をメインテーマとして、「こころ」における基本的な理論や概念を15のサブテーマを設定して、心理学を基礎に考えていく。その際にできる限り今日的な問題についても考えていく。 なお、本講義では、「テーマシート」を利用したアクティブ・ラーニングの授業を実施する。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業内で紹介						
担当者からのメッセージ	本授業は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。なお、教科書は使用しないが、毎回「資料ノート」を配付する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。第15回の「テーマシート」は、定期試験時に返却予定。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストで、論述式で実施				
	レポート						
	その他	40	毎回実施する「テーマシート」の評価				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp (林) yhayashi@tkb.att.ne.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	こころ、あなたはどう思いますか？ －こころをどう考えるのか、哲学それとも科学：心理学小史－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	60
2 /	こころ、どこにある？ －人間のこころの生物学的基礎：生理的心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
3 /	リンゴは、なぜ赤くて丸いのか？ －ものの見方・捉え方：感覚・知覚心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
4 /	物覚えが悪くてね！？ －おぼえる・思い出す：記憶心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
5 /	勉強、どう思う？ －行動が変わる：学習・行動心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	思考や知能は、遺伝するのか！？ －ものを考える：思考・言語・知能心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	あなたは、感情的、理性的？ －人が動く心理：感情・動機心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	発達とは、どんなこと？ －こころの発達：発達心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	この絵、何に見える？ －人間の発達：生涯発達心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	あなたの短所は？ 長所は？ －その人らしさ：性格・人格心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	こころのバランスは、なぜ崩れるのか？ －こころもカゼをひく：臨床心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	犯罪は、どうして起こるのか？ －逸脱の心理：臨床・犯罪心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
13 /	なぜ、授業中私語をしてしまうのか？ －人と人・個人と社会：社会・産業・災害心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
14 /	教育、どう思いますか？ －教育現場での心理：教育・障害者心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
15 /	この実験をどう思う？ －心理学とは：心理学の方法論－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>心と身体のヘルスケア</b>	神村 有紀(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Healthcare of Body and Mind							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・「心と身体の健康」という観点から、主に心理学、リラクゼーションやストレス理論を用いて、自分自身の心身の状態を見直ことができる。 ・講義で習得したことを、実際の日常生活に応用し、自分自身の「心身の健康」について考察することができる。							
<b>授業の内容</b> 本講義では、主なストレス理論と心身の健康に有効なさまざまな対処法をとりあげ、講義する。一般的なストレス・マネジメント法を中心に、心身のセルフケアとして広く親しまれ、実践しやすいものを取り上げ、その背景にある人間観や健康観に留意しつつ学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この科目は講義科目ですが、一方的に聞くだけで終わらせるのではなく、実際に、日常の生活の中で、自分自身に適切なセルフケアを実践することを目標としています。 受講態度の評価は、できる限り積極的に参加し、学ぼうとする姿勢で臨まれているかをポイントとし、ディスカッションや発表の際の取り組み方、及び毎回の小レポートの内容に基づいて判断します。また、授業内容とは無関係の私語や作業について、見受けられた場合は減点対象とするので、注意してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、共通の見解、深く考察された内容、また誤解しやすい点等を取り上げ、次回の授業の中でコメントしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業内で提出を求めるショートレポートの内容を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	kmyuki-a@st.ritsumei.ac.jp（神村）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	はじめに 本講義の目的と「健康」の定義について考える	神村	講義	授業ノートを見直す	30
2 /	ストレスと健康1 ストレスの定義とストレス理論の基礎知識	神村	講義	授業ノートを見直す	30
3 /	ストレスと健康2 ストレス反応のメカニズムとコーピング	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
4 /	ストレスと健康3 心身相関と自律訓練法1	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
5 /	ストレスと健康4 心身相関と自律訓練法2	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
6 /	人間関係と健康1 交流分析理論でみつめる自己の人間関係	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
7 /	人間関係と健康2 アサーション・トレーニングと自己のコミュニ ケーションスタイル	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
8 /	心身の健康とボディワーク1 ヨーガの歴史と健康観	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
9 /	心身の健康とボディワーク2 ヨーガ実践の基礎知識とセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
10 /	東洋の健康文化と心身の健康 東洋医学的健康観とストレス	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
11 /	アロマセラピーと心身の健康1 ハーブ、アロマセラピーの基礎知識	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
12 /	アロマセラピーと心身の健康2 ハーブ、アロマセラピーと心身のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
13 /	アロマセラピーと心身の健康3 バッチフラワーレメディと感情のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
14 /	「内なる子ども」と心身の健康	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
15 /	「健康」について再考する	神村	講義とレポート	授業ノートを見直す	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>生活文化論</b>	森 治子(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Cultural Studies of Living							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 講義で紹介する様々な生活文化を通して、日本文化の特徴や特質について理解を深め、他国の文化についても関心をもつことができるようになる。 ・ 社会と文化と人びとの暮らしとの関係性を理解し、ひとりひとりが自分自身のライフスタイルについて考えることができるようになる。 ・ 日本の文化やライフスタイルについて、自分の言葉で説明し、表現できる力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 生活文化とは人が生活していくための技術や手段である。この授業では日本人が日常生活のなかでどのような行動や考え方をしてきたか、そのことが生活にどのように反映されてきたかということを、衣食住や遊びに関する事象から検討する。また、生活のなかで継承されてきた様々な技術や生活道具の歴史をひもとくことによって、文化の諸相をとらえ、考察する。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	教科書は使用しないので、教材プリントや資料を配付する。 講義内容の理解を深めるために、昔の映画やドラマ、ドキュメンタリー作品等を鑑賞することがあるので、私語は慎むこと。 疑問に感じたことやわからないことがあれば、積極的に質問をしたり、自分から調べる習慣を身につけてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時に提出する課題や感想文は、翌週の授業でまとめて講評し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業時に提出を求める感想文やコメントペーパー				
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他	20	復習を兼ねた課題の提出				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	mori916hrk@gmail.com (森)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生活文化を学ぶための方法について	森	講義	講義内容をまとめる	180
2 /	衣生活に関する文化1 和装と洋装(1) 古代～近世	森	講義	講義内容をまとめる	180
3 /	衣生活に関する文化2 和装と洋装(2) 明治・大正・昭和	森	講義	講義内容をまとめる	180
4 /	衣生活に関する文化3 日本の色彩と化粧	森	講義	講義内容をまとめる	180
5 /	住まいに関する生活文化1 日本の住まいとくらしのスタイル(1) 住まいの変遷	森	講義	講義内容をまとめる	180
6 /	住まいに関する文化2 日本の住まいとくらしのスタイル(2) ライフスタイルと間取り	森	講義	講義内容をまとめる 指示したことを調べる	180
7 /	住まいに関する文化3 日本の住まいとくらしのスタイル(3) ライフステージと住まい	森	講義	講義内容をまとめる 指示したことを調べる	180
8 /	食に関する文化1 食の起源	森	講義	講義内容をまとめる	180
9 /	食に関する文化2 和食と洋食	森	講義	講義内容をまとめる 指示したことを調べる	180
10 /	食に関する文化3 伝統行事と行事食	森	講義	講義内容をまとめる 指示したことを調べる	180
11 /	食に関する文化4 喫茶と菓子の文化	森	講義	講義内容をまとめる	180
12 /	食に関する文化5 環境問題と食生活	森	講義	講義内容をまとめる	180
13 /	四季の行事と遊びの文化1 春から夏の行事と祭り	森	講義	講義内容をまとめる	180
14 /	四季の行事と遊びの文化2 秋から冬の行事と祭り	森	講義	講義内容をまとめる	180
15 /	まとめ	森	講義	講義内容をまとめる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>現代社会と福祉</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
							○
Social Welfare in Contemporary Society							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・社会福祉について「ひとごとではない問題」「ほっとけない問題」としてとらえられるようになる。 ・社会福祉に対する「古い常識」や「偏見」に対して、科学的・批判的にとらえられるようになる。 ・社会科学としての「社会福祉学」にふれることで、社会問題に対してこれまでと違ったものの見方・考え方ができるようになる。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による講義である。 この授業の目指すところは「自己責任論の克服」である。また科目名は「現代社会と“福祉”」としているが、正しくは“社会福祉”である。15回の授業を通じて、様々な社会問題・生活問題を取り上げるが、過酷な実態の中で社会福祉がどのような役割を果たしているか、受講生とともに考えるような内容にしたい。実態に迫るため、ドキュメンタリー映像を多用する。 なお、この科目は社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の「現代社会と福祉」ではない。科目互換制度を利用する他大学の学生は注意されたい。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	社会福祉のあり方について純粋に興味がある学生の受講を歓迎する。 また、論点をはっきりさせるために、ときに担当教員の考えや意見を明示する。しかし、これは考えや意見を押し付けるものではない。受講者自身が考えを深めるための材料として受け止め、時には批判してほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	ほぼ毎回何らかの提出課題を課すが、課題は担当教員が確認・検印のうえ返却する。返却された課題はなくさないように保管すること。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中に課す小レポートで算出する				
	授業内試験						
	定期試験	50	社会福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメールで連絡すること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	「社会福祉」を考えるヒント	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
2 /	災害復興と社会福祉	松木	講義 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
3 /	児童養護施設を出て「自立する」とは	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
4 /	限界の家族介護—介護殺人、介護心中	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
5 /	放置される劣悪な施設—無届け介護ハウス	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
6 /	「障がい」とはなにか	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
7 /	重度障害者の声に耳を傾ける	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
8 /	「犯罪を犯した人」の人権	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
9 /	なくなる子どもの居場所	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
10 /	安心して病院にかかりたい	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
11 /	売春被害も自己責任？	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
12 /	社会問題と「感動ポルノ」	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
13 /	映画鑑賞(1)	松木	映画鑑賞 14回目と連続授業	14回目と連続授業	0
14 /	映画鑑賞(2)	松木	映画鑑賞 作品の背景に関する講義 振り返りシート記入	映画の解説を読み返す	60
15 /	授業のまとめ 「自己責任論」を克服するために	松木	講義 振り返りシート記入	定期試験に向けて復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>現代の健康</b>	堀池喜八郎(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Nutrition and Health Sciences							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・「生きている」ことの基本を理解する。 ・マスメディアにみられる「ニセ科学」について理解する。 ・科学的思考方法の有効性と限界について知る。							
<b>授業の内容</b> 医療の経験を持つ教員が担当する。 健康に生きるための知識として、食事（栄養素）、摂取エネルギー、消費エネルギー、細胞の仕事、生体内のエネルギー通貨ATP、脳による代謝の統合について解説する。 さらに、健康や栄養に関連したマスメディアにみられる「ニセ科学」について勉強する。 講義資料を配付する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	いろいろな授業科目（学問分野）は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。 受講時、ちょっとした疑問点など何でも気軽に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。 授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については翌週に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	講義内容に関連した約10項目の用語から3項目ほどを選択して、レポートする（考察を重視する）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	堀池研究室 水曜日 9時～14時						
担当教員E-mail	k-horiike@sumire.ac.jp（堀池）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生きるためには食べなければならない	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
2 /	栄養素を分類する	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
3 /	ビタミンとは何か	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
4 /	ビタミン様作用物質	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
5 /	ビタミン発見小史1：概観	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
6 /	ビタミン発見小史2：脚気	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
7 /	ビタミン発見小史3：日本人の活躍	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
8 /	ビタミン発見小史4：ナイアシン欠乏症（ペラグラ）	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
9 /	医学領域における自己人体実験	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
10 /	アミノ酸代謝の特徴：糖質や脂質の代謝とどこがちがうのか	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
11 /	必須アミノ酸とタンパク質の栄養価（アミノ酸スコア）	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
12 /	生きるために必要なエネルギーの量	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
13 /	生き物の細胞内エネルギー通貨ATP	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
14 /	エネルギー代謝の脳（視床下部）による調節と統合	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
15 /	マスメディアに見られるニセ科学：生（なま）のつく言葉、健康食品のウソ・ホント、科学の言葉で人をだます	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>数の不思議</b>	久米 央也(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
Wonder of Mathematics							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形的美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。							
<b>授業の内容</b> 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えていく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	数学な苦手な人でも、大丈夫です。考えることが楽しいと感じることが大切です。数学的に考える力をつけることは、社会で出会う様々な問題を解決するのに役に立ちます。成績評価のうち「受講態度」については、毎回の授業での課題に積極的に取り組んでいたかを中心に評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については授業中に取り上げ説明する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験	50	授業内容が理解できているかについて授業の復習テストを行う				
	定期試験						
	レポート	20	授業の終わりに課題を出し、授業の理解ができていないかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 14時40分～15時40分（事前予約が望ましい）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 数の誕生、数字の発明 誕生日当て コインで算術 マッチ棒で算術	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
2 /	数の誕生 数字の進化 計算の不思議 川渡り問題 2020の謎・9999の謎を解く	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
3 /	ガウスの定理 123123の謎 0の発見(十進位取り記数法の誕生)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
4 /	17列目の謎を解く 数列の不思議 フボナッチ数列 素数	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
5 /	142857の謎(巡回数) パンデジタル 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
6 /	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・オイラーの法則 いろいろな展開図	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
7 /	平面図形の不思議 消えた1cm <sup>3</sup> カバリエリの原理 タングラム	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
8 /	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
9 /	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル(ハノイの塔) カエルの飛び越し	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
10 /	パラドックスの不思議 アキレスと亀 数と比の不思議 黄金比・白銀比	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
11 /	÷99の謎 3の不思議 リンゴ取りゲームの謎 小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
12 /	測定の不思議(古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見(地球を測定)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
13 /	塵劫記を解く 俵杉算・カラス算・盗人算・入れ子算	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
14 /	塵劫記を解く 嫁入り算・油分け算・盗人隠・小町算	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
15 /	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I (製菓)	今村 梨沙(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	実務経験
English I							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
<b>授業の内容</b> 本講義では、基本的な英単語および英文法を復習し、応用された英語表現を学習する。それらを用いて、自分の意見や考えを表現できるように学習する。							
教科書	『コミュニケーションのための総合英語』 阿野幸一、上田倫史、遠山道子、豊嶋正貴、Karen Haedrich (朝日出版社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この講義では、英語を聞く・話す・書く・読むという4技能を総合的に使用する。辞書の持参を勧める。私語や居眠り、活動に参加しない場合は、厳重注意する。何度注意しても応じない場合は、単位修得を認めない。不明な点や難しいと感じた点は、遠慮なく何度でも質問・確認し、積極的に授業に取り組まれない。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は、内容を確認し、不十分な点を指摘し、必要に応じて再提出を求める。小テストは、実施した次の回に採点したものを返却し、不十分な点は指摘し、必要に応じて再テストを実施する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	指名や挙手による発言を評価する				
	授業内試験	20	小テストを2回実施する				
	定期試験	50	理解度確認のテストを実施する				
	レポート						
	その他	20	授業内容に沿った課題を課す				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション Lesson 1 Communication コミュニケーションの持つ力について理解する	今村	講義	Lesson 1 を復習しておく	60
2 /	Lesson 1 Communication 現在の自分について英語で述べる	今村	講義 課題提出	Lesson 1 を復習しておく Lesson 2 を読んでくる	90
3 /	Lesson 2 Friendship 友好関係について考える	今村	講義	Lesson 2 の復習をする	60
4 /	Lesson 2 Friendship 英語で思い出を語る	今村	講義 課題提出	Lesson 2 の復習をする Lesson 3 を読んでおく	90
5 /	Lesson 3 Health 健康について考える	今村	講義	Lesson 3 の復習をする	60
6 /	Lesson 3 Health 趣味について英語で述べる	今村	講義 課題提出	Lesson 3 の復習をする Lesson 4 を読んでおく 小テストの勉強をする	120
7 /	Lesson 4 Environment 環境保全について考える	今村	講義 小テスト	Lesson 4 の復習をする 小テストの振り返りを行う	90
8 /	Lesson 4 Environment 論理的な英文を書く	今村	講義 課題提出	Lesson 4 の復習をする Lesson 5 を読んでおく	90
9 /	Lesson 5 Fashion 着物の歴史について学ぶ	今村	講義	Lesson 5 の復習をする	60
10 /	Lesson 5 Fashion 具体例を挙げて英文を書く	今村	講義 課題提出	Lesson 5 の復習をする Lesson 6 を読んでおく	90
11 /	Lesson 6 Food 好きな食べものについて説明する	今村	講義	Lesson 6 の復習をする	60
12 /	Lesson 6 Food 1日の出来事を英語で説明する	今村	講義 課題提出	Lesson 6 の復習をする 小テストの勉強をする Lesson 7 を読んでおく	120
13 /	Lesson 7 Science&Technology スマートフォンの歴史を学ぶ	今村	講義 小テスト	Lesson 7 の復習をする 小テストの振り返りを行う	90
14 /	Lesson 7 Science&Technology 英語で要約文を書く	今村	講義 課題提出	Lesson 1 ～ 7 の復習をする	180
15 /	Review Lesson 1 ～ 7 を振り返る	今村	講義	今学期の振り返りを行う	150
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>英語 I (製菓)</b>	野中美賀子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
<b>授業の内容</b> 『English Missions! Starter』は2人の主人公がアメリカ・カナダの様々な都市を旅するストーリーである。旅先でのエキサイティングなシーンを追体験しながら、楽しく英語を学ぶ。英語力を養うには、様々な英語表現を理解し、使いこなせるよう慣れ親しむことが大切である。英語の4技能、「聴く、話す、読む、書く」力を向上させるために多角的に練習を行う。具体的には、テキストで基本的な単語と文法を習熟し、アクティブ・ラーニングとして自由英作文を書いたり、簡単な英語プレゼンテーションを行ったりする。英語を用いて、相手を理解すると同時に、自らの感情や意思を相手に伝える手段を学ぶ。							
教科書	『English Missions! Starter』 Robert Hickling・白倉美里（金星堂） 価格（本体1,800円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	予習では、各ユニットで知らない単語を辞書で調べよう。 復習では、授業で学んだ英語表現を反復して練習しよう。 授業には、辞書を持参してください。 課題に積極的に取り組み、授業で発言できることを評価する。 楽しく英語を学習しましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	各ユニットの最後でまとめと確認をする。 プレゼンテーションについて、その都度、教員よりポイントをコメントする。 課題自由英作文について、添削後、次の授業で返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的に質問したり発言する授業態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	30	授業全体の理解度をみる				
	レポート						
	その他	30	提出物が課題に沿った内容であること				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション ・年間の授業計画の説明 ・簡単な自己紹介をしよう Pre-Unit ・英語の5文型の確認	野中	演習	自己紹介を考える	60
2 /	Unit 1 Welcome to Vancouver ・春休みの思い出を発表しよう ・質疑応答をしよう	野中	演習	テキストのUnit 1 をする 春休みにしたことを考える	60
3 /	Unit 1 Welcome to Vancouver ・be 動詞を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 1 をする	60
4 /	Unit 2 Ryo Loves San Francisco 一般動詞の現在形を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 2 をする	60
5 /	Unit 2 Ryo Loves San Francisco ・一般動詞の現在形 ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 2 をする	60
6 /	Unit 3 A British City in Canada? ・代名詞を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 3 をする	60
7 /	Unit 3 A British City in Canada? ・代名詞を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 3 をする	60
8 /	Unit 4 L.A. Style ・現在進行形・過去進行形を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 4 をする	60
9 /	Unit 4 L.A. Style ・現在進行形・過去進行形を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 4 をする	60
10 /	Unit 5 The Canadian Rockies ・時と場所を表す前置詞を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 5 をする	60
11 /	Unit 5 The Canadian Rockies ・時と場所を表す前置詞を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 5 をする	60
12 /	Unit 6 The Grand Canyon ・可算名詞・不可算名詞を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 6 をする	90
13 /	Unit 6 The Grand Canyon ・可算名詞・不可算名詞を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 6 をする	60
14 /	Unit 7 T.O.- Toronto, Ontario ・一般動詞の過去形を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 7 をする	60
15 /	Unit 7 T.O.- Toronto, Ontario ・一般動詞の過去形を使いこなそう ・まとめ ・夏休みの予定を話そう	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 7 をする 夏休みの予定を立てる	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>英語Ⅱ (製菓)</b>	今村 梨沙(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	実務経験
English II							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
<b>授業の内容</b> 本講義では、基本的な英単語および英文法を復習し、応用された英語表現を学習する。それらを用いて、自分の意見や考えを英語で表現できるように学習する。							
教科書	『コミュニケーションのための総合英語』 阿野幸一、上田倫史、遠山道子、豊嶋正貴、Karen Haedrich (朝日出版社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この講義では、英語を聞く・話す・書く・読むという4技能を総合的に使用する。辞書の持参を勧める。私語や居眠り、活動に参加しない場合は、嚴重注意する。何度注意しても応じない場合は、単位修得を認めない。不明な点や難しいと感じた点は、遠慮なく何度でも質問・確認し、積極的に授業に取り組まれない。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は、内容を確認し、不十分な点を指摘し、必要に応じて再提出を求める。小テストは、実施した次の回に採点したものを返却し、不十分な点は指摘し、再テストを実施する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	指名や挙手による発言を評価する				
	授業内試験	20	小テストを2回実施する				
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施する				
	レポート						
	その他	20	授業内容に沿った課題を課す				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション Lesson 1～7の復習	今村	講義	前期の復習をする Lesson 8 を読んでおく	60
2 /	Lesson 8 Study Abroad 海外留学の意義について学ぶ	今村	講義	Lesson 8 の復習をする	60
3 /	Lesson 8 Study Abroad 比較級を用いて英文を書く	今村	講義 課題提出	Lesson 8 の復習をする Lesson 9 を読んでおく	90
4 /	Lesson 9 College Life in the U.S. 日本とアメリカの大学生生活の違いについて学ぶ	今村	講義	Lesson 9 の復習をする	60
5 /	Lesson 9 College Life in the U.S. ものごとの手順を英語で説明する	今村	講義 課題提出	Lesson 9 の復習をする Lesson 10 を読んでおく 小テストの勉強をする	120
6 /	Lesson 10 Steve Jobs スティーブ・ジョブスの人生について学ぶ	今村	講義 小テスト	Lesson 10 の復習をする 小テストの振り返りを行う	90
7 /	Lesson 10 Steve Jobs 自分の意見を理由とともに述べよう	今村	講義 課題提出	Lesson 10 の復習をする Lesson 11 を読んでおく	90
8 /	Lesson 11 Volunteer Work ボランティアの意義について理解する	今村	講義	Lesson 11 の復習をする	60
9 /	Lesson 11 Volunteer Work パラグライディングの学習	今村	講義 課題提出	Lesson 11 の復習をす Lesson 12 を読んでおく	90
10 /	Lesson 12 Internship インターンシップの意義を理解する	今村	講義	Lesson 12 の復習をする	60
11 /	Lesson 12 Internship 英語で手紙を書く	今村	講義 課題提出	Lesson 12 の復習をする Lesson 13 を読んでおく 小テストの勉強をする	120
12 /	Lesson 13 Travel 交通手段が発達してきた歴史を学ぶ	今村	講義 小テスト	Lesson 13 の復習をする 小テストの振り返りを行う	90
13 /	Lesson 13 Travel イギリス英語とアメリカ英語の違いについて学ぶ	今村	講義 課題提出	Lesson 13 の復習をする Lesson 14 を読んでおく	90
14 /	Lesson 14 Culture カルチャーショックについて学ぶ	今村	講義	Lesson 14 の復習をする Lesson 15 を読んでおく	90
15 /	Lesson 15 An International World 論理的な英文の学習	今村	講義 課題提出	Lesson 15 の復習をする 今学期の振り返りを行う	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>英語Ⅱ (製菓)</b>	野中美賀子(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・ 応用的な英語力を養うことができる。 ・ 英会話を日常生活で使うことができる。 ・ 英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
<b>授業の内容</b> 『English Missions! Starter』は2人の主人公がアメリカ・カナダの様々な都市を旅するストーリーである。旅先でのエキサイティングなシーンを追体験しながら、楽しく英語を学ぶ。英語力を養うには、様々な英語表現を理解し、使いこなせるよう慣れ親しむことが大切である。英語の4技能、「聴く、話す、読む、書く」力を向上させるために多角的に練習を行う。具体的には、テキストで基本的な単語と文法を習熟し、アクティブ・ラーニングとして自由英作文を書いたり、簡単な英語プレゼンテーションを行ったりする。英語を用いて、相手を理解すると同時に、自らの感情や意思を相手に伝える手段を学ぶ。							
教科書	『English Missions! Starter』 Robert Hickling臼倉美里 (金星堂) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	予習では、各ユニットで知らない単語を辞書で調べよう。 復習では、授業で学んだ英語表現を反復して練習しよう。 授業には、辞書を持参してください。 課題に積極的に取り組み、授業で発言できることを評価する。 楽しく英語を学習しましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各ユニットの最後で確認とまとめをする。 プレゼンテーションについて、その都度、教員よりポイントをコメントする。 課題自由英作文について、添削後、次の授業で返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的な質問と発言の授業態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	30	授業全体の理解度を見る				
	レポート						
	その他	30	提出物が課題に沿った内容であること				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	Unit 8 Big Texas ・疑問詞を使いこなそう ・夏休みの思い出を話そう	野中	演習	テキストのUnit8をする 夏休みの思い出を書出す	60
2 /	Unit 8 Big Texas ・疑問詞を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 8 をする	60
3 /	Unit 9 Ottawa - The Capital ・接続詞and / or / but / so を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit 9 をする	60
4 /	Unit 9 Ottawa - The Capital ・接続詞and / or / but / so を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit 9 をする	60
5 /	Unit 10 Funky New Orleans ・動名詞・不定詞を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit10をする	60
6 /	Unit 10 Funky New Orleans ・動名詞・不定詞を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit10をする	60
7 /	Unit 11 Charming Quebec City ・未来形を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit11をする	60
8 /	Unit 11 Charming Quebec City ・未来形を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit11をする	60
9 /	Unit 12 Florida Sunshine ・現在完了形を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit12をする	60
10 /	Unit 12 Florida Sunshine ・現在完了形を使いこなそう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit12をする	60
11 /	Unit 13 A Taste of P.E.I. ・比較級・最上級を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit13をする	60
12 /	Unit 13 A Taste of P.E.I. ・比較級・最上級を使いこなそう ・冬休みの予定を話そう ・まとめ?	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit13をする 冬休みの予定を立てる	60
13 /	Unit 14 N.Y.C. - The Big Apple ・助動詞を使いこなそう	野中	演習	テキストのUnit14をする	60
14 /	Unit 14 N.Y.C. - The Big Apple ・助動詞を使いこなそう ・冬休みの思い出を話そう ・まとめ	野中	演習 まとめと確認	テキストのUnit14をする 冬休みの思い出を書き出す	60
15 /	Unit 15 Niagara Falls ・受動態を使いこなそう upper ・関係詞を使いこなそう ・あなたの大学生活について話そう	野中	演習	テキストの Unit15をする	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語 I (製菓)	柴田 秀樹(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	
							実務経験
French I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・フランス語の基礎文法を学習する。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
<b>授業の内容</b> フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、基礎的な文法の学習と会話練習を中軸とし、折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。 文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	八回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibata.hideki.23z@st.kyoto-u.ac.jp（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	アルファベ 発音の規則 あいざつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
2 /	身近なフランス語単語 0から10の数字	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
3 /	名詞の性	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
4 /	-er動詞の活用と主語人称代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
5 /	-er動詞の活用と否定形	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
6 /	etreの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
7 /	冠詞、etreを用いた自己紹介	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習 小テスト	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
9 /	avoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
10 /	avoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
11 /	aller、venir、faireの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
12 /	aller、venir、faireを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
13 /	形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする) 復習	60
14 /	形容詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅱ (製菓)	柴田 秀樹(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	
							実務経験
French II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・フランス語の基礎文法を身につけることができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
<b>授業の内容</b> フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、初級で学んだ文法事項を基盤として、より実践的な文法の学習と会話練習を行う。折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	八回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibata.hideki.23z@st.kyoto-u.ac.jp（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	初級の復習 あいさつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
2 /	faireの活用、12ヶ月の呼び方、序数	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
3 /	疑問文の作り方	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
4 /	命令法	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
5 /	vouloir、pouvoir、devoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
6 /	vouloir、pouvoir、devoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
7 /	所有形容詞、指示形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
9 /	複合過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
10 /	複合過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
11 /	近接未来と近接過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
12 /	近接未来と近接過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
13 /	代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
14 /	代名詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>中国語 I (製菓)</b>	李 景芳(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話ができる。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
<b>授業の内容</b> 発音はことばの基礎です。この授業ではテキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に授業を進める。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深める。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	中国語について	李	講義	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	発音、声調、発音符号の練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第一課 本文説明 「こんにちは！」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第二課 本文説明 「これは何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第三課 本文説明 「どこへ行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第四課 本文説明 「いくつほしいですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第四課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第五課 本文説明 「何曜日、アルバイトに行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第五課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第六課 本文説明 「今日の授業は終わりましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第六課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめとテスト	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>中国語Ⅱ (製菓)</b>	李 景芳(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話ができる。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
<b>授業の内容</b> 中国語Ⅰの履修者を対象に、テキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に学習を発展させていく。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての「異文化」への理解を深める。中国映画から学ぶ授業も計画している。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	第七課 本文説明 「ご飯を食べましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	第七課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第八課 本文説明 「富士山に登ったことがありますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第八課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第九課 本文説明 「何をしていますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第九課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第十課 本文説明 「趣味は何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第十課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第十一課 本文説明 「この靴はどうですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第十一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第十二課 本文説明 「お誕生日おめでとう」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第十二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第十三課 本文説明 「映画、もうすぐ始まります」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第十三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめ	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>健康スポーツ論 (製菓)</b>	村井 愛美(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・自らのからだを生涯にわたって健康的に維持するための知識や実践方法を理解できる。							
<b>授業の内容</b> 「健康」について心とからだの両面から理解を深め、自らのからだを具体的に知り、生涯にわたって健康的な生活を営むための手段を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	日頃、テレビやインターネット等で報じられている「健康」や「スポーツ」について関心を持つ。 毎回、授業の最後に小レポートの作成、提出を求める。そのレポートは評価の対象とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された小レポートは、翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業中の発表・討議の内容、授業における積極的な関わり等				
	授業内試験	60	記述の内容、内容への関心と理解度、字数等				
	定期試験						
	レポート	20	毎時間記述、記述内容の正確さ、内容への関心、字数等				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	aapochiaa@gmail.com (村井)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 身体の仕組みと働き	村井	講義	事前にシラバス内容を把握しておく	120
2 /	現代スポーツ・学校体育の諸問題 コーチングとティーチング	村井	講義	これまで自らが行ってきたスポーツや学校体育の活動について振り返る	120
3 /	スポーツとビジネス スポーツとメディア	村井	講義	スポーツとビジネス、スポーツとメディアの関係性について自分なりに考えをまとめる	120
4 /	スポーツと暴力・体罰 スポーツとジェンダー	村井	講義	スポーツと暴力・体罰、スポーツとジェンダーについて自分なりの考えをまとめる	120
5 /	生活習慣病(肥満・タバコ・アルコールについて) 運動とからだ	村井	講義	自らの生活習慣について考える	120
6 /	健康とダイエット 健康と栄養	村井	講義	これまでの食習慣やダイエットに関する考え方について振り返る	120
7 /	健康と心理(ストレスについて) ライフスタイル	村井	講義	自らのストレス習慣について振り返る 翌週の最終試験に向けて準備をする	120
8 /	授業のまとめ	村井	講義 最終試験	本授業で学習した内容が実生活に活かせるよう工夫する	120
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>健康スポーツ論 (幼教)</b>	山下 伸一(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・健康に関わるものとして食事・睡眠・運動についての知識を習得する。 ・健康な生涯を送るために必要な知識を実践する能力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 健康に関する今日的な課題を紹介し、正しい知識を得るとともに、それを実践する態度を身につける。本授業では、身体の仕組みや働き、健康を維持・増進するための食事(栄養)・睡眠(休養)・運動(身体活動)について理解を深めるとともに、自分の生活の中に取り入れる習慣を身につける方法を考える。 毎時配付するプリントを中心に、対話形式で授業を展開し、課題の作成も評価の対象とする。							
教科書	なし						
参考書	授業内容に応じて授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	日頃から健康に関心を持ち積極的に知識の習得に努めること。(新聞やニュース、インターネットを活用した予習)授業で使用するプリントは自分でファイリングして必要なことは書き込むようにする。学期中に2回の課題(レポート)提出を求めるが、それは成績評価に含まれるものとする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業の中で解説する。 作成したレポートについては、授業内で活用する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける それ以外は、火～金の16時～19時までで体育館にて質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 身体の仕組みと働き	山下	講義	事前に健康に関する話題を探しておく	60
2 /	食事と健康 1 栄養のバランス	山下	講義	自分の食生活を記録し、問題を考える	60
3 /	食事と健康 2 ダイエット	山下	講義 課題作成	1週間の自分の食事内容をまとめる	60
4 /	睡眠と健康 質の良い睡眠とは	山下	講義	自分の生活習慣を見直し規則正しい生活を考える	30
5 /	運動と健康 1 生活活動と運動	山下	講義	積極的な運動習慣(歩行・ジョギング)に取り組む	60
6 /	運動と健康 2 スポーツの実践	山下	講義 課題作成	運動習慣の継続と健康への関心を高める	90
7 /	健康日本21 将来の健康を考えて	山下	講義	最終試験に向けて授業内容の確認に取り組む	90
8 /	授業のまとめ	山下	講義 最終試験	学習内容を整理し、実生活に取り入れる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>スポーツ実技(テニス)</b>	河野 梨香(非常勤)	2年次	前・後期	1	実技	選択	実務経験
Practical Skills in Sports (Tennis)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスの基本的なルールを理解する。</li> <li>・テニスの基本的な技術を習得する。</li> <li>・テニスの基本的な戦術を理解する。</li> <li>・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要である。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想される。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践していく。</p> <p>スポーツ実技A(テニス)では、基本的な技術練習を進めながら、最終的にはダブルスのゲームを楽しめるよう学習を進める。雨天時は体育館で授業を行うが、体育館の使用状況や人数的な条件から、テニス以外の種目となる場合もあります。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行う。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わります。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは種目にふさわしいものを着用し、胸部に名前を書いたゼッケンをつけること。受講態度は、積極的に参加し、テニスを楽しんでいるかで評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行う。 技術の課題は、サーブが10本中5本以上成功させること。二人でラリーが7本続くこととする。最終日に実技試験を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	60	サーブとグラウンドストロークの実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係種目履修上の注意 種目の説明	河野	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具・コートの説明 ラケットとボールに慣れる ラケットの握り方	河野	実技	実技内容の振り返り	90
3 /	フォアハンドストローク 1本打ち (ペアで交互に)	河野	実技	実技内容の振り返り	90
4 /	フォアハンドストローク 投げられたボールをフォアハンドで打ち返す	河野	実技	実技内容の振り返り	90
5 /	フォアハンドストローク ペアで打ち合う	河野	実技	実技内容の振り返り	90
6 /	バックハンドストローク 1本打ち (ペアで交互に)	河野	実技	実技内容の振り返り	90
7 /	バックハンドストローク 投げられたボールをバックハンドで打ち返す	河野	実技	実技内容の振り返り	90
8 /	バックハンドストローク ペアで打ち合う	河野	実技	実技内容の振り返り	90
9 /	サーブ オーバーヘッドのサーブ練習	河野	実技	実技内容の振り返り	90
10 /	サーブとレシーブ	河野	実技	実技内容の振り返り	90
11 /	ボレー (フォアハンド・バックハンド)	河野	実技	実技内容の振り返り	90
12 /	シングルの簡易ゲームを楽しむ	河野	実技	実技内容の振り返り	90
13 /	ダブルスの簡易ゲームを楽しむ	河野	実技	実技内容の振り返り	90
14 /	ダブルスのゲームを楽しむ	河野	実技	実技内容の振り返り	90
15 /	実技試験 ・サーブ (10本中5本以上) ・グランドストロークの連続 (ペアで7回)	河野	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(フィットネス)	北尾 岳夫(専 任)	2年次	前・後 期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Fitness)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズについて理解する。</li> <li>健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズの実践力を獲得する。</li> <li>健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズを日常生活のなかに取り込む態度を身につける。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところから”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。</p> <p>フィットネスは16名の上限人数を設ける。受講希望者が上限人数を超えた場合は、抽選で受講者を決定する。</p> <p>健康維持のキーワードは、体組成・心肺機能・筋力・柔軟性である。フィットネスの授業ではこれらの要素に注目し、理論的な学習も含めた実践を行う。具体的には、ストレッチング(柔軟性)・エアロビック(有酸素)・ストレングス(筋力)の3つのエクササイズを取り上げ、それぞれについての理解と実践力の獲得を目指す。理論的な講義も交えながら、Nordic Walkingや自重を利用した体幹トレーニング、またバランスボールなども利用して“からだへの気付き”をテーマに授業を行う。</p>							
教科書	なし						
参考書	『ストレッチ100の基本』 横山格郎・星川精豪 監修 (柘出版社) 『ノルディックウォーキング Starting book』 伊藤義昭 監修 (スキージャーナル) 『自重体幹トレ100の基本』 比嘉一雄 監修 (柘出版社)						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは、担当者の指示にしたがうこと。 授業実施内容に応じて、ウォーキングに適したスニーカーや体育館用シューズが必要です。 受講態度の観点として、授業への積極的参加度を設ける。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業開始時に体組成(体重と体脂肪率)を測定・記録するとともに、その日の授業内容や自分のからだへの気付きなどの内容を含めた記録カードの提出を課す。この記録カードは、担当者がコメントし次回授業開始時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	毎時間の個人記録への記入状況				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	授業の全体を把握する	北尾	講義	授業内容全体の理解	90
2 /	体組成計のセット 体力測定(握力・閉眼片足立ち・上体起こし)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
3 /	ストレッチングEx.の基礎知識 体力測定(立位体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
4 /	エアロビックEX.の基礎知識 ベーシックストレッチング 体力測定(踏み台昇降)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
5 /	Nordic Walking (2.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
6 /	Nordic Walking (3.7km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
7 /	Nordic Walking (4.0km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
8 /	Nordic Walking (4.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
9 /	Nordic Walking (5.4km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
10 /	Nordic Walking (6.2km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
11 /	ストレンクスEx.の基礎知識 自重ストレンクスEx.	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
12 /	股関節ゆるゆるストレッチング バランスボールEx.	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
13 /	自重ストレンクスEx.(体幹)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
14 /	自重ストレンクスEx.(上肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
15 /	自重ストレンクスEx.(下肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り 授業全体の振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>スポーツ実技(バレー)</b>	山村 聡(非常勤)	2年次	前・後期	1	実技	選択	実務経験
Practical Skills in Sports (Volleyball)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボールの基本的なルールを理解する。</li> <li>・バレーボールの基本的な技術を習得する。</li> <li>・バレーボールの基本的な戦術を理解する。</li> <li>・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要です。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想されます。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころとからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践しています。</p> <p>この授業では、未経験者でもラリーが続きやすい軽量のローインパクトボールを使用し、基本技術練習、戦術的な向陽練習、そして技術レベルに応じたゲームを楽しみながら学習します。6人制バレーボールだけにとどまらず、生涯スポーツとして盛んに取り組まれているソフトバレーボールも取り上げます。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行います。コート準備や片付けなどにも、積極的に関わります。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	経験の有無にかかわらず、積極的な参加態度、個人のスキル向上への努力度、スポーツを通じたコミュニケーションスキル等の総合評価で成績がつきます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	50	実技試験				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点の説明 種目の説明	山村	講義	実施要項の理解	90
2 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
3 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
4 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
5 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・サーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
6 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
7 /	ソフトバレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
8 /	ソフトバレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
9 /	バレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
10 /	バレーボール基礎技術 ・サーブ ・レシーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
11 /	バレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
12 /	バレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
13 /	バレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
14 /	バレーボールゲーム	山村	実技	実技内容振り返り	90
15 /	ふりかえり 実技試験	山村	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>キャリアデザイン演習 (食健康)</b>	灰藤友理子(専任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えることができる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
<b>授業の内容</b> 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実際的なライフプランニングを考える情報や機会を提供する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。 毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。 受講態度は、授業中の演習問題への取り組み姿勢で評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各ゼミ担当者が翌週までにコメントし返却する						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の聴講態度により評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度により評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp (灰藤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリア・レビュー 漢字テスト(1) 1年間を振り返りながら、2回生になった自分自身を見つめなおす	笹倉	自らのキャリア形成を見据えた演習 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	通信のマナー 漢字テスト(2)	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー 漢字テスト(3)	山岡	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	給与明細と労務管理 漢字テスト(4)	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	生活設計とリスク管理	灰藤	講義	配付資料を読み返す	60
6 /	新聞を読みこなそう1 漢字テスト(5) 新聞の見方を知ろう	笹倉	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう2 漢字テスト(6) 新聞の読み比べをしてみよう	清水	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	原	アクティブ・ラーニング グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>キャリアデザイン演習 (製菓)</b>	灰藤友理子(専任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えることができる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
<b>授業の内容</b> 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実際的なライフプランニングを考える情報や機会を提供する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。 毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。 受講態度は、授業中の演習問題への取り組み姿勢で評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各ゼミ担当者が翌週までにコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の聴講態度により評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度により評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp (灰藤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリア・レビュー 漢字テスト(1) 1年間を振り返りながら、2回生になった自分自身を見つめなおす	石井	自らのキャリア形成を見据えた演習 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	通信のマナー 漢字テスト(2)	石井	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー 漢字テスト(3)	中平	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	給与明細と労務管理 漢字テスト(4)	山岡	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	生活設計とリスク管理	灰藤	講義	配付資料を読み返す	60
6 /	新聞を読みこなそう1 漢字テスト(5) 新聞の見方を知ろう	中平	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう2 漢字テスト(6) 新聞の読み比べをしてみよう	灰藤	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	石井	アクティブ・ラーニング グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>キャリアデザイン演習 (幼教)</b>	柚木たまみ(専 任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身に付けたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
<b>授業の内容</b> 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実践的なライフプランニングを考える情報や機会を提供する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。受講態度は、「マイキャリアファイル」の充実度を目安とする。 したがって、毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	「マイキャリアファイル」については毎回感想を記入しクラス担当教員に提出する。感想に対して担当教員がコメントや検印を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の中で課題への積極的、意欲的取り組み等、受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリアレビュー	柚木 久米 林 他	自らのキャリア形成を見据えた演習	配付資料を読み返す	30
2 /	通信(手紙・メール・ファックス)のマナー	柚木 久米 林 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー	柚木 久米 林 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	働くときの権利—社会人デビューを前に	柚木 久米 林 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	新聞を読みこなそう(1) 新聞の構成を知る	柚木 久米 林 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
6 /	生活とリスク管理	柚木 久米 林 他	講義	配付資料を読み返す	60
7 /	新聞を読みこなそう(2) 社説などを読みこなす	柚木 久米 林 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	柚木 久米 林 他	グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (ビジ前半)	金澤 雄介(専 任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えられる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識を修得する。							
<b>授業の内容</b> 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実際のライフプランニングを考える情報や機会を提供する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、1年次開講の「キャリア基礎演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	マイキャリアファイルに、その日の授業のふりかえりを記入する。ゼミ担当教員がふりかえりの内容にコメントをし、翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの記入内容				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) y-kanazawa@sumire.ac.jp (金澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	キャリアレビュー	江見	演習	マイキャリアファイルの作成	90
2 /	国語力の強化	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	数的思考力の強化	小山内	演習	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	論理的思考力の強化	伊澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	生活設計とリスク管理	外部講師	演習	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	給与明細と労務管理	山中	演習	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	コミュニケーション力を高める	沖山	演習	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	まとめとふりかえり	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>キャリアデザイン演習 (ビジ後半)</b>	金澤 雄介(専 任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えられる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識を修得する。							
<b>授業の内容</b> 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実際のライフプランニングを考える情報や機会を提供する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、1年次開講の「キャリア基礎演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	マイキャリアファイルに、その日の授業のふりかえりを記入する。ゼミ担当教員がふりかえりの内容にコメントをし、翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの記入内容				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) y-kanazawa@sumire.ac.jp (金澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	キャリアレビュー	金澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
2 /	国語力の強化	伊澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	数的思考力の強化	沖山	演習	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	論理的思考力の強化	堀池	演習	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	生活設計とリスク管理	外部講師	演習	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	給与明細と労務管理	中村	演習	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	コミュニケーション力を高める	江見	演習	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	まとめとふりかえり	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					





平成30年度入学生2年次開講

# シラバス

生活学科

## 生活学科専門科目

生 活 学 概 論	木 谷 康 子	68P
食 生 活 論 ( 製 菓 )	原 知 子	70P
情 報 処 理 基 礎 I ( 製 菓 )	杉 本 英 昭	72P
情 報 処 理 基 礎 II ( 製 菓 )	杉 本 英 昭	74P
解 剖 生 理 学 実 験	堀 池 喜 八 郎 宇 田 川 潤 内 村 康 寛	76P
生 化 学 実 験	清 水 ま ゆ み	78P
食 品 学 各 論 ( 食 健 康 )	原 知 子	80P
食 品 学 実 験 ( 製 菓 )	清 水 ま ゆ み	82P
食 品 衛 生 学 実 験 ( 食 健 康 )	原 知 子	84P
応 用 栄 養 学 実 習	原 知 子	86P
臨 床 栄 養 学	山 岡 ひ と み	88P
臨 床 栄 養 管 理 学	山 岡 ひ と み	90P
臨 床 栄 養 学 実 習	山 岡 ひ と み	92P
臨 床 栄 養 管 理 学 実 習	山 岡 ひ と み	94P
公 衆 栄 養 学	山 中 千 佳 也	96P
調 理 学 ( 製 菓 )	中 平 真 由 巳	98P
調 理 学 実 習 I ( 製 菓 )	中 平 真 由 巳	100P
調 理 学 実 習 II ( 製 菓 )	中 平 真 由 巳	102P
給 食 経 営 計 画 管 理 論	山 岡 ひ と み	104P
給 食 経 営 計 画 実 習	山 岡 ひ と み	106P
給 食 経 営 管 理 実 習	山 岡 ひ と み	108P
給食経営管理学外実習(実習の事前事後指導を含む)	山 岡 ひ と み	110P
世 界 と 地 域 の 食 文 化	中 平 真 由 巳	112P
地 域 伝 統 食 実 習	中 平 真 由 巳	114P
調 理 技 術 演 習	灰 藤 友 理 子	116P
学 校 食 育 論	灰 藤 友 理 子	118P
製 菓 応 用 実 習 I	石 井 明	120P
製 菓 応 用 実 習 II	石 井 明	122P
マ イ ス タ ー ・ ト レ ー ニ ン グ	石 井 明	124P
店 舗 経 営 I ( 製 菓 )	矢 嶋 聡	126P
店 舗 経 営 II ( 製 菓 )	矢 嶋 聡	128P
パ テ ィ ス リ ー ラ ッ ピ ン グ	灰 藤 友 理 子	130P
フ ー ド コ ー デ ィ ネ ー ト 論	弓 削 高 広 佐 野 文 彦 佐 倉 光 濱 地 紳 一	132P
食 品 の 官 能 評 価 ・ 鑑 別 論	原 知 子	134P
食 品 の 官 能 評 価 ・ 鑑 別 実 験	原 知 子	136P

## 生活学科 教職専門科目

道 徳 教 育 論	笹 倉 千 佳 弘	138P
特 別 活 動 論	笹 倉 千 佳 弘	140P
生 徒 指 導 論	笹 倉 千 佳 弘	142P
教 育 相 談	志 田 望	144P
栄 養 教 諭 教 育 実 習	灰 藤 友 理 子 笹 倉 千 佳 弘	146P

教職実践演習（栄養教諭）	灰 藤 友 笹 倉 理 濱 口 子	148P
実習の事前事後指導（栄養教諭）	灰 藤 友 笹 倉 理 濱 口 子	150P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>生活学概論</b>	木谷 康子(非常勤)	2年次	後期	2	講義	食健康・製菓/必修	○
							実務経験
Live science outline							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・生活の主体である家族の構成と機能について、その特徴を理解する。 ・生活経営における生活資源の管理についての考え方を身につけ、自身の生活に活用できる。 ・家族のライフステージと家計管理について理解する。							
<b>授業の内容</b> 私達一人ひとりが、生活者としてよりよい生活を実現するために、生活を営むとはどのようなことを学ぶ。生活の主体である家族について、その構成や機能の歴史的な変遷を概観し、現代の家族の特徴や課題を理解する。また、欲求実現の手段としての生活資源について知り、その管理方法について、生活時間を例として学ぶ。さらに、生活資源として不可欠なお金について、ライフステージと家計の実態を家計調査のデータをもとにその特徴を理解し、自身の将来設計に結びつける。 外部講師を招いての授業を2回予定しているが、そこではグループでのディスカッションや実験・実習等の形式で進める。							
教科書	『21世紀の生活経営 自分らしく生きる』 臼井和恵編著 (同文書院) 価格(本体2,000円+税) 『くらしの豆知識2019年版』 国民生活センター (国民生活センター) 価格(本体476円+税)						
参考書	授業中に適宜紹介する 紹介した図書は、図書館の参考書のコーナーにまとめて並べるので、積極的に閲覧、貸出等してほしい						
担当者からのメッセージ	授業は指定したテキストと配付プリントで進める。プリントは整理し、毎時間持参すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は翌週返却し、解説する。受講カードは、毎回コメントをつけて翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	私語をしない、内職をしない等真面目に受講している				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業内容確認のためのテストを実施				
	レポート	40	復習を兼ねた課題を考える、提出期限の厳守				
	その他	10	受講カードの提出				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	ykitani@sumire.ac.jp (木谷)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (製DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	生活学概論とは 生活学概論の概要と授業の進め方、提出課題について	木谷	講義 演習(新聞切抜レポート1)	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
2 /	家族 1 価値観の多様化と家族の変化	木谷	講義	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
3 /	家族 2 現代の家族の特徴と課題	木谷	講義	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
4 /	家族 3 女性が働く	木谷	講義 新聞切抜レポート2提出	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
5 /	生活経営 1 生活経営と生活資源	木谷	講義	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
6 /	生活経営 2 生活資源の管理と生活時間	木谷	講義	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
7 /	生活経営 3 生活時間調査とその分析	木谷	講義 新聞切抜レポート3提出	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
8 /	生活経営 4 生活様式について	木谷	講義 生活時間調査 提出	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
9 /	生活経営 5 環境に配慮した生活	木谷 外部講師	講義・演習・実験	プリントをもとに授業ノートをまとめる ワークシート1をまとめる	90
10 /	家庭経済 1 経済循環と家計	木谷	講義 ワークシート1提出	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
11 /	家庭経済 2 ライフステージと家計(1) ライフステージⅠ Ⅱ Ⅲ	木谷	講義	プリントをもとに授業ノートをまとめる ワークシート2をまとめる	90
12 /	家庭経済 3 ライフステージと家計(2) ライフステージⅣ Ⅴ Ⅵ	木谷	講義 ワークシート2提出	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
13 /	家庭経済 4 消費生活と消費者問題	木谷	講義 新聞切抜レポート4提出	プリントをもとに授業ノートをまとめる 新聞を読み記事を切り抜く	90
14 /	家庭経済 5 消費社会を生きる —大学生のための消費生活講演会—	木谷 外部講師	講義・ディスカッション・演習	プリントをもとに授業ノートをまとめる ワークシート3をまとめる	120
15 /	家庭経済 6 消費者金融	木谷	講義 ワークシート3提出	プリントをもとに授業ノートをまとめ、定期試験の準備をする	240
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>食生活論 (製菓)</b>	原 知子(専 任)	2年次	前期	2	講義	製菓/必修	○
							実務経験
Science of Food Life							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの食事が社会システムの中で成立していることを理解する。</li> <li>現代の食生活を支えている社会的側面を理解し、食生活上の問題点を明確化できるようになる。</li> <li>身体が食べる、心が食べる、つながるために食べる、という食べることの意味を再確認して、食べることの本質を考慮できる。</li> <li>フードスペシャリスト資格取得に必要な基礎知識を修得する。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>昔は、主婦はみんなフードスペシャリストと呼んでも良いくらい、食べ物についての専門家であった。家族の食事、健康を守るための知恵や技術を家族や地域で受け継いでおり、普通の食事は家庭内でほぼ完結していた。</p> <p>しかし、現在では食が社会化し、分業化した結果、食べ物についての知識や調理技術がなくても食事はこなせるようになった。あまり考えずに食事をする、あるいは食事という意識なく空腹を満たす、ということもしばしばである。ところが簡便になった一方で食生活の変化がもたらす弊害も出ているのではないだろうか。</p> <p>近年では、キレル子ども、生活習慣病、欠食等々、食生活に関する問題が山積しており、本当に心身ともに健康的な食生活が営まれているとは言えない状況があるといっても過言ではない。</p> <p>家庭の食に関する知識だけでなく、社会の中での「食」という観点から、食べるということについて、食生活について、考えてみよう。</p>							
教科書	『フードスペシャリスト論』 フードスペシャリスト協会編 (建帛社) 価格 (本体2,200円+税)						
参考書	『食品の表示—国内基準から国際規格まで—』日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社) 『食べ物の神話』高橋久仁子 (講談社) 他 講義内でも紹介します						
担当者からのメッセージ	生活という視点から「食」を眺めてみましょう。講義内にて、実生活における状況のレポートや、流通・購買など身近な課題に関するレポートを課しますので、予習復習を兼ねてきちんと提出してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業内試験にて理解度を確認し、理解度の不足した点を補足講義する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	グループディスカッション等への積極的参加や協力、質問等を評価				
	授業内試験	45	授業内容についての理解を試験により確認して評価				
	定期試験						
	レポート	45	課題に対するレポート内容を評価				
	その他	5	レスポンスペーパーの記述を評価				
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	第2回～第13回までを公開します(参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(製DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (製DP9)【思考・判断・表現】製菓の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (製DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。 (製DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	自分自身の食生活を見直してみよう	原	講義・演習	自分の食生活について意識を向けるための課題を次回の提出にむけて完成する	60
2 /	食生活指針、食事摂取基準 何をどのくらいどういう風に食べるとよい？	原	講義・演習	講義資料を整理しておく	60
3 /	食事内容チェックのいろいろな方法 食事バランスガイド	原	講義・演習	講義内容を復習し、提出物を完成しておく。	60
4 /	病気と食事	原	講義	講義内容について復習整理しておく	60
5 /	戦後日本の食生活の変遷	原	講義・演習	講義内容について復習整理しておく	60
6 /	日本人は何を食べてきたか？	原	講義	講義内容について復習整理しておく	60
7 /	世界の食	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	講義内容についてメンバーで考え、討議する	60
8 /	食生活の現状と課題	原	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容について復習整理しておく	60
9 /	食生活と食料問題、環境と食	原	講義 アクティブ・ラーニング	課題について復習整理しておく	60
10 /	遺伝子組み換え食品、 食品添加物	原	講義・演習	講義内容についてメンバーで話し合う	60
11 /	食品の品質規格、表示	原	講義・演習	講義内容について復習整理し、実際の表示を確認してみる	60
12 /	保健機能食品	原	講義・演習	講義内容について復習整理し、実際の商品等で確認してみる	60
13 /	食品の安全・安心	原	講義	講義内容について復習整理しておく	60
14 /	食情報について ライフスタイルと食のトレンドを考える	原	講義・演習	講義全体について復習整理しておく	60
15 /	「もの」から「こと」へ	原	講義	大レポートをまとめて提出する	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理基礎Ⅰ (製菓)</b>	杉本 英昭(非常勤)	2年次	前期	1	演習	製菓／選択	実務経験
Introduction to Computer Exercise I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロソフト「Word」の基本操作ができ、文書の作成・編集・印刷などができる。</li> <li>・プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の基本操作ができ、プレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・画像や図形を効果的に利用することができる。</li> <li>・必要な機能を必要な箇所で行い、読み手・聞き手に取って読みやすい文書の作成・わかりやすいプレゼンテーションを実施することができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>本演習ではコンピュータに慣れることから始め、ワープロソフトの基本操作と文書作成の演習を行う。          続いてプレゼンテーションソフトを用いて情報を効果的に伝えるスライド資料の作成演習を行う。          ワープロソフトによる文書作成は、ビジネス文書はもとより、広告配付物や掲示物など幅広い分野で活用することができる。          プレゼンテーションソフトも、ビジネスの場でのプレゼンテーション以外にも、駅や街中に設置されている液晶モニターで情報を表示する電子看板(デジタルサイネージ)などでも応用が可能である。</p>							
教科書	『情報リテラシー Office 2016 (30時間アカデミック)』 杉本くみ子 (実教出版) 価格 (本体1,300円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	パソコンの操作に不慣れな人は、休み時間などを利用してくり返し復習すること。 また、操作した結果が思い通りにならない場合は、どこが間違えているかを自分で考え、試行錯誤して正しい結果にたどりつくように努力すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で解説を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	100	各回の理解度を確認する課題で評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	021002@sumire.ac.jp (杉本)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(製DP2)【知識・理解】製菓・製パンの専門家として活躍するための知識を身につけている。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	コンピュータとは パソコンの基本操作	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
2 /	インターネットによる情報検索	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
3 /	Word(1)：基本操作	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
4 /	Word(2)：文字入力と漢字変換	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
5 /	Word(3)：表作成	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
6 /	Word(4)：図形描画	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
7 /	Word(5)：長文作成機能	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
8 /	Word(6)：総合演習（文書の校正）	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
9 /	Word(7)：総合演習（文書の修飾）	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
10 /	PowerPoint(1)：プレゼンテーションとは 基本操作	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
11 /	PowerPoint(2)：スライド作成	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
12 /	PowerPoint(3)：アニメーション設定	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
13 /	PowerPoint(4)：スライドショー	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
14 /	PowerPoint(5)：その他の機能	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
15 /	PowerPoint(6)：まとめと評価	杉本	講義とパソコンを用いた演習	教科書を読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理基礎Ⅱ (製菓)</b>	杉本 英昭(非常勤)	2年次	後期	1	演習	製菓／選択	実務経験
Introduction to Computer Exercise II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフト(Excel)の基本的な操作(計算式、データの入力、検索、抽出、並べ替えなど)ができる。</li> <li>表計算ソフト(Excel)の関数(合計、平均、最大、最小、割合、順位、IFなど)が利用できる。</li> <li>ホームページビルダーを使って基本的なWebページを作成できる。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>日常生活のあらゆるところでコンピュータによる情報処理が行われている。なかでも、表計算ソフトに代表されるデータ処理ソフトの活用が多い。</p> <p>また、インターネットの普及により誰もが簡単にWebを利用して情報発信が可能な社会になっている。その際、Webを利用した情報発信がどのような仕組みでなされているのかを知ることは非常に有用である。</p> <p>本演習ではコンピュータの利用について、以上の2点に焦点を当てて演習を行う。</p> <p>具体的には、前半は表計算ソフト(Excel)の基本操作と関数の利活用を、後半はホームページビルダーを使用し、Webページの作成法を学ぶ。</p>							
教科書	『情報リテラシー Office 2016 (30時間アカデミック)』 杉本 くみ子 (実教出版) 価格(本体1,300円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	パソコンの操作に不慣れな人は、休み時間などを利用してくり返し復習すること。 また、操作した結果が思い通りにならない場合は、どこが間違えているかを自分で考え、試行錯誤して正しい結果にたどりつくように努力すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で解説を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	100	各回の理解度を確認する課題で評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	021002@sumire.ac.jp (杉本)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	表計算の基礎知識 (データの入力と削除、カーソルの種類と機能、データの選択と移動、コピー、範囲指定、行の先頭、ホームポジション、最後の入力セル)	杉本	講義と演習	ブック (Excelデータの名称)の作成	90
2 /	簡単な計算 (加減乗除、関数、セルの書式設定)	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
3 /	表の作成 (関数の入力、罫線や塗りつぶし、表示形式の変更、フォントの設定、列幅の変更、行の挿入や削除、列の非表示と表示)	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
4 /	表の印刷	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
5 /	数式を使った表 (相対参照と絶対参照、表の体裁の編集、罫線、加減乗除、合計、最大、最小、割合、順位、平均、IF文等)	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
6 /	グラフ、シートの連携	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
7 /	ワークシート間の集計等の連携	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
8 /	データベース機能 (セルの定義、並べ替え、オートフィルタ、データの検索)	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
9 /	表計算データをワープロに利用する	杉本	講義と演習	ブックの作成	90
10 /	Webページのコンセプト作成と構成、ホームページビルダーの基本操作、タイトルと本文の作成	杉本	講義と演習	ホームページ制作	90
11 /	背景のレイアウト、フォントのサイズと色、画像の貼り付け、音楽データの挿入	杉本	講義と演習	ホームページ制作	90
12 /	アニメーション等の動的ページの作成	杉本	講義と演習	ホームページ制作	90
13 /	課題の作成 (1) (プラン決定・ページの作成)	杉本	課題の作成	ホームページ制作	90
14 /	課題の作成 (2) (リンク貼り・最終チェック)	杉本	課題の作成	ホームページ制作	90
15 /	まとめ・課題等の提出と評価	杉本	課題の作成	ホームページ制作	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>解剖生理学実験</b>	堀池喜八郎(専任) 宇田川 潤(非常勤) 内村 康寛(非常勤)	2年次	前期	1	実験	食健康/選択	○
							実務経験
							○
Anatomical and Physiological Laboratory							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・人体の階層構造と立体的位置関係を理解する。 ・人体の各器官について形態と機能を関連づけて理解する。 ・人体の形態・機能を観察・測定する方法を知る。							
<b>授業の内容</b> 医療の経験を持つ教員が担当する。 人体の全体像とその構成要素の階層的な関係および立体的な位置関係を模型や標本の作成・観察を通じて理解を深め、実体験と結びついた知識を獲得する。 生体の生理的機能について復習し、その測定方法を学んで実践することで、知識を実証することを体験し理解を深める。							
教科書	『管理栄養士を目指す学生のための解剖生理学テキスト』 岩堀修明 (文光堂) 価格(本体3,000円+税)						
参考書	各実習回にプリントを配付する						
担当者からのメッセージ	1回生で学んだ生理学と解剖生理学の知識について、模型や標本の観察や測定実験などを通して理解を深めることを目指す。理由なき欠席や遅刻についてはマイナス評価とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出されたレポートについては、採点の後返却する。 希望者には評価の基準や、改善すべき点などについて解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	授業(実験)への積極的な参加(議論やコメント)を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	実験内容に密接に関連した項目についてレポートする(考察を重視する)				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	堀池研究室 水曜日 9時~14時 宇田川、内村：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	k-horiike@sumire.ac.jp (堀池)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロ・顕微鏡の使い方	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
2 /	小腸・大腸の顕微鏡観察	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
3 /	肝臓・胆嚢・膵臓の顕微鏡観察	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
4 /	肺・腎臓の顕微鏡観察	堀池 宇田川	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
5 /	分離骨格模型のスケッチ、骨組織のパーチャルスライド観察	堀池 宇田川	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
6 /	脳・脊髄の顕微鏡観察+振り返り	堀池 宇田川	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
7 /	血液の標本作製と顕微鏡観察	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
8 /	ニワトリ手羽先の解剖と肉眼観察	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
9 /	いろいろな食品のpH測定、酸塩基平衡	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
10 /	神経機能と感覚機能に関する実験:反応時間、触覚(圧覚)の分布密度、膝蓋腱反射、対光反射	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
11 /	循環・呼吸機能に関する実験:聴診器実習、血糖値調節機構に関する実験:擬似血や擬似尿のグルコース濃度の測定	堀池 内村	実験	実験の原理と結果についてレポートにまとめる	90
12 /	総合復習+振り返り	内村 堀池	講義	講義の内容をまとめる	90
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>生化学実験</b>	清水まゆみ(専 任)	2年次	後期	1	実験	食健康/選択	○
							実務経験
Experiments in Biochemistry							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・「生化学Ⅰ」「生化学Ⅱ」で得た知識を基に、生体内で起きている現象を生体外で再現し、生命の営みを理解する。 ・生体内のさまざまな代謝経路を切り離して再現することにより、物質本来の機能や意義を体得する。							
<b>授業の内容</b> 生体高分子、酵素活性、遺伝子の3項目について実験を行い、それぞれの物質の特性を修得する。1つの項目を数回にわたって行う場合もあり、物質への理解を深めるとともに実験の技法を身につけられる。							
教科書	『Nブックス実験シリーズ 生化学実験』 後藤潔 (建帛社) 価格 (本体1,900円+税)						
参考書	「生化学Ⅰ」「生化学Ⅱ」「基礎栄養学」の教科書・プリント						
担当者からのメッセージ	実際に行う方法の詳細を記述したプリントを配付する。 実験の内容を、体内で起こっている現象と関連づける。 実験操作を積極的に行い、実験技術を身につけているかを評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートは内容を確認し、不十分な点を指摘して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	積極的に受講しているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験	30	理解度確認のための試験を行う				
	レポート	50	実験の目的、得られた結果に対する考察が的確であるかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	清水研究室 火曜日 12時15分~12時50分 事前に連絡してください						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp (清水)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生化学実験の基礎	清水	説明(135分)	実験で扱う単位や有効数字を理解する	60
2 /	緩衝液	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
3 /	ピペット操作	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
4 /	酵素活性の測定 1 検量線作成	清水	実験(135分)	実験結果をまとめる	90
5 /	酵素活性の測定 2 pHの影響	清水	実験(135分)	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
6 /	たんぱく質の精製 1 粗酵素液の調製 塩析・透析	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
7 /	たんぱく質の精製 2 クロマトグラフィー	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
8 /	たんぱく質の精製 3 たんぱく質の定量	清水	実験	実験結果をまとめる	90
9 /	たんぱく質の精製 4 リゾチーム活性の測定	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
10 /	遺伝子の分析 1 DNAの抽出	清水	実験	実験結果をまとめる	90
11 /	遺伝子の分析 2 DNAの増幅・制限酵素による切断	清水	実験	実験結果をまとめる	90
12 /	遺伝子の分析 3 DNAの電気泳動	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
<b>食品学各論 (食健康)</b>	原 知子(専 任)	2年次	後期	2	講義	食健康/選択	○
							実務経験
Food materials							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修、フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・食品材料について、分類、種類ごとの成分、栄養特性、調理特性、加工特性等の特徴を理解する。 ・食材や調味料の種類の違いを活かせるようになる。 ・食材の調理性の「なぜ」を理解する。							
<b>授業の内容</b> 素材を吟味して調理するにも、加工食品を利用するにも、食品素材自体をよく知っておく必要があります。できるだけ、個々の食品について取り上げるが、『日本食品標準成分表2015年度版(七訂)追補2017年』に掲載されているもので2000以上もの食品がある。従って、分類グループごとにとりあげて、食材の種類、成分的特徴、栄養性、調理特性などについて学ぶ。(日常の体験と関連づけて、アクティブ・ラーニングの手法を用いて講義をすすめる。)							
教科書	『三訂 食品の官能評価・鑑別演習』(公社)日本フードスペシャリスト協会 編 (建帛社) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	日本食品標準成分表2015年版(七訂)、『ニューライフ調理学』(建帛社)、オールカラー食品図鑑(女子栄養大学出版社)、『食品学各論』(中山書店)、『食品学Ⅱ』食品の分類と利用法(南江堂)、紹介するHPなども参考にしてください						
担当者からのメッセージ	実際に食べたり、お料理をしてみたり、献立を作成してみたりして、料理や食材に興味を持っていると理解しやすいのではないかと思います。逆に、講義で聞いて知識を広げるという方向性もあります。いずれにしても食材や調味料について、常に好奇心をもってください。 講義内のプリント作成などは、受講態度の評価に含める。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	定期試験を前提とした小テストは、実施後に解答し、質問に応じる。復習状況をチェックする一助とする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業内容への積極的な参加を評価				
	授業内試験	5	小テストの内容について確認作業ができていないかを評価				
	定期試験	85	知識の定着度を筆記試験により確認し評価する				
	レポート						
	その他	5	レスポンスペーパーの記述内容を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分~12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	第2回~第13回まで公開します(参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP4)【技能】栄養士として現場で必要な専門的技術と実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	穀類 (1) (穀類の特徴、米)	原	講義 アクティブ・ラーニング	前提となる食品学、栄養学の基礎的な知識、特に食品成分、栄養成分について復習しておくこと	60
2 /	穀類 (2) (小麦)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
3 /	穀類 (3) (大麦、そば、その他の穀物)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
4 /	芋類 (1) (芋類の特徴、じゃがいも)	原	講義	小テストの内容について確認しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
5 /	芋類 (2) (さつまいも、里芋、その他の芋)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
6 /	豆類 (1) (豆類の特徴、大豆)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
7 /	豆類 (2) (菜豆、その他の豆類)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
8 /	野菜類 (1) (野菜の特徴・分類・種類)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
9 /	野菜類 (2) (野菜の栄養・機能性)	原	講義 アクティブ・ラーニング	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
10 /	果実類 (果実類の特徴・分類・種類)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
11 /	その他の植物性食品 (キノコ類、藻類、種実類)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
12 /	畜産品 (1) (獣鳥肉)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
13 /	畜産品 (2) (乳、卵)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
14 /	魚介類 (魚介類の分類と特徴・種類、鮮度判定)	原	講義	前回の講義ノートを確認し、教科書を参照しておく 本時に関する教科書を予習しておく	60
15 /	その他の食品素材 (調味料他)	原	講義	講義全体を復習して、プリント・ノートを再度、整理しておく	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>食品学実験 (製菓)</b>	清水まゆみ(専 任)	2年次	前期	1	実験	製菓／選択	○
							実務経験
Experimental Food Science							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・食品成分の分析を行うことにより、実験に関する知識や技術を身につける。 ・「食品学総論」で学んだ食品についての理解を確認し、さらに深いものにする。							
<b>授業の内容</b> 身近な食品を試料とし、その成分を抽出し、定量、定性といった方法の理論・技術を修得する。実験結果を考察することにより、各成分の構造・機能・特性について、講義で得た知識と結びつける。							
教科書	『Nブックス実験シリーズ 食品学実験』 青柳康夫・有田政信（建帛社） 価格（本体2,100円＋税）						
参考書	「食品学総論」の教科書・プリント、食品成分表						
担当者からのメッセージ	実際に行う方法の詳細を記述したプリントを配付する。 実験の内容を、日常生活で利用している食品と関連づける。 実験操作を積極的に行い、実験技術を身につけているかを評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	レポートは内容を確認し、不十分な点を指摘して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	積極的に受講しているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験	30	理解度確認のための試験を行う				
	レポート	50	実験の目的、得られた結果に対する考察が的確であるかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	清水研究室 火曜日 12時15分～12時50分 事前に連絡してください						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp（清水）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（製DP1）【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 （製DP7）【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 （製DP11）【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実験を行うための基礎	清水	説明(135分)	実験を行うための注意事項、有効数字を理解する	60
2 /	食品の一般分析1 水分・脂質・灰分の抽出	清水	実験	実験結果をまとめる	90
3 /	食品の一般分析2 水分・脂質・灰分の定量	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
4 /	食品中の有機酸の定量	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
5 /	食品中のビタミンCの定量	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
6 /	ヨウ素価の測定	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
7 /	糖類の定性反応	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
8 /	でん粉の加水分解	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
9 /	たんぱく質の定量1 検量線の作成	清水	実験	実験結果をまとめる	90
10 /	たんぱく質の定量2 試料中のたんぱく質の定量	清水	実験	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
11 /	食品中の色素の分析1 色素の抽出	清水	実験(135分)	実験結果をまとめる	90
12 /	食品中の色素の分析2 色素の分離	清水	実験(135分)	実験結果をまとめ、レポートを作成する	120
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>食品衛生学実験 (食健康)</b>	原 知子(専 任)	2年次	後期	1	実験	食健康/選択	○
							実務経験
Experiment in Food Hygiene							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・衛生・安全に関して、目に見えない微生物や化学物質を、実験を通じて「見える化」し、理解する。 ・食品上よく問題となる微生物の取り扱い方や検査法、食品を取り巻く各種化学物質についての知識を深める。 ・簡易な微生物検査方法を経験し、調理現場等にいかす。							
<b>授業の内容</b> 環境衛生に関する微生物実験の基礎となる培地調整や無菌操作を理解し、食品中の生菌数や大腸菌群の検査法を学ぶ。 また、食品添加物の分析、水質試験、食品や給食提供に際しての安全・衛生に関する試験等を実施し、現状やあり方について考察する。							
教科書	なし						
参考書	『食品環境実験50』藤田修三監修（医歯薬出版）など						
担当者からのメッセージ	実験操作は正確に、を大事にしましょう。結果は事実なので、まずは自分の結果を信じて、理論と比較してみてください。評価の受講態度には積極的な実験への参加状況を加味します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実験結果については、結果が得られた時点で各班の結果を全員で共有し、考察する。レポート提出後の授業において、実験データについて再度確認し、模範的な内容や特徴的な視点のコメントについて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	45	実験への積極的な取り組みを評価				
	授業内試験	5	実験に必要な知識を確認・評価				
	定期試験						
	レポート	50	実験内容についてのレポート、特に結果の考察に重点をおいて評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp（原）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP4)【技能】栄養士として現場に必要な専門的スキルと実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション、合成洗剤の残留試験	原	実験	実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
2 /	保存料の定性試験	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
3 /	微生物を扱うための基礎知識 器具の滅菌 (45分)	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
4 /	食品中の大腸菌群の測定	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	90
5 /	一般生菌数の測定	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	90
6 /	グラム染色、顕微鏡観察	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
7 /	食品保存料類の抗菌試験	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
8 /	着色料試験(1) 着色料の抽出	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
9 /	着色料試験(2) TLCによる同定	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
10 /	水道水の残留塩素濃度、蛍光染料の検出	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
11 /	手指の衛生検査、環境衛生検査	原	実験	予想して臨み、実験結果についてレポートにまとめ、考察する 考察にあたり文献、本などを参考にする	60
12 /	衛生検査結果まとめ、手洗いチェック 総まとめ	原	実験・まとめ	予想して臨み実験結果についてレポートにまとめ考察する 実験プリント全レポートをファイルし総復習する	90
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>応用栄養学実習</b>	原 知子(専 任)	2年次	前期	1	実習	食健康/選択	○
							実務経験
Diet Exercise for Each Life Stage							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・知識・理解：ライフステージや対象者別の身体的特徴や栄養との関係を理解し、食事作りにつなげられる。 ・思考・判断：栄養アセスメントをふまえて、対象者のQOL向上につながる食事計画を、科学的な根拠に基づいて考えられる。 ・関心・意欲：心が食べる、という観点から食事の嗜好的側面にも関心を持ち、食事・食卓のあり方を考えることができる。 ・態度：健やかで心豊かな食生活に寄与するために、栄養士等として食事提供の仕事にかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。							
<b>授業の内容</b> 人々が一生を通じて健康に過ごせるように、生活習慣病予防の観点から踏まえて、乳幼児期から高齢期までのライフステージ各期の対応食や、対象者の状況に応じた食事計画を理解する。また、食事摂取基準を満たす献立や食品の選択と組み合わせ、摂食に適した性状、おいしさ等について、実習を通して学ぶ。							
教科書	『応用栄養学実習』 藤木理代 中村裕子 藤田静子 (東京教学社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	応用栄養学・応用栄養学実習に関する教科書、食品成分表、料理書						
担当者からのメッセージ	食事摂取基準を満たすだけでなく、「おいしい」食事の調整を意識してください。そのためには料理のコツについても勉強の必要があります。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポート内容について授業においてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	実習内容への積極的な取り組みと班員と協力して取り組む姿勢を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	レポート提出により、実習献立について適正献立であるかの確認ができるか等について評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	第2回～第11回までを公開する(参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション、妊婦・授乳期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
2 /	新生児期・乳児期の栄養	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
3 /	離乳期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
4 /	幼児期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
5 /	幼児のお弁当	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
6 /	学童期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
7 /	スポーツと栄養・食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
8 /	思春期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
9 /	成人期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
10 /	高齢期の栄養と食事	原	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
11 /	嚥下食	原 外部講師	実習	教科書の関連項目について読んでおくこと 実習内容についてのレポートを作成して次回に提出すること	60
12 /	成人一日分の食材を用いた献立作成と調理	原	実習	献立を考えるためのレシピ資料を確認しておく 実習で作成した内容についてのレポートを提出すること	60
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>臨床栄養学</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	前期	2	講義	食健康/必修	実務経験
							○
Clinical Nutrition							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・基礎的な疾患の概要および病態栄養を理解し、適切な栄養管理を行うことができる。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士として、病院と老健での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように講義を行う。 栄養管理は、患者の病態を知り、栄養状態や心理状態を的確に評価・判定できることである。その上で治療効果を高める適切な栄養補給と栄養教育を行い、さらに退院後在宅時における栄養ケア・マネジメントを行うことである。そのために必要な各疾患の成り立ちや罹患時の検査値、栄養療法などについての理解を深める。							
教科書	『Nブックス 新版 臨床栄養学 (第4版)』 田中明・加藤昌彦編著 朝倉徹・熊谷裕通・佐藤容子・藤岡由夫・矢後文子 共著 (建帛社) 価格 (本体2,700円+税)						
参考書	授業内で紹介する						
担当者からのメッセージ	各疾患の成り立ちを知ることで、栄養バランスのとれた適した献立を作成することにつながります。各疾患についての知識を修得しましょう。 授業中は、私語、居眠り、授業に関係ないことはしないようにしましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業開始時に課題を回収し授業中に解答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	私語、居眠り、授業に関係ないことはしない				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	山岡研究室 月曜日 12時10分～16時10分 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP4)【技能】栄養士として現場で必要な専門的スキルと実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	臨床栄養学とは	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
2 /	消化管疾患(1) 口腔 胃	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
3 /	消化管疾患(2) 腸	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
4 /	肝胆膵疾患 肝臓 胆嚢 膵臓	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
5 /	代謝性疾患(1) 糖尿病 肥満	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
6 /	代謝性疾患(2) 高脂血症 タンパク質、核酸の代謝とその異常 先天性代謝異常	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
7 /	循環器疾患 動脈硬化 高血圧 心臓疾患 脳卒中	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
8 /	腎臓疾患 浮腫と脱水 電解質の代謝 酸・塩基平衡とその異常	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
9 /	血液疾患 体液と体液の内外交流	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
10 /	免疫とアレルギー疾患	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
11 /	内分泌疾患 甲状腺機能亢進症・低下症	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
12 /	小児および妊産婦、高齢者の疾患	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
13 /	栄養アセスメントと栄養障害、摂食障害	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
14 /	骨・歯科疾患 精神・神経疾患	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
15 /	まとめ	山岡	講義	予習は教科書を読む、復習は授業の内容をまとめる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>臨床栄養管理学</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	後期	2	講義	食健康/選択	実務経験
							○
Clinical Nutrition management science							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・臨床栄養学についての理解を深めるとともに、個人を対象とした栄養評価、食教育の知識を身につける。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士として、病院と老健での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように講義する。 栄養治療の専門職として必要な知識や技術を習得し、社会の変化に伴い多様化する要求や各分野の進歩に対応する新たな知識、技術に貢献できる基礎的な能力を養う。さらに保健・医療・福祉システムの中で他の専門職の人々とのチームワーク、自らの役割と責任を担う心構えを学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	Nブックス 新版 臨床栄養学 (第4版) 田中明・加藤昌彦編著 朝倉徹・熊谷裕通・佐藤容子・藤岡由夫・矢後文子 共著 (建帛社) 価格(本体2,700円+税)						
担当者からのメッセージ	傷病者とのかかわりを学びながら、医療チームの一員としての能力を身につけていきましょう。受講態度は、授業以外の作業はせず、私語を慎み真面目に取り組む姿勢を評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題の中の特徴的な見解や誤解について授業中にコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業に集中し記録ができていないこと(私語や居眠り、授業に関係ないことはしないでください)				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	山岡研究室 金曜日 12時10分~13時 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	健康と栄養	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
2 /	検査値の読み方	山岡	講義と演習及び質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
3 /	一般食	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
4 /	治療食	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
5 /	栄養療法(経腸栄養)	山岡	講義と演習及び質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
6 /	栄養療法(静脈栄養)	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
7 /	病院の機能	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
8 /	栄養管理計画書	山岡	講義と演習及び質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
9 /	医療制度	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
10 /	患者サービス	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
11 /	栄養障害	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
12 /	嚥下機能	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
13 /	アレルギー対応	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
14 /	エネルギーコントロール食(肥満症、糖尿病、 高齢者)の実際 タンパク質コントロール 食(腎臓疾患・肝硬変症)の実際	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
15 /	消化管疾患(胃・十二指腸潰瘍、肝・胆・膵 臓疾患、クローン病)の実際 減塩食(心 疾患、高血圧症、動脈硬化症、妊婦高血圧症 など)の実際	山岡	講義と質疑応答	単語の意味などを調べなおし、 授業ノートをまとめる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>臨床栄養学実習</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	前期	1	実習	食健康/選択	○
							実務経験
							○
Practice in Clinical Nutrition							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・基礎的な疾患の概要および病態栄養、適切な食事療法について学び、栄養指導や献立のアドバイスができるようになる。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士として、病院と老健での勤務経験を活かして、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように指導する。 各疾患の検査値に基づいた適切な栄養診断と栄養評価を行う。また、具体的な栄養管理を立案し実践するための方法論や栄養管理・栄養指導の問題点を見出し、臨床における栄養管理についての理解を深めて体得する。							
教科書	なし						
参考書	『Nブックス 新版 臨床栄養学（第4版）』 田中明・加藤昌彦編著 朝倉徹・熊谷裕通・佐藤容子・藤岡由夫・矢後文子 共著（建帛社） 価格（本体2,700円+税）						
担当者からのメッセージ	臨床栄養学で学んだ知識を生かした取り組みです。提出課題は期限を守り、内容を理解しながら取り組みましょう。わからないことは質問に来てください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業後に課題を回収したら、コメントして次回の授業で返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	私語、居眠り、授業に関係ないことはしない				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	誤字脱字のないようにわかりやすく丁寧にまとめていること				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	山岡研究室 月曜日 12時10分～16時10分 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp（山岡）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP4)【技能】栄養士として現場で必要な専門的スキルと実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	一般治療食の展開演習	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
2 /	塩分コントロール食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
3 /	基本献立からの展開演習(塩分コントロール食)	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
4 /	エネルギーコントロール食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
5 /	基本献立からの展開演習(エネルギーコントロール食)	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
6 /	食物アレルギー食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
7 /	食物アレルギー食の展開演習	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
8 /	骨そしょう症予防の食事、カルシウムに関する演習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
9 /	貧血予防の食事、鉄に関する演習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
10 /	糖尿病の単位と計量実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
11 /	基本献立からの展開演習(糖尿病食品交換表からの献立作成)	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
12 /	特殊食品の試食 まとめ(45分)	山岡	講義、レポート作成	配付資料をまとめる	60
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>臨床栄養管理学実習</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	後期	1	実習	食健康/選択	○
							実務経験
							○
Practice in Clinical Nutrition management science							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・臨床栄養学、臨床栄養学実習の学びを基盤として、疾病者の病態や栄養状態、身体状況に基づいた栄養管理を行うための適切な献立作成能力を身につけ、一般食と治療食の違いを理解する。 ・治療食を調理するための食品・材料の選択、適切な分量、おいしい調理の工夫などの調理技術を体得する。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士として、病院と老健での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように指導する。 配付資料に基づき、演習、傷病者に向けたわかりやすい媒体作成、献立作成を行う。作成した献立は、班単位で調理実習を行い治療食を試食してレポートを作成する。							
教科書	なし						
参考書	臨床栄養学実習 栄養科学シリーズNEXTシリーズ 塚原丘美・編 講談社サイエンティフィック 価格(本体2,600円+税)						
担当者からのメッセージ	病態に対する知識を深めて、治療食であっても患者さんに喜んでもらえるおいしい献立を作成する能力、技術を身につけましょう。 電卓を使用するので持参すること。 受講態度は、時間内に集中して取り組み課題提出期限を守ること。調理実習では、身なりを整えて衛生的に実習を行いましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出した課題は、翌週に返却し、訂正がある場合は再度提出してもらう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	私語や居眠り、授業に関係ないことはしないこと				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	誤字脱字に気をつけてわかりやすく丁寧にまとめていること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	山岡研究室 金曜日 12時10分～13時 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP4)【技能】栄養士として現場で必要な専門的スキルと実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	軟菜食の媒体作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
2 /	軟菜食の献立作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
3 /	軟菜食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
4 /	糖尿病の媒体作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
5 /	糖尿病食献立作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
6 /	糖尿病食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
7 /	腎臓病の媒体作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
8 /	腎臓病食献立作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
9 /	腎臓病食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
10 /	嚥下食機能の媒体作成	山岡	講義及びパソコンを使用した演習	配付資料をまとめる	90
11 /	嚥下食の調理実習	山岡	調理実習	レポートを作成する	90
12 /	まとめ 特殊食品の試食(45分)	山岡	講義、レポート作成	配付資料をまとめる	60
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>公衆栄養学</b>	山中千佳也（非常勤）	2年次	後期	2	講義	食健康／選択	実務経験
Public Health Nutrition							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・健康・栄養問題の現状と課題、政策や関連法規を理解する。 ・食事調査法、食事摂取量の測定・評価法を理解する。 ・公衆栄養マネジメントのプロセスを理解する。							
<b>授業の内容</b> 公衆栄養学は、地域社会における健康維持・増進や疾病予防に欠かせない、実践的かつ身近な学問である。 わが国ならびに諸外国の健康・栄養問題の現状と課題を知り、食事調査法、公衆栄養マネジメントについて身近な事例を踏まえて理解するとともに、栄養士としてどのような役割を担うべきかを学ぶ。							
教科書	『公衆栄養学 第6版 (栄養科学シリーズNEXT)』 酒井 徹・郡 俊之/編（講談社） 価格（本体2,800円＋税）						
参考書	『サクセス管理栄養士講座 公衆栄養学』 井上浩一、草間かおる、村山伸子（第一出版） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の食事摂取基準（2015年版）』（第一出版） 価格（本体2,700円＋税）、『日本食品標準成分表2015』（出版社指定なし）						
担当者からのメッセージ	主に教科書で講義を進め、演習を行ったり、課題、テストを課すことがある。 受講態度は、私語を慎み真面目に取り組む姿勢、課題の提出状況を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や間違えやすい箇所についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	受講態度や積極的姿勢				
	授業内試験	20	講義内容を正しく理解、習得しているか				
	定期試験	50	<b>理解度確認のためのテストを実施</b>				
	レポート	20	課題を適切な水準で提出しているか				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	公衆栄養学の概念(1) 人間集団を対象とする栄養学	山中	講義	講義内容をまとめる	60
2 /	公衆栄養学の概念(2) わが国の食料需給・食環境 保健・医療介護と公衆栄養	山中	講義および演習	講義内容をまとめる	60
3 /	公衆栄養の歴史 諸外国、日本の歴史	山中	講義および演習	講義内容をまとめる	60
4 /	食生活と栄養問題の変遷と現状 食生活、エネルギーと栄養素摂取量の変化	山中	講義および演習	講義内容をまとめる	60
5 /	わが国の栄養問題の現状と課題 食生活と生活習慣病、アレルギーなど	山中	講義および演習	講義内容をまとめる	60
6 /	栄養政策(1) 公衆栄養関連法規、管理栄養士・栄養士制度	山中	講義、小テスト	講義内容をまとめる	90
7 /	栄養政策(2) 国民健康・栄養調査	山中	講義および演習、課題	講義内容をまとめる	60
8 /	栄養政策(3) 健康日本21(第二次)、食生活指針	山中	講義および演習、課題	講義内容をまとめる、 健康増進計画を調べる	90
9 /	栄養政策(4) 健康増進地方計画、食育計画	山中	講義、演習	講義内容をまとめる	60
10 /	栄養疫学(1) 栄養疫学の概要、食事調査法	山中	講義、演習、課題	講義内容をまとめる、 食事内容の記録	90
11 /	栄養疫学(2) 食事摂取量の測定・評価方法、データ分析	山中	講義、演習	講義内容をまとめる	60
12 /	地域栄養マネジメント 地域における公衆栄養マネジメント・アセスメント	山中	講義および演習	講義内容をまとめる	60
13 /	公衆栄養プログラムの展開(1) 都道府県等における行政栄養士	山中	講義および演習、小テスト	講義内容をまとめる	60
14 /	公衆栄養プログラムの展開(2) 食環境づくり、特定健康診査・保健指導	山中	講義および演習、課題	講義内容をまとめる、 地域課題に対する取り組み 企画	90
15 /	公衆栄養学のまとめ	山中	講義および演習	講義内容をまとめる、 取り組み企画の発表	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>調理学 (製菓)</b>	中平真由巳(専 任)	2年次	前期	2	講義	製菓／選択	実務経験
Cookery							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・調理の科学性を理解して法則性を見出し、調理操作中に生じる諸現象と結びつけて実際の調理に生かすことができる。 ・調理の意義、食文化、栄養・組み合わせについて考え、様々な対象や場面に応じて嗜好性、生体利用性に配慮した食事設計を行うことができる。							
<b>授業の内容</b> 食品はそれぞれ固有の栄養や味、色、テクスチャーを持ち、特有の調理性がある。この授業ではそれらの特性を生かして調理をするために必要な事象について学ぶ。調理中に生じる現象や食品成分の変化に科学的な法則性を見出し、経験的に伝承されてきた調理技術を理論によって解明する。それらの学習により確実かつ合理的に料理を再現できる能力を身につける。さらに我が国と世界の食文化や環境に配慮した調理について概説する。							
教科書	なし						
参考書	『食べ物と健康 調理学』 金谷昭子 編著 (医歯薬出版) 価格 (本体3,000円+税) 『Nブックス 調理学』 川端晶子・畑朋美共著 (建帛社) 価格 (本体2,200円+税) 新版『トータルクッキング』 大喜多祥子・濱口郁枝 編著 (講談社) (調理学実習Ⅰで使用したテキスト) 価格 (本体2,900円+税)						
担当者からのメッセージ	授業ではプリントを配付する。配付したプリントや小テストは最後に記録の綴りとして提出する。 調理学では先代の人々が生活の中で積み重ねてきた食と調理の経験と知恵を体系的な知識として科学的に解明する。伝承されてきた技術の中に人々の生活や生き方が表れていると感じるのは私だけではないでしょう。実生活に残る生きた知恵を大切に学び食生活の中に生かせるように願っている。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各回授業で行う小テストや提出された課題は採点して翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	各回の授業内容に関する振り返りシートを提出する				
	授業内試験	30	授業内容の理解をはかる小テストを行う				
	定期試験	50	理解度を確認するためのテストを実施する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	中平研究室 水曜日 14時30分～16時30分 質問等は、電子メールにより受け付ける(学生番号・氏名を忘れずに)						
担当教員E-mail	mnakahira@sumire.ac.jp (中平)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(製DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 (製DP10)【態度・志向性】地域社会の食文化の創造に貢献する姿勢と態度を身につけている。 (製DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 調理の意義、目的 調理の意義を理解し調理学の役割をについて 考え理解を深める	中平	講義、ノートまとめ、振り 返りシート作成と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
2 /	調理と食文化 日本と世界の調理と食事様式について学び理 解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
3 /	非加熱操作 各種非加熱操作の特徴について学び理解を深 める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
4 /	加熱操作と仕上げの操作 各種加熱調理操作の特徴、各種調理機器等 について学理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
5 /	植物性食品の調理特性と調理 1米 米の種類、炊飯の原理、調理特性について学び 理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
6 /	植物性食品の調理特性と調理 2小麦、いも 類 小麦粉、いも類の成分、調理特性について学び 理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
7 /	植物性食品の調理特性と調理 3豆、野菜、 果物 豆、野菜、果物の種類、成分と調理特性つ いて学び理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
8 /	動物性食品の調理特性と調理 1肉類、魚 たんぱく質を主成分とする食品の調理による 変化、調理性について学び理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
9 /	動物性食品の調理特性と調理 2卵、牛乳 たんぱく質を主成分とする食品の調理による 変化、調理性について学び理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
10 /	成分抽出素材の調理性 でんぷん・砂糖・ゲル化素材・油脂類につ いて、成分と調理による変化について学び理 解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
11 /	調味料と香辛料 調味料と香辛料の特性と調理性について学び 理解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
12 /	調理と嗜好 味を感じるしくみ、化学的な味などの理解を 深め、おいしさの評価について学び理解を深 める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
13 /	調理に関わる衛生 調理に関わる衛生とその管理について学び理 解を深める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
14 /	調理と器具 調理器具・食器の特徴について学び理解を深 める	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 小テスト対策問題に取り組む	120
15 /	全体のまとめ	中平	小テスト、講義、ノートま とめ、振り返りシート作成 と提出	講義内容をまとめる 15回を通して授業を振り返る	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>調理学実習Ⅰ (製菓)</b>	中平真由巳(専 任)	2年次	前期	1	実習	製菓／選択	○
							実務経験
Cookery Science and Practice I							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・調理学の理論に基づいた基本調理操作を習得して将来の豊かな食卓づくりにつなぐ能力を身につける。 ・衛生・安全に配慮して実習を行う力を養う。							
<b>授業の内容</b> 「調理」は創造的な仕事であり生活に楽しみや潤いを与えるものである。この授業では、調理の基本原理を裏づける科学を理解し、食品素材の扱い方、煮る、焼く、揚げる等の調理操作を中心とした基本技術を学ぶ。また、日本料理、西洋料理、中国料理の特徴と基礎的な調理操作を学び、日常生活に応用する方法を考える。これから生涯にわたって関わっていく「食」との繋がりと意義深さを理解し、幅広い興味を持てるよう、調理学実習での学びを将来の豊かな食卓づくりにつなぐ。							
教科書	『新版『トータルクッキング』』 大喜多祥子・濱口郁枝（講談社） 価格（本体2,900円＋税）						
参考書	新版『NEW 調理と理論』 山崎清子、島田キミエ、渋川祥子、下村道子共著（同文書院） 価格（本体2,600円＋税）						
担当者からのメッセージ	授業ではプリントを配付する。配付したプリントや板書ノート、課題は最後に記録の綴りとして提出する。課題の期限を守ること。服装、実習への積極的参加と協働する姿勢を受講態度として評価する。実習献立は、時を越えて私達の生活の中に残ってきた定番料理である。料理の理論を学び、基礎的な手法を身につけて実践し、豊かな食生活へとつながることを願っている。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	各回の課題レポートは次週に解答と共に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	実習時の服装、積極的参加、協働する姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	各回の課題を提出する				
	その他	20	配付したプリントや板書ノート、課題を綴りとして提出する				
自由記載							
オフィスアワー	中平研究室 水曜日 14時30分～16時30分 質問等は電子メールにより受け付ける（学生番号・氏名を忘れずに）						
担当教員E-mail	mnakahira@sumire.ac.jp（中平）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(製DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 (製DP4)【技能】製菓衛生師として現場に必要な専門的技術と実践技術を修得している。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (製DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション ご飯の炊き方 だしのとり方 青菜のゆで方	中平	講義 実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
2 /	中華料理1 乾炸鶏塊 涼拌三絲 拔魚湯 馬拉糕	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
3 /	小麦粉の調理特性1 スコーン 若鶏クリーム煮 コールスロー・フレンチドレッシング なすのペペロンチーノ グレープフルーツゼリー	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
4 /	味付けご飯1 えんどう御飯 かれいの煮付け うどの梅和え すまし汁 桜もち	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
5 /	中華料理2 中華蒸しパン 麻婆豆腐 黄皮瓜 玉米湯 栗と青梅の汁粉	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
6 /	魚の扱い1 さわらの塩焼き 高野豆腐としいたけの炊き合わせ みょうがと山芋の酢の物 すいきのすまし汁 水ようかん	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
7 /	ひき肉の調理 ハンバーグステーキ(マッシュポテト・にんじんのグラッセ) オレンジサラダ レタススープ カスタードプディング	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
8 /	小麦粉の調理特性2 ライ麦パン 冷製パブリカの Pasta (パンネ) ミラノ風カツレツ ねぎとジャガイモのスープ シフォンケーキ	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
9 /	中華料理3 醋溜魚 炒蓮藕片 奶油青梗干貝 搾菜豆腐湯 焗西米布甸	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
10 /	味付けご飯2 夏のお寿司 冷やしそうめん きゅうりとわかめの酢の物 冬瓜のそばろあんかけ ふくさ卵 冷やししるこ	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
11 /	魚の扱い2 ケーク・サレ さけの冷製 ラタトイユ コンソメジュリエヌ オレンジと白ワインのジュレ	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい	90
12 /	まとめ (45分)	中平	講義	実習に関する課題レポートに取り組む 実習内容を確認し再度作ることが望ましい 実習ノート作り	90
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>調理学実習Ⅱ (製菓)</b>	中平真由巳(専 任)	2年次	後期	1	実習	卒業必修／選択	○
							実務経験
Cookery Science and Practice Ⅱ							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理の理論と技術を習得する。</li> <li>行事食にふさわしい料理や年齢に応じた食事の工夫などを理解して将来の豊かな食生活を目指す。</li> <li>食品加工の技術を習得して献立に取り入れることができる能力を身につける。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>「食生活」は人が生きていくための基本となるものである。調理学実習Ⅰの基本的な調理技術を基に調理の理論と技術をさらに深めて行事食や季節感のある献立、諸外国の料理やその食習慣・食事様式、加えて食品の加工技術を理論と体験を通して習得する。</p>							
教科書	『クックしが』 滋賀の食事文化研究会 食事バランス部会 (サンライズ出版) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	新版『NEW 調理と理論』山崎清子、島田キミエ、渋川祥子、下村道子共著(同文書院) 価格(本体2,600円+税)						
担当者からのメッセージ	授業ではプリントを配付する。配付したプリントや小テストは最後に記録の綴りとして提出する。課題の提出期限を守る。服装、実習への積極的参加と協働する姿勢を受講態度として評価する。食材の切り方によってもおいしさは左右される。おいしく作るための技術を学んでいきたい。加えて、さまざまな食材や調味料を使って調理し味覚の幅を広げていきたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各回の課題レポートは次週に解答と共に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	実習時の服装、積極的参加、協働する姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	各回の課題を提出する				
	その他	20	配付したプリントや板書ノート、課題を綴りとして提出する				
自由記載							
オフィスアワー	中平研究室 水曜日 14時30分～16時30分 メールの場合は、学籍番号・氏名を忘れずに記入する						
担当教員E-mail	mnakahira@sumire.ac.jp (中平)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(製DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 (製DP5)【技能】多様化する食のニーズに対応できる技術を有し、応用能力を修得している。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (製DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。 (製DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	滋賀の食文化財 なれずし(試食) アメノイオ御飯 えび豆 でっちようかん ふなずし漬け	中平	講義 実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
2 /	祭りのすし 巻きすし いなりすし さばの棒すし	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
3 /	あん こしあん つぶあん おはぎ にっきもち	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
4 /	中華料理 八宝菜 乾焼明蝦 くらげの酢の物 白菜と 肉だんごスープ 鶏蛋糕	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
5 /	おもてなし おこわ いも棒 昆布巻き 丁字麩のからし あえ 高野豆腐としいたけの煮物	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
6 /	こんにゃく こんにゃく 赤こんにゃくのかつお煮 鳥も どぎ	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
7 /	秋の幸 秋の実りのおこわ 天ぷら 春菊のお浸し 蓮根の落花生和え いわしのつみれ汁 りん ごかるかん	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
8 /	みそ作り 打ち豆汁 五目豆	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
9 /	漬物づくり はくさいの塩漬け 日野菜の桜漬け ぜいた く煮	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
10 /	クリスマス料理 ローストチキン カルパッチョ アボカドのサ ラダ レッドビーツソース ブロッコリースープ パウンドケーキ ラベンダージェラート サン グリア	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
11 /	正月料理 田作り 数の子 菊花かぶ 伊達巻き スモーク サーモンの手まり寿司 松風焼き 黒豆ジュース 黒豆ムース 雑煮(すまし仕立て)	中平	実習内容の説明 師範 実習 試食 評価 後片付け	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
12 /	まとめ	中平	講義	実習に関する課題レポートに 取り組む 実習内容を確認し再度作ること が望ましい	90
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>給食経営計画管理論</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	前期	2	講義	食健康/選択	実務経験
							○
Nutrition and Food Service Management							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・栄養士として必要な栄養、食事管理およびサービスを効率的かつ安全に運営するためのシステムを構築できる。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士として、病院と老健での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように講義する。 給食の運営には、食生活の改善を通じて健康の保持・増進を図るための食事計画や給食提供に関する調理技術力や栄養面、安全面、経済面などのマネジメントを行う組織管理能力が必要である。運営に携わる一連の流れと実践の方法を学ぶ。							
教科書	『はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ 9 大量調理施設で役立つ基礎』 島田淳子・田村孝志 他著 (化学同人) 価格 (本体2,200円+税)						
参考書	『Plan-Do-Seeにそった 給食運営・経営管理実習のてびき 第4版』、西川貴子ほか著 (医師薬出版) 『調理のためのベーシックデータ 第4版』、[女子栄養大学出版部]						
担当者からのメッセージ	食事で健康を支える大切さと重要性を学び、食べる人に安全でおいしい食事を提供できる栄養士を目指して学んでいきましょう。授業中は、私語、居眠り、授業に関係ないことはしないこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業開始時に、課題を回収して授業中に解答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	私語、居眠り、授業に関係ないことはしないでください				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	山岡研究室 月曜日 12時10分～16時10分 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP4)【技能】栄養士として現場で必要な専門的スキルと実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	給食の概念	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
2 /	調理従事者の衛生教育・安全管理	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
3 /	調理・作業管理の目的と方法	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
4 /	各特定給食施設の種類と目的、業務と役割	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
5 /	栄養・食事のアセスメント、献立計画	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
6 /	栄養・食事のアセスメント、献立作成	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
7 /	食中毒の現状と予防対策、HACCPプログラム	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
8 /	食品の安全・衛生	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
9 /	品質と生産	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
10 /	食材管理	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
11 /	大量調理1 下処理の仕方	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
12 /	大量調理2 調理の仕方	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
13 /	施設・機器類の衛生管理	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
14 /	機器・食器の選定	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
15 /	会計・原価管理	山岡	講義	事前に教科書を読み、授業内容をまとめる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>給食経営計画実習</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	前期	1	実習	食健康/選択	○
							実務経験
							○
Practice of Nutrition Food Service plan							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・給食経営に関する方法や技術などの給食経営能力を養い対象者に適した食事管理ができる。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士として病院と老健での勤務経験を有する教員がその経験を活かして、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように指導する。 専門科目で学習した基礎的知識を活かして対象者への適切な食事提供、栄養教育の媒体作成、事務管理を実践する。また、大量調理の設備・機器類の使い方、食材の衛生的な扱い方、調理作業の衛生管理、盛り付け方、調理従事者としての責任感や、協力する姿勢を身につける。一食分の適量、食品の好ましい組み合わせ、標準的な味付けなど食事に対する認識を深めながら、計画(plan)、実施(do)、評価・反省(see)にいたる一連の作業に取り組む。							
教科書	『Plan-Do-Seeにそった 給食運営・経営管理実習のてびき 第4版』 西川貴子・深津智恵美・清水典子 ほか著 (医師薬出版株式会社) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	『はじめて学ぶ健康・栄養食教科書シリーズ 9 大量調理施設で役立つ基礎』 島田淳子・田村孝志 他著 (化学同人) 価格(本体2,200円+税) 『調理のためのベーシックデータ 第4版』 松本仲子監 (女子栄養大学出版部) 価格(本体1,800円+税)						
担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士班が作成した作業手順書をよく読み、献立の内容を理解して正しい食材の下処理、調理をしましょう。</li> <li>・身だしなみを整え、衛生的な姿で取り組みましょう(爪は短く切っておく、マニキュア、つけまつ毛、カラコンはしないこと)。</li> <li>・栄養士班は、前日準備があるのでアルバイトは入れないこと。</li> <li>・書類の提出期限を守り、班のみんなと協力して書類を作成してください。</li> <li>・実習服、ズボン、コックシューズを持参してください。</li> </ul>						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業開始時に課題を回収し、コメントをつけて翌週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	積極的に取り組んでいること				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	誤字脱字に気をつけてわかりやすく空白のないように記入すること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	山岡研究室 月曜日 12時10分～16時10分 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP4)【技能】栄養士として現場に必要な専門的技術と実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 給食献立の計画 献立作成と訂正	山岡	講義及び演習 (パソコン室 使用)	配付資料をまとめる	90
2 /	試作	山岡	調理実習	配付資料をまとめる	90
3 /	学内給食(1) 料理形態:和食 主菜材料:魚	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
4 /	学内給食(2) 料理形態:洋食 主菜食材:肉	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
5 /	附属幼稚園への給食提供(1)	山岡	大量調理実習と附属幼稚園 への提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
6 /	学内給食(3) 料理形態:中華 主菜材料:魚	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
7 /	学内給食(4) 料理形態:和食 主菜材料:肉	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
8 /	学内給食(5) 料理形態:洋食 主菜食材:魚	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
9 /	附属幼稚園への給食提供(2)	山岡	大量調理実習と附属幼稚園 への提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
10 /	学内給食(6) 料理形態:和食 主菜材料:魚	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
11 /	学内給食(7) 料理形態:エスニック 主菜食材:豆	山岡	大量調理実習と学内提供	課題のまとめ、レポート作成 をする	90
12 /	まとめ(45分)	山岡	講義(パソコン室使用)	配付資料をまとめる	90
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>給食経営管理実習</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	後期	1	実習	食健康/選択	○
							実務経験
							○
Practice of Nutrition Food Service Management							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・栄養士として必要な給食経営に関する方法、技術などの給食経営能力を養う。 ・対象者に適した食事管理ができるようになる。							
<b>授業の内容</b> 管理栄養士としての病院や老人保健施設での勤務経験を活かし、栄養士に必要な能力を身につけ、現場で活躍できるように指導する。 各班に役割を分担して少人数で運営を行う。一食分の適量、食品の好ましい組み合わせ、標準的な味付けなど食事に対する認識を深めながら、計画(plan)、実施(do)、評価・反省(see)にいたる一連の作業に取り組む。 栄養士班は、食材の切り方や調理指導を行い、提供時間に間に合わせのために、全体の動きを見て行動する。 衛生班は、全員の体調を確認し、水質検査、冷蔵庫、冷凍庫、調理室内などの温度を確認し記録する。安全で衛生的に調理が行えることを確認する。 調理班は、作業手順書の指示に従って作業を行い、効率の良い作業が行えるように調理室内を衛生的に整える。 事務班は、献立作成に必要な書類の作成、日計の作成を行う。							
教科書	『Plan-Do-Seeにそった 給食運営・経営管理実習のてびき 第5版』 西川貴子・深津智恵美・清水典子 ほか著 (医師薬出版株式会社) 価格(本体2,100円+税)						
参考書	『はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ 9 大量調理施設で役立つ基礎』 島田淳子・田村孝志 他著 (化学同人) 価格(本体2,200円+税) 『調理のためのベーシックデータ 第4版』 松本仲子監 (女子栄養大学出版部) 価格(本体1,800円+税)						
担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業環境を整えて効率よく作業をする力をつけましょう。</li> <li>・まわりの様子を見て提供時間に間に合わせる行動をしましょう。</li> <li>・衛生的な姿で実習を行いましょう(ツメは短くする、マニキュア、つけまつ毛、カラコンはしない)。</li> <li>・提出期限を守り、班のみんなで協力して書類を作成しましょう。</li> <li>・栄養士班は、前日準備があるのでアルバイトは入れないこと。</li> <li>・体調を整えて実習に臨みましょう。</li> <li>・上記のことは、授業態度の評価になります。</li> </ul>						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業開始時に課題を回収し、コメントをつけて翌週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	積極的に取り組んでいること				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	誤字脱字に気をつけて空白のないように記入すること				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	山岡研究室 金曜日 12時10分~13時 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP4)【技能】栄養士として現場に必要な専門的技術と実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	学内給食(1) 祭りの寿司	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
2 /	学内提供(2) カフェランチ	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
3 /	学内給食(3) 松花堂弁当	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
4 /	学内給食(4) ハロウィン	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
5 /	附属幼稚園への給食提供(1)	山岡	大量調理と幼稚園へ提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
6 /	学内給食(5) 体力アップの食事	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
7 /	学内給食(6) 郷土料理	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
8 /	学内給食(7) 貧血予防の食事～鉄～	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
9 /	学内給食(8) 骨粗鬆症予防の食事～カルシウム～	山岡	大量調理と学内提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
10 /	大津サービスエリアとのメニュー開発コンテスト	山岡	調理実習とプレゼン発表	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
11 /	附属幼稚園への給食提供(2)	山岡	大量調理と幼稚園へ提供	授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること	90
12 /	まとめ(45分)	山岡	講義	配付資料をまとめる	90
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>給食経営管理學外実習 (実習の事前事後指導を含む)</b>	山岡ひとみ(専 任)	2年次	前期集中	1	実習	食健康/選択	○
							実務経験
Field Practice in Food Service Management							
資格等取得との関連	栄養士免許の必修、栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・各施設の概要や特徴について理解し栄養士の業務を体得する。							
<b>授業の内容</b> 実際の現場で実習を行うための目的や心構え、各施設の特徴などを学び、会社・事業所、病院、老人福祉施設などの給食業務に携わる各施設において5日間の現場経験をする。実習後に報告会を行い栄養士業務の再認識をする。							
教科書	なし						
参考書	『給食経営管理學外実習』の手引き』『給食経営管理學外実習報告書』 滋賀短期大学編						
担当者からのメッセージ	学外で実習を行う態度を心得ましょう。 実習課題は、提出期限を守り班で協力して取り組んでください。 学外実習は、実際に現場を体験できる貴重な5日間です。しっかり栄養士の仕事を学びとってください。 欠席、遅刻した場合は、単位は取得できませんので注意してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	事前課題について授業内でコメントし解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	私語や居眠り、授業に関係ないことはしない				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	80	提出課題(20%) 実習先での評価(50%) 実習ノート(10%)				
自由記載							
オフィスアワー	山岡研究室 月曜日 12時10分~16時10分 メールの場合は学籍番号、氏名を忘れずに記入してください						
担当教員E-mail	h-yamaoka@sumire.ac.jp (山岡)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP3)【知識・理解】食べ物と人の体に関する知識を深め、健康を育むための生活習慣を認識している。 (食DP4)【技能】栄養士として現場に必要な専門的技術と実践技術を修得し、生活の質の向上に積極的な提案ができる。 (食DP5)【技能】対象者一人ひとりの状態に応じた献立作成、調理、栄養指導ができる。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	事前指導：オリエンテーション 実習の目的・目標、実習にあたっての心構え	山岡	講義及び質疑応答	学外実習の報告書の手引きを読み直し、提示課題に取り組む	180
2 /	事前指導：報告書の書き方、まとめ方	山岡	講義及び演習問題、質疑応答	提示された課題に取り組む	180
3 /	事前指導：実習課題への取り組み 1 献立作成	山岡	講義及びパソコンを用いた演習、質疑応答	提示された課題に取り組む	180
4 /	事前指導：実習課題への取り組み 2 媒体作成、試作	山岡	講義及びパソコンを用いた演習及び質疑応答。調理実習	提示された課題に取り組む	180
5 /	事前指導：大量調理練習（オープンキャンパスランチ提供） 切り方、盛り付け方	山岡	調理実習	提示された課題に取り組む	180
6 /	事前指導：大量調理練習（オープンキャンパスランチ提供） 提供方法について	山岡	調理実習	提示された課題に取り組む	90
7 /	学外実習1日目	山岡	実習先での指導を受けて実習に取り組む	報告書の記入、まとめ	90
8 /	学外実習2日目	山岡	実習先での指導を受けて実習に取り組む	報告書の記入、まとめ	90
9 /	学外実習3日目	山岡	実習先での指導を受けて実習に取り組む	報告書の記入、まとめ	90
10 /	学外実習4日目	山岡	実習先での指導を受けて実習に取り組む	報告書の記入、まとめ	90
11 /	学外実習5日目	山岡	実習先での指導を受けて実習に取り組む	報告書の記入、まとめ	90
12 /	事後指導：実習報告会準備 1 実習の反省、問題点の整理、発表資料の作成	山岡	講義及びパソコンを用いて演習及び質疑応答	報告書の記入漏れを確認しまとめなおす	90
13 /	事後指導：実習報告会準備 2 発表資料の訂正	山岡	講義及びパソコンを用いて演習及び質疑応答	提示された課題に取り組む	90
14 /	事後指導：実習報告会準備 3 発表会に向けた口頭練習	山岡	講義及びパソコンを用いて演習及び質疑応答	提示された課題に取り組む	90
15 /	事後指導：実習報告会	山岡	各班による実習先の発表報告	発表練習をしておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>世界と地域の食文化</b>	中平真由巳(専 任)	2年次	後期	2	講義	食健康/必修	○
							実務経験
World and Regional Food Culture							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・人は何を食糧として選択し、如何に食べてきのか、その背景を理解する。 ・食を通して他国の文化について理解と関心を深め、自国の食の歴史にも触れて自らのアイデンティティを確立する。 ・一人一人が食文化の継承者であり、合理的で豊かな食生活を自立して営むことができるようになり、同時に新しい食文化の創造者となること。							
<b>授業の内容</b> 食文化は民族が培ってきた英知の結晶である。現在の日本は社会環境の変化によって人々の生活スタイルが多様化したことから、長年培ってきた伝統的な食生活が変容し食事に対する価値観も変化している。この講義では、各地域の食文化を決定する背景となってきた気候や風土、生態などの環境的要因、文化、歴史を理解する。さらには地域に応じた独自の食生活様式、地域の資源を活用した環境循環システムなど民族の知恵からたくましく生き抜く力と技術を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	『世界を食べよう!』 沼野恭子 編 2015 価格 (本体1,800円+税) 『食生活を考える』 アイ・ケイコーポレーション 2016 価格 (本体2,400円+税) 『食と大地』 原田信男 編 ドメス出版 2003 価格 (本体2,800円+税) 『日本の食文化 新版「和食」の継承と食育』 アイ・ケイコーポレーション 2016 価格 (本体2,700円+税)						
担当者からのメッセージ	講義内容の記録を整理し、授業で学んだ知識を日常の食生活の中で実践する。授業で紹介する文献などを調べて復習を行う。食についての学習は、その知識や技術が日常の生活の中で活かされてはじめて完成する。この講義を受講した皆さんが身近にあるものを大切に循環させてきた先人の知恵や食に込めた祈りを受け止め、明日の食文化の創り手として活躍されることを心から期待している。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各回授業で提出された課題は採点して翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	各回の授業内容に関する課題と内容をまとめ提出する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	各家庭の行事の食について調べて提出し発表する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	中平研究室 水曜日 14時30分~16時30分 質問等は、電子メールにより受け付ける(学生番号・氏名を忘れずに)						
担当教員E-mail	mnakahira@sumire.ac.jp (中平)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP6)【技能】地域の食文化を継承できる食の専門家として食育を実践できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	世界の人々と食文化1 自然環境と主食	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
2 /	世界の人々と食文化2 アジアの恵み 米	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
3 /	世界の人々と食文化3 気候を利用した発酵	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
4 /	世界の人々と食文化4 麦と民族の知恵	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
5 /	世界の人々と食文化5 雑穀の力	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
6 /	世界の人々と食文化5 乾燥地域の乳利用	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
7 /	世界の人々と食文化6 大地の香り スパイ ス	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
8 /	世界の人々と食文化7 宗教と食	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
9 /	くらしの中の食文化伝承1 滋賀県の豊かな 米から めし・もち・だんご	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
10 /	くらしの中の食文化伝承2 湖の幸を柱に主 食	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
11 /	くらしの中の食文化伝承3 個性豊かな野菜 と副菜	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
12 /	くらしの中の食文化伝承4 保存・加工の技 術から	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
13 /	くらしの中の食文化伝承5 年中行事と食	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
14 /	くらしの中の食文化伝承6 プレゼンテー ション	中平	プレゼンテーション 学生が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	発表内容をまとめる	120
15 /	これからの食のあり方を求めて 共に生きる ために	中平	講義 教員が用意したプリント、 パワーポイントなど活用し て実施する	講義内容をまとめる	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>地域伝統食実習</b>	中平真由巳(専 任)	2年次	後期	2	実習	食健康／必修	○
							実務経験
							○
Local Dishes Practicum							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県の伝統食のもつ特長を十分に理解し、技術を習得して献立に取り入れることができる能力を身につける。</li> <li>・滋賀の新しい食文化の創造に寄与できる。</li> <li>・地域における課題を自ら探しだす能力、それを調査分析して解決する技術を身につける。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>滋賀県の真ん中には琵琶湖があり、そのまわりには平野が広がって県境は山々に囲まれている。ここには多彩な特産物があり、神社や寺を中心にした年中行事も多く、それらを用いた伝統食も数多く今に伝えられている。伝統食はその地の気候・風土に育まれた新鮮で安全な食材を用い、地域の人々によって歴史の中で鍛え上げられた完成度の高い調理加工技術を持ったものである。また、伝統食は心の癒しとなり真に豊かな食生活の基礎を築くものである。</p> <p>この授業では、伝統食の持つこれらの特長を十分に理解し、技術を習得して献立に取り入れることができる能力を身につけるとともに、新しい滋賀の食文化の創造に寄与することを目的とする。内容は、伝統食が持つ調理加工・保存法、年中行事の食等に見られる旬を食べる工夫および喜び・祈り・願い・感謝を込める方法とする。</p>							
教科書	『クックしが』 滋賀の食事文化研究会 食事バランス部会 (サンライズ出版) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	『つくってみよう滋賀の味』 滋賀の食事文化研究会編 (サンライズ出版) 価格(本体2,200円+税)						
担当者からのメッセージ	授業ではプリントを配付する。配付したプリントや板書ノートと課題は最後に記録の綴りとして提出する。課題の期限は守ること。服装、積極的な実習への参加と協働する姿勢などを受講態度として評価する。実習献立は、時を越えて私達の生活の中に残ってきた地域の伝統料理である。伝統食の中に込められた人々の喜び・祈り・願い・感謝の心に触れ、身に付けた調理加工技術が未来の豊かな食卓へとつながることを願っている。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各回の課題レポートは次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	実習時の服装、積極的参加、協働する姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	各回の課題を提出する				
	その他	30	配付したプリントや板書ノート、課題を綴りとして提出する				
自由記載							
オフィスアワー	中平研究室 水曜日 14時30分～16時30分 質問等は電子メールにより受け付ける(学生番号・氏名を忘れずに)						
担当教員E-mail	mnakahira@sumire.ac.jp (中平)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP6)【技能】地域の食文化を継承できる食の専門家として食育を実践できる。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ふなずし漬け	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
2 /	滋賀の食文化財 なれずし(試食) アメノイオ御飯 えび豆 でっちようかん	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
3 /	祭りのすし 巻きすし いなりすし さばの棒すし	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
4 /	あん こしあん つぶあん おはぎ にっきもち	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
5 /	豆腐 木綿豆腐 揚げ出し豆腐 いりうの花	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
6 /	おもてなし おこわ いも棒 昆布巻き 丁字麩のからし あえ 高野豆腐としいたけの煮物	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
7 /	こんにゃく こんにゃく 赤こんにゃくのかつお煮 鳥も どき	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
8 /	漬物づくり はくさいの塩漬け 日野菜の桜漬け ぜいた く煮	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
9 /	コピル ふな焼き ういろう いもつぶし(90分)	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
10 /	漁師さんから学ぶ湖魚料理 琵琶湖の湖魚と湖魚の扱い さばき方	中平 外部講師	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
11 /	湖魚料理 小あゆのさんしょう炊き しじみ御飯 わか さぎの南蛮漬け	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
12 /	正月料理 頭いものみそ雑煮 黒豆 柿なます ねごん ぼ きんとん 鯖そうめん	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
13 /	みそ作り みそと打ち豆 打ち豆汁 五目豆	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
14 /	附属幼稚園児ともちつき	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
15 /	もち作り きなこもち 大根もち ぜんざいがん	中平	講義 実習内容の説明 実習 試食 評価 後片付け 反省	課題作成 実習内容を家庭の食事に活かす	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>調理技術演習</b>	灰藤友理子(専 任)	2年次	前期	1	演習	食健康/選択	実務経験
Cooking Skills Exercise							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・大量調理に適応できる技術を体得する。 ・調理理論、実習で培った知識、技術を応用することができる。							
<b>授業の内容</b> 大量調理に適した調理技術を学ぶ。実際の現場では大量の作業を限られた時間と人数でこなすことが求められる。この演習を通して効率よく調理作業ができるよう、繰り返し練習し正確な技術を身につける。履修者が20名以下の場合には1クラスで開講する。							
教科書	なし						
参考書	調理学、調理学実習で使用した教科書、参考書						
担当者からのメッセージ	今までは少人数の調理でしたが、2回生からは対象者に合わせて大量の調理が多くなり、そのためには丁寧に効率よく作業する技術が必要です。技術は練習あるのみです。授業内はもちろん、家でも繰り返し練習してください。"調理のできる栄養士"になるために一緒に頑張りましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	小テストは毎回授業開始時に行い、その場ですぐに答え合わせする。テスト用紙は回収後、評価し、次回の授業時に返却する。課題は最終日にコメントを付けて返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の聴講態度と、丁寧にまじめに取り組んでいるか評価する				
	授業内試験	50	授業内で調理技術及び筆記試験により、授業内容の理解度を評価する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	灰藤研究室 月曜日 12時10分～16時 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学籍番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp (灰藤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP1)【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる栄養士として、専門的な知識を身につけている。 (食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 授業の進め方、今までの復習	灰藤	講義、演習	調理学、調理学実習で学んだ ことの復習	60
2 /	大量調理の基本 包丁の使い方、切る際の姿勢	灰藤	講義、演習	授業内容の復習をする	30
3 /	技術を身につける 1 短冊切り、色紙切り	灰藤	講義、演習	授業内容の復習をする	30
4 /	技術を身につける 2 千切り	灰藤	講義、演習	授業内容の復習をする	30
5 /	技術を身につける 3 みじん切り	灰藤	講義、演習	授業内容の復習をする	30
6 /	技術を身につける 4 数取り	灰藤	講義、演習	授業内容の復習をする	30
7 /	大量調理の盛り付け方 効率よく作業するには	灰藤	講義、演習	授業内容の復習をする	30
8 /	切り方テスト 筆記テスト	灰藤	演習、試験	今までの内容全般を復習して おく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>学校食育論</b>	灰藤友理子(専 任)	2年次	前期	2	講義	食健康/選択	実務経験
School Dietary Education							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・学校教育における食育の意義や課題を理解する。 ・栄養教諭の使命、役割、職務内容について習得し、その責務について理解する。							
<b>授業の内容</b> 栄養教諭の存在意義、学校組織での立ち位置を理解し、学校教育における食育の役割、職務内容について学ぶ。また、全国の食育の取り組みについてを知ることにより、幅広い視野を持ち、学校以外の家庭や地域との連携を図り、食育を実践できる栄養教諭を育成する。							
教科書	『栄養教諭論 最新版』 金田雅代編著 (建帛社) 価格 (本体2,700円+税)						
参考書	文部科学省『食に関する指導の手引き』(東山書房) 価格 (本体1,200円+税) 農林水産省『食育白書』(日経印刷) 価格 (本体1,900円+税)						
担当者からのメッセージ	今までの食に関する経験や、学校給食を思い出し、これから食育を担うものとして「食」を通してどのようなことができるか考えましょう。授業内では積極的に発言し、参加してください。疑問に思ったこと等は、なるべくその場、もしくはその授業が終わった時点で教えてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題について、できる限り授業の中で解答を検討する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の聴講態度により評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	栄養教諭の職務及び役割について理解できているか評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	灰藤研究室 月曜日 12時10分～16時 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学籍番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp (灰藤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP2)【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	栄養教諭制度の成り立ちと役割 －学校給食法、食育基本法から考える－	灰藤	講義	教科書を読んでおくこと	60
2 /	学校組織と栄養教諭の位置づけ －学校教育目標を達成するには－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
3 /	学校給食の教育的意義と役割 －学校給食の目標を踏まえて－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
4 /	学校給食の歴史と食文化 －学校給食法と学校給食の変遷－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
5 /	子どもの発達と食文化 －五感の発達と家庭での食卓の変遷－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
6 /	食に関する指導の全体計画と展開 －実態を把握し、指導計画、展開を考える－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
7 /	給食時間における食に関する指導 －担任教諭との連携を図るには－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
8 /	発達に応じた食に関する指導と教材 －学年ごとに抱える食の課題をみつめて－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
9 /	各教科における食に関する指導 1 －家庭科、技術・家庭科－	灰藤	講義	教材にできそうな題材を調べてくること 講義内容をまとめておくこと	60
10 /	各教科における食に関する指導 2 －生活科、総合的な学習の時間－	灰藤	講義	教材にできそうな題材を調べてくること 講義内容をまとめておくこと	60
11 /	各教科における食に関する指導 3 －体育科、保健体育科、道徳・特別活動－	灰藤	講義	教材にできそうな題材を調べてくること 講義内容をまとめておくこと	60
12 /	個別栄養指導 －学校全体と連携し支援するには－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	60
13 /	家庭・地域との連携 1 －家庭との連携・信頼関係を形成する重要性－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
14 /	家庭・地域との連携 2 －地元へ根付いた食育を進めるために－	灰藤	講義	事前に教科書を読んでおくこと 講義内容をまとめておくこと	30
15 /	まとめ	灰藤	今までの講義内容に関する まとめ	今までの講義内容の復習、ノート まとめをしておくこと	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>製菓応用実習 I</b>	石井 明(専 任)	2年次	前期	2	実習	製菓/必修	○
							実務経験
							○
Confectionery applied laboratory I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・基礎、専門実習で培った知識、技術をあらゆる角度から応用することができる。							
<b>授業の内容</b> 製菓業界での勤務経験がある者が、製菓実習を指導する。 基礎、専門実習で習得した知識や技術を応用し、伝統菓子や季節の菓子をつくる。							
教科書	なし						
参考書	「プロのためのわかりやすいフランス菓子」 川北末一著 辻製菓専門学校 価格(6,500円+税)						
担当者からのメッセージ	レポートは新しく学んだ事やポイントがしっかり記入されていて、それを見て再現することができるかどうかで評価します。 レポートは毎回提出してください。 受講態度はデモをしっかり見ているかどうかと、協力しながら取り組み、まじめに積極的に行っているかを主にみます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、コメントをつけて翌週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	真面目にそして積極的に取り組んでいるかどうか				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	ポイントがしっかり記入されて再現できるかどうか				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	石井研究室 月曜日 16時30分～18時30分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学籍番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	a-ishii@sumire.ac.jp（石井）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（製DP1）【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 （製DP2）【知識・理解】製菓・製パンの専門家として活躍するための知識を身につけている。 （製DP4）【技能】製菓衛生師として現場で必要な専門的スキルと実践技術を修得している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 春のフルーツを使ったお菓子	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
2 /	春の祝い菓子 歓迎会などのパーティーデザート	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
3 /	母の日祝い菓子	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
4 /	フランス菓子 スフレグラッセ	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
5 /	ドイツ菓子 フランクフルタークランツ	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
6 /	オーストリア菓子 リンツァートルテ	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
7 /	フランス菓子 パンデビス、ガレットブルトンヌ	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
8 /	ドイツ菓子 カルディナルシュニッテン	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
9 /	イタリア菓子 ズコットタイプのセミフレッド	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
10 /	フランス菓子 ガトーマルジョレーヌ	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
11 /	コーヒーを使った焼き菓子	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
12 /	抹茶を使った焼き菓子	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
13 /	オレンジを使った焼き菓子	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
14 /	ブルーベリーを使ったタルト	石井	説明、デモンストレーション 実習、試食、まとめ	実習内容をまとめる	60
15 /	学外研修	石井	説明、実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>製菓応用実習Ⅱ</b>	石井 明(専 任)	2年次	後期	2	実習	製菓／選択	○
							実務経験
							○
Confectionery applied laboratory II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・基礎、専門実習で培った知識、技術をあらゆる角度から応用することができる。 ・製品を自分で考え完成させる。							
<b>授業の内容</b> 製菓業界での勤務経験がある者が、製菓実習を指導する。 基礎、専門実習で習得した知識や技術を応用し、伝統菓子や季節の菓子をつくる。 本実習を通して、製品を自分で考え完成させる達成感を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	その都度紹介する						
担当者からのメッセージ	レポートは新しく学んだ事やポイントがしっかり記入されていて、それを見て再現することができるかどうかで評価します。レポートは毎回提出してください。 受講態度はデモをしっかり見ているかどうかと、協力しながら取り組み、まじめに積極的に行っているかを主にみます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、コメントをつけて翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	真面目にそして積極的に取り組んでいるかどうかで評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	ポイントなどがしっかり記入されているかどうかで評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	石井研究室 月曜日 16時30分～18時30分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学籍番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	a-ishii@sumire.ac.jp（石井）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（製DP1）【知識・理解】豊かな食生活に貢献できる製菓衛生師として、専門的な知識を身につけている。 （製DP2）【知識・理解】製菓・製パンの専門家として活躍するための知識を身につけている。 （製DP4）【技能】製菓衛生師として現場に必要な専門的技術と実践技術を修得している。 （製DP9）【思考・判断・表現】製菓の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	アフターヌーンパーティのデザート	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
2 /	秋野菜を使った焼き菓子 ケーキサレ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
3 /	チーズを使った焼き菓子 アイアシエツケ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
4 /	秋のデコレーションケーキ焼成 マジパン細工パーツ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
5 /	秋のデコレーションケーキ仕上げ マジパン細工組み立て	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
6 /	ハロウィーンのお菓子 パンブキンパイ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
7 /	ドイツのクリスマス菓子 ヘクセンハウス仕込み	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
8 /	ドイツのクリスマス菓子 ヘクセンハウス組み立て	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
9 /	ドイツのクリスマス菓子 ヘクセンハウス飾り付け	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
10 /	ドイツのクリスマス菓子 ヘクセンハウス仕上げ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
11 /	ドイツ菓子 アプフェルクーヘン	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
12 /	フルーツケーキ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
13 /	野菜を使った焼き菓子 キッシュ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
14 /	ウエディングケーキ仕込み	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
15 /	ウエディングケーキ仕上げ	石井	説明、デモンストレーション 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
マイスター・トレーニング	石井 明(専 任)	2年次	前期	1	実習	製菓／選択	○
							実務経験
							○
Professional training							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・将来、菓子製造をするために必要な基本的技術を習得する。							
<b>授業の内容</b> 製菓業界で勤務経験がある者が製菓実習を指導する。 菓子製造に必要な基本的な技術を繰り返し練習する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	繰り返し練習あるのみ。 基本的技術の習得を中心とした内容のため、地道な作業も多い。 受講態度は真面目に取り組んでいるかどうかで判断します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、コメントを付けて翌週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	真面目に取り組んでるかどうかで評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	ポイントがしっかり記入されているかで評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	石井研究室 月曜日 16時30分～18時30分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学籍番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	a-ishii@sumire.ac.jp（石井）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（製DP4）【技能】製菓衛生師として現場に必要な専門的技能と実践技術を修得している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 製菓、製パンの基本的な技術の説明	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる	60
2 /	パイピングの基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
3 /	パイピングの応用技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
4 /	絞りの基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
5 /	絞りの応用技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
6 /	デコレーションケーキの基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
7 /	デコレーションケーキの応用技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
8 /	パレットナイフの基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
9 /	パレットナイフの応用技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
10 /	包丁の研ぎ方と包丁の基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
11 /	ケーキカットの基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
12 /	フルーツカットの基本技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
13 /	ケーキカットの応用技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
14 /	フルーツカットの応用技術	石井	説明、デモンストレーション、 実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
15 /	まとめ 課題	石井	説明、実習、まとめ	実習内容をまとめる 練習する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>店舗経営 I (製菓)</b>	矢嶋 聡(非常勤)	2年次	前期	2	演習	製菓/必修	○
							実務経験
							○
Shop Management I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・店舗の運営、品揃え、商品管理に関する実務的な知識を習得するため、販売士3級資格の取得を目指す。 ・経営管理に関する基礎的な指標の意味を理解し活用できる。 ・将来、社会人になったときに求められる初歩的なマナーや言葉遣いがきちんとできる。							
<b>授業の内容</b> 商工会議所で経営指導員を経験し、数多くの店舗の経営支援に携わった実践事例を折り込みながら授業を行う。指定の教科書をもとに、販売士3級資格試験に出題される5科目（(1)小売業の種類、(2)マーチャндаイジング、(3)ストアオペレーション、(4)マーケティング、(5)販売・経営管理）を学ぶ。各回の終わりに小テストを実施して、知識の定着を図る。できるだけ学生のみなさんにとって身近な事例やニュース、参考になる動画視聴をしながら楽しく勉強できる環境づくりに努める。具体的なマーケティングに関わる事例（新聞や広告、TVコマーシャルなど）を取り上げてグループディスカッションを実施するので、積極的に参加して欲しい。							
教科書	『らくらく完全攻略！リテールマーケティング(販売士)検定3級テキスト&問題集』山口正浩(ナツメ社) 価格(本体1,500円+税)						
参考書	『スモールビジネス・マーケティング』岩崎邦彦(中央経済社) 価格(本体2,000円+税)						
担当者からのメッセージ	将来自分が社会に出て働く姿を想像しながら授業を受けて欲しい。生活学科の方にとっては、製菓や製パンといった技術に加えて販売する力があると社内で重宝されることだろう。ビジネスコミュニケーション学科の方にとっては、どの業種に就職しても学んだことが現場ですぐに活かせるだろう。この授業は、小売業(アパレルやスーパーなど)やサービス業(ホテルや飲食業など)へ進みたい方には特に有益だが、これら以外の進路を目指す方にも必ずどこかで役に立つ内容が含まれている。積極的に参加して欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	小テストは、その日の授業で学んだことを択一式で10問程度出題する。結果は、次の授業の最初に解答と解説を加えて返却する。レポートは、小テストを実施しない日にその日の授業で学んだことを書いて提出すること。次回授業の冒頭に2~3事例を取り上げてみなさんと共有する。 定期試験は、7月13日(土)に商工会議所で実施される販売士3級検定試験とする。授業時間外となるので注意すること。結果は、各自に郵送で返却される。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業の最後に実施する小テストとレポートの提出をもって平常点とする				
	授業内試験	30	各回小テストを実施する(7割の正解を目指すこと)				
	定期試験	30	7月13日(土)の販売士3級検定試験とする(試験の詳細は授業中に説明する)				
	レポート	20	小テストを実施しないときはその日の授業で学んだことをレポートし提出すること				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問は大歓迎です 疑問に思ったことはメールで知らせてください						
担当教員E-mail	4726alfagt@gmail.com(矢嶋)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 店舗経営で学ぶことの意義	矢嶋	講義	この授業の全体の流れを理解すること	0
2 /	小売業の類型1 さまざまな小売業の業種や業態	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
3 /	小売業の類型2 商店街の歴史や小売業の役割	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
4 /	マーチャндаイジング1 品揃えや商品計画の基礎	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
5 /	マーチャндаイジング2 売価決定計算、値入と粗利益との関係	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
6 /	ストアオペレーション1 包装やディスプレイの基礎	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
7 /	ストアオペレーション2 接客販売技術、商品発注の仕組み	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
8 /	マーケティング1 魅力ある店舗づくり、商圈の基礎	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
9 /	マーケティング2 商品、価格、宣伝、立地との組合せ	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
10 /	販売・経営管理1 小売業に関する主な法規	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
11 /	販売・経営管理2 決算と利益計算	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
12 /	第2回目～11回目までのまとめ	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
13 /	事例演習1 新聞や広告、TVコマーシャルなどを題材に議論する	矢嶋	講義、レポート、グループディスカッション	作る側の視点、販売する側の視点、買う側の視点から考えること	30
14 /	事例演習2 新聞や広告、TVコマーシャルなどを題材に議論する	矢嶋	講義、レポート、グループディスカッション	作る側の視点、販売する側の視点、買う側の視点から考えること	30
15 /	事例演習3 新聞や広告、TVコマーシャルなどを題材に議論する	矢嶋	講義、レポート、グループディスカッション	作る側の視点、販売する側の視点、買う側の視点から考えること	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>店舗経営Ⅱ (製菓)</b>	矢嶋 聡(非常勤)	2年次	後期	1	演習	製菓／選択	○
							実務経験
							○
Shop Management II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・前期の店舗経営Ⅰで学んだ知識を実践的に使えるようになる。 ・さまざまなデータやゲストスピーカーの話から、自分なりに読み取り、解釈し、考える応用力が習得できる。 ・店舗経営に関する課題についてグループディスカッションしながら、相手の話を聞く力や自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 商工会議所で経営指導員を経験し、数多くの店舗の経営支援に携わった実践事例を折り込みながら授業を行う。小規模な店舗が持つ強みや特徴を、さまざまなグラフ、図表で示す。みなさんは数名のグループに分かれて、こうしたデータを読み取って、解釈し、意見としてまとめて欲しい。まとめた意見は、各グループごとに発表すること。特にほかのグループと異なる意見が出たときには、なぜそう考えたのかを問い直して議論を深める。また、ゲストスピーカーをお招きして、企業の最前線で活躍されている方から店舗経営に関わるお話を聞かせていただく時間を設ける。聞いた内容は1人1人がレポートにまとめて提出する。							
教科書	なし						
参考書	『スモールビジネス・マーケティング』岩崎邦彦(中央経済社) 価格(本体2,000円+税)						
担当者からのメッセージ	前半は、小さなお店がいかに大型店に対して個性を発揮しながら差別化を図っていくべきかという視点で、たくさんのデータを見てみなさんとディスカッションを交わす。ぜひ前期で学んだ知識を引き出しているいろいろな視点から意見を出して欲しい。後半は、実務に現役で携わっている方々をお招きして店舗経営に関わるお話を聞かせていただく。前半と後半の内容はバラバラではなく、知識や情報のインプットとアウトプットを繰り返して実力を蓄えてもらうことを意図している。楽しんで参加して欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートは、その日の授業で学んだことを書いて提出すること。次回授業の冒頭に2～3事例を取り上げてみなさんと共有する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	1人につき1回のディスカッションで2つ以上の意見を出すこと				
	授業内試験						
	定期試験	40	ある事例を出題する。授業のポイントを踏まえて自分なりの意見、批判、提案を述べること				
	レポート	40	その日の授業で学んだことをレポートし提出すること				
	その他						
自由記載	積極的に参加してください。きっと社会人になって役に立つ経験ができると思います						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問は大歓迎です 疑問に思ったことはメールで知らせてください						
担当教員E-mail	4726alfagt@gmail.com(矢嶋)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (製DP6)【技能】サービス接遇に活かせる技術やコミュニケーション力、経営感覚を身につけている。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (製DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 小さなお店が選ばれるために必要なこと	矢嶋	講義、参考動画の視聴、レポート	自分が好きなお店をいくつかピックアップすること	30
2 /	小さなお店に惹かれる人々	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
3 /	競争を優位にする基盤 1 独自性のあるコア商品の品揃えを考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
4 /	競争を優位にする基盤 2 いかに安く売らずにすむかを考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
5 /	人的コミュニケーション1 業績と従業員の働く満足を考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
6 /	人的コミュニケーション2 口コミの影響を考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
7 /	顧客との継続的な関係づくりを考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
8 /	卒業生から、学びを深める	矢嶋 アンデケン 山田 外部講師	販売士の視座、経営者の視座で、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
9 /	食品研究、製品企画担当者に聞く	矢嶋 近畿製粉 株式会社 増田 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
10 /	卒業生から、学びを深める	矢嶋 クラブ ハリエ 中島	販売士の視座、経営者の視座で、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
11 /	売り場責任者から、学びを深める	矢嶋 イノブ 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
12 /	売り場責任者から、学びを深める	矢嶋 伊勢丹バ イヤー 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
13 /	売り場責任者から、学びを深める	矢嶋 ロテルド比 叡 唐沢 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
14 /	店舗を見て学びを深める	矢嶋 株式会社 マール フラン シュ 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
15 /	店舗を見て学びを深める	矢嶋 株式会社 パレット 堀川 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
パティスリーラッピング	灰藤友理子(専 任)	2年次	後期	1	演習	製菓／選択	○
							実務経験
Seminar in Patisserie wrapping							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ラッピングに関する歴史や知識を学び、基本的な包み方やリボンの結び方を習得する。 ・パティスリーラッピング検定3級を取得する。							
<b>授業の内容</b> 一般社団法人全国製菓衛生師養成施設協会の認定を受けたパティスリーラッピング検定3級の取得を目指す演習である。ラッピングは商品価値を高める大切な要素であり、ラッピング技術だけでなく、日本や西洋の贈り物の知識を学び、基礎を身につける。授業終了後に実施する筆記試験、実技試験に合格することで、パティスリーラッピング検定3級の資格を取得できる。							
教科書	『パティスリーラッピング 3級編』 一般社団法人 全国製菓衛生師養成施設協会（一般社団法人 全国製菓衛生師養成施設協会） 価格（本体880円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受講態度は、ラッピングを丁寧にやっているか、真面目に取り組んでいるかを評価します。ラッピングは丁寧に素早く行うことが大切です。繰り返し練習しましょう。パティスリーラッピング3級 受験料 3,500円						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業のなかでラッピングのチェックテストを行い、課題を評価した後、改善するべき箇所を伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	25	丁寧にまじめに取り組んでいるか評価する				
	授業内試験	25	授業内容を理解しているか評価する				
	定期試験	50	パティスリーラッピング3級試験の成績により評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	灰藤研究室 木曜日 12時40分～13時15分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学籍番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp（灰藤）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（製DP6）【技能】 サービス接客に活かせる技術やコミュニケーション力、経営感覚を身につけている。 （製DP8）思考・判断・表現】 自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 （製DP9）【思考・判断・表現】 製菓の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	パティスリーラッピングを始めるにあたって	灰藤	講義	指定の教科書を読んでくること	60
2 /	ラッピング資材、年中行事のギフトラッピングの特徴、ギフトを送る際のマナーについて	灰藤	講義	講義内容をまとめること、市販の様々なラッピングを観察すること	90
3 /	合わせ包み、横一文字かけ	灰藤	演習 持ち物(はさみ、カッター、定規)	演習内容を家で繰り返し練習すること	30
4 /	合わせ包み、蝶結び	灰藤	演習 アクティブ・ラーニング 持ち物(はさみ、カッター、定規)	演習内容を家で繰り返し練習すること	30
5 /	合わせ包み、横一文字かけ、蝶結び チェックテスト	灰藤	演習 持ち物(はさみ、カッター)	チェックテストに向けて、家で繰り返し練習すること	60
6 /	たとう包み、二重蝶結び	灰藤	演習 アクティブ・ラーニング 持ち物(はさみ、カッター、定規)	演習内容を家で繰り返し練習すること	30
7 /	たとう包み、二重蝶結び チェックテスト	灰藤	演習 持ち物(はさみ、カッター)	チェックテストに向けて、家で繰り返し練習すること	60
8 /	風呂敷包み、十字掛け	灰藤	演習 アクティブ・ラーニング 持ち物(はさみ、カッター、定規)	演習内容を家で繰り返し練習すること	30
9 /	風呂敷包み、二重蝶結び	灰藤	演習 アクティブ・ラーニング 持ち物(はさみ、カッター、定規)	演習内容を家で繰り返し練習すること	30
10 /	風呂敷包み、十字掛け、二重蝶結び チェックテスト	灰藤	演習 持ち物(はさみ、カッター)	チェックテストに向けて、家で繰り返し練習すること	60
11 /	たて一文字掛け、斜め掛け、二重蝶結び	灰藤	演習 アクティブ・ラーニング 持ち物(はさみ、定規)	演習内容を家で繰り返し練習すること	30
12 /	たて一文字掛け、斜め掛け、二重蝶結び チェックテスト	灰藤	演習 持ち物(はさみ)	チェックテストに向けて、家で繰り返し練習すること	60
13 /	ギフトラッピング 1 資材の選択	灰藤	演習	今まで学習した内容の復習をしておくこと	60
14 /	ギフトラッピング 2 合わせ包み、十文字掛け、二重蝶結び	灰藤	演習 持ち物(はさみ、カッター、定規)	今まで学習した内容の復習をしておくこと	60
15 /	ギフトラッピング 3 資材選択からラッピングまでを完成させる	灰藤	演習 持ち物(はさみ、カッター、定規)	今まで学習した内容の復習をしておくこと	60
/	まとめと実技検定試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>フードコーディネート論</b>	弓削 高広(非常勤) 佐野 文彦(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	○
	佐倉 光(非常勤) 濱地 紳一(非常勤)						実務経験
	○						
Theory and Practice of Food Coordinates							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・食文化の歴史と現状および和洋中のメニュープランニングが理解できる。 ・食卓のコーディネート・サービス・マナーが学べる。 ・フードサービスマネジメントの基本が理解できる。							
<b>授業の内容</b> 現役のホテルサービスマンと日本料理・西洋料理・中国料理の各料理長による食の専門知識の講義を行う。食文化の歴史や現代のニーズを体験談を踏まえ授業をする。 後半は将来必要となりうるマネジメント目線での基礎知識を学習する。 また、学外授業としてホテルの見学を実施する。							
教科書	『三訂フードコーディネート論』（公社）日本フードスペシャリスト協会編（建帛社） 価格（本体1,900円＋税）						
参考書	『西洋料理の食卓作法』（キクロス出版） 価格（本体1,800円＋税）						
担当者からのメッセージ	現在の食に対する多様化は進み、消費者が求める「食」の関心が高くなってきています。直接お客様の料理に携わる各料理長と飲食に関わるサービス責任者が、ホテル事業の現状なども授業に盛りこみ進めます。 授業態度は遅刻、欠席を反映します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	定期試験は筆記試験を実施する。試験問題は教科書、配付プリントなどから出題し、試験後に解答を配付する。 ホテル見学後のレポートは定期試験時に提出。返却はしない。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	遅刻、欠席の回数を含む授業態度				
	授業内試験						
	定期試験	80	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	10	ホテル見学後の感想および提案について				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、直接ホテルに来館されても結構です						
担当教員E-mail	ta-yuge@princehotels.co.jp（弓削）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（食DP11）【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。 （製DP11）【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	フードコーディネートの基本理念	弓削	講義	予習 フードコーディネートの論の一読	90
2 /	食卓のコーディネート カトラリーの知識	弓削	講義	復習 フードコーディネートの基本理念 予習 食卓のサービスとマナー	90
3 /	食卓のサービスとマナー1 食文化とマナーの歴史	弓削	講義	復習 食卓のコーディネート 予習 メニュープランニング(日本料理)	90
4 /	食文化の変遷とメニュープランニング (日本料理1) 日本料理の歴史ほか	濱地	講義	復習 食卓のサービスとマナー 予習 メニュープランニング(日本料理)	90
5 /	食文化の変遷とメニュープランニング (日本料理2) 日本料理の献立構成について	濱地	講義	予習 メニュープランニング(日本料理)	90
6 /	食文化の変遷とメニュープランニング (日本料理3) 現代の日本料理と地産池消	濱地	講義	予習 メニュープランニング(西洋料理)	90
7 /	食文化の変遷とメニュープランニング (西洋料理1) フランス料理の歴史と文化	佐野	講義	予習 メニュープランニング(西洋料理)	90
8 /	食文化の変遷とメニュープランニング (西洋料理2) フランス料理のメニュー構成について	佐野	講義	予習 メニュープランニング(西洋料理)	90
9 /	食文化の変遷とメニュープランニング (西洋料理3) 現代のフランス料理と今後	佐野	講義	予習 メニュープランニング(中国料理)	90
10 /	食文化の変遷とメニュープランニング (中国料理) 中国料理の歴史とメニュー構成について	佐倉	講義	予習 食卓のサービスとマナーのおさらい	90
11 /	食卓のサービスとマナー2 テーブルマナーの知識と実践	弓削	講義	予習 食空間のコーディネート	90
12 /	食空間のコーディネート 基本的なテーブルセッティング	弓削	講義	予習 フードマネジメント	90
13 /	フードサービスマネジメント1 マーケティングによるメニュー管理	弓削	講義	予習 フードマネジメント	90
14 /	フードサービスマネジメント2 店舗のマネジメント	弓削	講義	復習 フードマネジメント	90
15 /	施設見学会	弓削	びわ湖大津プリンスホテルの施設見学	復習 見学レポートの提出準備	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>食品の官能評価・鑑別論</b>	原 知子(専 任)	2年次	後期	1	講義	選択	○
							実務経験
Sensory Evaluation and Judgement of Food							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>物の真價を見極めようとする姿勢を身につける。</li> <li>食品の評価方法について、特に官能評価の方法について理解する。</li> <li>科学的な方法によって評価、判断する姿勢を身につける。</li> </ul> <b>授業の内容</b> 食品を評価する方法に、物理・化学・生物的手法を用いる方法と官能評価による方法がある。そこでまず、鑑別のための方法について学ぶ。さらに、数種の個別食品について材料ごとの特徴や違いを確認し、規格等についても学ぶ。実験に対応した内容復習が多いため、前期に食品の官能評価・鑑別実験を履修することが望ましい。 またフードスペシャリスト資格試験に必要な知識等の学習も含む。							
教科書	『食品の官能評価・鑑別演習』 フードスペシャリスト協会（建帛社） 価格（本体2,200円+税）						
参考書	授業内にて随時紹介する						
担当者からのメッセージ	食品の官能評価・鑑別実験で実施する内容に関する講義が多いので、前期に受講し、内容の理解を深めてください。受講態度は、毎回のレスポンスペーパー等の提出物により評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回授業コメントや質問を記入してもらい、次回の返却時に理解の不具合等があればコメントにて修正する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業内容に興味を持ち積極的な参加を評価				
	授業内試験	10	講義内での提出物・確認試験により評価				
	定期試験						
	レポート	80	課題レポートにより評価する				
	その他	5	レスポンスペーパーの記述を評価				
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp（原）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。 (製DP3)【知識・理解】食の安全と健康の関わりを理解している。 (製DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	官能評価の手法について	原	講義、演習	実験の授業とあわせて実際に官能評価の手法を使えるように復習する	60
2 /	食に関する仕事に必要な知識や技術	原	講義、演習 アクティブ・ラーニング	身近な食の専門職についてどんな仕事をするのか確認しておく	60
3 /	食べ物の品質	原	講義、演習 アクティブ・ラーニング	スーパーやコンビニで並ぶ商品を日頃から観察しておく	60
4 /	化学的評価法	原	講義	教科書の関連項目について復習する	60
5 /	評価方法と産地判別・品質評価例	原	講義	講義内容と教科書の関連内容について復習する	60
6 /	物理的評価法	原	講義、演習	講義ではカバーできていない内容について教科書で確認しておく	60
7 /	油脂の種類と特徴	原	講義	講義資料と教科書の関連項目について復習する	60
8 /	調味料の種類と分類	原	講義	教科書の関連項目を復習する。課題に沿って大レポートを作成し提出する	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
<b>食品の官能評価・鑑別実験</b>	原 知子(専 任)	2年次	前期	1	実験	選択	○
							実務経験
Experiment in Sensory Evaluation and Judgement of Food							
資格等取得との関連	フードスペシャリスト資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・官能評価の手法を理解する。 ・品質等を比較、科学的に評価する姿勢を身につけ、少なくとも1種類の食品について鑑別方法が実践できるようにする。 ・食材の調理性の「なぜ」について自分の目で確かめる姿勢を養う。							
<b>授業の内容</b> 食品の安全性についての不安や提供されている食品への不信感が増大している昨今では、食品を提供する立場にとっても、消費者にとっても、食品を正しく評価判断することがますます重要になっている。評価の方法については、化学的、物理的な評価方法とならび、人間が総合的にどう評価するか、ということも重要である。 そこで、官能評価を実際に実施して学習する、さらに個々の食品や食材の加工工程について実際に比較し、評価や見分けかたを実施してみる。これらを通じて、日々利用する食材や食品を評価したり見分けたりする力を養う。 (自ら実験するというアクティブ・ラーニング手法を通じて、課題解決のための知識や考え方を自主的・協同的に学ぶ。)							
教科書	『食品の官能評価・鑑別演習』 フードスペシャリスト協会 (建帛社) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	授業内容に関連して随時紹介する						
担当者からのメッセージ	受講態度は、実験への積極的な取り組み、考えの進め方についての観点で評価する。 実験の順序は試料準備の都合等によって入れ替えることがあることを了解願います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートは返却時にコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	実験への取り組みを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	実験のレポート内容を評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP11)【態度・志向性】多様化する現代の食生活に関心を持ち、それらを総合的に捉えることができる。 (製DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (製DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 官能評価の方法	原	講義、演習	教科書で、官能評価の方法について、復習し、次回からの実験の予習につなげる	60
2 /	官能評価の実際 1 順位法による比較	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
3 /	官能評価の実際 2 五味について	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
4 /	味覚の不思議ーレモンが甘い？	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
5 /	塩味について	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
6 /	天然イクラと人工イクラ	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
7 /	だしについて	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
8 /	果物の品種の違い 米の鑑別	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
9 /	茶碗蒸しが固まらない？ ゼラチンゼリーが固まらない？	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
10 /	調理と色素	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
11 /	食品のかたさ	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ提出する	60
12 /	小麦粉の比較	原	実験	実験した結果をレポートにまとめ、これまでのプリント、レポートとともにファイルして提出する	60
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>道徳教育論</b>	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	前期	1	講義	-	○
							実務経験
Moral Education							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・道徳の意義や原理を踏まえ、道徳教育の目標や内容を理解する。 ・学校の教育活動全体をとおしておこなう道徳教育、また、「特別の教科 道徳」における指導計画や指導方法を理解する。							
<b>授業の内容</b> 道徳教育の内容や指導法について理解し、教員として道徳教育の実践を行うために必要な指導力を育成することをめざす。授業ではバズセッションを多用する。							
教科書	なし						
参考書	『子どもを育てない親、親が育てない子ども－妊婦健診を受けなかった母親と子どもへの支援』井上寿美・笹倉千佳弘（生活書院） 『虐待ゼロのまちの地域擁護活動－施設で暮らす子どもの「子育ての社会化」と旧沢内村』 井上寿美・笹倉千佳弘（生活書院）						
担当者からのメッセージ	本授業では、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れているため、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	道徳の本質と道徳教育の歴史 (45分授業)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見通しを たてる	90
2 /	子どもの道徳性の発達	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	学習指導要領における道徳教育	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	道徳教育の指導(教科と教育活動全体を含む)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	道徳科の特質とそれをふまえた指導方法	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	道徳科の授業設計と指導案の作成	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	道徳科の学習評価	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	模擬授業	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別活動論</b>	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	前期	1	講義	-	○
							実務経験
Theory of Extracurricular Activities							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・学校教育における特別活動と総合的な学習の時間の意義を理解する。 ・特別活動と総合的な学習の時間の関係を理解する。 ・特別活動と総合的な学習の時間の指導計画を作成できる実践力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 特別活動の意義や内容、指導法についての理解を深めるとともに、特別活動の現状や課題を踏まえて、実践的指導力の育成を目指す。授業ではバズセッションを多用する。							
教科書	なし						
参考書	『子どもを育てない親、親が育てない子ども－妊婦健診を受けなかった母親と子どもへの支援』井上寿美・笹倉千佳弘（生活書院） 『虐待ゼロのまちの地域擁護活動－施設で暮らす子どもの「子育ての社会化」と旧沢内村』井上寿美・笹倉千佳弘（生活書院）						
担当者からのメッセージ	本授業では、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れているため、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	学習指導要領における特別活動	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んでくること 復習：本授業全体の見通しをたてる	90
2 /	教育課程における特別活動	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	学級活動、ホームルーム活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の特質	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	特別活動の指導とその評価・改善活動	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	具体的な取組の検討をとおした集団活動の意義や指導の在り方	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	総合的な学習の時間の意義と原理	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	総合的な学習の時間の指導計画作成(45分授業)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>生徒指導論</b>	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	前期	2	講義	-	○
							実務経験
Theory of Student Guidance							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・学校教育における生徒指導の意義や原理を理解する。 ・子ども理解、及び、子どもの最善の利益の保障という視点の重要性を理解する。 ・生徒全体と生徒個別のそれぞれにおいて、適切な指導ができる実践力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 学校・学級を形成・維持していくうえで子どもをどのように理解すればよいのか、また、子どもの自己実現に向けたサポートのあり方などに関する実践的指導力の育成を目指す。授業ではバズセッションを多用する。							
教科書	なし						
参考書	『子どもを育てない親、親が育てない子ども－妊婦健診を受けなかった母親と子どもへの支援』井上寿美・笹倉千佳弘（生活書院） 『虐待ゼロのまちの地域擁護活動－施設で暮らす子どもの「子育ての社会化」と旧沢内村』井上寿美・笹倉千佳弘（生活書院）						
担当者からのメッセージ	本授業では、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れているため、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP9)【思考・判断・表現】食の現場で活躍するための創造性と判断力を持っている。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見通しを たてる	90
2 /	教育課程における生徒指導	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	学校教育における生徒指導の意義や重要性	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	集団指導と個別指導の方法原理	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	生徒指導体制と教育相談体制の基礎的な考え方	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	学級担任、教科担任、及び校務分掌上の立場 や役割	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	生徒指導における組織的な取組	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	日常的な生徒指導をととした生活習慣の確立 や規範意識の醸成	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	具体的事例の検討をととした自己存在感の育 成方法	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	生徒指導に関する主な法令	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	生徒指導上の課題とそれらへの対応（暴力行 為・いじめ・不登校等）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	生徒指導上の課題とそれらへの対応（イン ターネット・性・児童虐待等）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	具体的事例の検討をととした専門家や関係機 関との連携の在り方	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育相談</b>	志田 望(非常勤)	2年次	後期	2	講義	-	○
							実務経験
							○
Shooll Counseling							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・児童・生徒が学校・家庭・社会の中で遭遇する可能性のある課題について、生徒およびその関係者の状況を適切に把握しながら支援方法を考えることができるようになる。 ・学校現場で活用できる教育相談のスキルを身につけることができるようになる。 ・教育相談を受ける生徒・児童の視点で思考することができるようになる。							
<b>授業の内容</b> 公立中学、高校のスクールカウンセラーの経験を持つ者が指導する。 児童・生徒たちは、成長の過程でさまざまな課題に直面する。彼らは、自分の力で課題を乗り越えることもあれば、困惑し、適切に対処するための行動をとれない場合もある。教育相談は、課題に直面する児童・生徒たちへ、共感的に応じ、課題への取り組み方の方向性を示唆し、解決への可能性について話し合う活動である。 この授業では、児童・生徒が学校で出会う可能性がある諸問題について、その課題を子どもたち自身の力で乗り越えられるように支援する方法について学ぶことを目的とする。また、個別相談や集団に対して活用できるカウンセリング技法についても実践力を高めていくことを考えている。							
教科書	なし						
参考書	システム論からみた学校臨床(吉川悟(編)、金剛出版) 価格(本体3,600円+税)						
担当者からのメッセージ	学校現場における教育相談は、紙上だけで学ぶことはなかなか難しく、実践経験を積み、振り返りながら行うことが必要になる。この授業では、講義とロールプレイを中心に、生徒・児童の立場について体験的に学びながら、彼らが抱える課題についての見立てを身につけることを目的とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各回の授業で、コメントシートを配付し、次回の授業で質問・感想をフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講態度及びロールプレイ等の積極的参加				
	授業内試験	60	授業内容に関する記述試験				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 授業の概要と到達目標の説明	志田	講義	教育相談について可能な範囲 で調べる	60
2 /	生徒指導と教育相談 「解決志向」という考え方	志田	講義	講義内容をまとめる	60
3 /	カウンセリング 教育相談の一手法	志田	講義	講義内容をまとめる	60
4 /	カウンセリングの技法 カウンセリングに必要な態度	志田	ロールプレイ	ロールプレイを振り返る	60
5 /	困っていることを相談すること 相談のロールプレイ	志田	ロールプレイ	ロールプレイを振り返る	60
6 /	コミュニケーション理論 MRIアプローチ	志田	講義	講義内容をまとめる	60
7 /	実践力を高める1 問題の見立て	志田	ロールプレイ	ロールプレイを振り返る	60
8 /	ブリーフセラピー ソリューション・フォーカスト・アプローチ	志田	講義	講義内容をまとめる	60
9 /	実践力を高める2 例外探し	志田	ロールプレイ	ロールプレイを振り返る	60
10 /	不登校の理解と対応	志田	講義	講義内容をまとめる	60
11 /	実践力を高める3 不登校相談のロールプレイ	志田	ロールプレイ	ロールプレイを振り返る	60
12 /	思春期・青年期における発達障害の理解と対応	志田	講義	講義内容をまとめる	60
13 /	思春期・青年期における精神医学的問題	志田	講義	講義内容をまとめる	60
14 /	実践力を高める4 教育相談のロールプレイ	志田	ロールプレイ	ロールプレイを振り返る	60
15 /	まとめ 教育相談の機能性	志田	講義	授業全体を振りかえりまとめる ・レポートの作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>栄養教諭教育実習</b>	灰藤友理子(専任) 笹倉千佳弘(専任)	2年次	前期集中	1	実習	-	○
							実務経験
Teaching Practice on Diet and Nutrition Education							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・児童・生徒との接触を通して児童・生徒を理解し、それに基づいた信頼関係を築くことができる。 ・児童・生徒の実態に即した学習指導計画をたて、児童・生徒の主体性を尊重した食に関する授業をすることができる。 ・大学において学んだ理論や知識・技術を深め、それらを実際の学校教育に適用するとともに、自らの教育実践に関する具体的な課題を見つけることができる。 ・栄養教諭の役割や職務について理解し、また自己の教員としての能力や適性について把握することによって、今後自らに必要な教員としての学びを見つけることができる。							
<b>授業の内容</b> 栄養教諭教職課程の総合的な教育経験となる。栄養教諭課程の講義を通して得た知識と栄養士課程科目で得た知識を活用して、教育実習に取り組む。実習先では、学校教育全般の組織・運営を理解して、作成した指導案を基に授業を行い、食に関する実践的な指導力を身につけるとともに、児童・生徒の理解、学習の定着度を評価する力を培う。 また、実習中に自ら問題点を見つけ、残りの時間の中でより良く改善できるようアクティブ・ラーニングを実践する。							
教科書	なし						
参考書	教職課程（栄養教諭）に使用するテキスト、これまでの授業で使用した教科書、参考書など その他、指導案作成、教材研究にあたって、資料は適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	『実習の事前事後指導（栄養教諭）』には必ず出席してください。 実習期間は5日間であるため、実習開始までに十分な準備をして、実習中は指導教諭の指導のもと、日常生活活動、学校保健行事、食に関する教育活動などを実践します。 大津市の小・中学校の全教科の教科書を図書館に配架しているので、食育と関連付けながら熟読してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	指導案、教材作成等、個別に添削指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	実習先の評価を反映する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	20	実習簿（毎日の記録に加え、自主研究や研究授業の過程も評価する）				
自由記載							
オフィスアワー	灰藤研究室 月曜日 12時10分～16時 笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学籍番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp（灰藤） c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（食DP2）【知識・理解】個人や集団を対象とする栄養学に関する知識を身につけている。 （食DP6）【技能】地域の食文化を継承できる食の専門家として食育を実践できる。 （食DP8）【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 （食DP10）【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 （食DP12）【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	1日目 全校集会(あいさつ)、指導講話、観察実習、 参加実習など	灰藤 笹倉	実習校での教育実習	実習ノートをまとめる	180
2 /	2日目 指導講話 観察実習、参加実習、食に関する 教育活動など	灰藤 笹倉	実習校での教育実習	実習ノートをまとめる	180
3 /	3日目 指導講話 観察実習、参加実習、食に関する 教育活動など	灰藤 笹倉	実習校での教育実習	実習ノートをまとめる	180
4 /	4日目 指導講話 観察実習、参加実習、食に関する 教育活動など	灰藤 笹倉	実習校での教育実習	実習ノートをまとめる	180
5 /	5日目 指導講話 観察実習、参加実習、食に関する 教育活動など	灰藤 笹倉	実習校での教育実習	実習ノートをまとめる	180
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教職実践演習 (栄養教諭)</b>	灰藤友理子(専任) 笹倉千佳弘(専任)	2年次	後期	2	演習	-	○
							実務経験
							○
Practical Seminar in Diet and Nutrition Education							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・食の大切さを次世代に引き継いでいくことを目指した栄養教育を展開することができる。 ・食を使ったさまざまな食育のあり方を学び、心身共に成長できる食育を実践することができる。							
<b>授業の内容</b> 元栄養教諭が自らの経験をもとに様々な取り組みや現場の実際を伝える。食を身近なものにする大切な役割を担っていることを自覚するとともに、現場での栄養教諭の取り組みや食育活動を見学し、それらを伝える手段を学ぶ。また、自分の住む地域、郷土について理解を深め、さまざまな面から連携し、食育を展開できる視点を持つ。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	授業はプリントを中心に進めます。受講態度は、私語をせず真面目に取り組む姿勢を評価します。また、学校給食や食育に関する新聞記事や雑誌をよくチェックして、情報収集する手段を身につけましょう。配付プリントや演習課題ごとに提出したレポートは、最後に記録の綴りとして提出してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	回収した課題は次回の授業時にコメントをつけて返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の聴講態度により評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内で出された課題の完成度により評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	灰藤研究室 木曜日 12時40分～13時15分 笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分 メールでの質問・相談を随時受け付ける。(件名に学籍番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp (灰藤) c-sasakura@sumire.ac.jp (笹倉)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 栄養教諭教育実習の反省及びこれまでの学習の振り返り	灰藤 笹倉	講義、グループ討議	今までの教職課程の復習する 討議内容をまとめる	90
2 /	教員をめぐる社会状況	笹倉 灰藤	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
3 /	学級・他の職員との連携	灰藤 笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
4 /	家庭・地域との連携	灰藤 笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
5 /	児童・生徒・保護者への個別対応	灰藤 笹倉	講義、演習	講義内容をまとめる	120
6 /	栄養教諭の取り組み 1 児童に寄り添う食育とは	灰藤 笹倉 外部講師	講義	講義内容をまとめる	60
7 /	栄養教諭の取り組み 2 学校給食管理について	灰藤 笹倉 外部講師	講義	講義内容をまとめる 課題を作成する	90
8 /	栄養教諭の取り組み 3 現場での実践例について	灰藤 笹倉 外部講師	調理実習室 実践例と講義	実践例と実習した内容につい てまとめる	60
9 /	栄養教諭の取り組み 4 教師の役割と保護者の関係	灰藤 笹倉 外部講師	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
10 /	現代の子どもを取り巻く食の状況	灰藤 笹倉 外部講師	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
11 /	児童・生徒に対する責務	灰藤 笹倉 外部講師	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	60
12 /	実践演習、模擬授業 1 教材開発と指導案作成	灰藤 笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	模擬授業に向けて指導案を完 成させる	60
13 /	実践演習、模擬授業 2 教材作成	灰藤 笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	模擬授業に向けて教材を完成 させる	60
14 /	実践演習、模擬授業 3 模擬授業を行う	灰藤 笹倉	模擬授業、調理室での実習 アクティブ・ラーニング	模擬授業での反省をまとめる	60
15 /	まとめと反省	灰藤 笹倉	講義、グループ討議	記録の綴りと学習のまとめレ ポートの作成	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>実習の事前事後指導 (栄養教諭)</b>	灰藤友理子(専任) 笹倉千佳弘(専任) 濱口美弥子(非常勤)	2年次	前期	1	実習	-	○
							実務経験
							○
Workshop on Teaching Practice in Diet and Nutrition Education							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭教育実習の意義や内容等を理解し、教育実習における自らの課題を設定できる。</li> <li>・模擬授業の振り返りを通して授業改善ができ、食に関する基礎的な指導ができる。</li> <li>・教育実習の振り返りを通して、実習の成果や今後の課題を整理するとともに、今後の自らの教師としての成長を見通すことができる。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>元栄養教諭の教員が研究授業の内容や、教育実習先での着目点等について指導する。2年次前期又は後期に実施される栄養教諭教育実習の事前指導及び事後指導を内容とする。栄養教諭教育実習の意義を学ぶとともに、現場での授業を参観し、それを踏まえて指導案を作成し、模擬授業を実施することを通して、現場での実習に備える。</p> <p>この授業では、学校教育現場で活かせる、栄養教諭としての質の高い実践力の育成を目指す。栄養教諭の役割や職務内容を知り、栄養教諭教育実習に参加する意義や心得を深く理解し、栄養教諭として、食の大切さを効果的に児童・生徒に伝える教育方法や技術を身につけることを目標とする。</p>							
教科書	なし						
参考書	『小学校学習指導要領解説－家庭編－』 文部科学省編（東洋館出版）価格（本体95円＋税） 『わたしたちの家庭科 5・6』 櫻井純子他著（開隆堂）価格（本体274円＋税）など教職課程で使用している教科書 その他必要に応じて紹介する						
担当者からのメッセージ	教材研究への取り組み、指導案・板書・媒体等の完成度と教育実習報告会、授業参観など真剣に取り組む平素の授業ので積極的に発言し、参加できていることを受講態度の評価とします。 模擬授業は回数を重ね、自分の授業にすることが大切です。何回も練習し、自分自身が楽しんで行えるようにしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業や課題に対して、改善点等をその場で伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の聴講態度により評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	模擬授業や指導案の完成度により評価する				
自由記載							
オフィスアワー	灰藤研究室 月曜日 12時10分～16時 笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学籍番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-haitou@sumire.ac.jp（灰藤） c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(食DP7)【思考・判断・表現】修得した知識・技能・態度等を総合的に活用できる。 (食DP8)【思考・判断・表現】自ら課題を立て、その課題の解決に取り組むことができる。 (食DP10)【態度・志向性】地域社会の健康づくりに貢献する姿勢と態度を身につけている。 (食DP12)【態度・志向性】主体的に判断・行動し、よりよい信頼関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	模擬授業 2 前回の反省点を踏まえ、再度模擬授業を行う	濱口 灰藤 笹倉	講義、模擬授業 アクティブ・ラーニング	指導案を完成させる	90
2 /	指導案の書き方 2 実習先のテーマに合わせて書く	濱口 灰藤 笹倉	講義、演習	模擬授業を参考にし指導案を 完成させる	90
3 /	教育実習直前オリエンテーション 各種書類の書き方、実習の心得	灰藤 笹倉	講義	教育実習の手引きを熟読する	120
4 /	教育実習の反省と総括 1 教育実習報告会	灰藤 笹倉	口頭発表 アクティブ・ラーニング	教育実習の内容をまとめる	180
5 /	教育実習の反省と総括 2 実習報告書をまとめる	灰藤 笹倉	演習 アクティブ・ラーニング	今までの資料をそろえておく	30
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					





平成30年度入学生2年次開講

# シラバス

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科専門科目

音 楽	Ⅲ	松 井 典 子 柚 木 たまみ 他	156P
音 楽	Ⅳ	柚 木 たまみ	158P
図 画 工 作	Ⅲ	深 尾 秀 一	160P
図 画 工 作	Ⅳ	安 井 良 尚	162P
造 形 保 育		深 尾 秀 一	164P
幼 児 体 育	Ⅲ	山 中 博 史	166P
幼 児 体 育	Ⅳ	山 中 博 史 北 尾 岳 夫	168P
情 報 処 理 基 礎	Ⅱ	荻 田 純 久 林 泰子	170P
国 語		金 澤 雄 介	172P
算 数		久 米 央 也	174P
教 育 の 方 法 及 び 技 術		李 霞	176P
教 育 保 育 課 程 論		李 霞	178P
保 育 者 論		永 久 欣 也	180P
総 合 表 現	Ⅱ	松 井 典 子 深 尾 秀 一 柚 木 たまみ 村 井 愛 美	182P
表 現 の 指 導 法		前 川 頼 子	184P
乳 児 保 育 ( ① ③ )		内 藤 幸 枝 子	186P
乳 児 保 育 ( ② ④ )		内 森 孝 子	188P
障 が い 児 保 育		林 幸 範	190P
子 ども の 食 と 栄 養 ( ① ③ )		原 知 子	192P
子 ども の 食 と 栄 養 ( ② ④ )		小 谷 清 子	194P
子 ども の 保 健	Ⅱ	飯 盛 順 子	196P
子 ども の 精 神 保 健		荻 田 純 久	198P
児 童 ・ 青 年 期 の 心 理 学		荻 田 純 久	200P
保 育 臨 床 相 談		荻 田 純 久	202P
相 談 援 助		松 木 宏 史	204P
保 育 相 談 支 援		前 川 頼 子	206P
地 域 福 祉		岡 本 芳 也	208P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 保 育 所 ) A		浜 崎 由 紀 子	210P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 保 育 所 ) B		永 久 欣 也	212P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 保 育 所 ) C		三 上 佳 子	214P
保 育 所 実 習	Ⅱ	永 久 欣 也 浜 崎 由 紀 子	216P
保 育 実 習 指 導 Ⅱ ( 施 設 )		林 幸 範 松 木 宏 史	218P
施 設 実 習	Ⅱ	林 幸 範 松 木 宏 史	220P
教 育 実 習 ( 事 前 事 後 指 導 1 )		前 川 頼 子	222P
教 育 実 習 ( 事 前 事 後 指 導 2 )		久 米 央 也	224P
教 育 実 習 ( 事 前 事 後 指 導 3 )		三 上 佳 子	226P
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 ( ① 1 ③ 1 )		林 幸 範	228P
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 ( ① 2 ③ 2 )		李 霞	230P
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 ( ② 1 ④ 1 )		前 川 頼 子	232P
保 育 ・ 教 職 実 践 演 習 ( ② 2 ④ 2 )		永 久 欣 也	234P

専	門	演	習	I	荻田純久	236P											
専	門	演	習	I	柚木たまみ	238P											
専	門	演	習	I	北尾岳夫	240P											
専	門	演	習	I	深尾秀一	242P											
専	門	演	習	I	前川頼子	244P											
専	門	演	習	I	松木宏史	246P											
専	門	演	習	I	久米央也	248P											
専	門	演	習	I	李霞	250P											
専	門	演	習	I	浜崎由紀	252P											
専	門	演	習	I	松井典子	254P											
専	門	演	習	I	林幸範	256P											
専	門	演	習	I	永久欣也	258P											
専	門	演	習	II	荻田純久	260P											
専	門	演	習	II	柚木たまみ	262P											
専	門	演	習	II	北尾岳夫	264P											
専	門	演	習	II	深尾秀一	266P											
専	門	演	習	II	前川頼子	268P											
専	門	演	習	II	松木宏史	270P											
専	門	演	習	II	久米央也	272P											
専	門	演	習	II	李霞	274P											
専	門	演	習	II	浜崎由紀	276P											
専	門	演	習	II	松井典子	278P											
専	門	演	習	II	林幸範	280P											
専	門	演	習	II	永久欣也	282P											
公	務	員	教	育	保	育	職	特	別	講	義	II	久	米	央	也	284P

### 幼児教育保育学科選択自由科目

レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	演	習	(	幼	教	)	山	中	博	史	286P			
レ	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	指	導	法	実	習	(	幼	教	)	山	中	博	史	288P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>音楽Ⅲ</b>	松井 典子(専任) 柚木たまみ(専任) 他	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music Ⅲ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・伴奏を簡易化できる知識を身に付け、コード奏による弾き歌いのレパートリーを増やす。 ・童謡弾き歌いのレパートリーを増やすとともに、伴奏技術を高める。 ・より音楽的な演奏が出来るようにピアノ演奏技術や表現力の向上を目指し、実践することができる。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である(松井)。 音楽Ⅰ・Ⅱで習得したピアノ奏法をもとに活用、発展し現場で活かせる実践力を身につける。 クラス授業 [45分] では、主要三和音・コードネームを理解し、童謡の簡易伴奏付け、伴奏形のアレンジ、活動目的に応じたリズムについて学びを深める。コードによる簡易伴奏付けによる弾き歌いのレパートリーの強化を行う。クラス授業の弾き歌いでは、ピアノ片手連弾奏を適宜取り入れ、旋律と伴奏のバランス、歌唱と伴奏のバランスを考え、歌唱やピアノ技能のスキルアップを目指す。 ピアノレッスン [45分] は3人単位のグループで、1人15分の個人レッスンを行う。コードネームによる童謡の伴奏付けと、音楽表現の幅を広げる目的で「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム」「ソナタアルバム」など個々の進度に応じた楽曲の習得を目指す。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税) 『幼稚園教諭・保育士をめざす人のためのテキスト ピアノへのアプローチ 4 Steps』 伊藤 嘉子 他 (音楽之友社) 価格(本体2,600円+税)						
参考書	授業内で適宜配付する						
担当者からのメッセージ	ピアノ教則本は、「バイエル」「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネ」「ソナタ」等 個々の演奏技能に応じて担当者が指示する。 楽器演奏の習得は、日々の練習の積み重ねが大切である。15回の授業には、必ず復習・予習し、ピアノ課題を練習して臨むこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業内で行う試験は、個々にコメントし、今後の練習方法をアドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	授業内試験	20	歌唱テスト(弾き歌い課題)				
	定期試験	60	ピアノ実技試験				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付(電子メールによる事前予約が望ましい)						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井) t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】 子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	音楽Ⅱの振り返り 音楽Ⅲの課題を発表 音程について(長三和音、短三和音、減三和音、増三和音) ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	音楽Ⅱの振り返りをしておく ピアノ曲の練習	210
2 /	短音階について(イ短調を例に挙げて) 長音階の復習 主要三和音について ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
3 /	前回の振り返り 主要三和音について コードネームについて ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
4 /	主要三和音について コードネームの解説(C Major) コードネームによる弾き歌いモデル1 ピアノ個人レッスン (C Major)	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
5 /	コードネームの解説(C Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル2 (C Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
6 /	コードネームの解説(G Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル1 (G Major) ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
7 /	コードネームの解説(G Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル2 (G Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
8 /	G Majorのまとめ コードネームによる弾き歌いモデル3 (G Major) 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
9 /	コードネームの解説(F Major) 和音の転回と連結 コードネームによる弾き歌いモデル1 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
10 /	コードネームの解説(F Major) コードネームによる弾き歌いモデル2 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
11 /	F Majorのまとめ コードネームによる弾き歌いモデル3 伴奏形のアレンジ ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
12 /	コードによる弾き歌いモデルの振り返り1 歌唱テスト(弾き歌い課題曲から)の予告 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の練習	210
13 /	コードによる弾き歌いモデルの振り返り2 歌唱試験課題の練習 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	講義と演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の練習	210
14 /	歌唱テスト ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	歌唱テスト	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習 歌唱試験課題の復習	210
15 /	まとめ 振り返りと成果の確認 ピアノ個人レッスン	松井 柚木 他	演習	授業内容の復習 弾き歌い・ピアノ曲の練習	210
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>音楽Ⅳ</b>	柚木たまみ(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music IV							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・いろいろなアンサンブル（合唱・合奏）を体験する。 ・人と合わせながら音楽を表現する技術を身につけて演奏することができる。 ・より高度な音楽的感受性を身につける。							
<b>授業の内容</b> 保育・幼児教育の現場で行われる様々な形態のアンサンブル（合唱・合奏）を体験する。個々の演奏技術を高めるだけでなく、集団音楽活動の意義を考えながら、実践力と指導力を身につける。さらに教員の長年にわたる演奏家、音楽療法士としての経験を生かした表現技術や音楽の捉え方についても言及する。							
教科書	なし						
参考書	随時プリント配付						
担当者からのメッセージ	一人では作ることのできない、1 + 1 = 2 以上のものが生まれるアンサンブル。その楽しさ、喜びをいっぱい体感してください。そしてアンサンブルは、メンバーが揃ってこそ練習の成果が上がります。効率良く成果を上げるために、欠席のないように心がけてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	アンサンブル演奏の発表の場を設け、学生相互および担当教員による感想を交わす。加えて教員からは、練習段階からのプロセスを含めた総評を述べる。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	個々の自発的・積極的取り組み、集団における協調性とリーダーシップを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	授業と成果発表を経て、まとめのレポートを作成する				
	その他	30	発表の場において練習の成果を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木）						
教員相互授業参観	15回目の授業を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション デモンストレーション演奏 合唱(斉唱)	柚木	講義と演習 グループ討議	やってみたいアンサンブル形態と楽曲を考えておく	30
2 /	合唱(斉唱・二部合唱)	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
3 /	合唱(二部合唱) 合奏(パート決め) リズム楽器と旋律楽器の特性	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
4 /	合唱(二部合唱・三部合唱) 合奏(パート練習)	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
5 /	合唱(二部合唱・三部合唱) 合奏(パート練習)	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
6 /	合唱(二部合唱・三部合唱) 合奏	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
7 /	合唱(二部合唱・三部合唱) 合奏 発表曲目の決定	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
8 /	指揮法	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
9 /	発表曲の練習	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
10 /	発表曲の練習	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
11 /	発表曲の練習	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
12 /	発表曲の練習	柚木	講義と演習	個々の担当パートの練習	90
13 /	発表曲の練習 発表に向けた準備確認(プログラム作成、タイムスケジュール等)	柚木	講義と演習 グループ討議	個々の担当パートの練習 楽譜等の整理	120
14 /	発表曲の練習 発表当日に向けてのリハーサル、最終確認	柚木	講義と演習 グループ討議	個々の担当パートの練習 楽譜等の整理	120
15 /	成果発表会 まとめ	柚木	演奏発表 グループ討議 レポート作成	個々の担当パートの練習 学習のまとめレポートの作成	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>図画工作Ⅲ</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Arts and Crafts Ⅲ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・造形素材の違いによる表現の違いを知り、表現の幅広い可能性を理解する。 ・保育の実践的展開を支える高度な技能を修得する。 ・自らの感性を磨き、造形分野で表現を積極的にすることができる。							
<b>授業の内容</b> 造形表現の基本的な事柄を確認しつつ、応用的・総合的な造形表現に取り組む。保育の実践的展開を支える個々の基礎技能の充実を目指す。演習の内容は保育実践の場での可能性を考慮して、いろいろな制作体験を行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	美術館や図書館で様々な美術作品を鑑賞し自己の感性を高めましょう。制作を楽しみ、主体的、意欲的な学習態度で取り組んでください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	積極的な活動、および主体的な学びを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	制作課題作品について評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分(事前予約が望ましい) その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp (深尾)						
教員相互授業参観	8回目の授業を公開する(参加の2週間前までにご連絡ください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	フォトモンタージュの技法を学ぶ 写真を集め、遊ぶ	深尾	講義と演習 作品制作	多くの写真やイメージを無作為に集めておく	90
2 /	フォトモンタージュの技法を学ぶ 課題作品の完成	深尾	演習 作品制作	無作為による構成からの新しい世界ができることを理解しておく	90
3 /	デザイン基礎 1 単化法について 物の観察とアイデアスケッチから下絵へ	深尾	講義と演習 作品制作	単純化とデフォルメについてまとめる	90
4 /	デザイン基礎 2 ポスターカラーを使って制作	深尾	演習 作品制作	物の性質や、用途など目に見えないものをどう表現するか研究する	90
5 /	デザイン基礎 3 完成、提出	深尾	演習 作品制作	ポスターカラーの使い方や、描画用具の使い方をまとめる	90
6 /	色彩構成1 色面による抽象表現 デザインから制作へ	深尾	講義と演習 作品制作	抽象表現における構成要素を理解しまとめる	90
7 /	色彩構成2 色面による抽象表現 作品の完成	深尾	演習 作品制作	完成できるように作品を進めておく	90
8 /	紙粘土による造形 1 指人形の成形	深尾	演習 作品制作	紙粘土の作り方や手順、形成の仕方をまとめる	90
9 /	紙粘土による造形 2 指人形の成形 手などの部品製作	深尾	演習 作品制作	人形の装飾について検討する	90
10 /	粘土遊び 幼稚園にて1 年小クラス	深尾	演習 模擬保育	土粘土の持つ造形性について、環境構成を考える	90
11 /	粘土遊び 幼稚園にて2 年中クラス	深尾	演習 模擬保育	土粘土の持つ造形性について、環境構成を考える	90
12 /	粘土遊び 幼稚園にて3 年長クラス	深尾	演習 模擬保育	土粘土の持つ造形性について、環境構成を考える	90
13 /	粘土遊び 幼稚園にて4 縦割り保育(異年齢保育)	深尾	演習 模擬保育	土粘土の持つ造形性について、環境構成を考える	90
14 /	紙粘土による造形 3 人形への彩色や衣装の制作	深尾	演習 作品制作	人形の装飾について検討する	90
15 /	紙粘土による造形 4 指人形の完成	深尾	演習 作品制作発表	図画工作Ⅲの授業全体をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>図画工作Ⅳ</b>	安井 良尚(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Arts and Crafts IV							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・造形素材の違いによる表現の違いを知り、表現の幅広い可能性を理解できる。 ・保育の実践的展開を支える高度な技能を修得する。 ・自らの感性や表現力を高め、完成度の高い作品を作ることができる。							
<b>授業の内容</b> 担当教員には、版画作品を中心に発表しながら、多くの教育現場で造形やデザインの基礎となる授業を担当してきた経験があるため、実際に指導する場合の展開について考察しながら作品制作をすすめます。 立体表現では、作品制作において使用目的に合わせた木材や紙などの様々な素材研究を行い、幼児の活動教材としての可能性を探ります。また平面表現では、版画の作業工程を理解し、間接表現をととして自己表現の実現を図ります。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	美術館や図書館で美術作品を鑑賞し感性を高めましょう。 制作を楽しみ、主体的、意欲的な学習態度で取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業態度と作品制作への取り組みの積極性を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	80	作品制作の意図を理解して取り組んだかを作品の完成度から評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yoyasui.23@gmail.com (安井)						
教員相互授業参観	14,15回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】 子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	型取り作品を作る「かぼちゃのランタン」 和紙の貼り付け	安井	講義と演習 作品制作	型取りや紙の特質についてまとめる	90
2 /	型取り作品を作る「かぼちゃのランタン」 組み立て 演習	安井	演習 作品制作	作業工程と作業時間の配分等 についてまとめておく	90
3 /	型取り作品を作る「かぼちゃのランタン」 彩色	安井	演習 作品制作	オリジナルのデザインを 考えておく	90
4 /	ゲームを作る 構想	安井	講義と演習 作品制作	ボードゲームなどの資料を 集めておく 使用する素材を集めておく	90
5 /	ゲームを作る 試作	安井	演習 作品制作	制作計画を立てて素材を 選んでおく	90
6 /	ゲームを作る 制作	安井	演習 作品制作	使用者の立場に立って制作 できているか考えておく	90
7 /	ゲームを作る 完成	安井	演習 作品制作	完成後、実際に使用して感想、 改善点をまとめる	90
8 /	動く作品を作る 構想	安井	講義と演習 作品制作	動く彫刻や立体物の資料を 見しておく 使用する素材を準備しておく	90
9 /	動く作品を作る 試作	安井	演習 作品制作	動きと素材の関係を まとめる	90
10 /	動く作品を作る 制作	安井	演習 作品制作	設置しながら制作を進める	90
11 /	動く作品を作る 動作の調整	安井	演習 作品制作	完成後、動きに素材が生か されたか考察してまとめる	90
12 /	版画を作る 構想	安井	講義と演習 作品制作	版画についての技法などを 調べておく	90
13 /	版画を作る 制作 試し刷り	安井	演習 作品制作	表現したいことと素材との 関係を考える	90
14 /	版画を作る 制作 試し刷り	安井	演習 作品制作	版計画がうまくいったか まとめる	90
15 /	版画を作る 完成	安井	演習 作品制作	完成後、版画の鑑賞方法を まとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>造形保育</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Creative Art in Childcare							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼児の造形表現活動を保障し、育てる上で必要な配慮や内容について理解する。 ・ 環境設定や、造形素材や用具類の扱いから、準備、片付け、保管方法に至る具体的手順を身に付け、保育現場で活かせることができる。							
<b>授業の内容</b> 保育者は、モノと戯れる中で生み出される幼児の造形を、開かれた心で受けとめることが要求されます。また、幼児の描きつくるそのあるがままの姿を、幼児の側に立って、とらわれのない目でしっかりと見据えることが重要です。この授業では、幼児の造形表現の特色・意義を考え、具体的な配慮や内容のあり方について演習の中から学びます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	卒業後すぐに活躍できるだけの力をつけるために、準備から場の設定、後片付け至るまで、すべて受講生の手で行います。積極的に制作活動を楽しみ、主体的にグループ活動にも参加し、意欲的な学習態度で取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題については、評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	各課題に対する主体的な学びを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	30	制作課題作品を評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	15回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身に付け、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育と造形教育について 教材や素材全般の基礎知識	深尾	講義	造形表現と保育について講義をまとめる 保育所、幼稚園で使用されている 造形素材について、調べまとめる	90
2 /	造形保育のための表現と技法 線であそぶ	深尾	講義と演習	言葉との関係、造形表現方法 として学ぶ	90
3 /	幼児の造形素材と技法研究(1) 砂場であそぶ	深尾	演習 グループ活動	砂場の管理などについて学ぶ	90
4 /	幼児の造形素材と技法研究(2) 絵の具であそぶ	深尾	演習 グループ活動	絵具の表現性、筆や描画用具 の制作、からだを使った表現 についてまとめる	90
5 /	幼児の造形素材と技法研究(3) 粘土であそぶ	深尾	演習 グループ活動	環境設定や粘土の水分におけ る造形性と遊びの広がりにつ いてまとめる	90
6 /	幼児の造形素材と技法研究(4) 空間あそび1 トイレットペーパーを使って	深尾	演習 グループ活動	空間あそびのための環境設定 や流れをまとめる	90
7 /	幼児の造形素材と技法研究(5) 空間あそび2 ゴミ袋を使って	深尾	演習 グループ活動	空間あそびのための環境設定 や流れをまとめる	90
8 /	幼児の造形素材と技法研究(6) 粘土によるレリーフ遊び	深尾	演習	準備や活動の流れをまとめる	90
9 /	幼児の造形素材と技法研究(7) 粘土による版画 遊び	深尾	演習	準備や活動の流れをまとめる	90
10 /	クリスマスのための造形活動(1) ピニャータのデザイン	深尾	講義と演習 グループ活動	海外の文化を学ぶ	90
11 /	クリスマスのための造形活動(2) ピニャータの制作	深尾	演習 グループ活動	感想度合いを頻繁にチェック する	90
12 /	クリスマスのための造形活動(3) ピニャータの完成	深尾	演習 グループ活動	完成したものを使えるように 調整しておく	90
13 /	クリスマスのための造形活動(4) ピニャータを中心に活動	深尾	演習 グループ活動	活動に関しての環境設定につ いてまとめる	90
14 /	様々な表現について まとめ	深尾	演習	課題のノートを完成させる	90
15 /	多様な背景を持つ幼児の造形と幼児の造形表 現の理解 と総括	深尾	講義	多様な児童について調査しま とめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>幼児体育Ⅲ</b>	山中 博史(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	実務経験
Physical Education and Exercise for Children Ⅲ							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・附属幼稚園との交流を図り、園児とのふれあい、幼児の実態をとらえることを目指す。 ・実際に部分的な指導ができることを目指す。							
<b>授業の内容</b> 幼児は遊びを通して、さまざまな体験を積み重ねながら、心身調和のとれた発達基礎を身につけていく。したがって、自発的活動としての遊びは幼児期の重要な学習である。その幼児の遊びの中で身体的な活動を伴ったものを幼児の体育としてとらえる。幼児の体育教材は1年次に「幼児体育Ⅰ・Ⅱ」で小学校低学年中心の教材を演習している。しかし、教材や指導法の知識だけでは、実際の幼児の指導は難しい。そこで、短大附属幼稚園の協力を得て、幼稚園のカリキュラムに沿って、各時節における身体的活動を伴う教材を中心に、幼児指導の補助または指導を行う。幼児体育Ⅲではまず、附属幼稚園との交流を図り、園児とのふれあいをもとに、幼児の実態をとらえることを主たる目的とし、後半では実際に部分的な指導ができることを目指す。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習は短大の附属幼稚園の協力のもと、園のカリキュラムに沿って行っている。したがって、体育的な教材だけでなく、他の教材を園児とともに学ぶこともある。受講態度は、演習に積極的に参加しているかどうかで評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	フィードバックは毎回授業終了前にクラスごとに行います。レポートは半期間の見学・補助・指導を通しての気づきを提出してもらいます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	担当のクラスにどのようにかかわっているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	ふりかえりをレポートとして実施し評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	山中研究室 火・水・金 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 附属幼稚園児との関わりについて説明 幼児体育Ⅲ履修上の心構えについての説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	指導法ガイダンス 担当をするクラスを決める	山中	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	附属幼稚園との交流	山中	附属幼稚園に行つての見学	見学したこと振り返る	90
4 /	附属幼稚園との交流	山中	附属幼稚園に行つての見学	見学したことを振り返る	90
5 /	園児とのふれあい	山中	附属幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
6 /	園児と遊ぶ	山中	附属幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
7 /	園児と散歩をする時の注意事項の説明	山中	園外や短期大学で行う	演習内容を振り返る	90
8 /	園児との散歩に同行し補助をする	山中	園外や短期大学で行う	演習内容を振り返る	90
9 /	お弁当を食べる時に配慮することを説明する	山中	附属幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
10 /	実際に園児とお弁当を食べる	山中	附属幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
11 /	固定遊具による遊びの補助及び指導	山中	附属幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
12 /	運動遊びの補助及び指導	山中	附属幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
13 /	運動遊びの補助及び指導	山中	短期大学か幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
14 /	水遊びの補助及び指導	山中	幼稚園での演習	演習内容を振り返る	90
15 /	ふりかえり 履修期間中における園児の成長をふりかえる	山中	講義	演習内容をレポートにまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>幼児体育Ⅳ</b>	山中 博史(専 任) 北尾 岳夫(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Physical Education and Exercise for Children Ⅳ							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・幼児体育Ⅲで得た指導法等を活かして、実際に園児の指導ができることを目指す。							
<b>授業の内容</b> 幼児体育Ⅲで得た指導法等を元に、実際に子どもへ運動指導を行う。幼児体育Ⅳも附属幼稚園の協力を得て、すみれルームに参加する園児の体育活動の補助や、実際に指導を行う。これらの体験を通じて、幼児の実態を捉え、自分と幼児の認識の違いを知り、運動あそび等の指導力向上を目指す。 したがって、原則、履修条件は幼児体育Ⅲの履修者とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習は、短大の附属幼稚園の協力のもと、すみれルームに参加する園児を対象に指導を行う。特に安全面での配慮を十分にしてもらいたい。 受講態度は、演習に積極的に参加しているかどうかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	指導の前に指導案を作成し、担当の教員に提出して指導を受けること。 指導後は振り返りを行い、次の指導に活かすこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	積極的に保育に関わっているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	振り返りのレポートを提出し、評価する				
	その他	30	園児の指導が適切に行われているか評価する				
自由記載							
オフィスアワー	山中研究室 火～金曜日 16時30分～18時 北尾研究室 月～木曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中) t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業の全体を把握する	北尾 山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	器具を使わない体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
3 /	器具を使わない体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
4 /	縄を使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
5 /	縄を使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
6 /	マットを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
7 /	マットを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
8 /	巧技台を使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
9 /	巧技台を使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
10 /	トランポリンを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
11 /	トランポリンを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
12 /	ボールを使った体育遊びの教材研究	北尾 山中	グループワーク	指導案の作成	90
13 /	ボールを使った体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
14 /	それぞれのクラスで園児の希望する体育遊びの指導	北尾 山中	実習	指導の振り返り	90
15 /	振り返り・レポート	北尾 山中	講義	今までを振り返りレポート作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理基礎Ⅱ</b>	荻田 純久(専任) 林 泰子(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Basic Information Processing Ⅱ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・表計算ソフトの基本操作ができる。また表計算ソフトを用いて園児台帳等の作成ができる。 ・プレゼンテーションソフトの基本操作ができる。また、幼児教育教材作成ができる。 ・社会人としての情報モラル・個人情報について理解を深めることができる。							
<b>授業の内容</b> 表計算ソフト「Excel」の基本的な操作（計算処理、関数機能、グラフ作成）ができるようになり、会計報告書の作成や園児台帳の作成など保育者として必要なスキルを学ぶ。また、プレゼンテーションソフト「Power Point」を活用し、幼児教育に活かせる教材を作成する。さらに、保育現場における個人情報の取り扱いや情報モラルについて講義、演習を通して事例をもとに学んでいく。							
教科書	『保育者のためのパソコン講座—Windows 7 Office2007/2010/2013対応版』 阿部正平・阿部和子・二宮祐子（萌文書林） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	しっかり出席し、授業中の課題をしっかりとこなしていきたいと思います。そしてパソコン等を活用してさまざまなことが出来るようになりましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使用し、課題提出をしてもらいます。そして、Google Classroomを使用し、フィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中に取り組んだ課題をGoogle Classroomを使って提出する				
	授業内試験	40	授業中にコンピュータを使った実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート	30	学期末に小レポートを作成する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	荻田研究室 金曜日 12時15分～12時45分（事前にメールで用件と来室時間を知らせてください） （林泰）授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-ogita@sumire.ac.jp（荻田） hayashi_yasuko@nike.eonet.ne.jp（林泰）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	パソコンの基本的な操作方法を復習する	30
2 /	エクセルの基本操作(1)簡単な計算	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
3 /	エクセルの基本操作(2)ワークシートの書式設定	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
4 /	エクセルの基本操作(3)データベース機能	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
5 /	エクセルの基本操作(4)グラフの作成と編集	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
6 /	エクセルの基本操作(5)関数による計算	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
7 /	エクセルの応用 ワードへの活用	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
8 /	エクセルのまとめ	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
9 /	情報モラルと個人情報の管理	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
10 /	パワーポイントの基本操作(1)スライドの作成	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
11 /	パワーポイントの基本操作(2)画像の挿入・アニメーションの設定	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
12 /	電子紙芝居の作成(計画)	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
13 /	電子紙芝居の作成(コンテンツの作成)	荻田(C) 林(A・B)	講義、パソコンを用いた演習、アクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	30
14 /	電子紙芝居の作成(編集と発表準備)	荻田(C) 林(A・B)	講義とアクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	30
15 /	課題発表・相互評価	荻田(C) 林(A・B)	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
国 語	金澤 雄介(専 任)	2年次	後期	2	講義	必修	○
							実務経験
Japanese as a Mother Tongue							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・日本語（国語）をいろいろな角度から観察し、そのしくみについて理解し、説明できる。							
<b>授業の内容</b> ことばは、私たちの生活にとってなくてはならない存在である。この授業では、私たちの母語である日本語（国語）のしくみについて理解することを目的とする。授業で学んだ基礎的な知識をもとに、普段何気なく使っていることばの背景にある面白さを見つけてほしい。それによって、より充実したことばの教育ができるようになることを目指す。							
教科書	なし						
参考書	授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	日ごろからことばというものに親しみを持ってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、添削をして返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	漢字テストおよび授業テーマに関する作文				
	定期試験	50	授業内容の理解度を測るテスト				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	金澤研究室（3号館4階） 月曜日 10時30分～12時						
担当教員E-mail	y-kanazawa@sumire.ac.jp（金澤）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション：日本語の特徴	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
2 /	正しい日本語を書くには(1) 話しことばと書きことば	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
3 /	正しい日本語を書くには(2) ねじれ文・あいまい文	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
4 /	日本語の文字	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
5 /	日本語の音	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
6 /	日本語の単語	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
7 /	日本語の文法(1)：品詞について	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
8 /	日本語の文法(2)：日本語のさまざまな文法形式	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
9 /	日本語の敬語	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
10 /	意見文の書きかた	金澤	講義と演習	意見文の作成	60
11 /	説明文の書きかた	金澤	講義と演習	説明文の作成	60
12 /	要約文の書きかた	金澤	講義と演習	要約文の作成	60
13 /	日本語力に関する演習(1)：漢字と語彙	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
14 /	日本語力に関する演習(2)：長文読解	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
15 /	まとめとふりかえり	金澤	講義と演習	講義内容に関する練習問題を解く	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
算 数	久米 央也(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Elementary Mathematics							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・小学校学習指導要領に示されている「算数科」のねらい、学習内容を理解する。 ・小学校における「算数科」の指導方法を知ること、幼児教育と小学校教育の学び方を比較し「共通点」と「相違点」を考えることができる。 ・幼児教育における数学的思考の芽生えを生み出す環境について調べることができる。							
<b>授業の内容</b> 小学校における算数科の授業の実際を知ること、幼児教育と小学校教育の「共通点」と「相違点」を学び、保育の「学び」の本質について理解を深める。また、思考の芽生えを促す算数の土台となる保育環境についても学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	幼稚園教育要領の領域「環境」では、数・量・図形への興味や関心、感覚を養うことが明記されています。小学校算数科では、何をねらいに置き、どんなことを、どんな風に学んでいくのかを学ぶことは、幼児教育に生かされます。成績評価の授業態度では、積極的にディスカッションに参加したり、発表したりする姿から評価していきます。まずは、算数科に興味を持ち、考えることを楽しむ姿勢を持つことが大切です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題については、解説を加えた後、回収コメントをつけて返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業で学んだことを理解しているかを評価する				
	レポート	20	授業の終わりに出す課題に丁寧に取り組んでいるかを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 14時40分～15時40分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 幼児教育にとって「算数」を学ぶことの意義 について	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
2 /	小学校学習指導要領を読み解く(ねらい、領域、 学習内容、配列) 幼稚園教育要領にある算数を知る	久米	講義と演習	小学校学習指導要領・幼稚園 教育要領を読む・講義のまとめ	90
3 /	数と計算領域1 1対1対応、数の概念(記 号としての数) ドットカード	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 ドットカード・数字カードの 作成	90
4 /	数と計算領域2 数の合成・分解 十進位置取り数法の誕生、絵本作成(暗号で あそぼう) 加法・減法	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 暗号絵本を完成する	90
5 /	数と計算領域3 大きな数の表し方 すごろくゲームの中の算数	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 すごろくを完成する	90
6 /	数と計算領域4 加法・減法 手遊び歌の中にある算数	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
7 /	数と計算領域5 かけ算 幼児期のかけ算場面	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
8 /	数と計算領域まとめ 絵本の制作(かけ算・加法・減法)	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 かけ算・たし算絵本を完成す る	90
9 /	測定領域(1) 長さ、面積、体積の直接比較、 任意単位による比較、時刻図形領域2 垂直、 平行と四角形、直方体、立方体	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
10 /	測定領域(2) 日常生活にある時刻 時計絵本の制作	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 時計絵本を完成する	90
11 /	図形領域 三角形、四角形の定義正方形、長方形、直角 三角形の定義 幼児期の形とのかかわり	久米	講義と演習	講義のまとめと復習 かたち絵本を完成する	90
12 /	変化と関係領域 伴って変わる二つの数量の関係 数学的思考の芽生えについて (幼児教育の中の算数)	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
13 /	データの活用領域 表とグラフ 数学的思考の芽生えについて 幼児期の遊びの中の算数について調査・研究	久米	講義と演習	調査したことをまとめる	90
14 /	数学的思考の芽生えについて 幼児期の遊びの中の算数について調査・研究 のまとめ	久米	講義と演習	調査したことをまとめる	90
15 /	数学的思考の芽生えについて 調査・研究したことのまとめ、振り返り	久米	講義と演習	講義のまとめと復習	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育の方法及び技術</b>	李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Technical Methods of Teaching							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼児教育・保育の特徴を知る。 ・幼児教育・保育に関する理論と実践の方法を習得する。 ・子どもに寄り添い、自らの実践について反省する態度を養う。 ・これからの幼児教育・保育のあり方について理解を深める。 ・コンピューターやタブレット等の情報機器を使い、幼児の興味を引き出す教材づくりを行う。							
<b>授業の内容</b> 平成29年に『幼稚園教育要領』や『保育所保育指針』が新たに改訂された。今回の改訂により、幼児教育の重要性が再確認され、幼児の「生きる力の基礎」の育成を目指して、とりわけ家庭・地域と連携し、幼児の発達や学びの連続性を確保しながら、家庭・地域と連携し、意図的・計画的に保育環境を整えることのできる保育者の育成が求められるようになった。このような資質を持つ保育者の育成を目指して、本授業では、発達と教育に関する理論と方法を中心に検討を行い、特に幼児理解に基づいた具体的な保育場面における保育者の援助のあり方について、事例を中心に議論していく。 なお、コンピューターやタブレットの使用が幼児教育段階にも普及しつつある現状から、これらの情報機器を用いて幼児の興味を引き出す教材開発のできる保育者の育成も視野に、授業では積極的にコンピューターやタブレット等の情報機器を活用する。 講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	新しい保育・幼児教育方法（広岡義之編、ミネルヴァ書房） 保育・幼児教育方法（小田 豊・中坪史典編、建帛社） 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府）ほか						
担当者からのメッセージ	講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにミニレポートという形でまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	第7回～第10回公開する（1週間前に連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 現代の子ども事情と幼児教育の基本	李	講義及び演習 パソコンを使ってPPT資料の作成方法の指導も行う	予習 予習用ワークシートを配り、 次回の授業内容について調べ 学習を行ってもらう	60
2 /	諸外国における幼児教育の方法(中国、韓国、 ベトナム)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
3 /	諸外国における幼児教育の方法(シンガポ ール、マレーシア)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
4 /	諸外国における幼児教育の方法(フランス、 イギリス、アメリカ)	李	講義及び演習	予習 授業で取り扱い内容について調べ 学習を行い、予習用のワークシ ートに関連情報を記入してもらう	60
5 /	諸外国における幼児教育の方法(フィンラン ド、ドイツ)	李	チーム活動を踏まえたまと め	復習 第2～5回の授業内容の定着を図 るために、復習用ワークシートを 配り、各自に完成してもらう	60
6 /	保育方法の本質について考える	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答	復習 授業内容についての理解を深める ために、復習用ワークシートを配 り、各自に完成してもらう	60
7 /	保育形態	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答	復習 次回の授業のはじめに、本授業内 容に関する小テストを実施するの で、復習するよう指示する	60
8 /	幼児理解と保育者の援助 ・幼児理解とは？ ・幼児理解のプロセス ・幼児理解の手立て ・幼児理解の更新	李	講義及び質疑応答	復習 幼児理解と保育者の援助について 理解を深めるために復習用ワーク シートを配り、完成してもらう	60
9 /	幼児の遊びと発達	李	講義及び演習	予習 本授業で紹介する内容に関する 事前学習ワークシートを配り、 完成してもらう	40
10 /	幼児の遊びの発展と保育者の援助	李	講義及びグループワークを 踏まえた質疑応答	復習 次回の授業のはじめに、本授業内 容に関する小テストを実施するの で、復習するよう指示する	40
11 /	人との関わりを持つ力を育てるためにⅠ 協同する経験と保育者の援助	李	講義及びグループワーク	復習 復習用ワークシートを配り、 完成させたうえ、次回の授業 のはじめに提出してもらう	60
12 /	人との関わりを持つ力を育てるためにⅡ 幼児同士のトラブルと保育者の援助	李	講義及びグループワーク	復習 授業内容に対する理解の定着 を図り、授業内容に関連する 課題を配り、完成してもらう	60
13 /	連続性を踏まえた保育と保育者の援助	李	講義及びグループワーク	予習及び復習 予習用ワークシートや復習用 ワークシートを配り、完成し てもらう	60
14 /	幼児教育の教材開発Ⅰ ・幼児教育現場に生きる教材開発のアイディ ア	外部講師	講義及び演習	復習 授業内容に対する理解の定着 を図り、復習用ワークシ ートを配り、完成してもらう	40
15 /	幼児教育の教材開発Ⅱ ・教材開発の実践	李	グループワーク	予習 グループごとでオリジナルな幼児 教育教材の開発を行い、その成果 の発表に向けて作業しておく	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育保育課程論</b>	李 霞(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Theory of Child-care Curriculum							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程・保育課程の歴史の変遷を把握する。</li> <li>・教育課程・保育課程の編成をめぐる現状を知る。</li> <li>・幼稚園・保育園・保育者が抱える今日的な課題を把握する。</li> <li>・教育課程・保育課程の編成の基本的原理と基礎的技法を学習し、運用する力を身につける。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>教育保育課程論は、教育・保育の目的や目標を達成するための組織的な教育・保育計画について論究する科目である。教育・保育計画は日々の教育・保育活動を展開するための依拠であり、その編成においては、教育・保育実践を展開していく上での指針となる方向性（目標）、内容、方法、評価についての理解が求められる。</p> <p>本授業では、教育課程・保育課程の歴史の変遷や、教育課程・保育課程をめぐる現状とともに、幼稚園・保育園・保育者が抱える今日的な課題を把握し、教育課程の編成に関わる基本的な知識・技能を習得し、それらを運用する力を身につけることを目指す。</p> <p>講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。</p>							
教科書	『コンパクト版保育者養成シリーズ教育・保育課程論』 高橋弥生・大沢 裕（一藝社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	保育とカリキュラム（ひかりのくに出版社）ほか 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省） 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府）						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分は思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	第10回～第13回公開（2週間前にご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p> <p>(幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。</p> <p>(幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション：教育・保育課程とは	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第1章を読み、予習用ワークシートを完成してもらう	60
2 /	教育課程・保育課程の歴史	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
3 /	近年の教育課程・保育課程の動向	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第2章を読んでおくよう指示する	60
4 /	教育・保育における指導計画	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第3章を読んでおくよう指示する	40
5 /	指導計画作成の基本	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 次回の授業時に、第1～5回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	90
6 /	計画に必要な子ども理解	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第5章を読んでおくよう指示する	60
7 /	幼稚園における教育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第6章を読んでおくよう指示する	60
8 /	保育所における保育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第7章を読んでおくよう指示する	60
9 /	認定子ども園における教育・保育課程と指導計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	次回の授業時に、第6～9回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	90
10 /	指導計画作成の注意事項Ⅰ： 「ねらい」をどう定めるか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
11 /	指導計画作成の注意事項Ⅱ： 「内容」をどう立てるか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
12 /	指導計画作成の注意事項Ⅲ： 「環境と援助・配慮」をどう工夫するか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	40
13 /	指導計画作成の注意事項Ⅳ： 「反省・評価」をどう考えるべきか	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 次回の授業時に、第10～13回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	90
14 /	小学校へのつながり・行事を生かす保育のための計画 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第11・12章を読んでおくよう指示する	90
15 /	保育の質を高める計画と評価 （「カリキュラム・マネジメント」の内容を含む）	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第15章を読んでおくよう指示する	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育者論</b>	永久 欣也(専 任)	2年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Introduction to Teacher Education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育者・保育職の存在意義や職業的特性および専門性について理解することができる。</li> <li>・ 保育に関する諸課題を認識し、課題解決に向けて論理的に自らの考えを言語化することができる。</li> <li>・ 保育者・保育職の本質を捉え、求められる役割や資質能力を理解することで具体的ななかかわりの土台を構築する。</li> <li>・ 保育所およびその他の児童福祉施設、幼稚園、幼保連携型認定こども園等におけるチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解する。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>幼稚園(kinder garten)を創設したフレーベルは、保育者を「園丁」(Gartner)のような存在だと考えた。保育者とは、幼児一人ひとりが自己の可能性や個性を生き生きと発揮できるよう、植物でいうところの陽の光や水、土や養分を整える存在だからである。授業では、個人ワークとグループディスカッションを通して、保育・学校教育を中心とする今日の社会的課題への理解を多角的に深めていく。その際、歴史・思想・制度も手がかりのひとつとする。現代社会において求められる保育者・保育職の専門性や意義・役割・キャリア形成について考える。また、対人援助職である保育職において、保育所およびその他児童福祉施設、幼稚園、認定こども園等が果たすチーム組織・チーム学校運営としての対応および必要性を理解する。</p>							
教科書	『最新保育講座2 保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友編 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税) 献本必要						
参考書	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか授業にて随時紹介						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎します。また、新聞やニュースなどの「保育者」に関する時事的な事柄にも関心を深めてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点やさらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	30	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 木曜日 12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 「私」と「保育者」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
2 /	子どもを取り巻く環境の変化	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
3 /	保育・幼児教育の特性	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
4 /	保育者の専門性とはⅠ 「幼児理解」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
5 /	保育者の専門性とはⅡ 「社会理解」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
6 /	保育者の特性とはⅢ 「人権理解」	永久	講義 課題を提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
7 /	子どもの「人権」について考える	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
8 /	「見えやすい」専門性と「見えにくい」専門性について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
9 /	中間まとめ	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
10 /	保育者Ⅰ 「生活に寄り添う存在」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
11 /	保育者Ⅱ 「共に食し共に在る存在」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
12 /	保育者Ⅲ 「乳幼児に学ぶ存在」	永久	講義 課題を提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
13 /	保育を中心とした家庭・教育・福祉・地域の連携Ⅰ 「地域における社会資源・専門機関」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
14 /	保育を中心とした家庭・教育・福祉・地域の連携Ⅱ 「チームとしての対話的な組織運営」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
15 /	総括 「保育者とは」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>総合表現Ⅱ</b>	松井 典子(専 任) 深尾 秀一(専 任) 柚木たまみ(専 任) 村井 愛美(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Method of Integrated Expression II							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・保育内容表現、保育内容表現、総合表現Ⅰで習得した「表現」について学びを深め、総合舞台芸術である「幼児のオペレッタ」の制作、発表に取り組む。 ・制作に向けて主体的に取り組み、作品や発表にまとめるとともに保育実践のあり方について学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である(松井)。 表現の指導法、総合表現Ⅰの学修を踏まえ、領域「表現」に関して保育内容の研究を深めていく。保育者になるための豊かな表現力と創造力を身につけるとともに幼児の表現についての理解も深めていく。総合舞台芸術であるオペレッタをグループで協働して制作することを目的とする。グループ活動においては、脚本作り、音楽作り、ダンス、舞台芸術などの制作過程を協働で創造し、舞台上で演じることに喜びを感じ、人前での表現活動に慣れることを目的とする。各自が選択した課題にグループで取り組み、発表に向けて作品としてまとめていく。その過程は保育現場において子どものさまざまな発表の場を指導するときの基礎となる経験である。							
教科書	なし						
参考書	各分野の担当者がそれぞれの授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	「表現」を通じた自己実現や創る喜びが体験できるように意欲的に活動に取り組んでいただきたい。 総合的な表現活動はチームプレイにあるので、コミュニケーション能力を高めながら協働的な学びができるようにすること。 各回の授業計画の詳細は、グループ討議時に決定する。そのため、授業計画や活動内容に関して主体的に討議し、取り組んでいただきたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	制作の過程を毎回記録し、授業最終日に提出すること。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業の取り組み度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	各回の授業を振り返りシートに記録及び提出				
	その他	50	発表までの制作過程と最終発表での評価				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付 柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分 その他随時受付 村井：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井) h-fukao@sumire.ac.jp (深尾) t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	12. 13. 14回目の発表を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション グループ分けについて	松井 深尾 柚木 村井	講義とグループ討議	総合表現Ⅰ・保育内容表現の 振り返りをしておく	90
2 /	発表作品のテーマの選定 グループ毎の制作計画 1	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループで計画案を作成	制作計画をまとめ、次回の制 作に向け準備する	90
3 /	グループ毎の制作計画 2	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループで計画案を作成	制作計画をまとめ、次回の制 作に向け準備する	90
4 /	発表作品の練習 1	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
5 /	発表作品の練習 2	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
6 /	発表作品の練習 3	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
7 /	発表作品の練習 4	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
8 /	発表作品の練習 5	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
9 /	発表作品の練習 6	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議 グループ練習	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習 記録の綴り	90
10 /	発表作品の練習 7 舞台リハーサル(録画)	松井 深尾 柚木 村井	グループ練習 グループ討議 (舞台リハーサルの振り返 り)	グループ練習の振り返りと練 習 次週の準備と練習 記録の綴り	90
11 /	発表作品の練習 8 舞台リハーサル(録画)	松井 深尾 柚木 村井	グループ練習 グループ討議 (舞台リハーサルの振り返 り)	グループ練習の振り返り	90
12 /	発表	松井 深尾 柚木 村井	グループ発表(影絵)	グループ練習の振り返りと練 習	90
13 /	発表	松井 深尾 柚木 村井	グループ発表(オペレッタ)	グループ練習の振り返りと練 習	90
14 /	発表	松井 深尾 柚木 村井	グループ発表(身体表現)	グループ練習の振り返りと練 習	90
15 /	まとめ 発表の振り返り レポート提出	松井 深尾 柚木 村井	グループ討議	記録の綴りと学習のまとめ レポートの作成	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>表現の指導法</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Teaching Method of child-care Subject Performance							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・保育内容表現の学習を踏まえて、幼児の表現についての理解を深める。 ・幼児の表現指導について学び、演習課題に取り組む。 ・作品の発表と共に保育実践の方法についても考える。							
<b>授業の内容</b> 保育内容表現の学習を踏まえて、幼児の表現活動について指導者としての視点を持ちながら理解を深めていく。保育所実習、幼稚園実習の経験を活かしながら、演習課題に取り組む中で、幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が現場での表現の指導方法を折り込みながら授業を行う。それぞれのテーマで実践した内容は、環境構成の方法とポイント、活動のプロセスと作品の仕上げ、指導の方法と考察といった時系列の流れでまとめ、ドキュメンテーションの形式でレポートを作成していくことで、自己課題を見つけ考察できるようにする。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	実技が中心の授業のため指定された用具に関しては忘れ物などないように準備しておくこと。用具は主に図画工作 I で購入したものを使用する。 グループワークによる制作では、積極的に参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	作品課題に関しては、毎回授業の中で発表の時間を作り、お互いの作品を観ながら発想の面白さや表現方法、表現技術など学んでいく。 各自のレポートに関しては、定期的に点検して指導を入れていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	普段の授業態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	まとめのレポートで評価する				
	その他	50	各回の作品・レポートで評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	前川研究室 火曜日・水曜日 12時15分～13時 その他随時受け付け						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川)						
教員相互授業参観	3回目の授業を公開します（1週間前にご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1) 【知識・理解】 子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2) 【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4) 【技能】 子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6) 【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育内容表現の振り返り	前川	講義 領域表現について グループ討議	保育実習を振り返り、現場での造形活動についてまとめる	90
2 /	自然物と造形活動1 (表現方法について)	前川	講義 子どもの表現の発達過程と 方法について 演習	表現の指導方法についてまとめておく	90
3 /	自然物と造形活動2 (観察を深める表現指導)	前川	講義 イメージと表現指導の関係 について 演習	表現の指導方法についてまとめておく	90
4 /	自然物と造形活動3 (形からのイメージで広がる表現指導)	前川	講義 観察を深める教材につて 演習	制作のプロセスをレポートにまとめておく	90
5 /	造形活動が活かされた保育環境	前川	講義 絵本を使った造形活動の指 導について 演習	保育現場で見てきた造形活動 や制作物についてまとめてお く	90
6 /	教材研究1 (教材としての制作について)	前川	演習 ペープサート制作保育指導 と教材について	ペープサート作成のための資 料収集	90
7 /	教材研究2 (ペープサートの制作)	前川	演習 ペープサート制作	ペープサート作成のための資 料収集	90
8 /	教材研究3 (ペープサートの制作及び発表)	前川	演習 ペープサートの制作及び発 表	教材研究のまとめ	90
9 /	身体表現と造形活動1 (表現遊び)	前川	演習 様々な動きを楽しむ	表現の指導方法についてまと めておく	90
10 /	身体表現と造形活動2 (身体のデッサン)	前川	演習 自分の身体を知ろう	制作のプロセスをレポートに まとめておく	90
11 /	子どもと絵画	前川	講義 物語と絵画 演習	子どもと絵画についてレポー トにまとめる	90
12 /	教材研究4 (保育環境としての壁面構成)	前川	講義 壁面構成について 演習 グループ討議 制作計画	季節に合った壁面デザインの 資料収集	90
13 /	教材研究5 (壁面制作)	前川	演習 グループワークによる壁面 制作	季節に合った壁面デザインの 資料収集	90
14 /	教材研究6 (壁面制作仕上げ)	前川	演習 壁面製作の仕上げ・発表	制作のプロセスをレポートに まとめる	90
15 /	授業のまとめ	前川	講義 領域「表現」についてのま とめ	各課題で記録したレポートを 綴じてまとめのレポートを作 成する	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>乳児保育 (①③)</b>	内藤 幸枝(非常勤) 森 孝子(非常勤)	2年次	前期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・乳児保育の理念と役割、歴史変遷を学ぶ。 ・乳児期の発達に合わせた保育がおこなえるように基礎的な知識を保育事例から学ぶ。 ・乳児保育の実際を学び、個別指導計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成観察について学ぶ。 ・乳児保育における保護者や関係機関との連携について学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 乳児保育に携わり、現在も現役である担当教員により、リアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 乳児保育の概念と意義を把握し乳児保育の歴史と現状について理解を深める。誕生前後の脳の成長発達を学ぶことから、赤ちゃんは、なぜかわいいか考える。 また母子関係、養護と教育の一体化の重要性、3歳未満児の成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに、乳児保育担当者としての心がまえ、保育観を確立するために保育の原理や知識、技術の基礎を演習形態で学ぶ。							
教科書	『赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力』 川原佐公・古橋紗人子 (保育出版社) 価格(本体2,381円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的に予習をおこない授業に臨む姿勢が必要である。授業中のグループ討議や課題に対しても積極的に取り組む姿勢が重要視される。 また、疑問点を調べたり、ディスカッションすることで学びを深めたことや、授業内容、考察の記入内容を確認し、平常点として評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題提出を添削し、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	授業内試験	40	まとめ授業時に乳児保育の授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	生きる力って「養護」のこと 乳児の世話の実際 1 食事介助・睡眠・子守歌	森	講義演習	テキストP.64～P.66 P.70を 読んでおく	90
2 /	生きる力って「養護」のこと 乳児の世話の実際 2 排泄（おむつ交換・おむつはずれ）	森	講義演習	テキストP.67～P.68を読んで おく	90
3 /	生きる力って「養護」のこと 乳児の世話の実際 3 着脱・沐浴・清潔	森	講義演習	テキストP.73～P.78を読んで おく	90
4 /	赤ちゃんにも「教育」は必要なの 乳児の遊び 1 ふれあい遊び・わらべ歌・絵本	森	講義演習	テキストP.92～P.95 P.108～ P.114を読んでおく	90
5 /	乳児保育に大切な環境とは 環境との相互作用による発達 だっこ・おんぶ	森	講義演習	テキストP.106～P.107を 読んでおく	90
6 /	子育て支援事業と乳児保育	森	講義 グループ討議	テキストP.174～P.189を 読んでおく	90
7 /	社会・国は乳児保育をどうとらえているか 乳児保育の制度	森	講義 グループ討議	テキストP.164～P.173を まとめる	90
8 /	赤ちゃんからのシグナル 脳科学の視点から赤ちゃんを理解する	内藤	講義 グループ討議	テキストP.14～P.25を 読んでまとめる	90
9 /	母子関係は、いつごろからできるの 心理学の視点から母子関係を学ぶ	内藤	講義 グループ討議	テキストP.26～P.33を 読んでまとめる	90
10 /	乳児保育のなかったころのこと 乳児保育の歴史	内藤	講義 グループ討議	テキストP.34～P.39を 読んでまとめる	90
11 /	乳児保育の対象年齢は何歳まで 乳児保育の意義	内藤	講義 グループ討議	テキストP.42～P.49を 読んでまとめる	90
12 /	命を預かるって、どういうこと 乳児の健康と安全	内藤	講義 グループ討議	テキストP.50～P.59を 読んでまとめる	90
13 /	乳児の発達と保育計画 乳児の遊び 2	内藤	講義 グループ討議	テキストP.84～P.91 P.96～ P.104 P.118～P.145を 読んでおく	90
14 /	乳児保育の今後の課題 育児のパートナー	内藤	演習 連絡帳の書き方の実際	テキストP.190～P.193を まとめる	90
15 /	まとめ	内藤	乳児保育に関する理解度の 確認	ここまでの学びについて 復習しておくこと	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>乳児保育 (②④)</b>	内藤 幸枝(非常勤) 森 孝子(非常勤)	2年次	前期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・乳児保育の理念と役割、歴史変遷を学ぶ。 ・乳児期の発達に合わせた保育ができるように基礎的な知識を保育事例から学ぶ。 ・乳児保育の実際を学び、個別指導計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成観察について学ぶ。 ・乳児保育における保護者や関係機関との連携について学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 乳児保育に携わり、現在も現役である担当教員により、リアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 乳児保育の概念と意義を把握し乳児保育の歴史と現状について理解を深める。誕生前後の脳の成長発達を学ぶことから、赤ちゃんは、なぜかわいいか考える。 また母子関係、養護と教育の一体化の重要性、3歳未満児の成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに、乳児保育担当者としての心がまえ、保育観を確立するために保育の原理や知識、技術の基礎を演習形態で学ぶ。							
教科書	『赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力』 『赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力』（保育出版社） 価格（本体2,381円＋税）						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」（ひかりのくに）						
担当者からのメッセージ	自主的に予習をおこない授業に臨む姿勢が必要である。授業中のグループ討議や課題に対して積極的に取り組む姿勢が重要視される。 また、疑問点を調べたり、ディスカッションすることで学びを深めたことや、授業内容、考察の記入内容を確認し、平常点として評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出を添削し、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	授業内試験	40	まとめ授業時に乳児保育の授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す					
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	赤ちゃんからのシグナル 脳科学の視点から赤ちゃんを理解する	内藤	講義 グループ討議	テキストP.14～P.25を読んで まとめる	90
2 /	母子関係は、いつごろからできるの 心理学の視点から母子関係を学ぶ	内藤	講義 グループ討議	テキストP.26～P.33を読んで まとめる	90
3 /	乳児保育のなかったころのこと 乳児保育の歴史	内藤	講義 グループ討議	テキストP.34～P.39を読んで まとめる	90
4 /	乳児保育の対象年齢は何歳まで 乳児保育の意義	内藤	講義 グループ討議	テキストP.42～P.49を読んで まとめる	90
5 /	命を預かるって、どういうこと 乳児の健康と安全	内藤	講義 グループ討議	テキストP.50～P.59を読んで まとめる	90
6 /	乳児の発達と保育計画 乳児の遊び 2	内藤	講義 グループ討議	テキストP.84～P.91 P.96～ P.104 P.118～P.145を 読ん でおく	90
7 /	乳児保育の今後の課題 育児のパートナー	内藤	演習 連絡帳の書き方の実際	テキストP.190～P.193をまと める	90
8 /	生きる力って「養護」のこと 乳児の世話の実際 1 食事介助・睡眠・子守歌	森	講義演習	テキストP.64～P.66 P.70を 読んでおく	90
9 /	生きる力って「養護」のこと 乳児の世話の実際 2 排泄（おむつ交換・おむつはずれ）	森	講義演習	テキストP.67～P.68を 読ん でおく	90
10 /	生きる力って「養護」のこと 乳児の世話の実際 3 着脱・沐浴・清潔	森	講義演習	テキストP.73～P.78を 読ん でおく	90
11 /	赤ちゃんにも「教育」は必要なの 乳児の遊び 1 ふれあい遊び・わらべ歌・絵本	森	講義演習	テキストP.92～P.95 P.108～ P.114を 読ん でおく	90
12 /	乳児保育に大切な環境とは 環境との相互作用による発達 だっこ・おんぶ	森	講義演習	テキストP.106～P.107を 読ん でおく	90
13 /	子育て支援事業と乳児保育	森	講義 グループ討議	テキストP.174～P.189を 読ん でおく	90
14 /	社会・国は乳児保育をどうとらえているか 乳児保育の制度	森	講義 グループ討議	テキストP.164～P.173をまと める	90
15 /	まとめ	森	乳児保育に関する理解度の 確認	ここまでの学びについて復習 しておくこと	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
<b>障がい児保育</b>	林 幸範(専 任)	2年次	前期	2	演習	選択	○
							実務経験
Education for Handicapped Children							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・ 障がい児保育を支える理念や歴史について学び、障がい児保育についての歴史の変遷を理解することができる。 ・ 障がい特性やその他の特別な配慮を要する子どもの特徴を理解し、具体的な支援方法を学び、障がい児保育の実戦力を身につけることができる。 ・ 障がい児やその他の特別な配慮を要する子ども保育に関する現状と課題を理解することができる。							
<b>授業の内容</b> 保育所・幼稚園において、特別な配慮を要する子どもへの保育や教育は避けて通れない非常に重要なものである。そこで、本演習では、1. 特別な配慮を必要とする子どもである障がい児の保育の歴史や概念などから障がい児保育について考え、2. 障がい児の特性と支援について考えるばかりではなく、3. それ以外の特別な配慮を要する子どもについての特性と支援についても考えていく。さらに、4. そのことを理解することを基に、具体的な支援技術の習得、保護者への支援、関係機関との連携などについて考え、加えて特別支援教育との関連について考えていく。 なお、毎回の演習は、「テーマシート」を配付しそれに基づいて実施する。							
教科書	『よくわかる！教職エキサイズ 特別支援教育』 石橋裕子・林幸範編著 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	「障がい児ワークブック」星山麻木 萌文書林 必要に応じて授業で紹介する						
担当者からのメッセージ	教科書と配付資料で授業を進める。教科書で予習復習をすること。 本演習は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	毎回実施する「テーマシート」の評価(40%) 授業内で実施する発表会(60%)				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayasi@sumire.ac.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	Introduction－授業の進め方 障がい児と保育 －なぜ特別の支援が必要なのか：障がい児保育の歴史と意義－	林	ワークショップ・講義	これまでの関連授業の復習をする 講義内容の復習	60
2 /	発達とは、どんなこと？ －人間の発達－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
3 /	障がいの特性を理解する1 －発達障害とは：発達の違い－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
4 /	障がいの特性を理解する2 －肢体不自由・視覚障がい・聴覚障害など－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
5 /	障がいの特性を理解する3 －自閉症スペクトラム・ADHDなど－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
6 /	障がいの特性を理解する4 －LD・知的障がい・視覚障がい・聴覚障害など－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
7 /	特別の配慮を要する子どもの特徴1 －虐待を受けている子ども－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
8 /	特別の配慮を要する子どもの特徴2 －貧困・外国籍の子どもなど－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
9 /	支援方法を理解する1 －心の支援・行動への支援・環境調整による支援など－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
10 /	支援方法を理解する2 －支援計画、さらに支援者の拡大－	林	ワークショップ・講義	講義内容の予習・復習	60
11 /	支援の実際1 －発表会：自閉症スペクトラム・ADHD－	林	ワークショップ・発表会	講義内容の予習・復習	60
12 /	支援の実際2 －発表会：LD・ダウン症・知的障がい－	林	ワークショップ・発表会	講義内容の予習・復習	60
13 /	支援の実際3 －発表会：肢体不自由・視覚障がい・聴覚障害など－	林	ワークショップ・発表会	講義内容の予習・復習	60
14 /	支援の実際4 －発表会：特別な支援を要する子ども－	林	ワークショップ・発表会	講義内容の予習・復習	60
15 /	保育者支援と今後の課題 －小学校との関係：特別支援教育を中心にして－	林	ワークショップ・講義	講義内容の復習	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの食と栄養(①③)	原 知子(専任) 小谷 清子(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Food and Nutrition for Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・知識・理解：食を食べること・食事に関する基礎知識を修得する。子どもの食生活の現状と課題を把握し、食育の重要性を理解する。 ・思考・判断：子どもの食生活において想定されるさまざまな問題を科学的な根拠に基づいて考え、対応する能力を身につける。 ・関心・意欲：心が食べる、という観点から食生活の文化的側面にも関心を持ち、食卓のあり方を考えることができる。 ・態度：子どもの食生活に保育者としてかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。 ・技能・表現：地域や家庭と連携して、こどもの健全な食生活の設計に積極的にかかわることができる。							
<b>授業の内容</b> 幼少期の食生活は、生涯にわたる健康の基礎となる。食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学び、こどもの成長および発達と食生活の関連について理解を深める。 食育の基本とその実際について、地域社会や文化とのかかわりの中で理解する。 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について、また、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養について理解する。 子どもたちに「食事は楽しいものである」と感じられるように環境を考え、食育事業や保護者への支援ができるようになるための知識理解や演習を行う。							
教科書	『最新子どもの食と栄養－食生活の基礎を築くために』 飯塚・瀬尾・曽根・濱谷（学建書院） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	新版 子どもの食生活－栄養・食育・保育－ 上田玲子（ななみ書房） 子どもの食と栄養演習 小川雄次（建帛社） 子どもの食と栄養 堤ちはる・土井正子（明文書林） 子どもの食と栄養 岡崎光子（光生館）						
担当者からのメッセージ	調理師・栄養士に任せてしまうのではなく、子どもの食事に楽しんで積極的にかかわれるようになってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	練習問題により授業内容を確認する。 提出レポートについて、興味深い内容を講義内にて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業への積極的な参加を評価				
	授業内試験						
	定期試験	70	筆記試験により授業内容の理解度を評価				
	レポート	25	授業内の課題レポートを評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください (小谷) 授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	第2回～第13回を公開します（参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	子どもの健康における栄養・食事・食生活の意義、 保護者支援と家庭における食事の役割	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第1章を読んでおく	45
2 /	子どもの発達・発育と食行動、 妊娠期	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Bを読んでおく	60
3 /	乳汁栄養・調乳法	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを読んでおく	45
4 /	離乳・離乳食、 献立作成と調理の基本	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを読んでおく	45
5 /	幼児期の食生活	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第3章Dを読んでおく課題作成	60
6 /	幼児期の間食 食文化と行事食	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Dを読んでおく 課題作成	60
7 /	食育の基本と内容	原	講義・演習	教科書の関連項目第4章を読んでおく 課題作成	60
8 /	子どもの発育・発達の特徴、 栄養状態の評価	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第3章Aを読んでおく	45
9 /	栄養に関する基本知識(三大栄養素)、 消化吸収	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章B・C を読んでおく	45
10 /	栄養に関する基本知識(ビタミン・ミネラル・水)	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章Bを読んでおく	45
11 /	食事摂取基準・食生活指針・食事バランスガイドについて	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章A・D を読んでおく バランスガイドをマスターする	60
12 /	児童福祉施設における食事と栄養、 保育所給食、 衛生管理	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第5章を読んでおく	45
13 /	疾病および体調不良の子どもへの対応	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読んでおく	45
14 /	食物アレルギーについて考える	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を読んでおく	45
15 /	まとめ	原 小谷	講義・演習	プリント・ノートの総まとめ をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの食と栄養(②④)	原 知子(専任) 小谷 清子(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
Food and Nutrition for Child-care							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> ・知識・理解：食を食べること・食事に関する基礎知識を修得する。子どもの食生活の現状と課題を把握し、食育の重要性を理解する。 ・思考・判断：子どもの食生活において想定されるさまざまな問題を科学的な根拠に基づいて考え、対応する能力を身につける。 ・関心・意欲：心が食べる、という観点から食生活の文化的側面にも関心を持ち、食卓のあり方を考えることができる。 ・態度：子どもの食生活に保育者としてかかわることの責任の大きさに対して自覚を持つ。 ・技能・表現：地域や家庭と連携して、こどもの健全な食生活の設計に積極的にかかわることができる。							
<b>授業の内容</b> 幼少期の食生活は、生涯にわたる健康の基礎となる。食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学び、こどもの成長および発達と食生活の関連について理解を深める。 食育の基本とその実際について、地域社会や文化とのかかわりの中で理解する。 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について、また、特別な配慮を必要とする子どもの食と栄養について理解する。 子どもたちに「食事は楽しいものである」と感じられるように環境を考え、食育事業や保護者への支援ができるようになるための知識理解や演習を行う。							
教科書	『最新子どもの食と栄養－食生活の基礎を築くために』 飯塚・瀬尾・曽根・濱谷（学建書院） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	新版 子どもの食生活－栄養・食育・保育－ 上田玲子（ななみ書房） 子どもの食と栄養演習 小川雄次（建帛社） 子どもの食と栄養 堤ちはる・土井正子（明文書林） 子どもの食と栄養 岡崎光子（光生館）						
担当者からのメッセージ	調理師・栄養士に任せてしまうのではなく、子どもの食事に楽しんで積極的にかかわれるようになってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	練習問題により授業内容の理解を確認する 提出レポートについて、興味深い内容を講義内にて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	5	授業への積極的な参加を評価				
	授業内試験						
	定期試験	70	筆記試験により授業内容の理解度を評価				
	レポート	25	授業内の課題レポートを評価				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	原研究室 金曜日 12時15分～12時50分 また、メールにて質問内容・来室時間相談を連絡してください (小谷) 授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	t-hara@sumire.ac.jp (原)						
教員相互授業参観	第2回～第13回を公開します（参観予定を1週間前までにあらかじめご連絡願います）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子どもの発育・発達の特徴、 栄養状態の評価	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第3章Aを 読んでおく	45
2 /	栄養に関する基本知識(三大栄養素)、 消化吸収	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章B・C を読んでおく	45
3 /	栄養に関する基本知識(ビタミン・ミネラル・水)	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章Bを 読んでおく	45
4 /	食事摂取基準・食生活指針・食事バランスガイドについて	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第2章A・D を読んでおく 食事バランスガイドをマスターする	60
5 /	児童福祉施設における食事と栄養、 保育所給食、 衛生管理	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第5章を 読んでおく	45
6 /	疾病及び体調不良の子どもへの対応	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を 読んでおく	45
7 /	食物アレルギーについて考える	小谷	講義・演習	教科書の関連項目第6章を 読んでおく	45
8 /	子どもの健康における栄養・食事・食生活の 意義、 保護者支援と家庭における食事の役割	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第1章を 読んでおく	45
9 /	妊娠期、 子どもの発達・発育と食行動	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Bを 読んでおく	45
10 /	乳汁栄養・調乳法	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを 読んでおく	45
11 /	離乳・離乳食、 献立作成と調理の基本	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Cを 読んでおく	45
12 /	幼児期の食生活	原	講義・演習 アクティブ・ラーニング	教科書の関連項目第3章Dを 読んでおく、課題作成	60
13 /	幼児期の間食、 食文化と行事食	原	講義・演習	教科書の関連項目第3章Dを 読んでおく	60
14 /	食育の基本と内容	原	講義・演習	教科書の関連項目第4章を 読んでおく	60
15 /	まとめ	小谷 原	講義・演習	プリント・ノートの総まとめ をする	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>子どもの保健Ⅱ</b>	飯盛 順子(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Child Health II							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児の発達や健康に関する具体的な知識を得る。</li> <li>・小児の主な疾患についての知識をもち、対応や予防についての理解を深める。</li> <li>・さまざまな慢性疾患についての知識を深め、保育の中で、適切な対応を行うために必要なことを知る。</li> <li>・各年齢で発生しやすい事故の予防、保健指導、生活習慣の指導、保健管理、環境衛生についても理解する。</li> <li>・年間の保健計画が作成できるようになる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>子どもの保健Ⅰで学習した小児保健の基礎知識を基に、さらに保育者として深めておくべき小児保健や小児疾患の知識と予防、異常の早期発見や適切な対応について学ぶ。乳幼児期における発育、発達に応じた適切な保育や養育の知識と技術を身につけるとともに、保育をするうえで日常の養護や保育環境の衛生管理の仕方を習得する。また、生活習慣の自立のための援助の方法を習得する。</p>							
教科書	『新時代の保育双書 図解 子どもの保健Ⅰ』 服部 右子・大森 正英 (株式会社 みらい) 価格(本体2,200円+税) 『新時代の保育双書 演習 子どもの保健Ⅱ』 今井 七重 (株式会社 みらい) 価格(本体2,100円+税)						
参考書	『今日から役立つ保育園の保健の仕事』 東社協保育士会保健部会編集 定価(本体2,300円+税) 赤ちゃんとママ社発行						
担当者からのメッセージ	教科書を基本に授業を進めます。予習復習に努め、ノートへの記録も必要です。ノートの提出を求める場合もあります。授業で配付する資料やプリント等は大切にファイルしてください。授業中の態度も評価の対象とします。授業中の私語は慎み、携帯電話等不要なものは机上に置かないようにしてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	私語、教科書忘れ等ないように注意する				
	授業内試験						
	定期試験	70	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	10	課題を与え実践能力や意欲を確認する				
	その他	10	その時の必要に応じた課題を考える				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育保健について 保健計画の作成と活用	飯盛	講義 (実践例を含む) 課題1 を与える	講義内容をまとめ、保健計画 を作成する	90
2 /	子どもの健康状態の観察 1.観察の方法について	飯盛	講義	講義内容をまとめ、各自のバ イタルサインを記録する	90
3 /	子どもの健康状態の観察 2.身体計測の技術と評価	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	養護の技術 1.おんぶの仕方、抱き方、調乳と与え方	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	養護の技術 2.身体の清潔、沐浴、衣服の着脱、おむつ 交換	飯盛	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容 をまとめる	90
6 /	看護の技術 1.子どもの病気の特徴と異常に気づいたと きの対応(吐物や下痢の後始末など)	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	看護技術 2.冷温罨法、冷湿布、薬の飲ませ方、腹部マッ サージ、浣腸、食事の与え方	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	感染症の予防と感染症発生時の対応 感染予防と手洗いの重要性	飯盛	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容 をまとめる	90
9 /	特別な配慮を要する子どもへの適切な対応 ・慢性疾患、アレルギー性疾患、乳児、障が いのある子ども	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	基本的な生活習慣の自立と健康教育 ・子どもの保健と環境、排せつ習慣、歯磨き 指導	飯盛	講義と実演(歯みがき指導) をみる	講義内容や歯磨き指導をまと める	90
11 /	ケガや事故防止と応急処置や安全教育	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	事故発生時の対応 1.心肺蘇生法、気道内異物除去法	飯盛	講義 DVD視聴	講義内容およびDVD視聴内容 をまとめる	90
13 /	事故発生時の対応 2.三角巾、包帯の使い方、患者の運び方	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	集団保育における健康管理・健康診断 保護者への啓発 スポーツ振興センター 職員の健康管理	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	復習とまとめ	飯盛	講義	これまでの講義内容の振り返 り、復習しておく	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>子どもの精神保健</b>	荻田 純久(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Child Mental Health							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・子どもの心の健康や病理について理解することが出来る。 ・子どもや養育者、保育者の精神保健について理解した上で、保育者としての対応方法を身につけることが出来る。							
<b>授業の内容</b> これまで幼稚園、高校、大学でカウンセラーとして従事してきました。そこで得られた経験等を活かし、具体的で分かりやすい授業を展開していこうと考えています。 この授業では、子どもの精神保健について学び、保育者としてさまざまな状況における対応方法を身につけるようにします。子どもの心の健康は、養育者や保育者といったさまざまな人々の心の健康の影響も受ける場合があります。子どもだけを見つめるのではなく、子どもを取り巻く様々な環境を俯瞰しながら、子どもの精神保健について学んでいきます。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	講義終了後は必ず3日以内に復習し、課題に取り組むこと。頑張ってください。こうしたコツコツと取り組む姿勢を高く評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業終了後にGoogle Classroomを使用した課題（出席者のみ提出）を出します。その後、Google Classroomを使ってフィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	45	毎回授業終了後にGoogle Classroomを使用した課題（出席者のみ提出）を出す				
	授業内試験						
	定期試験	55	筆記試験を行う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	荻田研究室 金曜日 12時15分～12時45分（必ず事前にメールで用件と来室時間を知らせてください 件名に学生番号と氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-ogita@sumire.ac.jp（荻田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 子どもの精神保健を学ぶ意義	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
2 /	子どもの脳と心	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
3 /	心の健康に影響を与える因子	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
4 /	子どもの成長と心の問題(1) 胎児期期・乳児期	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
5 /	子どもの成長と心の問題(2) 幼児期	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
6 /	子どもの成長と心の問題(3) 学童期・思春期	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
7 /	子どもの主な精神疾患と問題行動	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
8 /	子どもの心身症	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
9 /	子どもの発達障がい	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
10 /	児童虐待と愛着・トラウマ	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
11 /	不安障害・うつ病	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
12 /	統合失調症・双極性障害	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
13 /	母親の精神保健 産後うつ・育児不安	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
14 /	保育者のメンタルヘルス	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	30
15 /	まとめ	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容の復習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>児童・青年期の心理学</b>	荻田 純久(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Child and Adolescent Psychology							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・ 児童期、青年期の発達に関する知識を身につける。 ・ 児童期、青年期における諸問題の背景について考える力を身につける。 ・ 児童期、青年期と他の時期を関連させながら、人間の発達について考える力を身につける。							
<b>授業の内容</b> これまで幼稚園、高校、大学でカウンセラーとして従事してきました。そこで得られた経験等を活かし、具体的で分かりやすい授業を展開していこうと考えています。 児童期、青年期の発達について概観しながら、この時期において特徴的な諸問題について考察を深めていく。最終的には、児童期、青年期と他の時期を関連させながら、人間の発達について考える力が身につくように授業を展開していく。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	毎回、Google Classroomを使った課題を出します。その課題に取り組みながら復習をしてください。定期試験はレジュメ、ノートの持ち込みを可とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使ってフィードバックをする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	毎回の講義終了後、Google Classroomを使った課題を出す				
	授業内試験						
	定期試験	55	筆記試験をする（レジュメ、ノートは持ち込み可です）				
	レポート	15	小レポートを学期途中に提出する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	荻田研究室 金曜日 12時15分～12時45分（必ず事前にメールで用件と来室時間を知らせてください 件名に学生番号と氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-ogita@sumire.ac.jp（荻田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 【私の児童期、青年期】について考える	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
2 /	児童期とは？	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
3 /	児童期：小1プロブレム	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
4 /	児童期：仲間関係	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
5 /	児童期：道徳的判断	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
6 /	児童期：感情・表情の理解	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
7 /	児童期：自己肯定感	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
8 /	青年期とは？	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
9 /	青年期：いじめ	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
10 /	青年期：反抗期	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
11 /	青年期：自我同一性	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
12 /	青年期：適応	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
13 /	青年期：アタッチメント	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
14 /	青年期：自傷行為と自殺	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
15 /	まとめ	荻田	講義およびアクティブ・ラーニング	授業内容を復習してから課題に取り組む	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育臨床相談</b>	荻田 純久(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Counseling for Child Care							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場において、子ども、保護者とのよりよい関わりをしていくための知識を修得する。</li> <li>・発達、知能、性格などを把握するためのさまざまな検査法を知る。</li> <li>・応用行動分析について学び、個別の支援方法を考えられるようになる。</li> <li>・遊戯療法について学び、その知見を子どもとの関わりに活用できるようになる。</li> <li>・カウンセリングの基礎理論を学び、子ども、保護者とのよりよい関係づくりに繋げることができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>これまで幼稚園、高校、大学でカウンセラーとして従事してきました。そこで得られた経験等を活かし、具体的で分かりやすい授業を展開していこうと考えています。</p> <p>さまざまな心理検査、応用行動分析、遊戯療法、そしてカウンセリングの基礎理論を学んだ後に、これらの保育現場での応用について事例検討を行っていく。様々な事例に触れることにより、現場で役立つ応用力を身につけていく。</p>							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介します						
担当者からのメッセージ	2年間で学ぶ心理学関係の科目のうち、最後の科目となります。「子どもの心理学Ⅰ」などで学んだことをベースにし、さらに学びを深めていきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、Google Classroomを使った課題を出します。フィードバックもGoogle Classroomを使用します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	45	毎回授業終了後にGoogle Classroomを使用した課題（出席者のみ提出）を出す				
	授業内試験						
	定期試験	55	筆記試験を行う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	荻田研究室 金曜日 12時15分～12時45分（必ず事前にメールで用件と来室時間を知らせてください 件名に学生番号と氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-ogita@sumire.ac.jp（荻田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。</p> <p>(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。</p> <p>(幼DP5)【技能】保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p> <p>(幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育臨床相談とは？	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
2 /	幼児理解の理論及び方法	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
3 /	応用行動分析の基礎 1 学習理論の基礎	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
4 /	応用行動分析の基礎 2 さまざまなプロンプト	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
5 /	応用行動分析の基礎 3 課題分析	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
6 /	応用行動分析の基礎 4 ABC分析	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
7 /	遊戯療法の基礎 1 遊びと子どもの内的世界	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
8 /	遊戯療法の基礎 2 遊戯療法の基本的な流れ	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
9 /	遊戯療法の基礎 3 遊戯療法におけるさまざまなテクニック	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
10 /	遊戯療法の基礎 4 遊戯療法の事例紹介	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
11 /	カウンセリングの基礎理論及び方法 1 理論について	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
12 /	カウンセリングの基礎理論及び方法 2 保護者対応	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
13 /	事例検討 1 応用行動分析を用いた事例	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
14 /	事例検討 2 総合力を確認する事例	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめ、暗記する	30
15 /	まとめ	荻田	講義、アクティブ・ラーニング	定期試験に向けて、キーワードのチェックを行う	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>相談援助</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Social Work							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・ソーシャルワークの基礎理論について理解できる。 ・ソーシャルワークが展開される現場の実態について理解できる。 ・演習や事例検討を通じて、模擬的にソーシャルワークの技術にふれる。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による演習主体の授業である。 近年、保育分野でのソーシャルワーク（相談援助）の重要性が高まっている。こどもたちや保護者のくらしの実態を踏まえながら、適切な相談支援を行えるようになるための入門編としての授業である。単なる「人生相談」や、心理学を軸とした「カウンセリング」とも異なる、「ソーシャルワーク」のアプローチについて理解する手掛かりを得る。 相談援助の方法・技術や具体的展開、保育分野への応用等について、講義と演習を交えながら理解を進めていく。演習では、最初から答えが用意されているわけではないので、受講生同士の意見交換やディスカッションを大切にほしい。							
教科書	『相談援助』 伊藤嘉余子編（青踏社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	参考書は授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	子どもたちやその保護者を支えていくために、「生活感」のある保育士や教員が求められている。くらしに根ざした支援のあり方について共に学んでいきたい。そのために、具体的な事例の提示、視聴覚教材の活用、演習の充実を図っていく。授業への積極的な参加を望む。 授業ではプリントを配付するが、各自ファイルするなどして無くさないようにすること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	ほぼ毎回の授業で何らかの提出物を求める。提出されたレポートや成果物は、担当者が確認・検印後に返却する。返却されたレポートや成果物は、無くさないように保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業中に課す小レポートで算出する				
	授業内試験						
	定期試験	60	ソーシャルワークの基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他	10	事例検討におけるグループ発表の成果を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメール等で予約を取ること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP5)【技能】 保護者との適切な関わりを築き、相談援助ができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたってのオリエンテーション 保育職を目指す者が相談援助(ソーシャルワーク)を学ぶ意義について	松木	講義	テキスト第1章を読んでおく	30
2 /	相談援助(ソーシャルワーク)とは何か	松木	導入講義 支援現場のドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	ソーシャルワークの定義を理解する	30
3 /	相談援助の概要(1) ソーシャルワークの基本的理論・考え方	松木	導入講義 アイスブレイクを目的とした演習	テキスト第2章を読んでおく	30
4 /	相談援助の概要(2) ソーシャルワークの原理原則	松木	導入講義 自己覚知のための演習 振り返りシート記入	テキスト第3章を読んでおく	60
5 /	相談援助の概要(3) 保育とソーシャルワーク	松木	導入講義 共感・支持のための演習 振り返りシート記入	テキスト第5章を読んでおく	60
6 /	相談援助の方法・技術(1) 対象者の理解	松木	導入講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	テキスト第6章を読んでおく	30
7 /	相談援助の方法・技術(2) ソーシャルワークのプロセス	松木	導入講義 テキスト第6章の演習問題に取り組む 振り返りシート記入	テキスト第7章を読んでおく	30
8 /	相談援助の方法・技術(3) ソーシャルワークの体系	松木	導入講義 グループで意見をすり合わせるための演習 振り返りシート記入	テキスト第8章を読んでおく	30
9 /	相談援助の方法・技術(4) ソーシャルワークのアプローチ マッピングの技法	松木	導入講義 事例に即したジェノグラム等の作成	テキスト第8章を読んでおく	30
10 /	相談援助の具体的展開(1) SOSを出せない人たちにどう関わるか	松木	導入講義 生活困窮者を理解するためのドラマ視聴 振り返りシート記入	配付プリントを読み返しておく	30
11 /	相談援助の具体的展開(2) 面接の技法	松木	講義	配付プリントを読み返しておく	30
12 /	相談援助の具体的展開(3) 面接ワークショップ	松木	ロールプレイを中心とした演習 振り返りシート記入	前回の配付プリントを参考に、自身の面接技術を振り返っておく	30
13 /	事例検討(1) テキストの事例を用いた事例検討	松木	グループ討議・発表資料作成	次回授業までに発表資料を完成させる	120
14 /	事例検討(2) テキストの事例を用いた事例検討	松木	グループ発表 振り返りシート記入	他のグループの発表資料を読み込み、様々な視点を学ぶ	60
15 /	授業のまとめ	松木	授業全体の振り返り 定期試験に向けた練習問題	定期試験に向けて知識を整理しておく	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育相談支援</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Study of Child-care Counseling and Support							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育相談支援の意義と原則について理解する。</li> <li>・ 保護者支援の基本を理解する。</li> <li>・ 保育相談支援の内容や方法を理解する。</li> <li>・ 保育所や児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>本授業では、相談援助で学んだ知識や技術を生かして、保育所での経験を持つ教員が、現場の実践事例を活かしながら保護者と信頼関係を築くための技法について理解し、保育者としての専門性を活用した支援方法の学びを深める。</p>							
教科書	『保育相談支援』 柏女霊峰、橋本真紀編著 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	『保育所保育指針解説書』						
担当者からのメッセージ	保育相談支援の知識や技術を学ぶことで、保育者として保護者に信頼を得る力を身につけましょう。演習形態で行いますので、一人一人の主体的な学習態度を期待します。事例を通して、ロールプレイングやグループで話し合いながら、その都度評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は、担当者が確認、検印後返却します。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	普段の授業態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他	20	課題提出で評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	前川研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育相談支援の意義と基本視点(1) 保育相談支援とは何か	前川	講義 ロールプレイング(事例を通して)	予習: テキストp.1~p.35 保育所保育指針第6章を読んで くこと	60
2 /	保育相談支援の意義と基本視点(2) 構造と展開	前川	講義 ロールプレイング(事例を通して)	授業内容について事前学習を する	60
3 /	保育相談支援の基本(1) 「伝わるように伝える」ということ	前川	講義 事例検討	予習: テキストp.36~p.38 保護者が抱える子育ての悩み や葛藤の実際について調べる	90
4 /	保育相談支援の基本(2) エンパワメント・アプローチ	前川	講義 事例検討	地域における保育・子育ての 社会的資源について調べる	90
5 /	保育相談支援の展開(1) 方法と技術	前川	講義 事例検討	予習: テキストp.52~p.64 復習: 保育相談支援の方法と技術につ いてまとめる。	90
6 /	保育相談支援の展開(2) 支援過程の実際	前川	講義 事例検討	予習: テキストp.64~p.74 復習: 支援開始から終結に至るまでのプ ロセスを再確認する	60
7 /	環境を通じた保育相談支援(1) 保育の質	前川	講義 グループ討議	予習: 園の環境は保護者の感情や行 動にどう影響するのか、テキ ストp.76~p.92読んでおく	60
8 /	環境を通じた保育相談支援(2) 園の環境	前川	講義 グループ討議	環境が人間の心理に与える影 響について調べておく(人的・ 物的環境)	90
9 /	保育所入所児童の保護者への保育相談支援 (1) 場面や方法	前川	講義 ロールプレイング(事例を 通して)	予習: テキストp.93~121読んでお く	60
10 /	保育所入所児童の保護者への保育相談支援 (2) 直接的な手段	前川	講義 クラス作り作成	3歳児のクラス作り(11月) を作ってみよう	90
11 /	保育所の地域子育て支援における保育相談支 援(1) 地域の役割	前川	講義 グループ討議(事例を通し て)	予習: テキストp.122~p.137読んで おく	60
12 /	保育所の地域子育て支援における保育相談支 援(2) 実践場面と手段	前川	講義 ロールプレイング	地域子育て支援の役割と特性、 限界について事前学習してお く	90
13 /	児童福祉施設における保育相談支援(1) 特性理解と支援の実際(乳児院・児童養護施 設)	前川 外部講師	講義	それぞれの施設における子ど も・保護者理解を深めておく	90
14 /	児童福祉施設における保育相談支援(2) 特性理解と支援の実際(保育所)	前川 外部講師	講義	それぞれの施設における子ど も・保護者理解を深めておく	90
15 /	まとめ	前川	DVD視点による保護者支 援の現状と課題の学び 全15回の授業を総括	保護者支援の現状と課題につ いてまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>地域福祉</b>	岡本 芳也(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Community Social Work							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域にあるさまざまな福祉問題について、その問題の現状や背景について理解する。</li> <li>・ 地域にあるさまざまな福祉問題に対して提供されている福祉サービスの内容について理解する。</li> <li>・ 地域における福祉問題の解決のための住民参加の意義について理解する。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>本講義では、地域社会の中起こっているさまざまな福祉問題を取り上げながら、それらの問題の現状、実情がどのようなものであるのか、現代社会においてなぜそれらの問題が起こるのか、そして、その問題に対してどのような実践が行われ、どのような支援、サービスが提供されているのか、さらには問題の解決のために地域に住む住民がどのようなことをしていくことが求められているのか、といったことについて学んでいきます。その中で地域における福祉問題というものが身近な、そして自分たち自身に関わりのある問題であることについて理解を図ってきたいと思います。</p>							
教科書	『よくわかる地域福祉（最新版）』 上野谷加代子・松端克文・山縣文治編（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	特になし 資料については、講義時間に必要に応じて配付します。						
担当者からのメッセージ	地域福祉とは皆さん自身も暮らす地域社会の中で行われる実践であり、皆さん自身の身近なところにあるものです。まずは自分の身近な地域がどのような現状か、どんな問題があるか、どのような活動をしているのか、関心を持ってみてください。成績評価の一環として、授業毎に簡単なまとめレポートを作成していただきます。講義内容の理解度を確認すると共に、感想、質問、疑問点などについても対応していきたいと思っておりますので、積極的に取り組んでください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	まとめレポートについては、必要に応じて翌週の授業にて、注目される内容の感想、意見などについては取り上げ、コメントします。また、講義で学習した内容に関して寄せられた疑問、質問についても回答、説明などを行い、より深い理解ができるようにしていきたいと考えます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業まとめ、感想・質問のミニレポート提出				
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。</p> <p>(幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。</p> <p>(幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。</p>						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	社会福祉問題とは何かを理解する(社会問題の一つとしての社会福祉問題)	岡本	講義とレポート作成	授業ノートを見直すこと	240
2 /	社会福祉問題を解決する方法について理解する(公助、共助、自助についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
3 /	社会福祉問題の背景(現代の地域社会の状況や家族の置かれた状況についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
4 /	現代社会における地域福祉の重要性、意義について理解する(歴史的、政策的な側面からの変化、位置付けの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
5 /	地域福祉の理念について理解する(ノーマライゼーション、脱施設化等についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
6 /	地域福祉の理念について理解する(コミュニティケア等についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
7 /	社会福祉協議会による地域福祉実践についての理解(社会資源の理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
8 /	地域社会における児童福祉問題の現状について(児童虐待、少子化などを中心に)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
9 /	地域における子育て支援サービス、地域組織化について(現状と課題についての理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
10 /	地域社会における障害者福祉問題の現状について(地域生活、就労状況などを中心に)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
11 /	障害者福祉問題を中心としたバリアフリーと社会参加の現状と課題(法制度と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
12 /	地域社会における高齢者福祉の現状について(現状と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
13 /	地域社会における貧困問題の現状について(現状と課題について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
14 /	地域福祉における権利擁護の活動について(支援・制度内容と現状について)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
15 /	地域での生活を守る様々な実践について(様々な社会資源、サービスの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑応答	授業ノートを見直し、疑問点などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと	240
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ(保育所)A</b>	浜崎 由紀(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
	永久 欣也(専任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。</li> <li>・指導案に基づいた生活や遊びの実際を体験的に理解することができる。</li> <li>・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。</li> <li>・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。</p> <p>具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実際について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにむけて講義や演習を通して保育所の機能や役割(保護者支援や倫理綱領)を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。</p>							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがあります。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってまいります。授業には積極的に参加すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・金 12時15分～13時 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等で予約を取ること 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開します(事前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	保育者のかかわり	浜崎 永久 三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	教材研究1 乳児の遊び	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	教材研究2 伝承遊び	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の書き方1 制作1「想像力・創造性を養う遊び」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の書き方2 制作2「技法を用いた遊び」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の書き方3 活動的な遊び1「未満児」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	教材研究と部分実習指導案の書き方4 活動的な遊び2「3才以上児」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習に関する事務手続き説明	浜崎 永久 三上	講義 事務連絡	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	ゲスト講義(1) 観察の仕方1「子どもの遊びの場面」	浜崎 外部講師	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
11 /	ゲスト講義(2) 観察の仕方2「子どもの遊びの場面」	浜崎 外部講師	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
12 /	全日実習の指導案の書き方(1) 全日実習のポイントと事例から学ぶ	浜崎 三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
13 /	全日実習の指導案の書き方(2) 指導案作成の実際	浜崎 三上	講義 演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ(保育所)B</b>	浜崎 由紀(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
	永久 欣也(専任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。</li> <li>・指導案に基づいた生活や遊びの実際を体験的に理解することができる。</li> <li>・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。</li> <li>・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。</p> <p>具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実際について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにむけて講義や演習を通して保育所の機能や役割(保護者支援や倫理綱領)を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。</p>							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがあります。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってまいります。授業には積極的に参加すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・金 12時15分～13時 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等で予約を取ること 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開します(事前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	保育者のかかわり	浜崎 永久 三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	教材研究と部分実習指導案の書き方1 制作1「想像力・創造性を養う遊び」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	教材研究と部分実習指導案の書き方2 制作2「技法を用いた遊び」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究と部分実習指導案の書き方3 活動的な遊び1「未満児」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究と部分実習指導案の書き方4 活動的な遊び2「3才以上児」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究1 乳児の遊び	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	教材研究2 伝承遊び	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習に関する事務手続き説明	浜崎 永久 三上	講義 事務連絡	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	ゲスト講義(1) 観察の仕方1「子どもの遊びの場面」	浜崎 外部講師	講義・演習 ※前半クラスはAと合同 後半クラスはCと合同	授業内容を振り返り要点を整理する	90
11 /	ゲスト講義(2) 観察の仕方2「子どもの遊びの場面」	浜崎 外部講師	講義・演習 ※前半クラスはAと合同 後半クラスはCと合同	授業内容を振り返り要点を整理する	90
12 /	全日実習の指導案の書き方(1) 全日実習のポイントと事例から学ぶ	浜崎 三上	講義・演習 ※前半クラスはAと合同 後半クラスはCと合同	授業内容を振り返り要点を整理する	90
13 /	全日実習の指導案の書き方(2) 指導案作成の実際	浜崎 三上	講義・演習 ※前半クラスはAと合同 後半クラスはCと合同	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	直前指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ(保育所)C</b>	浜崎 由紀(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
	永久 欣也(専任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (nursery school)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所実習Ⅱの意義・目的・実習生としての厳守すべき事項について理解を深め、明確な目的をもつ。</li> <li>・指導案に基づいた生活や遊びの実際を体験的に理解することができる。</li> <li>・演習を通して、子ども・保育への理解を深める。</li> <li>・直後指導を通して実習の振り返りや自己評価をふまえた課題が認識できている。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>幼稚園や保育所等での勤務経験を有する教員が、その経験を活かして、教材研究、指導案について講義する。</p> <p>具体的な事例に基づきながらロールプレイやグループディスカッションを行い、観察の仕方やポイント、保育者のかかわりについて検討・考察する。指導案を作成し、指導案に基づいた子どもの遊びの実際について体験的に学ぶ。実践力を身につけるために各自指導案を作成する。保育所実習Ⅱにむけて講義や演習を通して保育所の機能や役割(保護者支援や倫理綱領)を理解する。直後指導でのグループディスカッションを通して実習を振り返り自己評価を行う。また自己評価を基に今後の課題を明確にする。</p>							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習において厳守すべきルール」や提出期限等を守れない者は不合格となることがあります。保育実習Ⅰで経験したことを踏まえ、実際の子どもの姿を想定しながら教材研究、指導案の作成を行ってまいります。授業には積極的に参加すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題は担当者が確認し、返却する。返却された提出物は、必ずまとめて保管しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	提出課題				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・金 12時15分～13時 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等で予約を取ること 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp (浜崎) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開します(事前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育実習Ⅰを振り返る	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅰをグループワークで振り返る	授業内容を振り返り、要点を整理する 保育実習Ⅱに向けた学習課題を明らかにする	90
2 /	保育者のかかわり	浜崎 永久 三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
3 /	教材研究と部分実習指導案の書き方3 活動的な遊び1「未満児」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
4 /	教材研究と部分実習指導案の書き方4 活動的な遊び2「3才以上児」	三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
5 /	教材研究1 乳児の遊び	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
6 /	教材研究2 伝承遊び	浜崎	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
7 /	教材研究と部分実習指導案の書き方1 制作1「想像力・創造性を養う遊び」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
8 /	教材研究と部分実習指導案の書き方2 制作2「技法を用いた遊び」	永久	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
9 /	実習に関する事務手続き説明	浜崎 永久 三上	講義 事務連絡	授業内容を振り返り要点を整理する	90
10 /	全日実習の指導案の書き方(1) 全日実習のポイントと事例から学ぶ	永久 三上	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
11 /	全日実習の指導案の書き方(2) 指導案作成の実際	永久 三上	講義 演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	ゲスト講義(1) 観察の仕方1「子どもの遊びの場面」	三上 外部講師	講義・演習 ※	授業内容を振り返り要点を整理する	90
13 /	ゲスト講義(2) 観察の仕方2「子どもの遊びの場面」	三上 外部講師	講義 演習	授業内容を振り返り要点を整理する	90
14 /	直前指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直前指導 実習に関するルールの確認	配付資料を読み返し、実習へ向けた最終準備を整える	90
15 /	直後指導	浜崎 永久 三上	保育実習Ⅱ直後指導 実習後の省察 実習記録の振り返り	授業内容を振り返り今後の課題をより明確にする	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育所実習Ⅱ</b>	永久 欣也(専任)	2年次	前期集中	2	実習	選択	○
	浜崎 由紀(専任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Child-care Practice at Nursery School II							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習Ⅰの経験と既習の教科内容を踏まえて、保育所の業務内容を総合的に理解する。</li> <li>・観察・記録や子どもとの関わりを通して保育への理解を深める。</li> <li>・指導案を立てることができ、計画に基づいた保育を実践することができる。</li> <li>・保護者支援および職業倫理の基本を学ぶ。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>保育所実習Ⅱではこれまでの学びを踏まえ、保育所の役割や機能、保育士の職務（子どものかかわり、保育の実際）について理解を深める。子どもの姿や保育士の配慮等を的確にとらえた実習記録を書くことによって保育への理解を深める。特別な配慮を要する子どもへのかかわりについて実践的に学ぶ。指導案を作成し、計画に基づいた保育を実践する。保護者への支援や家庭との連携について具体的に知る。</p> <p>参加実習：保育者の指導を受けながら子どもと積極的にかかわることを通して学ぶ。</p> <p>責任実習：指導案を作成しそれに基づいた保育を行う。</p> <p>保育現場経験者（保育者）による実習内容の指導あり。</p>							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
担当者からのメッセージ	「保育実習指導Ⅰ」が不合格である者、「保育実習Ⅰにおいて厳守すべきルール」や実習に関する記録などの提出期限等を守れない者の実習を認めません。準備を整えて実習に備えましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習先と連絡を取り、巡回訪問で指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習記録（50%）、実習園の総合評価（50%）				
	自由記載						
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・金 12時15分～13時 永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等で予約を取ること 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp（浜崎） k-nagahisa@sumire.ac.jp（永久）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。</p> <p>(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。</p> <p>(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p>						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実習期間：2回生の8月中10日間 1日8時間以上	永久 浜崎 三上	指定保育園での実習	実習期間中、実習記録をまとめる	600
2 /	実習先：学生本人が実習先の内諾を得、「保育実習Ⅱ実習報告書」を指定された日までに提出する	永久 浜崎 三上	実習の内容については、「保育実習指導Ⅱ（保育所）」において指導していく	実習期間中、実習記録をまとめ、ファイルを整理する	180
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育実習指導Ⅱ(施設)</b>	林 幸範(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
	松木 宏史(専任)						実務経験
Guidance with Child-care Practice Ⅱ (Social Welfare Institution)							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・社会福祉施設の役割・機能について学びを深める「施設実習Ⅱ」に向けた準備を行う。 ・実習における学びを実のあるものにするために、事前の準備として最低限必要な知識やものの見方、考え方の習得を目指す。							
<b>授業の内容</b> これまでに学んできた「保育」について総合的に振り返るとともに、実習先の理解・対象者の理解を進めていく。また、観察・記録・自己評価といった実習に必要なスキルや保育士の専門性・職業倫理についても具体的に学んでいく。 教員によるレクチャーにとどまらず、受講生相互の学びあいも重視したい。 なお、この科目は「施設実習Ⅱ」と連動している。							
教科書	『福祉施設実習ハンドブック（1年次に購入済み）』 岡本幹彦ほか（みらい） 価格（本体2,000円＋税） 『新選 社会福祉（1年次に購入済み）』 後藤卓郎ほか（みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	参考書は授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	施設実習Ⅲに向けて、「謙虚に現実から学ぶ」ことを目指して授業に臨んでほしい。 授業で配付したプリントはファイルして無くさないようにすること。 「実習において厳守すべきルール」に対する違反には厳しい態度で臨む。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	自己紹介シート、実習課題書については添削指導を行ったうえで清書に入ってもらおう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	提出課題(50%) 事前学習の成果・進捗 (50%)				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 木曜日 12時40分～13時20分（事前にメール等で予約を取ること） 松木研究室 木曜日 12時40分～13時20分（事前にメール等で予約を取ること）						
担当教員E-mail	y-hayasi@sumire.ac.jp（林） h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】 自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	保育所・施設合同オリエンテーション	林 松木	講義	配付資料を読み返す	60
2 /	施設実習Ⅱオリエンテーション	林 松木	講義 実習指導スタートシート記入 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
3 /	施設実習Ⅰの振り返り(1)	林 松木	講義 個人ワークによる振り返り	配付資料を読み返す	60
4 /	施設実習Ⅰの振り返り(2)	林 松木	グループワークによる振り返り 記録用紙記入	演習シートを読み返す	60
5 /	事前学習のまとめ方について	林 松木	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
6 /	自己紹介シートを作成する	林 松木	個人ワークによる書類作成	次回までに自己紹介シートを完成させる	120
7 /	実習課題書を下書きする	林 松木	個人ワークによる書類作成	次回までに下書きを完成させる	180
8 /	実習課題書を清書する	林 松木	個人ワークによる書類作成	完成しなかった場合、次回までに課題書を完成させる	120
9 /	実習に関する事務手続き説明	林 松木	講義	配付資料を読み返す	60
10 /	ゲスト講義(1) 障がい者施設から	林 松木	講義 感想文記入	配付資料を読み返す	60
11 /	ゲスト講義(2) 児童福祉施設から	林 松木	講義 感想文記入	配付資料を読み返す	60
12 /	実習課題・計画発表会(1) 児童福祉施設	林 松木	グループワーク	配付資料を読み返す	60
13 /	実習課題・計画発表会(2) 障がい児・者施設	林 松木	グループワーク	配付資料を読み返す	60
14 /	直前指導	林 松木	講義 記録用紙記入	施設実習Ⅱに向けて自己学習の点検を行う	180
15 /	直後指導	林 松木	個人ワークによる振り返り グループワークによる実習成果の交流	施設実習Ⅱを振り返り実習の成果をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>施設実習Ⅱ</b>	林 幸範(専任) 松木 宏史(専任)	2年次	前期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
							○
Practice at Social Welfare Institution Ⅱ							
資格等取得との関連	保育士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・社会福祉施設や児童館の役割・機能や保育士・指導員・生活支援員の専門性について、より深く実践を通じて学ぶ。 ・施設養護に関わる保育士として、また様々な施設現場で働くことを目指す者として、科学的なものの見方・考え方に基づいた問題把握と支援技術を習得する。							
<b>授業の内容</b> 具体的には各実習施設により、実習プログラムは異なることがあるが、おおむね以下の内容を学習することになる。 ・個人差や生活問題の違いを把握したこども（対象者）理解 ・支援計画の立案と実施 ・家族とのコミュニケーション方法の実際 ・地域社会と施設とのかかわり ・保育士としての職業倫理 実習期間：8月中の10日間程度 実習先：本学指定の社会福祉施設							
教科書	『福祉施設実習ハンドブック（1年次に購入済み）』 岡本幹彦ほか（みらい） 価格（本体2,000円＋税） 『新選 社会福祉（1年次に購入済み）』 後藤卓郎ほか（みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	実習では「謙虚に現実から学ぶ」ことを大切に、おおいに学んでください。 成績評価について：実習日程をすべてクリアした学生について、施設評価・記録・課題に対する取り組み状況を踏まえて総合的に評価を行う。 「保育実習指導Ⅱ」が不合格あるいは「実習に関するルール」に著しく抵触する者、期日までに理由なく実習記録等の提出物を出せなかった者については、単位を認めないため重々注意すること。 配付資料を無くさないよう注意すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	事後指導の時間にフィードバックを行う。 また、日々の実習等へのコメントは必ず読んでおくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実集簿並びに実習先からの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 木曜日 12時40分～13時20分（事前にメール等で予約を取ること） 松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメールで連絡すること）						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp（林） h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	福祉現場での配属実習のため非公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	10日間の実習プログラムは各施設により異なる	林 松木	配属実習	法で定められた実習時間	0
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育実習(事前事後指導1)</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	前期集中	5	演習	選択	○
	久米 央也(専 任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。</li> <li>・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。</li> <li>・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。</li> <li>・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め幼稚園において実習を行う。</p>							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員4名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の毛の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	課題提出で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	前川研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 久米研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp（前川） h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。</p> <p>(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。</p> <p>(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	前川 久米 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する。	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	前川 久米 三上	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	「私の課題」の書き方(前期)	前川 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	部分実習指導案の書き方	前川	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
5 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	事務連絡 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	前川 久米 三上	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	前川 久米 三上	(前期実習6月4日～6月8日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	前川 久米 三上	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	「私の課題」の書き方(後期)	前川 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	責任実習指導案の書き方	前川	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
12 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	後期実習直前指導	前川 久米 三上	(後期実習9月3日～9月14日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	前川 久米 三上	後期実習を振り返り自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育実習(事前事後指導2)</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	前期集中	5	演習	選択	○
	久米 央也(専 任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め幼稚園において実習を行う。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員4名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	提出課題で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	前川研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 久米研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp（前川） h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	前川 久米 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	前川 久米 三上	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	「私の課題」の書き方(前期)	前川 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	部分実習指導案の書き方	前川	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
7 /	事務連絡 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	前川 久米 三上	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	前川 久米 三上	(前期実習6月4日～6月8日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	前川 久米 三上	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	「私の課題」の書き方(後期)	前川 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
12 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	責任実習指導案の書き方	前川	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
14 /	後期実習直前指導	前川 久米 三上	(後期実習9月3日～9月14日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	前川 久米 三上	後期実習を振り返り自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教育実習(事前事後指導3)</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	前期集中	5	演習	選択	○
	久米 央也(専 任)						実務経験
	三上 佳子(非常勤)						○
Practice Teaching at Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・幼稚園の保育の流れを理解し、保育に参加する。 ・保育者の援助や役割および保育の内容について学ぶ。 ・子どもの姿に応じた指導計画の立案と実践を学ぶ。 ・実習に関して自分の課題設定を行い、取り組んでいく。							
<b>授業の内容</b> 幼稚園教育実習（以後、実習とする）を中心に据え、実習に行くための様々なトレーニング、準備等を行う。また実習後は、実習の振り返り作業を丁寧に行った上で、幼児教育保育の現場で働くための各自の課題設定を行う。また外部講師の講演による担当者の専門性に基づいた様々な講義を受講することにより、実習での学びを深め幼稚園において実習を行う。							
教科書	『幼稚園教育実習』 玉置哲淳・島田ミチコ（建帛社） 価格（本体2,100円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館（フレーベル館） 価格（本体190円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	教員4名による演習形式の授業であり、合同授業と分割授業がある。初回に配付する予定表で開講日と教室をチェックすること。ただ出席しているだけでは、成長はできない。目的意識をしっかりと持ち、主体的に学ぶこと。実習の直前指導、事後指導（各々2回）はスーツを着用し、髪の色、爪の長さなど実習にふさわしい装いで受講すること。実習前は、実習園に訪問して現地オリエンテーションを受ける。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題提出後にはコメントをいれ適宜返却する。 実習先に連絡を取り、巡回訪問をして指導する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	提出課題で評価				
	その他	50	実習園からの評価				
自由記載							
オフィスアワー	前川研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 久米研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 三上：授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp（前川） h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 教育実習の意義・目的・実習生としての心構えの説明	前川 久米 三上	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構えを説明する	講義内容をまとめる	90
2 /	外部講師に学ぶ 「幼稚園教育実習に向けて」	前川 久米 三上	講義 (幼稚園の現場の先生による)	講義内容をまとめる	90
3 /	「私の課題」の書き方(前期)	前川 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
4 /	実習記録の書き方(前期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	部分実習指導案の書き方	前川	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
6 /	観察の仕方(前期) 子どもの遊びの場面	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	事務連絡 誓約書・実習に関するルールの確認 私の課題の確認	前川 久米 三上	講義	連絡事項をまとめる	90
8 /	前期実習直前指導	前川 久米 三上	(前期実習6月4日～6月8日)	連絡事項をまとめる	90
9 /	前期実習直後指導	前川 久米 三上	前期実習を振り返り、自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
10 /	「私の課題」の書き方(後期)	前川 久米 三上	講義 実習の内容と課題の明確化	「私の課題」の作成をする	90
11 /	実習記録の書き方(後期) 観察・記録・考察	三上	講義 演習	講義内容をまとめる	90
12 /	責任実習指導案の書き方	前川	講義 グループ演習	討議した内容をもとにして指導案を完成する	90
13 /	観察の仕方(後期) 子どもの遊びの場面	久米	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	後期実習直前指導	前川 久米 三上	(後期実習9月3日～9月14日)	連絡事項をまとめる	90
15 /	後期実習直後指導	前川 久米 三上	後期実習を振り返り 自己評価	実習した内容についての振り返りをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育・教職実践演習(①1③1)</b>	林 幸範(専 任) 李 霞(専 任) 前川 頼子(専 任) 永久 欣也(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○ 実務経験 ○
	Seminar on Practice Nursery and Kindergarten						
	資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。</li> <li>・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。</li> <li>・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。</li> <li>・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b>							
<p>本演習は、実務経験のある教員などが担当する。</p> <p>教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。</p> <p>授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。</p> <p>教育の制度・方法の分野では実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。</p> <p>なお、授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針〈原本〉』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	前川・李・林・永久 研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川) k-lee@sumire.ac.jp (李) y-hayashi@sumire.ac.jp (林) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。</p> <p>(幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p> <p>(幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について 教職履修カルテの意義と活用について	前川 李 林 永久	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
3 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
4 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
5 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
6 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
7 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
8 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
9 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
10 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
11 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	前川	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
12 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	前川	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
13 /	乳幼児の模擬保育 実践	前川	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察 教職履修カルテのまとめ	前川 李 林 永久	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ 教職履修カルテのまとめ	前川 李 林 永久	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育・教職実践演習(1232)</b>	林 幸範(専 任) 李 霞(専 任) 前川 頼子(専 任) 永久 欣也(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○ 実務経験 ○
	Seminar on Practice Nursery and Kindergarten						
	資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。</li> <li>・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。</li> <li>・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。</li> <li>・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b>							
<p>本演習は、実務経験のある教員などが担当する。</p> <p>教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。</p> <p>授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。</p> <p>教育の制度・方法の分野では実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。</p> <p>なお、授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針〈原本〉』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	前川・李・林・永久 研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川) k-lee@sumire.ac.jp (李) y-hayashi@sumire.ac.jp (林) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。</p> <p>(幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p> <p>(幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	前川 李 林 永久	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
3 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
4 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるように、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
5 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
6 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
7 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
8 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	前川	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
9 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	前川	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
10 /	乳幼児の模擬保育 実践	前川	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
11 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
12 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
13 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	前川 李 林 永久	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	前川 李 林 永久	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育・教職実践演習(2141)</b>	林 幸範(専任) 李 霞(専任) 前川 頼子(専任) 永久 欣也(専任)	2年次	後期	2	演習	選択	○ 実務経験 ○
	Seminar on Practice Nursery and Kindergarten						
	資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修					
<b>授業の到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。</li> <li>・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。</li> <li>・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。</li> <li>・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b>							
<p>本演習は、実務経験のある教員などが担当する。</p> <p>教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。</p> <p>授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。</p> <p>教育の制度・方法の分野では実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。</p> <p>なお、授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針〈原本〉』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	前川・李・林・永久 研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川) k-lee@sumire.ac.jp (李) y-hayashi@sumire.ac.jp (林) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。</p> <p>(幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。</p>						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	前川 李 林 永久	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
3 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
4 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
5 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	前川	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
6 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	前川	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
7 /	乳幼児の模擬保育 実践	前川	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
8 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
9 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
10 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
11 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
12 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
13 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるよう、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	前川 李 林 永久	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	前川 李 林 永久	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>保育・教職実践演習(2242)</b>	林 幸範(専 任) 李 霞(専 任) 前川 頼子(専 任) 永久 欣也(専 任)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar on Practice Nursery and Kindergarten							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程の科目や保育の専門科目を振り返り、教育実習・保育実習の経験を通して、これまでの学びを集大成していく。</li> <li>・教育実習・保育実習から自己の課題を見つけて、自ら将来保育者として保育の現場に立つ自覚を確認し、さらなる知識と実践力を身につけていく。</li> <li>・模擬授業を通して乳児とのかかわり方や援助の方法、幼児とのかかわり方や指導の方法などを再確認し、教育実習・保育実習での課題を学び直していく。</li> <li>・教職履修カルテの意義を理解し、活用することができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b>							
<p>本演習は、実務経験のある教員などが担当する。</p> <p>教職履修カルテを活用して、これまでに取得した単位の基礎知識を再確認し、不十分な分野の見直しをするとともに、既習知識と実習の経験から得た教育・保育の技術や指導法を活かせる演習をしていく。</p> <p>授業の構成は、1. 教育の制度・方法 2. 子ども理解 3. 模擬保育を通しての乳児の保育実践と方法論 4. 模擬保育を通しての幼児の保育実践と方法論の4部構成とする。</p> <p>教育の制度・方法の分野では実際の現場の内容を把握した上で保育者としての使命感や責任感及び教育的愛をはじめ、基本的な方法論を踏まえた検討を行う。子ども理解では、乳幼児の成長・発達をふまえながら現場における多様な子どもに寄り添う保育・教育について学ぶ。模擬保育では近隣の提携している保育園で乳児対象の実践を行う。幼児対象の模擬保育は、短大附属幼稚園で実践を行う予定である。教育実習の経験から学んだ実践の方法を活かし、ここでは造形表現に活動を絞って、環境構成の方法、指導の流れや幼児の発達を踏まえた教材研究そして、ワークショップ形式での子どもとのかかわりの中で、一人ひとりに寄り添って指導していく方法について学んでいく。</p> <p>なお、授業では、教職履修カルテを活用するので、必ず毎回確認をすること。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体190円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体249円＋税）						
参考書	月刊保育とカリキュラム 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針〈原本〉』 発行人浅香俊二（株式会社チャイルド本社）						
担当者からのメッセージ	この科目の受講資格は、教育実習または保育実習の単位を取得した者である。実習の経験を活かして、もう一度専門科目を振り返り、幼児教育・保育に関する学びをさらに深めていただきたい。また、保育者としての自分をイメージしながら積極的に授業に取り組み実践につながる学びをしていくことが望まれる。 模擬保育は附属幼稚園や近隣の保育所で行う予定である。事前の連絡や掲示を確認しておくこと。 教科書以外の資料は、各担当教員から授業時に配付される。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	模擬授業に関しては、それぞれの実践をビデオに撮り、総括の授業時に振り返りと考察を行う。 「教育の制度・方法」及び「子ども理解」に関しては、提出課題への添削を行い返却する。また提出課題を通して内容の理解度を確認し、次回授業において補足説明等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回の授業での課題				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	各教員のまとめの課題など				
	その他	30	全体での課題など				
自由記載							
オフィスアワー	前川・李・林・永久 研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川) k-lee@sumire.ac.jp (李) y-hayashi@sumire.ac.jp (林) k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	実践は附属幼稚園その他の場所で行いますので、事前に連絡してください						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 実践演習の意義について	前川 李 林 永久	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み方等を説明する	教育実習・保育実習の振り返りをした後、それぞれの専門科目についての教科書や資料を読み返す	90
2 /	乳幼児の模擬保育 計画と指導案作成	前川	グループで指導内容を計画し、指導案の作成を行う	乳幼児(3.4.5歳児)の造形遊びについて調べ、資料等を集めておく	90
3 /	乳幼児の模擬保育 計画の確認と準備	前川	立案した内容を確認・準備等をする	造形遊びに必要な材料を集め教材研究をしておく	90
4 /	乳幼児の模擬保育 実践	前川	保育園、附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	90
5 /	特別な配慮を必要とする子どもに理解 乳児の模擬保育内容、指導案の検討	林	講義および演習 グループで指導案の計画を立てる	復習用ワークシートを配付しまとめる 討議した結果をもとに指導案を完成させる	90
6 /	特別な配慮を必要とする子どもへの関わり方 乳児の模擬保育内容の準備	林	講義および演習 立案した内容を確認・準備等をする 事例を通して	演習 ワークシートに取り組む	90
7 /	特別な配慮を必要とする子どもについての連携 乳児の模擬保育の実施	林	講義および演習 保育園で模擬保育を行う グループ発表	他者の発表をまとめる	90
8 /	保育職・教育職を知る ・保育職の意義及び職務内容 ・教育職の意義及び職務内容 ・保育者の責任及び使命	李	チーム活動を踏まえて、講義と演習を行う	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』を参考にしながら、事前学習シートを完成させる	60
9 /	保育者としての専門性の向上を図る ・どのような保育記録を書くか ・記録から何を読み取るか ・保育に役立つ記録の書き方	李	講義及びチーム活動を踏まえた演習を行い、確認小テストも行う	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配付し、完成させる	60
10 /	保育マップ型記録を作ってみよう ・保育マップ型記録とは ・保育マップ型記録の要素 ・保育の狙いをどう設定するか	李	講義及び演習 チーム活動を踏まえたグループ発表を中心に	予習 グループワークがスムーズに展開できるように、予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
11 /	子ども理解 乳幼児の成長・発達	永久	講義及び確認小テスト	予習 『保育所保育指針』及び『幼稚園教育要領』における乳幼児の成長・発達を再確認しておく	60
12 /	子ども理解 個々へのかかわりと全体へのかかわり	永久	講義及び演習 個別の指導・支援計画の作成	復習 個別の指導・支援計画を仕上げる	60
13 /	子ども理解 乳幼児に寄り添うということ	永久	講義及び演習 グループ発表	予習 ワークシート記入	60
14 /	模擬保育授業の振り返りと考察	前川 李 林 永久	ビデオに収録した乳児・幼児の模擬保育の様子を観ながら考察を行う	模擬保育の考察をまとめる	90
15 /	授業全体の総括とまとめ	前川 李 林 永久	講義 それぞれの授業担当者からの総括	今まで授業で使った資料や教科書を読み返しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	荻田 純久(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・今日的課題について心理学の観点から考える力を身につけることができる。 ・心理学の専門知識を使って、議論することができる。							
<b>授業の内容</b> これまで幼稚園、高校、大学でカウンセラーとして従事してきました。そこで得られた経験等を活かし、具体的で分かりやすい授業を展開していこうと考えています。 本講義では、乳児期から青年期に至るまでの人間の発達に関するテーマの中から各自の興味のあるものを選び、心理学の観点から研究活動を進めていきます。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	毎回、Google Classroomを使った課題を出します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	Google Classroomを使って、フィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	15	毎回、Google Classroomを使った課題を出す				
	授業内試験	50	研究してきたことについてプレゼンテーションをする				
	定期試験						
	レポート	35	研究してきたことについて、学期末にレポートを作成する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	荻田研究室 金曜日 12時15分～12時45分(必ず事前にメールで用件と来室時間を知らせてください 件名に学生番号と氏名を入れること)						
担当教員E-mail	y-ogita@sumire.ac.jp(荻田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 文献検索方法	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
2 /	乳児期の今日的課題	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
3 /	幼児期の今日的課題	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
4 /	児童期の今日的課題	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
5 /	思春期の今日的課題	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
6 /	青年期の今日的課題	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
7 /	グループ研究(1) テーマ設定	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
8 /	グループ研究(2) 文献研究	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
9 /	中間発表会	荻田	講義、個別指導とアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
10 /	グループ研究(3) 文献研究をさらに進める	荻田	講義、個別指導とアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
11 /	グループ研究(4) まとめ	荻田	講義、個別指導とアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
12 /	プレゼンテーションの準備	荻田	講義、個別指導とアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
13 /	プレゼンテーションの練習	荻田	講義、個別指導とアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
14 /	プレゼンテーション	荻田	お互いに成果発表を行う	成果発表を振り返り、課題に 取り組む	20
15 /	レポート作成	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	全体を振り返り、課題に取り 組む	20
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	柚木たまみ(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教育保育における音楽表現領域の役割、可能性を知る。</li> <li>・ 現場での実践を通して、さまざまな音楽の使い方、音楽活動のあり方を理解する。</li> <li>・ 自分の研究テーマを決定する。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>音楽表現は、他の領域とつながり、さまざまなねらいを持って展開することができる重要なツールである。具体的な実践やロールプレイ、活動参観を通してそのイメージを捉え、各々決めたテーマの研究を進めていく。また、教員からは、長年にわたる演奏家、音楽療法士としての経験を生かした、「生きた」音楽の情報を発信していく。</p>							
教科書	なし						
参考書	「クロックオーケストラ」 <a href="https://bunkyo.repo.nii.ac.jp">https://bunkyo.repo.nii.ac.jp</a>						
担当者からのメッセージ	音楽の使い方をいろいろ知ることにより、表現手段を多く持ち、表現能力を磨きましょう。そして、幼児教育保育の現場で自信を持って実践する最後の準備をしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	お互いに積極的な意見を出し合い、ディスカッションすることも大切です。自分の考えを、いつも、言語化できるように心がけてください。また、外部実習もあります。ルールを守りながら、自分の能力を発揮しましょう。教員からのフィードバックは、活動の節目で必ず口頭によるコメントや添削により行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	研究テーマの決定に向けた意欲的、積極的な活動を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	決定した研究テーマの発表と専門演習Ⅱに向けた計画内容の充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時応じる e-mailによる予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	研究発表会を公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】 子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】 子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション ゼミナールの進め方について説明	柚木	講義 演習	ノート作成	30
2 /	音楽表現領域でのテーマを決める 学生各々の研究テーマにより指導内容は異なる	柚木	講義、文献購読、演習等、 学生各々に方法を提示する	ノート作成 関心のあるテーマをピック アップ	60
3 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
4 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
5 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	ノート作成 情報収集	60
6 /	テーマ決定のための活動	柚木	講義、文献購読、演習、実 習	報告レポート作成準備	60
7 /	テーマ決定に向けての中間報告	柚木	演習	報告レポート作成準備	90
8 /	テーマ決定に向けての中間報告	柚木	演習	報告レポート作成準備	90
9 /	テーマ発表準備	柚木	講義、演習	発表準備	90
10 /	テーマ発表準備	柚木	講義、演習	発表準備	90
11 /	テーマ発表準備	柚木	講義、演習	発表準備	90
12 /	テーマ発表準備	柚木	講義、演習	発表準備	90
13 /	テーマ発表準備	柚木	演習	発表準備	90
14 /	テーマ発表準備	柚木	演習	発表準備	90
15 /	専門演習Ⅱにむけた発表 研究テーマの発表	柚木	演習、発表	発表準備 専門演習Ⅱに向けての準備	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	北尾 岳夫(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・運動遊び、に関する指導計画の立案と実践ができる。 ・子どもの`野外活動、や`自然体験活動、の意義を理解し、その計画の立案と実践ができる。 ・幼稚園や保育園での様々な行事やイベントの企画立案ができ、中心となって運営することができる。							
<b>授業の内容</b> 北尾が担当する専門演習については、`運動遊び、`自然体験活動、`野外活動、という3つのキーワードを設定する。まず、キーワードに関する先行事例を文献から学ぶ。内容によっては、授業時間以外の活動も必要となり、土日や夏休み中の活動も行う場合がある。子どもたちを元気にするために、私たちにできることを一緒に考えて実践したい。 北尾担当の専門演習を選択した学生は、幼児体育Ⅳも受講すること。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	専門演習は、担当教員の専門性のもとに各自の興味関心に対する知識と理解を深める科目である。したがって、主体的な`学び、の度合いや、専門演習報告会に向けての取り組み姿勢が、受講態度として評価の対象となる。受け身になることなく、担当教員との積極的なコミュニケーションを図りながら、自分の得意分野を作り上げて欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	専門演習では、授業時間外での取り組みも必要になる場合がある。 必要に応じて、質問に対する回答やフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	クラスでの取り組み関わる貢献度とグループ内での人間関係性				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Ⅰ(北尾クラス)の流れを理解する	北尾	演習	各自の興味関心について、発言できるように準備しておく	90
2 /	キーワードに関する調査(研究論文から調べる)	北尾	演習	各グループで決められた役割に沿って、発表会に向けて準備を進める	180
3 /	キーワードに関する調査(実践例から調べる)	北尾	演習	各グループで決められた役割に沿って、発表会に向けて準備を進める	180
4 /	キーワードに関する調査結果発表会	北尾	演習	各グループで決められた役割に沿って、発表会に向けて準備を進める	180
5 /	ウォームアップイベントの企画	北尾	演習	クラス内で行うイベントについて、各自の考えをまとめておく	180
6 /	ウォームアップイベントの具体的な立案	北尾	演習	決められたイベントに向けて、授業時間内ではできなかった準備作業を行う	180
7 /	ウォームアップイベントの実施	北尾	演習	決められたイベントに向けて準備作業を行う	180
8 /	“運動遊び、について理解を深める(運動遊びの意義)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
9 /	“運動遊び、について理解を深める(運動遊びの実際)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
10 /	“野外活動、自然体験活動、について理解を深める(野外活動・自然体験活動とは)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
11 /	“野外活動、自然体験活動、について理解を深める(野外活動・自然体験活動の実際)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
12 /	“野外活動、自然体験活動、について理解を深める(野外活動・自然体験活動の安全)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
13 /	“野外活動、自然体験活動、の実践について検討する(実践計画の作成)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
14 /	“野外活動、自然体験活動、の実践について検討する(実践に伴う役割分担)	北尾	演習	内容についてまとめておく	180
15 /	まとめ	北尾	演習	専門演習Ⅱに向けての準備活動をする	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・造形作品制作をとおして「自己における絶対」の探求ができる。 ・素材の扱いについて、技術や知識を学ぶ。 ・美術教育の重要性を理解する。							
<b>授業の内容</b> 領域を造形とし、個々の作品制作をとおして「自己における絶対」の探求を主眼としています。自己に内在するイメージの造形表現における具現化を目標にし、そのための素材研究や教材研究などの美術教育についても考えていきます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	個々の問題意識を中心に進めるため、主体的な取り組みが必須です。素材の取り扱いの違いにより、時間外作業もあります。なお、作品制作に関する材料費は個人持ちとなる場合があります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	研究課題作品に関して、中間発表、および発表展覧会の評価を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	課題制作への主体的な取り組みを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究課題作品の評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 造形の領域と研究について	深尾	講義、演習	研究の方向性を広い視野で検討しておく	90
2 /	前期前半プロジェクト研究計画書の作成	深尾	演習	計画書案を完成させる	90
3 /	研究計画書に基づいて個人指導を行う	深尾	演習	計画書の再検討および完成	90
4 /	作品制作指導とセミナー 前期前半プロジェクト エスキースの作成	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
5 /	作品制作指導とセミナー 前期前半プロジェクト作品試作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
6 /	作品制作指導とセミナー 前期前半プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
7 /	作品制作指導とセミナー 前期前半プロジェクト完成	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
8 /	作品制作指導とセミナー 中間発表準備	深尾	演習	中間発表準備	90
9 /	前期 中間発表 制作された複数の作品展示、前期前半プロジェクト研究の総括	深尾	演習 合評	他の学生の研究もしっかりと理解しまとめておく	90
10 /	前期後半プロジェクト研究計画書作成	深尾	演習	研究計画の改定調整を行う	90
11 /	前期後半プロジェクト研究計画書、ポートフォリオに基づいて個人指導	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
12 /	作品制作指導とセミナー 前期後半プロジェクト エスキース制作と試作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
13 /	作品制作指導とセミナー 前期後半プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
14 /	作品制作指導とセミナー 前期後半プロジェクト完成 発表準備	深尾	演習	前期最終発表の準備	90
15 /	前期最終発表 制作された複数の作品を展示し、合評を通じて後期の卒業制作研究に検討を加える	深尾	演習	後期に向かった課題の把握	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・乳幼児の発達に応じたわらべうた遊びを考え実践する。 ・乳幼児の遊びの様子を観察し、分析する。 ・ディスカッションを通して、伝える力や、子どもとのコミュニケーションを深められるようになる。							
<b>授業の内容</b> わらべうた遊びを通して、保育に継続的に取り入れていく手だてを保育所等での勤務経験を有する教員が、現場の実践事例を折り込みながら授業を行い達成できるようにする。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	主体的に取り組むこと。 互いの学びを深めるために、協働して取り組む姿勢で参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、添削をして返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	普段の授業態度を評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	模擬保育、課題提出で評価				
	自由記載						
オフィスアワー	前川研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション わらべうたとは何か	前川	講義	わらべうたについての講義内容をまとめる	90
2 /	乳幼児の発達を理解する I 0.1.2歳児の発達過程を知る	前川	講義 グループワーク	乳幼児保育における保育者の関わりをまとめる	90
3 /	乳幼児の発達を理解する II 3.4.5歳児の発達過程を知る	前川	講義 グループワーク	乳幼児保育における保育者の関わりをまとめる	90
4 /	外部講師に学ぶ	前川 外部講師	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	乳児期のわらべうた遊び、ふれあいあそびを学ぶ	前川	グループで計画し準備する	乳幼児とのわらべうた遊びに必要な準備をしておく	90
6 /	乳児期のわらべうた遊び、ふれあいあそびを楽しむ	前川	グループで計画し準備する	乳幼児とのわらべうた遊びに必要な準備をしておく	90
7 /	乳児期のわらべうた遊び、ふれあいあそびを楽しむ	前川	グループで計画し準備する	乳幼児とのわらべうた遊びに必要な準備をしておく	90
8 /	乳児に応じたわらべうた遊びの模擬指導 I わらべうたに親しむ	前川	すみれがーでんでわらべうた遊びを行う	演習内容を振り返りまとめる	90
9 /	乳児に応じたわらべうた遊びの模擬指導 II わらべうたに親しむ	前川	すみれがーでんでわらべうた遊びを行う	演習内容を振り返りまとめる	90
10 /	乳児に応じたわらべうた遊びの模擬指導 III わらべうたに親しみ口ずさむ	前川	すみれがーでんでわらべうた遊びを行う	演習内容を振り返りまとめる	90
11 /	乳児に応じたわらべうた遊びの模擬指導 IV わらべうたに親しみ口ずさむ	前川	すみれがーでんでわらべうた遊びを行う	演習内容を振り返りまとめる	90
12 /	乳児に応じたわらべうた遊びの模擬指導 V 繰り返し遊ぶ	前川	すみれがーでんでわらべうた遊びを行う	演習内容を振り返りまとめる	90
13 /	乳児に応じたわらべうた遊びの模擬指導 VI 繰り返し遊ぶ	前川	すみれがーでんでわらべうた遊びを行う	演習内容を振り返りまとめる	90
14 /	わらべうた遊びを取り入れた保育についてまとめる I	前川	グループワーク	年齢に応じたわらべうた遊びで学んだことをまとめる	90
15 /	わらべうた遊びを取り入れた保育についてまとめる II	前川	グループワーク	年齢に応じたわらべうた遊びで学んだことをまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・子どもを持つ世帯の生活問題について基本的な事項を知る。 ・フィールドワークや施設見学を通じて社会的養護の現状を知る。 ・フィールドワークや施設見学を通じて支援を必要とする子どもたちの現状を知る。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実践経験を持つ教員による演習授業である。 授業の内容は大きく文献の輪読とフィールドワークに分かれる。 文献の輪読では、指定されたテキストを学生で分担し内容をまとめ発表する。 フィールドワークでは、社会福祉施設や民間団体の協力を得ながら施設見学や子どもたちの保育を実際に受け持つ体験実習を行う。 なお、フィールドワークは相手のあることなので、通常の授業時間内では消化できない。その場合は土曜日等に振り替え開講を行う場合がある。							
教科書	『貧困児童』 加藤彰彦（創英社 三省堂書店） 価格（本体1,200円＋税）						
参考書	学生の興味関心に応じて演習のなかで紹介する						
担当者からのメッセージ	子どもの問題に限らず、社会福祉全般に興味関心のある学生の受講を歓迎します。「私は短大でこれを学んだ」と胸を張って卒業できるようお互い努力しましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	文献輪読に関しては発表のつど教員からコメントを行う。 フィールドワークに関してはその都度ミニレポートの提出を求める。教員がチェックのうえ学生に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	文献輪読の発表内容から評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	フィールドワークや施設見学を踏まえた感想・考察				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメール等で予約を取ること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	フィールドワーク・施設見学に関しては、先方の事情により公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション ゼミナール運営について話し合い	松木	演習	事前にシラバスを読んでおく この演習で何を学びたいか口 頭で述べられるようにしておく	60
2 /	テキスト第1章発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
3 /	テキスト第2章発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
4 /	テキスト第3章発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
5 /	テキスト第4章発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
6 /	テキスト第5章発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
7 /	テキスト第6章発表	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
8 /	論文輪読・発表(1)	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
9 /	論文輪読・発表(2)	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
10 /	論文輪読・発表(3)	松木	学生による発表・演習	テキスト該当箇所を読んでおく	60
11 /	フィールドワーク事前学習	松木	講義	配付資料を読み返しておく	60
12 /	自閉症児保護者交流会への参加(1)	松木	自閉症児とのふれあい・体 験学習	自閉症児との交流を振り返る	60
13 /	自閉症児保護者交流会への参加(2)	松木	自閉症児とのふれあい・体 験学習	自閉症児との交流を振り返る	60
14 /	社会福祉施設見学	松木	社会福祉施設の見学	施設の概要をレポートにまと める	60
15 /	社会福祉施設見学	松木	社会福祉施設の見学	施設の概要をレポートにまと める	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	久米 央也(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼稚園や保育園、認定こども園で、園児が算数の素地を遊びながら学べるためにできること（カリキュラム開発や教材作り、保育環境など）を考えることができる。 ・ 園児が遊びながら算数の素地を学ぶことができる教材を作成したり、保育環境やカリキュラムをまとめたりした結果を発表することができる。							
<b>授業の内容</b> 園児が数・量・図形に興味を持ち、遊びながら算数の素地を学ぶには、どのような教育プログラムや教材、保育環境を用意すればよいのかについて、各自がテーマを決めて研究を進めていく。まずは、算数の素地とは何かについて、文献から研究し、自分にあったテーマを決め出す。研究し開発した内容については、中間発表会で相互評価をしていく。							
教科書	なし						
参考書	テーマにあった参考書を提示します						
担当者からのメッセージ	幼児教育において、数・量・図形の興味関心や感覚を養うことは大切なねらいのひとつです。それぞれが、テーマをもって主体的に調査研究を進めていきます。成績評価の「受講態度」については、「主体的に取り組んでいるか」を観点とします。「わたしは大学で確かに～について研究しました」と言えるように、サポートしていきます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間、研究の進捗状況について、個別に指導をしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に自分の研究したいことに対し取り組んでいたかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	課題について自分の考えが持っていたかについて評価する				
	その他	30	算数の素地を培う教材について評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 14時40分～15時40分（事前に連絡してください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習について学び方を理解する	久米	演習	研究テーマをまとめる	100
2 /	幼児期に必要な算数的活動について学ぶ(文献を読む)	久米	演習	論文・文献を読む	100
3 /	幼児期における数学的思考の素地を育てる遊びについて考え体験する (すみれガーデンでの調査研究) テーマに従って、調査、研究を進める	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
4 /	幼児期における数学的思考の素地を育てる遊びを作る研究テーマに従って、調査、研究を進める	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
5 /	自分の研究テーマを決める 研究計画を立てる 研究テーマに従って、調査、研究を進める	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
6 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作る計画を立てる)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
7 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
8 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
9 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材を作成する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
10 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(幼稚園で試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
11 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(幼稚園で試す)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
12 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(作成した教材を振り返り、改良する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
13 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(作成した教材を振り返り、改良する)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
14 /	今までの研究の成果を発表する準備をする	久米	演習	中間発表の準備をする	100
15 /	研究成果について発表をする 相互評価をする	久米	演習	発表の成果をまとめる	100
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	李 霞(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼児教育・保育の特徴を知る。 ・ 3. 4. 5 歳児の発達と保育者の役割について理解する。 ・ 幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を学び、運用することができる。							
<b>授業の内容</b> 幼児教育は生きる力の基礎を培うことを目的としており、保育者には子どもの目線に合わせたより良い保育の実践を提供する努力が求められる。生きる力の基礎を育むために必要な視点や方法とは何かを究明するために、本授業では、3. 4. 5 歳児の発達と保育者の役割及び、幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を中心に見ていく。							
教科書	なし						
参考書	安見克夫『3. 4. 5 歳児への言葉かけ 実践! ふれあいテクニック』Gakken 原坂一郎『子どもがこっちを向く「ことばかけ」』ひかりのくに 若林千種『気になる子の保育がうまくいく方法』ひかりのくに など						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにまとめて授業を終了する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次回の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎回授業を受けた感想の提出を求める				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	一学期の授業を振り返って、気づいたこと、重要と思ったことに関するレポート				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1) 【知識・理解】 子どもの心身の発達と発達について理解している。 (幼DP4) 【技能】 子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6) 【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10) 【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11) 【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション：3.4.5歳児の発達と保育者の役割	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
2 /	入園・進級当初の子どもたちⅠ 保育者に安心感を抱き、安定して過ごす	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
3 /	入園・進級当初の子どもたちⅡ クラスみんなで一緒に過ごす楽しさを味わう	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
4 /	子ども同士をつなぐかかわりⅠ 自分の思いや考えを伝えながら、友達と遊びを進めようとする	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
5 /	子ども同士をつなぐかかわりⅡ いろいろな遊びを通し、試したり工夫したりすることを楽しむ	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第1～5回の授業内容を復習する	90
6 /	夏を楽しむ 身近な夏の事象に興味・関心を持つ	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
7 /	子どもの気持ちを知って、保育を充実させるⅠ 自分なりの目当てに向かって、挑戦しようと思惑的にかかわる	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
8 /	子どもの気持ちを知って、保育を充実させるⅡ 友達と心をつなげ、話し合いながら遊びを進めようとする	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
9 /	主体性を大切にできるかかわりⅠ 友達とイメージを共有し、なりきって楽しむ	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
10 /	主体性を大切にできるかかわりⅡ 目標をもって取り組み、満足感を味わう	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第6～10回の授業内容を復習する	90
11 /	進級・就学に向けてⅠ 進級への期待をもって遊びや生活を進め、成長を感じる	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
12 /	進級・就学に向けてⅡ 友達とのつながりをより深め、遊びや生活に喜びや充実感を味わう	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
13 /	進級・就学に向けてⅢ 1年生になることを楽しみにし、就学に向けての活動に興味を持つ	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 第11～13回授業で取り扱った内容について復習してもらうよう復習ワークシートを配付する	40
14 /	まとめⅠ 3.4.5歳児の発達と保育者の役割について	李	グループ発表及びまとめ	復習 復習ワークシートを配付し、復習するよう指示する	40
15 /	まとめⅡ 幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法について	李	グループ発表及びまとめ	復習 復習ワークシートを配付し、復習するよう指示する	40
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	浜崎 由紀(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・児童文化財（絵本、人形劇等）のメディアの特性について理解する。 ・児童文化財（人形劇）の作品を制作することができる。 ・制作した作品（人形劇）を用いて人前で発表することができる。 ・児童文化活動（人前で演じる）ことによって、子どもとのコミュニケーションについて理解を深める。							
<b>授業の内容</b> 児童文化財（絵本、人形劇）のそれぞれのメディアの特性について理解したうえで、作品を制作する。自分で制作した作品を学生や子どもたちの前で発表し、子どもの鑑賞態度から子ども理解を深める。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	ゼミ形式による演習のため、自己課題を明確にし、積極的に授業に参加してほしい。グループワークを行うので、コミュニケーション力を身につけ、「子どもたちが楽しめるものを楽しみながらつくる」ことをモットーに作品づくりに取り組んでほしい。記録のため、毎時、ノートを持参すること。 人形制作（個人用）にかかる材料については、実費を徴収する。（¥1000程度）						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントをつけて返却する。必要箇所については、授業において補足説明や資料配付等を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	課題提出				
	その他	60	制作課題（30%）、発表（30%）				
	自由記載						
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・金曜日 12時15分～13時 その他、授業終了後に質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp（浜崎）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育における児童文化財の役割	浜崎	講義 演習	講義内容をまとめる	180
2 /	一人で演じる人形劇1 人形制作の計画	浜崎	講義 制作	講義内容をまとめる	180
3 /	一人で演じる人形劇2 人形制作(頭)	浜崎	制作 演習	人形制作	180
4 /	一人で演じる人形劇3 人形制作(胴)	浜崎	制作 演習	人形制作	180
5 /	一人で演じる人形劇4 練習	浜崎	演習	人形劇の練習	180
6 /	一人で演じる人形劇5 発表、振り返り	浜崎	演習	発表内容を振り返る	180
7 /	集団で演じる人形劇1 作品の理解と制作計画	浜崎	講義 演習	講義内容をまとめる	180
8 /	集団で演じる人形劇2 人形の制作	浜崎	制作	人形制作	180
9 /	集団で演じる人形劇3 人形と小道具の制作、舞台の構成	浜崎	制作 演習	作品について理解を深めるため、脚本を声に出して読んでおく	180
10 /	集団で演じる人形劇4 実演と観劇	浜崎	演習 講義	発表の練習 実演と観劇の振り返りをして おく	180
11 /	児童文化活動をするにあたって プログラムの検討と作成	浜崎	講義 演習	プログラムを作成する	180
12 /	最終発表の準備	浜崎	演習	最終発表に向けて、練習を積み重ねる	180
13 /	最終発表のリハーサル	浜崎	演習	課題を見つけ、振り返り、練習を積み重ねる	180
14 /	最終発表	浜崎	演習	発表後の振り返りをする	180
15 /	まとめと振り返り 発表後の反省と振り返り	浜崎	講義 演習	まとめと振り返り レポートの作成	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	松井 典子(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・音楽を中心とした表現活動の知識・技能を習得することができる。 ・習得した知識から音あそびなどを協働して創造し、表現することができる。 ・協働して創造したあそびを作品や発表にまとめ、外部に発信することができる。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。 音楽を中心とした多様な表現活動を体験し、活動を通して知識・技能を習得する。習得した知識を応用し、オリジナルの表現活動を創造し、保育・教育現場で実践することを目的とする。それぞれ興味を持った表現活動・表現遊びを探究する。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	「表現」を通じた自己実現や創る喜びが体験できるように意欲的に活動に取り組んでいただきたい。 表現活動を通して、コミュニケーション力を高めながら協働的な学びができることを重要視します。 各回の授業の詳細は、グループ討論において決定します。そのため、ゼミナールの内容や計画に関して、自分の考えを持ち、主体的に取り組んでいただきたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	制作過程を毎回記録し、最終回に提出すること。提出課題については、コメントをつけて返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の積極的取り組み度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	授業の振り返りシートの記録及び提出				
	その他	30	指導案及びレポート課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 記録について	松井	講義とグループ討論	総合表現Ⅰの振り返りをして おく	90
2 /	音を中心とした表現活動について1 乳幼児の「音感受」について	松井	講義と演習	オリエンテーションの内容を 振り返る	90
3 /	音を中心とした表現活動について2 「楽器」の起源について	松井	講義と演習	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
4 /	音を中心とした表現活動について3 「音のでるおもちゃ」について	松井	講義と演習	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
5 /	制作計画1 様々な民族楽器について	松井	グループ討議 グループ練習	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
6 /	制作計画2 身近な素材を使用した楽器制作	松井	グループ討議 グループ制作	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
7 /	制作計画3 自然素材を使用した楽器制作	松井	グループ討議 グループ制作	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
8 /	制作計画4 乳幼児のための「音のでるおもちゃ」とは？	松井	講義と演習 グループ討議	活動内容の振り返り 記録の綴り	90
9 /	制作計画5 「音のでるおもちゃ」制作のグループ分け	松井	グループ討議 制作活動	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習記録の綴り	90
10 /	制作計画6 「音のでるおもちゃ」の開発	松井	グループ討議 制作活動	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習記録の綴り	90
11 /	制作計画7 「音のでるおもちゃ」の開発	松井	グループ討議 制作活動	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習記録の綴り	90
12 /	制作計画8 「音のでるおもちゃ」の制作	松井	グループ討議 制作活動	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習記録の綴り	90
13 /	制作計画9 「音のでるおもちゃ」の制作	松井	グループ練習 制作活動	グループ練習の振り返り 次週の準備と練習記録の綴り	90
14 /	制作計画10 「音のでるおもちゃ」の発表	松井	グループ発表	グループ練習の振り返り	90
15 /	発表の振り返り レポート提出	松井	グループ討議	記録の綴りとゼミナールⅠの まとめ	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	林 幸範(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育についての現状や背景などの基礎的な知識を理解することができる。</li> <li>・特別支援教育の対象の子どもについての特徴と対応法の基礎を理解することができる。</li> <li>・子どもの虐待についての現状背景などの基礎的な知識を理解することができる。</li> <li>・子どもの虐待又は疑いのある子どもについての特徴と対応法の基礎を理解することができる。</li> <li>・それ以外の特別な支援を必要とする子どもの特徴と支援の基礎を理解することができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>本演習では、現在保育・教育界で重要視されている「特別支援教育」について、その考え方、現状・背景、その対応の仕方などについて考えていく。さらに、特別支援教育は、主に発達障害の子どもが対象であったが、現在では、学校や園での指導や援助を必要としている子ども全てが対象となった。このような子どもたちについて一緒に考えてみるのが本演習である。</p> <p>なお、学外見学も予定している。</p>							
教科書	『よくわかる！ 教職エキササイズ 特別支援教育』 石橋裕子・林幸範編著（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	本講義は、演習なので学生主体で実施する。なお、授業の詳細は、第1回目に説明をする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	「テーマシート」を実施した場合は、次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	「テーマシート」など提出物の評価				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp（林）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。</p> <p>(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。</p> <p>(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。</p> <p>(幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p>						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション ー本講義の授業の進め方ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	60
2 /	なぜ特別支援教育が生まれたのか ー特別支援教育の歴史と概念ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
3 /	特別支援教育の対象となる子とは1 ー園や学校で困り感のある子ども達：発達障害とはー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
4 /	特別支援教育の対象となる子とは2 ーがんとわかりにくい子とは：自閉症スペクトラムー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
5 /	特別支援教育の対象となる子とは3 ー勉強がうまくいかない子とは：LD・知的障がいー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	特別支援教育の対象となる子とは4 ー落ち着きのない子とは：ADHD・その他の発達障害ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	子どもの虐待とは1 ー子どもの虐待とその実態はー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	子どもの虐待とは2 ー子どもの虐待どうして起こるの：子どもの虐待の原因ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	子どもの虐待とは3 ーどうしてこの子が…：被虐待児の特徴ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	子どもの虐待とは4 ー被虐待児、どうすればよいのか：被虐待児への対応・支援ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	それ以外の特別な支援を必要とする子ども1 ー子どもの貧困、どうして問題なの：その実態と支援ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	それ以外の特別な支援を必要とする子ども2 ー日本語が通じない、どうすれば…：外国籍の子どもの支援ー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
13 /	それ以外の特別な支援を必要とする子ども3 ー特別な支援を必要とするその他の子どもとはー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
14 /	特別支援教育とその方法 ーどんな授業が役に立つのかー	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
15 /	まとめ ー今までのテーマの再考ー	林	講義とグループ討議	学習のまとめのレポート作成	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習 I</b>	永久 欣也(専 任)	2年次	前期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・保育の歴史や現代の課題について考察・文章化しよとすることができる。 ・自ら課題を見つけ自分なりの結論を模索することができる。 ・対話的姿勢を身につけることができる。 ・プレゼンテーションのための資料収集やスライド作成ができる。							
<b>授業の内容</b> 保育の歴史や現代の課題について、自らの興味に基づき研究を考察・文章化していくとともに、パワーポイントやパネルなどを用いての発表をしていきます。							
教科書	なし						
参考書	適時アドバイスしていきます						
担当者からのメッセージ	必要な文献や資料収集は各自で購入または図書館などを積極的に利用してください。自ら問いをもって主体的に参加することで学びを深めましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	個別に進行状況や今後の見通し等を確認し指導していきます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な姿勢や資料収集等への取り組み				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	研究成果の発表				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 専門演習の進め方	永久	講義 ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する 自らの研究テーマを考える	90
2 /	研究テーマへの理解と方法	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する 研究テーマの概要を考える	90
3 /	個々のテーマの発表と文章の書き方について	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
4 /	研究上のモラルの理解 「著作権や盗用問題について」	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
5 /	研究方法の理解1 「文献や資料収集について」	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
6 /	研究方法の理解2 「調査の方法やまとめ方について」	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
7 /	研究方法の理解3 「アンケートや聞き取り調査について」	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
8 /	論文の構成と作成1	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する テーマに基づいた文章の作成	90
9 /	論文の構成と作成2	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する テーマに基づいた文章の作成	90
10 /	論文の構成と作成3	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する テーマに基づいた文章の作成	90
11 /	テーマごとの中間発表1	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
12 /	テーマごとの中間発表2	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
13 /	テーマごとの中間発表3	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
14 /	研究内容の再構築について	永久	講義・ディスカッション	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
15 /	研究テーマの省察	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	荻田 純久(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・今日的課題について心理学の観点から考える力を身につけることができる。 ・心理学の専門知識を使って、議論をすることができる。							
<b>授業の内容</b> これまで幼稚園、高校、大学でカウンセラーとして従事してきました。そこで得られた経験等を活かし、具体的で分かりやすい授業を展開していこうと考えています。 この授業では、乳児期から青年期に至るまでの人間の発達に関するテーマの中から各自の興味のあるものを選び、心理学の観点から研究活動を進めていきます。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	毎回、Google Classroomを使った課題を出します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使って、フィードバックを行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	15	毎回、Google Classroomを使った課題を出す				
	授業内試験	50	研究してきたことについてプレゼンテーションする				
	定期試験						
	レポート	35	研究してきたことについて、学期末にレポートを作成する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	荻田研究室 金曜日 12時15分～12時45分（必ず事前にメールで用件と来室時間を知らせてください 件名に学生番号と氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-ogita@sumire.ac.jp（荻田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP7)【思考・判断・表現】子ども一人ひとりの育ちを観察し、記録することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 乳児期の今日的課題	荻田	講義およびアクティブ・ ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
2 /	幼児期の今日的課題	荻田	講義、演習およびアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
3 /	児童期の今日的課題	荻田	講義、演習およびアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
4 /	思春期の今日的課題	荻田	講義、演習およびアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
5 /	青年期の今日的課題	荻田	講義、演習およびアクティ ブ・ラーニング	復習をした後に、課題に取り 組む	20
6 /	グループ研究(1) テーマ設定	荻田	個別指導とアクティブ・ ラーニング	課題に取り組む	20
7 /	グループ研究(2) 文献研究	荻田	個別指導とアクティブ・ ラーニング	課題に取り組む	20
8 /	中間発表会	荻田	個別指導とアクティブ・ ラーニング	課題に取り組む	20
9 /	グループ研究(3) 文献研究をさらに進める	荻田	個別指導とアクティブ・ ラーニング	課題に取り組む	20
10 /	グループ研究(4) まとめ	荻田	個別指導とアクティブ・ ラーニング	課題に取り組む	20
11 /	プレゼンテーションの準備	荻田	個別指導	発表の準備を進める	20
12 /	プレゼンテーションの原稿作成	荻田	個別指導	原稿を完成させる	20
13 /	プレゼンテーションの練習	荻田	個別指導	原稿等の修正を行う	20
14 /	発表会Ⅰ	荻田	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	荻田	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	柚木たまみ(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・専門演習Ⅰで決定したテーマ研究をまとめ、発表する。 ・幼児教育保育における音楽表現活動の様々な実践例を知り、自ら実践することができる。							
<b>授業の内容</b> 各々がテーマに沿った研究を進めていく。近藤真子(文教大学)考案の「クロックオーケストラ」を基に、五線譜ではない「図形譜」の可能性を探る。 知識を得て、実践し、その結果と考察をまとめるという流れを確実に行う。 教員からは、長年にわたる演奏家、音楽療法士としての経験から得た音楽表現における様々な情報を提供していく。							
教科書	なし						
参考書	「クロックオーケストラ」 <a href="https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/">https://bunkyo.repo.nii.ac.jp/</a>						
担当者からのメッセージ	学生の立場としての学びを、いよいよ教育者、保育者として生かす時が近づいています。多くの実践を応用して生かすことができるように、言語化してまとめる力もしっかり定着させましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	テーマ研究の進捗状況を随時確認し、助言していく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	研究のまとめと発表に向けた準備のプロセスにおける積極性と意欲を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	研究を進める中で随時小レポートを提出してもらう				
	その他	50	研究発表会の成果を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 E-mailによる予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	研究発表会を公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	専門演習で決定したテーマの見直し、修正	柚木	講義、演習 アクティブ・ラーニング	レポートの見直し	60
2 /	テーマの見直し、修正	柚木	講義、演習 アクティブ・ラーニング	レポートの見直し	60
3 /	修正テーマ内容の研究	柚木	講義、演習 アクティブ・ラーニング	情報収集	60
4 /	テーマ研究（現場実践準備）	柚木	講義、演習、実習	情報収集	60
5 /	テーマ研究（現場実践準備）	柚木	講義、演習、実習	情報収集 レポート作成	60
6 /	現場での実践	柚木	講義、演習、実習 アクティブ・ラーニング	レポート作成	60
7 /	現場での実践	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	レポート作成	90
8 /	現場での実践	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	レポート作成	90
9 /	最終発表に向けての準備	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	レポート作成 発表準備	90
10 /	最終発表に向けての準備	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	レポート作成 発表準備	90
11 /	最終発表に向けての準備	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	発表準備	90
12 /	最終発表に向けての準備	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	発表準備	90
13 /	最終発表に向けての準備	柚木	演習 アクティブ・ラーニング	発表準備	90
14 /	発表会Ⅰ	柚木	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	柚木	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	北尾 岳夫(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動遊び、に関する指導計画の立案と実践ができる。</li> <li>・子どもの`野外活動、や`自然体験活動、の意義を理解し、その計画の立案と実践ができる。</li> <li>・幼稚園や保育園での様々な行事やイベントの企画立案ができ、中心となって運営することができる。</li> <li>・自分たちの取り組みをまとめたプレゼンテーションができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>北尾が担当する専門演習については、`運動遊び、`自然体験活動、`野外活動、という3つのキーワードを設定している。前期の専門演習Ⅰからの流れを受けて、具体的な実践活動をするなかで、附属幼稚園の子どもたちとの関わりも予定している。また、専門演習発表会へ向けて、自分たちの取り組みをまとめてプレゼンテーションできる能力も身につけていただく。</p> <p>北尾担当の専門演習を選択した学生は、幼児体育Ⅳも受講すること。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	専門演習は、担当教員の専門性のもとに各自の興味関心に対する知識と理解を深める科目である。したがって、主体的な`学び、の度合いや、専門演習報告会に向けての取り組み姿勢が、受講態度として評価の対象となる。受け身になることなく、担当教員との積極的なコミュニケーションを図りながら、自分の得意分野を作り上げて欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	専門演習では、授業時間外での取り組みも必要になる場合がある。 必要に応じて、質問に対する回答やフィードバックを行うこととする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	クラスでの取り組みに関わる貢献度とグループ内での人間関係性				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時15分～12時45分 ※木曜日12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。</p> <p>(幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。</p> <p>(幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。</p> <p>(幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。</p> <p>(幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。</p>						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	発表会に向けての流れ確認	北尾	演習	活動の具体的なイメージを確認しておく	90
2 /	運動遊び実践(実践にあたっての心構え)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
3 /	運動遊び実践(具体的な援助方法)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
4 /	運動遊び実践(発育発達に応じた援助)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
5 /	野外活動・自然体験活動実践(実践案の作成)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
6 /	野外活動・自然体験活動実践(必要物品の検討)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
7 /	野外活動・自然体験活動実践(安全確保のための具体案)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
8 /	野外活動・自然体験活動実践(役割分担決定)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
9 /	野外活動・自然体験活動実践(実践に向けたシミュレーション)	北尾	演習	実践活動に向けた準備、調整	180
10 /	野外活動・自然体験活動実践	北尾	演習	発表会に向けての資料準備	180
11 /	発表会に向けての準備(役割分担の決定)	北尾	演習	発表会に向けた準備、調整	180
12 /	発表会に向けての準備(発表資料の準備)	北尾	演習	発表会に向けた準備、調整	180
13 /	発表会に向けての準備(発表に向けたシミュレーション)	北尾	演習	発表会に向けた準備、調整	180
14 /	発表会Ⅰ	北尾	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	北尾	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	深尾 秀一(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・造形作品制作をとおして「自己における絶対」の探求ができる。 ・素材の扱いについて、技術や知識を学ぶ。 ・美術教育の重要性を理解する。							
<b>授業の内容</b> 領域を造形とし、個々の作品制作をとおして「自己における絶対」の探求を主眼としています。自己に内在するイメージの造形表現における具現化を目標にし、そのための素材研究や教材研究などの美術教育についても考えていきます。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	個々の問題意識を中心に進めるため、主体的な取り組みが必須です。素材の取り扱いの違いにより、時間外作業もあります。なお、作品制作に関する材料費は個人持ちとなる事があります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	研究課題作品に関して、中間発表、および発表展覧会の評価を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	課題制作への主体的な取り組みを評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究課題作品の評価				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 後期研究計画書の作成	深尾	講義と演習	研究の方向性を広い視野で検討しておく	90
2 /	後期研究計画書に基づいて個人指導	深尾	講義と演習	計画書案を完成させる	90
3 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト エスキースの作成	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
4 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト作品試作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
5 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
6 /	作品制作指導とセミナー 後期前半プロジェクト中間発表準備	深尾	演習	中間発表準備を進める	90
7 /	後期中間発表 卒業制作について	深尾	講義と演習	卒業制作案を考える	90
8 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト研究計画書作成	深尾	演習	研究作品制作計画書を検討する	90
9 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト試作作品制作	深尾	演習	研究作品試作制作を進める	90
10 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト作品制作	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
11 /	作品制作指導とセミナー 卒業制作プロジェクト作品完成	深尾	演習	研究作品制作を進める	90
12 /	卒業制作プロジェクト展示準備	深尾	演習	展示準備を進める	90
13 /	卒業制作プロジェクト展示	深尾	演習	展示における空間の使用法をまとめる	90
14 /	発表会Ⅰ	深尾	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	深尾	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	前川 頼子(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・「わたべうた」を実際に歌い、体験する。 ・「わたべうた」を通して、子どもとのコミュニケーションを図ることができる。							
<b>授業の内容</b> 保育所等での勤務を有する教員が、子どもたちとの関わりの中で、自然なかたちで伝承遊び（わらべうた）を伝えていく事の重要性を知らせ、楽しみながら身につけられるようにする。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	主体的に取り組むこと。 互いの学びを深めるために、協働して取り組む姿勢で参加すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は添削して適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	普段の授業態度で評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	模擬保育・課題提出で評価				
自由記載							
オフィスアワー	前川研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	y-maekawa@sumire.ac.jp (前川)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション シラバスを確認しながら、授業の進め方を理解する	前川	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	お手玉作り I	前川	演習 グループ作業	お手玉の作り方を理解する	90
3 /	お手玉作り II	前川	演習 グループ作業	お手玉を完成させる	90
4 /	外部講師に学ぶ	前川 外部講師	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	幼児に応じたわらべうた遊びの準備 I	前川	グループで計画し準備する	幼児とのわらべうた遊びに必要な準備をしておく	90
6 /	幼児に応じたわらべうた遊びの準備 II	前川	グループで計画し準備する	幼児とのわらべうた遊びに必要な準備をしておく	90
7 /	幼児に応じたわらべうた遊びの準備 III	前川	グループで計画し準備する	幼児とのわらべうた遊びに必要な準備をしておく	90
8 /	幼児に応じたわらべうた遊びの実践 お手玉の感触	前川	附属幼稚園でわらべうた遊びを行う	わらべうた遊びの内容を振り返りまとめる	90
9 /	幼児に応じたわらべうた遊びの実践 歌に合わせてお手玉遊び	前川	附属幼稚園でわらべうた遊びを行う	わらべうた遊びの内容を振り返りまとめる	90
10 /	幼児に応じたわらべうた遊びの実践 歌に合わせてお手玉遊び	前川	附属幼稚園でわらべうた遊びを行う	わらべうた遊びの内容を振り返りまとめる	90
11 /	実践のまとめ I ポスター作成	前川	グループワーク	演習した内容を振り返りまとめる	90
12 /	実践のまとめ II ポスター作成	前川	グループワーク	演習した内容を振り返りまとめる	90
13 /	実践のまとめ III ポスター作成	前川	グループワーク	演習した内容を振り返りまとめる	90
14 /	発表会 I	前川	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会 II	前川	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・各自が研究テーマを明らかにして卒業研究に取り組める。 ・卒業研究を行うことで、基本的な文章力や問題解決能力を身につける。 ・研究発表を行うことでプレゼンテーション能力を身につける。							
<b>授業の内容</b> 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による演習である。 学生の興味・関心に沿った研究発表あるいは実践発表が中心となる。 一部、フィールドワークも取り入れて現場からも学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	学生の研究テーマに沿いゼミナールの中で紹介する						
担当者からのメッセージ	前期に培った「考える力」「まとめる力」をもとに、それぞれの研究テーマを深めていってほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	発表のつど、教員からコメントを行う。また、研究発表・実践発表の原稿や発表会のスライド等については添削指導を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	卒業研究の中間発表をもとに評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	研究発表・実践発表				
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメール等で予約を取る）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	フィールドワークについては先方の都合により公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP10)【態度・志向性】 子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	卒業研究・実践研究に向けたオリエンテーション、ゼミナール進行について話し合い	松木	講義	事前に研究テーマを練り、口頭で述べられるようにしておく	60
2 /	フィールドワーク(1)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	60
3 /	フィールドワーク(2)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	60
4 /	フィールドワーク(3)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	60
5 /	フィールドワーク(4)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	60
6 /	フィールドワーク(5)	松木	実践現場でのフィールドワーク	フィールドワークレポートを作成する	60
7 /	卒業研究・実践研究中間発表(1)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
8 /	卒業研究・実践研究中間発表(2)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
9 /	卒業研究・実践研究中間発表(3)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
10 /	卒業研究・実践研究中間発表(4)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
11 /	卒業研究・実践研究中間発表(5)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
12 /	卒業研究・実践研究中間発表(6)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
13 /	卒業研究・実践研究中間発表(7)	松木	学生による発表	自身の研究をすすめる	60
14 /	発表会Ⅰ	松木	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	松木	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	久米 央也(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼稚園や保育園、認定こども園で、園児が算数の素地を遊びながら学べるためにできること（カリキュラム開発や教材作り、保育環境など）を調査研究することができる。 ・ 園児が遊びながら算数の素地を学ぶことができる教材開発の成果や、保育環境やカリキュラムのまとめた結果を研究発表することができる。							
<b>授業の内容</b> 園児が数・量・図形に興味を持ち、遊びながら算数の素地を学ぶには、どのような教育プログラムや教材、保育環境を用意すればよいのかについて、各自がテーマを決めて研究を進めていく。演習Ⅰの中間発表会での相互評価で分かった課題をもとに、研究方法等を修正する。最後に、研究成果（論文、教材など）をまとめ、研究発表会で発表する。							
教科書	なし						
参考書	テーマにあった参考書を提示する						
担当者からのメッセージ	幼児教育において、数・量・図形の興味関心や感覚を養うことは大切なねらいのひとつです。各自が、テーマをもって主体的に調査研究を進めていきます。成績評価の「受講態度」については、「主体的に取り組んでいるか」を観点とします。「わたしは大学で確かに～について研究しました」と言えるように、サポートしていきます。研究成果物は実際に幼稚園で試行してもらいます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間、研究の進捗状況について、個別に指導をしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	主体的に自分の研究したいことに対し取り組んでいたかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	園児の観察レポートや教材の分析レポートから授業の理解度を評価する				
	その他	30	作成した教材が幼児の数学的思考力を育むことができるかを評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 14時40分～15時40分（事前に連絡してください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP2)【知識・理解】幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	専門演習Ⅰで見つけた課題を克服するための研究内容や方法の修正を考える	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
2 /	研究テーマを設定する 研究計画を立てる	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
3 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の準備)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
4 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
5 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
6 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
7 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める(教材の作成・使い方の説明作成)	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける	100
8 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める 作成した教材等を幼稚園で試す	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける 幼稚園での活動をまとめる	100
9 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める 作成した教材等を幼稚園で試す	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける 幼稚園での活動をまとめる	100
10 /	研究テーマに従って、調査、研究を進める 作成した教材等を幼稚園で試す	久米	演習	授業でできなかった調査研究を続ける 幼稚園での活動をまとめる	100
11 /	研究の成果をまとめる方法を考え、取りかか る	久米	演習	研究成果のまとめをする	100
12 /	研究の成果をまとめて、研究発表会の準備を する	久米	演習	研究成果の発表準備をする	100
13 /	研究の成果をまとめて、研究発表会の準備を する	久米	演習	研究成果の発表準備をする	100
14 /	発表会Ⅰ	久米	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	久米	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	李 霞(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 幼児に対する理解とともに、保育者の役割に対する理解を深める。 ・ 幼児との関わり方や援助の方法について学び、それらを運用することができる。							
<b>授業の内容</b> 幼児教育は生きる力の基礎を培うことを目的としており、保育者には子どもの目線に合わせたより良い保育の実践を提供する努力が求められる。生きる力の基礎を育むために必要な視点や方法を究明し、それらを運用する力を身につけることを目指して、本授業では、幼児との関わり方や幼児に対する援助の方法を中心に学び、さらに、幼児教育の現場に赴き、そこで経験した具体的な事例に基づいて考えていく。							
教科書	なし						
参考書	安見克夫『3. 4. 5 歳児への言葉かけ 実践！ふれあいテクニック』Gakken 原坂一郎『子どもがこっちを向く「ことばかけ」』ひかりのくに 若林千種『気になる子の保育がうまくいく方法』ひかりのくに など						
担当者からのメッセージ	グループワークも多く取り入れているため、積極的な参加が不可欠である。 講義内容について、常に「自分はどうか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをポートフォリオにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎回授業を受けた感想の提出を求める				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	一学期の授業を振り返って、気づいたこと、重要と思ったことに関するレポート				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月・火・水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション：幼児理解とは何か	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
2 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅠ ・子どもが泣いたとき ・子どもがうそをついていると思われたとき ・食事中にトラブルがあった時 ・おねしょやお漏らしをしたとき	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
3 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅡ ・挨拶の返事ができないとき ・子どものあいさつに元気がないとき ・子ども達の返事が間延びしているとき	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
4 /	幼児をまるごと受け入れるとはⅢ ・集団活動に取り組みないとき ・大人に甘えるとき	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第1～4回の授業内容を復習する	60
5 /	子どもに満足感を与えるためにⅠ ・子どもが泣き止まないとき ・子どもが次々と自分の要求を言ってくる時	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
6 /	子どもに満足感を与えるためにⅡ ・子どもが騒ぎ出すとき ・遊びに集中できないとき	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
7 /	子どもに満足感を与えるためにⅢ ・子ども達に対することばがけの工夫	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 次回小テストのため第5～7回の授業内容を復習する	60
8 /	すべきことを具体的にいうⅠ ・水を出しっぱなしにしているとき ・ごみのポイ捨てをしたとき ・歩行中、車が近づいてきたとき ・子どもの不注意で痛い目に遭ったとき	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
9 /	すべきことを具体的にいうⅡ ・子どもに興味をもたせたいとき ・子どもたちが並ばないとき ・食べるのに時間がかかるとき ・手洗いが長すぎる時	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	予習 次回の授業用資料を配付し、各自予習してもらうように指示する	40
10 /	すべきことを具体的にいうⅢ ・休み前の注意事項をいうとき ・誕生会で子どもに年齢を聞くとき ・子どもが危ないことをしているとき ・食事のマナーが悪いとき	外部講師	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答・演習	復習 模擬保育の実施に備えて、これまでの授業の内容に対する復習を行うよう指示する	60
11 /	幼児の模擬保育 実践Ⅰ 3歳児クラス	李	附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	40
12 /	幼児の模擬保育 実践Ⅱ 4歳児クラス	李	附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	40
13 /	幼児の模擬保育 実践Ⅲ 5歳児クラス	李	附属幼稚園で模擬保育を行う	模擬保育の反省をまとめる	40
14 /	発表会Ⅰ	李	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	李	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	浜崎 由紀(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・実践演習Ⅰから学んだことを踏まえ、自己課題を明確にし、作品づくりに取り組むことができる。 ・作品内容の理解を深める。 ・活動をとおして子ども理解をさらに深める。 ・児童文化活動について理解し、プログラムを作成、実践をすることができる。							
<b>授業の内容</b> 実践演習Ⅰから学んだことを踏まえ、自己課題を明らかにし、作品づくりに反映する。活動を積極的に行い、子どもの鑑賞態度から子ども理解や作品理解につなげる。児童文化活動について理解し、プログラムを各自作成し、実践につなげられるようにする。グループでの活動が多いため、コミュニケーションを取りながら、作品づくりに取り組んでほしい。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	記録のため、毎時、ノートを持参すること。 参考文献を紹介するので、積極的に読むこと。人形劇を観劇する機会があれば、是非鑑賞してほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントをつけて適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	研究成果物（25%）、発表（25%）				
自由記載							
オフィスアワー	浜崎研究室 月・火・木・金 12時15分～13時						
担当教員E-mail	y-hamasaki@sumire.ac.jp（浜崎）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 実践演習Ⅰの振り返りと自己課題	浜崎	講義 演習	講義内容をまとめる 自己課題についてまとめる	120
2 /	作品研究と制作(1) 研究計画の立案	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
3 /	作品研究と制作(2) 資料収集、制作	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
4 /	作品研究と制作(3) 分析、制作	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
5 /	作品研究と制作(4) 分析結果のまとめ、制作	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
6 /	作品研究と制作(5) 研究成果のまとめ	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	テーマに合わせて必要な資料 収集と制作を行う	180
7 /	作品研究と制作発表の準備	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	作品研究、制作発表の準備	180
8 /	作品研究と制作発表の練習	浜崎	演習 アクティブ・ラーニング	作品研究、制作発表の練習	180
9 /	作品研究と制作発表	浜崎	演習	発表の振り返りをしておく	180
10 /	発表の振り返り	浜崎	演習 講義	講義内容をまとめる	180
11 /	発表会の準備(役割分担の決定)	浜崎	演習	発表に向けた準備、調整	180
12 /	発表会の準備(発表資料の準備)	浜崎	演習	発表に向けた準備、調整	180
13 /	発表会の準備(発表に向けたシミュレーション)	浜崎	演習	発表に向けた準備、調整	180
14 /	発表会Ⅰ	浜崎	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	浜崎	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	松井 典子(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ゼミナールⅠで習得した知識・技能をもとに応用することができる。 ・幼児の表現の発達を理解し、音を中心とした表現活動を構想し、計画することができる。 ・考案した表現活動をまとめ指導法をグループで作成し、保育現場で実践することができる。							
<b>授業の内容</b> 国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員による演習授業である。 ゼミナールⅠの学びを応用・発展し、保育現場で実践できる多様な表現活動を考案する。また、表現活動の幅を広げる目的で教材研究を行い、様々な指導法や環境構成等を学ぶ。ゼミナールⅡは、保育実践をとおして振り返り、活動内容の改善点などを討議し、実際の保育現場で活かすことができる音楽表現を協働して探究する。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	指導案の作成を実施するため、教材研究を自主的に行うこと。 主にグループワークを行うので、積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてほしい。 また他者の表現活動に共感し、学び合いさまざまな表現活動をとおして豊かな感性を磨いてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	個々にコメントし、今後の課題をアドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の積極的参加度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	振り返りシートへの記録及び提出				
	その他	20	指導案及びレポート課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	発表回については公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション	松井	演習	ゼミナールⅠの振り返りをしておく	90
2 /	音を中心とした表現活動の指導法と実践1 リトミックを取り入れて	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
3 /	音を中心とした表現活動の指導法と実践2 身体表現と音楽表現の融合	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
4 /	音を中心とした表現活動の指導法と実践3 視覚的教材と音楽表現について	松井	講義と演習 グループ討議	指定された文献を読み事前学習しておく 記録の綴り	90
5 /	実践例をもとに創作活動1 指導案の作成	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
6 /	実践例をもとに創作活動2 指導案をもとに実践	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
7 /	実践例をもとに創作活動3 振り返りと指導案の再作成	松井	講義と演習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
8 /	中間発表 創作活動の発表	松井	演習 グループ討議 (振り返り)	記録の綴り (発表の振り返り) 次週の活動内容の準備	90
9 /	最終発表の準備1 テーマを決定	松井	グループ練習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
10 /	最終発表の準備2 発表の準備	松井	グループ練習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
11 /	最終発表の準備3 発表の練習	松井	グループ練習 グループ討議	記録の綴り 次週の活動内容の準備	90
12 /	リハーサル 発表の練習 発表の撮影	松井	グループ発表 グループ討議 (映像による 振り返り)	記録の綴り (リハーサルの振り返り) 次週の活動内容の準備	90
13 /	リハーサル 映像による振り返りと練習	松井	グループ発表 グループ討議 (映像による 振り返り)	記録の綴り (リハーサルの振り返り) 最終発表の討議内容をまとめる	90
14 /	発表会Ⅰ	松井	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会Ⅱ	松井	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	林 幸範(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・各自の課題テーマについて理解することができる。 ・各自の課題テーマについてとめ、他者に伝えることができる。							
<b>授業の内容</b> 本演習では、自分の課題テーマを見つけ、調べ、レポートにまとめ、発表することを実施する。 なお、学外見学も予定している。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業内で紹介						
担当者からのメッセージ	各自で調べることが重要となるので、積極的に参加を。さらに、各自の課題テーマについての話し合いも実施するので、積極的に参加を。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	疑問に対しては、その都度フィードバックをする。 なお、課題やレポートなどについては、最後に冊子にする予定。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	課題のレポート				
	その他	50	課題の発表会				
	自由記載						
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP10)【態度・志向性】子ども一人ひとりの育ちを尊重することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション	林	討議	講義内容のまとめ	60
2 /	課題テーマを決めよう 1	林	討議と課題テーマ表の作成	課題テーマ表の作成 講義内容のまとめ	60
3 /	課題テーマを決めよう 2	林	討議と課題テーマ表の作成	課題テーマ表の作成 講義内容のまとめ	60
4 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
5 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
6 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
7 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
8 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
9 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
10 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
11 /	自分の課題テーマのレポートを作成しよう	林	課題テーマのレポートの作成	課題テーマのレポートの作成	120
12 /	自分の課題テーマのレポートを発表しよう	林	担当者の発表と講評	課題テーマのレポートの作成	120
13 /	自分の課題テーマのレポートを発表しよう	林	担当者の発表と講評	課題テーマのレポートの作成	120
14 /	発表会 I	林	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会 II	林	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>専門演習Ⅱ</b>	永久 欣也(専 任)	2年次	後期	2	演習	必修	○
							実務経験
							○
Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・保育の歴史や現代の課題について考察・文章化しようことができる。 ・自ら課題を見つけ、自分なりの結論を模索することができる。 ・対話的姿勢を身につけることができる。 ・プレゼンテーションのための資料収集やスライド作成ができる。							
<b>授業の内容</b> 保育の歴史や現代の課題について、演習Iで示した自らの興味をさらに深めた内容の考察を行い、文章化をしていきます。また、パワーポイントやパネルなどを用いての発表もできるようにしていきます。							
教科書	なし						
参考書	適時アドバイスしていきます						
担当者からのメッセージ	必要な文献や資料収集は、各自で購入または図書館などを積極的に利用してください。自ら問いをもって主体的に参加することで学びを深めましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	個別に進行状況や今後の見通し等を確認し指導していきます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	研究発表に向けての取り組みの姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	研究成果の発表				
	自由記載						
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【知識・理解】 幼児教育保育の本質と目的を理解している。 (幼DP3)【知識・理解】 時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP11)【態度・志向性】 人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
2 /	研究テーマについて	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 研究テーマへのアプローチを考える	90
3 /	研究指導 1	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する レポート作成	90
4 /	研究指導 2	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する レポート作成	90
5 /	研究指導 3	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する レポート作成	90
6 /	プレゼンテーションの方法	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 自らの発表方法を考える	90
7 /	研究指導 4	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表準備	90
8 /	研究指導 5	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表準備	90
9 /	研究指導 6	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表準備	90
10 /	研究発表に向けての意見交換 1	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表の直前準備	90
11 /	研究発表に向けての意見交換 2	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する 発表の直前準備	90
12 /	研究発表 1	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
13 /	研究発表 2	永久	演習	授業内容の振り返りと要点を整理する	90
14 /	発表会 I	永久	演習	発表会当日の準備	180
15 /	発表会 II	永久	演習	発表	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>公務員教育保育職特別講義Ⅱ</b>	久米 央也(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Special Lecture for Kindergarten Nursery Teacher Recruitment Examination Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・公立の幼稚園、保育所、認定こども園への就職を目指し、試験に合格するためのスキルを身につける。 ・採用試験における主要科目の出題傾向を理解する。 ・論文の書き方、面接の受け方について基本的な技能を身につける。							
<b>授業の内容</b> さまざまな例題を提示し、解説を行う。その後、練習問題を解いていき、理解を深めていく。また、模擬論文、模擬面接を繰り返し行い、採用試験に対応できるようにする。なお、毎回課題が出るので、その課題を次の授業までにきっちりこなしていくことが求められる。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介します						
担当者からのメッセージ	公務員試験に合格したいという熱意を持って受講してください。また、毎回の課題はきっちり取り組んでください。短い期間なので集中して学びましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業の冒頭に、課題について解説をし回収する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に学ぼうとしているかを評価する				
	授業内試験	20	毎回実施する小テストで、学んだことを理解しているかを評価する				
	定期試験	50	授業で学んだことを理解できているかを評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 14時40分～15時40分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP3)【知識・理解】時代や社会のニーズに応え得る幼児教育保育を理解している。 (幼DP11)【態度・志向性】人との信頼関係を築き、相互に協力することができる。 (幼DP12)【態度・志向性】幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 基礎学力の確認	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
2 /	判断推理1 命題、集合、発言	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
3 /	判断推理2 対応関係、試合、順序関係	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
4 /	判断推理3 暗号、規則性、方角、経路、平面図形	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
5 /	数的推理1 計算、数列、損益算、金銭算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
6 /	数的推理2 金銭算、料金割引、年齢算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
7 /	数的推理3 植木算、鶴亀算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
8 /	数的推理4 速さ、仕事算、水槽算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
9 /	数的推理5 旅人算、通過算、流水算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
10 /	数的推理6 濃度算	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
11 /	数的推理7 場合の数、順列、組合せ	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
12 /	数的推理8 確率、長さ、面積、体積	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
13 /	数的推理9 角度、平面図形、空間図形	久米	講義と演習	知識分野の課題に取り組む 講義内容の復習	100
14 /	論文対策	久米	講義と演習	論文の完成 面接の予習 (様々な質問の回答を考えておく)	100
15 /	面接対策	久米	講義と演習	面接の自主練習	100
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション演習 (幼教)	山中 博史(専 任)	2年次	前期	1	演習	-	○
							実務経験
Exercise Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につける。 ・活動内容を理解し提供（支援・指導）できる能力をつける。							
<b>授業の内容</b> 1 回生で受講したレクリエーション概論をベースに、レクリエーションインストラクターの資格取得に必要なレクリエーション種目を演習する。レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につけることを目的とする。それと同時に活動の内容を理解し提供する（支援指導する）ことができるようにする。 なお本演習はレクリエーション・インストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習で学んだことを後期のレクリエーション指導法実習で、幼児の指導に生かして欲しい。受講態度は、積極的に演習に取り組んでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	必要に応じて、フィードバックを行い、最後の試験に対応できるようにする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	30	各種目の理解度を確認するために実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 火・水・金 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1) 【知識・理解】 子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4) 【技能】 子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6) 【技能】 保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8) 【思考・判断・表現】 子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	体操 (ウォーミングアップ・導入の遊び)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
2 /	体操 (クールダウンを含めた体ほぐし)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
3 /	鬼ごっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
4 /	かけっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
5 /	マットを使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
6 /	縄を使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
7 /	ボール遊び (サッカーを中心に)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
8 /	ターゲットバードゴルフ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
9 /	フライングディスク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
10 /	キャッチングザスティック・バンブーダンス	山中	演習	演習内容をまとめる	90
11 /	サツマイモの苗植え	山中	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	ペタンク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	インディアカ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
14 /	ウォークラリー	山中	演習	演習内容をまとめる	90
15 /	ふりかえり・試験	山中	講義	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション指導法実習 (幼教)	山中 博史(専 任)	2年次	後期	1	実習	-	○
							実務経験
Coaching Method of Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・附属幼稚園の園児を対象に遊びの支援、指導を行う。 ・支援力、指導力を高める。							
<b>授業の内容</b> レクリエーション概論、レクリエーション演習で学んだことをもとに、本学附属幼稚園の協力を得て、実際に園児を対象に指導の補助、そして指導を行う。 また、学外での事業に参加してレクリエーション支援の現場でのレクリエーション活動、レクリエーション提供を体験する。 なお本実習はレクリエーションインストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	附属幼稚園の協力得て実際に幼児を対象に「遊び」の指導を行う。安全面では十分に配慮してもらいたい。 日本レクリエーション協会や滋賀県レクリエーション協会の主催する学外での行事に参加者やスタッフとして参加する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回の演習の中で必要に応じてフィードバックを行う。 課題としてレポートを提出をしてもらうこともある。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	実習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	実習を振り返り、レポートを提出してもらう				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 火・水・金 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【知識・理解】子どもの心身の発育と発達について理解している。 (幼DP4)【技能】子ども一人ひとりの発達過程や心の動きに応じた援助ができる。 (幼DP6)【技能】保育の基礎技能を身につけ、実践することができる。 (幼DP8)【思考・判断・表現】子どもの発達過程に即した指導計画を立案することができる。 (幼DP9)【思考・判断・表現】自らの保育実践を振り返り、評価することができる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 附属幼稚園との関わりの説明 園児の指導について注意事項の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
3 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
4 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
5 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
6 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
7 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
8 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
9 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
10 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
11 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
12 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
13 /	レクリエーションスポーツ大会参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
14 /	レイカディアフェスティバル参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
15 /	ふりかえり・レポート作成	山中	講義	今までを振り返りレポート作 成	90
/					



平成30年度入学生2年次開講

# シラバス

ビジネスコミュニケーション学科専門科目

ビジネスコミュニケーション学科専門科目

ホスピタリティ論	中村吉弘	294P
情報処理解演習Ⅱ	平野知映	296P
教養基礎Ⅱ(A)	山中小江金若伊 山中内見澤生澤 博幸和雄眞理子 史治明介	298P
教養基礎Ⅱ(B)	山中小江金若伊 山中内見澤生澤 博幸和雄眞理子 史治明介	300P
教養基礎Ⅱ(C)	山中小江金若伊 山中内見澤生澤 博幸和雄眞理子 史治明介	302P
特別演習Ⅱ(IT)	小山内幸治	304P
特別演習Ⅱ(医療事務)	沖山圭子	306P
特別演習Ⅱ(スポーツ健康)	山中博史	308P
特別演習Ⅱ(医療秘書)	堀池喜八郎	310P
特別演習Ⅱ(地域ビジネス)	江見和明	312P
特別演習Ⅱ(公務員・四大編入)	金澤雄介	314P
特別演習Ⅱ(オフィス実務)	若生眞理子	316P
特別演習Ⅱ(観光・ホテル・ブライダル)	中村吉弘	318P
現代社会論	沼口智則	320P
プレゼンテーション演習	若生眞理子	322P
マーケティング論(ビジコミ)	江見和明	324P
事務管理	江見和明	326P
総合実践論	若生眞理子	328P
情報処理解	林泰子	330P
情報処理解演習Ⅰ	谷口正博	332P
データベース演習	杉本英昭	334P
デザイーン論	谷口正博	336P
ウェブデザイーンⅡ	杉本英昭	338P
ウェブデザイーン演習	谷口正博	340P
CG演習	平野知映	342P
マルチメディア演習	平野知映	344P
ブライダル論	中村吉弘	346P
ホテル業務演習	中村吉弘	348P
医療関係法規	沖山圭子	350P
医療情報学	沖山圭子	352P
患者論と医の倫理	松田和郎	354P
医療用語	堀池喜八郎	356P
医療保険事務Ⅲ	沖山圭子	358P
医療保険事務Ⅳ	沖山圭子	360P
医療事務コンピュータ	沖山圭子	362P
電子カルテ演習	沖山圭子	364P

医 療 秘 書 実 務	沖 山 圭 子 若 生 眞 理 子	366P
医 療 経 営 学	藤 堂 隆 司	368P
実 技 演 習	沖 山 圭 子 若 生 眞 理 子	370P
健 康 管 理 演 習 II	北 條 達 也 山 村 聡	372P
レ ク リ エ ー シ ョ ン 演 習	山 中 博 史	374P
レ ク リ エ ー シ ョ ン 指 導 法 実 習	山 中 博 史	376P
エ ア ロ ビ ク ス ダ ン ス 演 習	中 川 さ や か	378P
地 域 づ く り 論	椋 田 政 春	380P
地 域 福 祉	松 木 宏 史	382P
地 域 貢 献 演 習 II	小 山 内 幸 治	384P
公 務 員 演 習 II	金 澤 雄 介 伊 澤 亮 介	386P
店 舗 経 営 I ( ビ ジ コ ミ )	矢 嶋 聡	388P
店 舗 経 営 II ( ビ ジ コ ミ )	矢 嶋 聡	390P
お も し ろ 観 光 ツ ア ー 演 習	平 田 進 也	392P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>ホスピタリティ論</b>	中村 吉弘(非常勤)	2年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
							○
Hospitality Studies							
資格等取得との関連	上級秘書士資格の必修、上級情報処理士資格の選択、日本医師会認定医療秘書の必修、上級秘書士(メディカル秘書)資格の必修、秘書士資格の必修、情報処理士資格の必修、医事実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・親切にもてなすということはどういうことなのか、そのことを、よく理解した上で対応できる能力を身につける。 ・実生活での基本マナーや挨拶などの実践も行い、実社会に出ても困らない知識やスキルを身につける。 ・ホスピタリティで必要とされている知識や概念を説明することができる。							
<b>授業の内容</b> 本講義は他人を思いやる「おもてなしの心」ホスピタリティ・マインドについて、リーガロイヤルホテル(大阪)での43年間の経験をもとに教育を行う。 実際の例をとりあげ、どのように対応すればよいかなどを一緒に考え、実社会に出てから役に立つ考え方を身につける。 毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、それを定期試験に替えて評価を行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義を実施する。 株式会社ロイヤルホテルに43年間在籍した経験をもとに講義を行うので、実際の現場に近い業務や体験を詳しく説明する。 (執行役員、副総支配人、品質管理部長、総支配人室長、料飲部長等を歴任) なお、講義中の私語は講義を妨げ、他の聴講中の学生に対する迷惑行為になるため、2回目の注意で退席を通告する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、提出された小レポートの特徴的な内容についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	80	毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、理解度を確認する				
	その他	20	授業態度不良は減点対象とする				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、毎授業で提出する「小レポート」に質問欄を設けており、質問があれば次回の授業で回答する						
担当教員E-mail	yoshi-nakamura@sumire.ac.jp (中村)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講説明、ホスピタリティの実践例(ホテルのコンシェルジュ)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
2 /	ホスピタリティの実践例(ウェディング・プランナー)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
3 /	ホスピタリティの実践例(ホテルのホスピタリティ)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
4 /	ホスピタリティの実践例(ホテルの品質管理)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
5 /	ホスピタリティの実践例(企業理念とクレド)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
6 /	ホスピタリティの基本(プロトコールとマナー)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
7 /	ホスピタリティの基本(洋食のマナー)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
8 /	ホスピタリティの基本(和食他のマナー)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
9 /	ホスピタリティの基本(社会人としての心構え:職場の規律とマナー)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
10 /	ホスピタリティの基本(社会人としての心構え:仕事の取り組み方と進め方)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
11 /	ホスピタリティの基本(社会人としての心構え:命令の受け方と提案方法)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
12 /	ホスピタリティの事例研究(ホテル、外食産業)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
13 /	ホスピタリティの事例研究(医療とテーマパーク)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
14 /	ホスピタリティの事例研究(ファーストフード店、産婦人科医院、美容室他)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
15 /	復習とまとめ(ホスピタリティの考え方)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理演習Ⅱ</b>	平野 知映(非常勤)	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Information Processing Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連	上級情報処理士資格の選択、情報処理士資格の選択、ウェブデザイン実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・ PowerPointによる資料作成ができる。 ・ PowerPointを用いたプレゼンテーションができる。 ・ プレゼン用の「映像制作」の基礎を身につける。							
<b>授業の内容</b> 本演習では、プレゼンテーションツール「PowerPoint」の使い方と、具体的なプレゼンテーションの方法について学ぶ。 サンプル文書を作成しながら「PowerPoint」の基本的な操作を学習するが、それだけではなく、「どうすれば人の心を動かせるか」をテーマに授業を進めていく。 また、後半ではパワーポイントを使って「映像作品」も制作する。 この授業は、映像作家、映像デザイナー（作品発表、映像コンペ審査員、受賞歴あり）の教員が担当する。							
教科書	『よくわかる Microsoft PowerPoint 2016 基礎』 富士通エフ・オー・エム（FOM出版） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	授業内で紹介する						
担当者からのメッセージ	皆さんが社会人になった時に、役立つような実践的な授業をします。 ゆっくり、丁寧に授業を進めますので、一緒に頑張りましょう！ （※受講態度について。授業中の私語・携帯電話の使用禁止。集中して授業に臨んでください。）						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された作品は、コメントをつけて翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎週、課題を制作し提出する				
	授業内試験	30	プレゼンテーションの実践				
	定期試験						
	レポート	10	与えられたテーマについて、レポートを作成する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける または電子メールによる質問を受け付ける						
担当教員E-mail	chiehirano0202@gmail.com（平野）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス：パワーポイントの起動と終了・最新のプレゼンテーション鑑賞会	平野	講義と演習	データ作成	60
2 /	基本的なプレゼンテーションの作成	平野	講義と演習	データ作成	60
3 /	表の作成	平野	講義と演習	データ作成	60
4 /	グラフの作成 図形やSmartArtグラフィックの作成	平野	講義と演習	データ作成	60
5 /	図・クリップアート・ワードアートの挿入・特殊効果の設定	平野	講義と演習	データ作成	60
6 /	プレゼンテーションをサポートする機能 課題の作成	平野	講義と演習	データ作成	60
7 /	プレゼン用「映像制作」1 (写真を取り込む)	平野	講義と演習	映像制作	90
8 /	プレゼン用「映像制作」2 (編集作業)	平野	講義と演習	映像制作	90
9 /	プレゼン用「映像制作」3 (レンダリングする)	平野	講義と演習	映像制作	90
10 /	最終課題制作1 (プラン決定・写真の取り込み)	平野	制作	作品制作	90
11 /	最終課題制作2 (編集作業)	平野	制作	作品制作	90
12 /	最終課題制作3 (レンダリング)	平野	制作	作品制作	90
13 /	プレゼンテーションの実践 1 (Aグループの発表)	平野	発表会	発表会の準備	90
14 /	プレゼンテーションの実践 2 (Bグループの発表)	平野	発表会	発表会の準備	90
15 /	プレゼンテーションの実践 3 (Cグループの発表・まとめ)	平野	発表会	発表会の準備	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教養基礎Ⅱ (A)</b>	山中 博史(専 任) 小山内幸治(専 任) 江見 和明(専 任) 若生眞理子(専 任) 伊澤 亮介(非常勤)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Introduction to General Education Ⅱ							
資格等取得との関連	上級秘書士資格の選択、上級情報処理士資格の選択、上級秘書士（メディカル秘書）資格の選択、秘書士資格の選択、情報処理士資格の選択、ビジネス実務士資格の選択、上級ビジネス実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動時の面接試験はもとより、どのような場面においても必要なコミュニケーションスキルの向上を目指す。 ・相手の話を聞き自分の意見を述べ、問題解決ができる。 ・社会人にふさわしい立ち居振る舞いができる。							
<b>授業の内容</b> 1年次の「教養基礎Ⅰ」に続く授業である。「教養基礎Ⅱ」では、就職のための面接やグループ討議等の試験に耐え得る力を養う。それぞれの自主性を引き出すよう演習を多く行う。また、企業のトップマネジメントやコミュニケーションスキル向上指導の専門家を招聘して講演会も開催する。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	参加型の授業なので、とにかく休まないこと、遅刻をしないこと。演習には積極的に取り組むこと。この心構えを持たなければ受講は難しいと考えてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回振り返りシートを書いてもらい、それにコメントを書いて返す。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	レポートと毎回の振り返りシートの内容を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中) osanai@sumire.ac.jp (小山内) m-wakou@sumire.ac.jp (若生) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤) k-emi@sumire.ac.jp (江見)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 就職活動の心がまえ	山中 他	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
2 /	コミュニケーションワーク1 (コミュニケーションワークとは)	山中	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
3 /	面接練習1 (自己紹介・自分の強み)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
4 /	面接練習2 (志望動機・仕事のやりがい)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
5 /	コミュニケーションワーク2 (ホスピタリティトレーニング)	山中	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
6 /	講演会「ホスピタリティマインドの涵養」(仮題)	外部講師	講義	演習の復習、反省点をまとめる	90
7 /	面接練習3 (自分の経験を話す)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
8 /	面接練習4 (職場でのコミュニケーション)	小山内 江見	講義・演習	講演内容をまとめる	90
9 /	コミュニケーションワーク3 (アイスブレイキング)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
10 /	集団面接練習1 (基礎)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
11 /	集団面接練習2 (応用)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
12 /	コミュニケーションワーク4 (ソーシャルスタイル)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
13 /	集団面接練習3 (実践)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
14 /	グループ討議	小山内 江見	講義・演習	グループ討議の良かった点、 反省点をまとめる	90
15 /	講演会「ビジネスコミュニケーション」(仮題)	外部講師	講義	講演内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教養基礎Ⅱ (B)</b>	山中 博史(専任) 小山内幸治(専任) 江見 和明(専任) 若生眞理子(専任) 伊澤 亮介(非常勤)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Introduction to General Education Ⅱ							
資格等取得との関連	上級秘書士資格の選択、上級情報処理士資格の選択、上級秘書士(メディカル秘書)資格の選択、秘書士資格の選択、情報処理士資格の選択、ビジネス実務士資格の選択、上級ビジネス実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動時の面接試験はもとより、どのような場面においても必要なコミュニケーションスキルの向上を目指す。 ・相手の話を聞き自分の意見を述べ、問題解決ができる。 ・社会人にふさわしい立ち居振る舞いができる。							
<b>授業の内容</b> 1年次の「教養基礎Ⅰ」に続く授業である。「教養基礎Ⅱ」では、就職のための面接やグループ討議等の試験に耐え得る力を養う。それぞれの自主性を引き出すよう演習を多く行う。また、企業のトップマネジメントやコミュニケーションスキル向上指導の専門家を招聘して講演会も開催する。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	参加型の授業なので、とにかく休まないこと、遅刻をしないこと。演習には積極的に取り組むこと。この心構えを持たなければ受講は難しいと考えてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回振り返りシートを書いてもらい、それにコメントを書いて返す。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	レポートと毎回の振り返りシートの内容を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp(山中) osanai@sumire.ac.jp(小山内) wakou@sumire.ac.jp(若生) r-izawa@sumire.ac.jp(伊澤) k-emi@sumire.ac.jp(江見)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 就職活動の心がまえ	山中 他	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
2 /	面接練習1(自己紹介・自分の強み)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
3 /	コミュニケーションワーク1 (コミュニケーションワークとは)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
4 /	面接練習2(志望動機・仕事のやりがい)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
5 /	面接練習3(自分の経験を話す)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
6 /	講演会「ホスピタリティマインドの涵養」(仮題)	外部講師	講義・演習	講演内容をまとめる	90
7 /	コミュニケーションワーク2 (ホスピタリティトレーニング)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
8 /	面接練習4(職場でのコミュニケーション)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
9 /	集団面接練習1(基礎)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
10 /	コミュニケーションワーク3 (アイスブレイキング)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
11 /	集団面接練習2(応用)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
12 /	集団面接練習3(実践)	小山内 江見	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
13 /	コミュニケーションワーク4 (ソーシャルスタイル)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
14 /	グループ討議	若生 金澤	講義・演習	グループ討議の良かった点、 反省点をまとめる	90
15 /	講演会「ビジネスコミュニケーション」(仮題)	外部講師	講義・演習	講演内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>教養基礎Ⅱ (C)</b>	山中 博史(専任) 小山内幸治(専任) 江見 和明(専任) 若生眞理子(専任) 伊澤 亮介(非常勤)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Introduction to General Education Ⅱ							
資格等取得との関連	上級秘書士資格の選択、上級情報処理士資格の選択、上級秘書士(メディカル秘書)資格の選択、秘書士資格の選択、情報処理士資格の選択、ビジネス実務士資格の選択、上級ビジネス実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・就職活動時の面接試験はもとより、どのような場面においても必要なコミュニケーションスキルの向上を目指す。 ・相手の話を聞き自分の意見を述べ、問題解決ができる。 ・社会人にふさわしい立ち居振る舞いができる。							
<b>授業の内容</b> 1年次の「教養基礎Ⅰ」に続く授業である。「教養基礎Ⅱ」では、就職のための面接やグループ討議等の試験に耐え得る力を養う。それぞれの自主性を引き出すよう演習を多く行う。また、企業のトップマネジメントやコミュニケーションスキル向上指導の専門家を招聘して講演会も開催する。							
教科書	なし						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	参加型の授業なので、とにかく休まないこと、遅刻をしないこと。演習には積極的に取り組むこと。この心構えを持たなければ受講は難しいと考えてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回振り返りシートを書いてもらい、それにコメントを書いて返す。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	レポートと毎回の振り返りシートの内容を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中) osanai@sumire.ac.jp (小山内) m-wakou@sumire.ac.jp (若生) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤) k-emi@sumire.ac.jp (江見)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 就職活動の心がまえ	山中 他	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
2 /	面接練習1(自己紹介・自分の強み)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
3 /	面接練習2(志望動機・仕事のやりがい)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
4 /	コミュニケーションワーク1 (コミュニケーションワークとは)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
5 /	面接練習3(自分の経験を話す)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
6 /	講演会「ホスピタリティマインドの涵養」(仮題)	外部講師	講義	講演内容をまとめる	90
7 /	面接練習4(職場でのコミュニケーション)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
8 /	コミュニケーションワーク2 (ホスピタリティトレーニング)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
9 /	集団面接練習1(基礎)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
10 /	集団面接練習2(応用)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
11 /	コミュニケーションワーク3 (アイスブレイキング)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
12 /	集団面接練習3(実践)	若生 金澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
13 /	グループ討議	若生 金澤	講義・演習	グループ討議の良かった点、 反省点をまとめる	90
14 /	コミュニケーションワーク4 (ソーシャルスタイル)	山中 伊澤	講義・演習	演習の復習、反省点をまとめる	90
15 /	講演会「ビジネスコミュニケーション」(仮題)	外部講師	講義	講演内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (IT)</b>	小山内幸治(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Special Seminar Ⅱ (IT)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・自分が興味を持った分野で、卒業制作を行い、卒業制作発表会において作品を発表する。							
<b>授業の内容</b> 1年次に学んだ内容をもとに、自分の興味のある分野で、卒業作品を制作する。作品はコンピュータに関連しているものであれば、内容は問わない。							
教科書	なし						
参考書	各人の取り組み内容に合わせて、指示する						
担当者からのメッセージ	途中で妥協せず、自分の能力で可能なもっともクオリティの高い作品を作成しましょう。受講態度は取り組みの姿勢、グループワークの参加度などで評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業内で、中間発表を含むプレゼンテーションを行い、講評を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	卒業制作の作品を評価				
自由記載							
オフィスアワー	小山内研究室 金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分 または授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osanai@sumire.ac.jp (小山内)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	卒業制作に関するガイダンスおよび個別相談	小山内	講義	内容をメモしておくこと	60
2 /	卒業制作1 (構想)	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
3 /	卒業制作2 (準備)	小山内	アクティブ・ラーニング	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
4 /	卒業制作3 (以下個別の内容で指導を行う)	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
5 /	卒業制作4	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
6 /	卒業制作5	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
7 /	卒業制作6	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
8 /	卒業制作7	小山内	実習	中間発表用の資料を作成しておくこと	180
9 /	中間発表(1年も参加・このレジュメは純美 禮祭で展示する)	小山内	発表	中間発表の講評をもとに次回 までに改善しておくこと	180
10 /	卒業制作8	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
11 /	卒業制作9	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	90
12 /	卒業制作10	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	180
13 /	卒業制作11	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	180
14 /	卒業制作12	小山内	実習	指摘された内容を次回までに改善しておくこと	180
15 /	卒業制作発表(プレゼンテーション)	小山内	発表	改善点を指摘されたら、指定期日までに完成版を作成しておくこと	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ(医療事務)</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Special Seminar II (Medical Office Work)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・医療現場でどのような問題をかかえているのかを知る。 ・興味を持った事項に対し、自分の意見を述べるができる。							
<b>授業の内容</b> 元医療事務・医療秘書の経験をもつ教員が担当する。 医療関連雑誌や新聞等より医療現場で抱える課題や問題を探り、日本の医療の様々な課題に触れ、医療への理解を深める。 情報収集・問題解決・討議、発表などアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開する。							
教科書	なし						
参考書	授業内で提示する						
担当者からのメッセージ	医療現場は様々な人が関わっています。今医療の現場で抱えている課題に気づき、しっかり向き合って自分の意見をまとめてください。 関心を持つことが最も大切なことです。柔軟なものの見方を学び、患者さまと向き合うための一助にしてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題はコメントを添えて次週に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	課題をみつけ、自分の意見を述べるができる				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18時～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学生番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp (沖山)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	今医療現場で：増え続ける医療費	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	90
2 /	今医療現場で：医療機関とホスピタリティ	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	90
3 /	今医療現場で：災害と医療	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	90
4 /	今医療現場で：調剤事務	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	90
5 /	今医療現場で：がん登録	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	90
6 /	今医療現場で：レセプトとビッグデータ	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
7 /	今医療現場で：様々な医療情報	沖山	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	90
8 /	今医療現場で：患者満足度と医療秘書	沖山	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	90
9 /	今医療現場で：医療文書	沖山	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	90
10 /	今医療現場で：医療事故と医療安全	沖山	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	90
11 /	今医療現場で：医療と介護	沖山	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	90
12 /	今医療現場で：先進医療	沖山	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	90
13 /	情報収集	沖山	講義と演習	自分の関心のある課題について情報を収集する	90
14 /	調査と分析	沖山	講義と演習	課題の調査と分析を行い自分の意見を考える	90
15 /	まとめと発表	沖山	発表	お互いの発表を聞き、内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (スポーツ健康)</b>	山中 博史(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	実務経験
Special Seminar II (Sports and Health)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・スポーツやレクリエーション活動を通じて健康とは何かを再認識する。 ・卒業後のスポーツと健康との関わりを学ぶ。							
<b>授業の内容</b> ビジネスコミュニケーション学科の学生は2年生になると、共通科目の体育実技が終講し、身体を動かす機会が少なくなる。そこで本演習では、1年生時のスポーツ実技で体験できなかったスポーツ種目を取り上げ、それぞれの指導法を学び、そのスポーツで身体を動かしたい。そしてスポーツ活動を通じてゼミ生同士のコミュニケーションをさらに図りたい。 また、スポーツを通じて健康とは何かを再認識し、卒業後のスポーツと健康との関わりを学び、今後役に立ててくれることを期待する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	学外での大会に参加することもある（予習として大会に参加できるように準備する）。本演習を通して地域との交流も図ってほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の演習の中で必要に応じてフィードバックを行う。 課題としてレポートを提出をしてもらう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	演習に積極的に関わっているかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	振り返りとしてレポートを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 火・水・金 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス スポーツの指導について理解する	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	スポーツ実技の指導法について	山中	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	バドミントンの指導法(基本技術)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
4 /	バドミントンの指導法(応用技術・ゲームの すすめ方)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
5 /	テニスの指導法(基本技術)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
6 /	テニスの指導法(応用技術・ゲームのすすめ 方)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
7 /	卓球の指導法(基本技術)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
8 /	卓球の指導法(応用技術・ゲームのすすめ方)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
9 /	バレーボールの指導法(基本技術)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
10 /	バレーボールの指導法(応用技術・ゲームの すすめ方)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
11 /	バスケットボールの指導法(基本技術)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	バスケットボールの指導法(応用技術・ゲー ムのすすめ方)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	サッカーの指導法(基本技術)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
14 /	サッカーの指導法(応用技術・ゲームのすす め方)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
15 /	ふりかえり 各種目の指導法についてふりかえり レポート作成	山中	講義	学習のまとめとレポート作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (医療秘書)</b>	堀池喜八郎(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Special Seminar II (Medical Secretary)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常語と学術語（科学用語・医学用語を中心に）とのちがいについて理解する。</li> <li>・ 科学用語や医学用語について、特に日本と英語圏でのちがいについて理解する。</li> <li>・ 自然科学における物理量や記号を正しく書ける。国際単位系を理解する。</li> <li>・ からだの働きを学ぶうえで必要な化学や生物の基礎を理解する。</li> <li>・ 抗生物質や抗炎症薬の作用機構を化学的に説明できる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>医療の経験を持つ教員が担当する。</p> <p>科学用語や医学用語について、特に日本と英語圏（科学英語）でのちがいについて解説する。また日常語と学術語（科学用語・医学用語を中心に）とのちがいについても説明する。</p> <p>自然科学における物理量や記号の表し方（書き方）について解説する。ワープロでの入力のしかたも解説する。</p> <p>生命現象を理解するための生物学や化学の基礎を学習する。それをもとに薬の作用を化学構造を基盤に理解する。科学における国際単位系についても解説する。</p> <p>講義資料を配付する。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	<p>いろいろな授業科目（学問分野）は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。</p> <p>世の中やヒトをまるごとを理解する、という立場から学習することは大切です。</p> <p>授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とします。</p>						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については次回に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	講義内容に関連した項目についてレポートする（考察を重視する）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	堀池研究室 水曜日 9時～14時						
担当教員E-mail	k-horiike@sumire.ac.jp（堀池）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。</p> <p>(ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。</p> <p>(ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	日米の文化のちがひ、漢字の読み(呉音・漢音)、国字	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
2 /	簡単な英単語の意外な意味	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
3 /	医学用語の日本語と英語のちがひ	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
4 /	語源を調べる	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
5 /	同じ英単語でも分野で意味が違う	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
6 /	学術用語の誤訳や適切でない訳語	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
7 /	横棒(ハイフン、n-ダッシュ、m-ダッシュ)の使い分け、物理量や記号の表し方(書き方)	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
8 /	化学の基礎 1 元素の種類、化学構造式の書き方	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
9 /	化学の基礎 2 化学結合の種類、官能基の種類と反応性、化学反応	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
10 /	細胞の種類と分類、細胞共生進化	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
11 /	生物の分類、ヒトのゲノム	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
12 /	数詞接頭語、SI接頭語、ギリシャ文字、ローマ数字	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
13 /	国際単位系、尺貫法、ヤードポンド法	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
14 /	薬の話 1 抗感染症薬、細菌(病原菌)と動物細胞のちがひ、抗生物質の種類と分類	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
15 /	薬の話 2 抗炎症薬、薬の効き方、作用の仕方	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (地域ビジネス)</b>	江見 和明(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Special Seminar II (Community Business)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 私たちが地域社会の中で多くの人に支えられて生きていることを理解する。 ・ 地域社会で暮らす人々が、今日のような問題・課題を抱えているのかを知る。 ・ コミュニティ・ビジネスや社会的企業といった、地域が抱える問題をビジネスの手法で解決しようとする企業のあり方について理解を深める。							
<b>授業の内容</b> 第二地方銀行で勤務した経験を持つ教員が担当する。コミュニティビジネスとは、コミュニティが抱える問題の解決や住民のニーズに応えることを目的に、地域住民が主体となって取り組む地域密着型の事業のことをいう。 行政の手が届きにくく、企業が採算性から事業化できなかった問題の解決や、働く意欲のある女性や高齢者に雇用機会や生きがいを提供するものとして近年注目されている。利潤追求よりも社会貢献を重視することから、ボランティアとベンチャー・ビジネスの中間的な存在として位置づけられている。 本講義では、地域社会の問題を自分たちの問題と捉え、皆さんの情報やアイデアを活用して、それらの問題を解決する方法を探る。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	ビジネスの手法を通して、地域社会が抱える問題を解決しよう、社会を良くしようという考え方や企業の在り方は、これからの時代、ますます重要になると考えられます。 この講義を、これから皆さんがどのようなキャリアを歩んでいくかを考えるきっかけにいただければと思います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	皆さんが調査した企業の事例について、発表する時間を設ける。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	ゼミへの参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	卒業研究のプレゼンテーションを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	江見研究室 火・水・金 12時15分～12時50分 なお質問等は電子メールでも受け付ける(学生番号・氏名を忘れずに)						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	コミュニティ・ビジネス (CB) とは何か	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
2 /	社会起業家と呼ばれる人々	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
3 /	私たちが暮らす地域が抱えている問題について	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
4 /	CB事例研究 超高齢社会に必要なビジネス	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
5 /	CB事例研究 女性、子育てをサポートするビジネス	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
6 /	CB事例研究 商店街の活性化	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
7 /	CB事例研究 好きなことを通じて社会を元気にする	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
8 /	ビジネスアイデアを考える発想法	江見	講義	講義内容をノートにまとめる	180
9 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
10 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
11 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
12 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
13 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
14 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
15 /	卒業研究 コミュニティビジネス事例研究発表	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をノートにまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (公務員・四大編入)</b>	金澤 雄介(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Special Seminar II (Civil Servant and Transfer to Four-Year University)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・グループ活動を通して、コミュニケーション力や協調性を養う。 ・2年次の到達目標は、各自が興味を持ったテーマについての中間発表をおこない、卒業レポートを完成させることである。 ・社会人として必要な知識と一般教養を身につける。							
<b>授業の内容</b> 大学生や社会人になると、他の人と協力しながら、与えられた課題に取り組んでいくという力が求められる。この授業では、特定のテーマについてグループ単位で課題に取り組む。そして完成した課題をもとに卒業レポートとしてまとめて提出する。 また、就職試験で出題される問題を解いたり、特定のテーマに沿って文章を書いたりすることで、社会人として必要な知識と一般教養を身につける。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	グループ活動が主体になるので、皆さんの積極的な参加が授業を作ります。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題等については、採点をして返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	卒業レポート				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	金澤研究室(3号館4階) 月曜日 10時30分～12時						
担当教員E-mail	y-kanazawa@sumire.ac.jp(金澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス：社会人基礎力とは	金澤	講義と演習	講義内容をノートにまとめる	90
2 /	小論文(1)：自分を見つける	金澤	講義と演習	小論文の作成	90
3 /	小論文(2)：社会問題をテーマに	金澤	講義と演習	小論文の作成	90
4 /	小論文(3)：近江の文化をテーマに	金澤	講義と演習	小論文の作成	90
5 /	数的思考力の強化	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	90
6 /	国語力の強化	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	90
7 /	論理的思考力の強化	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	90
8 /	テーマ研究(1)：ブレインストーミング	金澤	講義と演習	資料の収集	90
9 /	テーマ研究(2)：情報の収集	金澤	講義と演習	資料の収集	90
10 /	テーマ研究(3)：中間発表の準備	金澤	講義と演習	発表資料の作成	90
11 /	中間発表	金澤	グループごとに発表	発表のふりかえり	90
12 /	レポートの書きかた(1)：レポートの構成	金澤	講義と演習	レポートの作成	90
13 /	レポートの書きかた(2)：パラグラフの構成	金澤	講義と演習	レポートの作成	90
14 /	レポートの書きかた(3)：問い・主張・根拠	金澤	講義と演習	レポートの作成	90
15 /	まとめ・卒業レポート提出	金澤	レポートの推敲	レポートの提出	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (オフィス実務)</b>	若生真理子(専 任)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Special Seminar II (Office practices)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ オフィス実務に必要な基礎的な業務の知識やスキルをベースに、実践で通用する状況対応力、判断力、情報収集力を養うことができる。 ・ グループ活動を通して、相手の話を聞き、自分の考えを的確に伝えるためのコミュニケーションスキルを身につける。							
<b>授業の内容</b> 総合商社での勤務経験をもつ教員が担当する。組織での業務遂行に関する事例研究や人間行動の分析を通して、ビジネスワーカーとして必要な能力について理解を深めるとともに、価値創出できる職業人について探求する。オフィスワークを個人と協働作業という視点から探り、自己分析とともに実務能力の向上を目指す。							
教科書	なし						
参考書	授業内で紹介する						
担当者からのメッセージ	周囲で起きていることに関心や問題意識を持つことを心がけてください。 さまざまな演習を通して、協働作業の重要性を理解するとともにコミュニケーション力の向上を目指しましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題への取り組みや発表に対して、随時提案やコメントをする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加とグループ活動への取り組み方により評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	情報収集力、理解力、表現力の観点から総合的に評価する				
	その他	20	プレゼンテーションの出来栄により評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	若生研究室 金曜日 11時～13時 メールでの質問や相談には件名に学生番号・氏名を入れること						
担当教員E-mail	m-wakou@sumire.ac.jp (若生)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 組織で働くとは	若生	講義と意見交換	講義内容をまとめる	180
2 /	実務に必要な基本能力	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
3 /	ビジネス活動の基本	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
4 /	組織における業務の事例研究(1) パーソナルワーク	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
5 /	組織における業務の事例研究(2) 協働作業	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
6 /	ビジネス活動の創造	若生	講義と全体討議	討議内容をまとめる	180
7 /	人的ネットワークの形成(1) 職場の人間関係	若生	講義と全体討議	講義内容をまとめる	180
8 /	人的ネットワークの形成(2) ペアワーク、グループワーク、社内ネットワー ク	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
9 /	情報ネットワーク業務 スケジューリング、文書作成、ネチケット	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
10 /	総務・庶務的業務 冠婚葬祭、環境整備	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
11 /	キャリアデザインを考える	若生	講義と演習	講義内容をまとめる	180
12 /	プレゼンテーションの基本 テーマ設定、準備	若生	講義と演習	プレゼンテーションの準備	180
13 /	プレゼンテーションの応用 個人発表	若生	発表とフィードバック	プレゼンテーションの振り返りと評価	180
14 /	全体のふりかえりとレポートの説明	若生	講義と演習	レポートの作成	180
15 /	まとめと全体討議	若生	全体討議	レポートの提出	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>特別演習Ⅱ (観光・ホテル・ブライダル)</b>	中村 吉弘(非常勤)	2年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Special Seminar II (Tourism, Hotel and Bridal)							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブライダル業界の「顧客満足」について自分の意見をのべることができる。</li> <li>・ブライダル業界の主要な商品の内容や、運営の流れを説明することができる。</li> <li>・ブライダル業界で必要とされている知識や概念を説明することができる。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>ブライダル業界の現状や、ブライダル業界で働く人の仕事内容、結婚の歴史、ブライダル業界の将来などについて、リーガロイヤルホテル(大阪)での43年間の経験をもとに授業を行う。</p> <p>実際の事例を題材として、どのように対応すればよいかなどを一緒に考え、実社会に出てからの役に立つ考え方を身につける。</p> <p>毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、それを定期試験に替えて評価を行う。</p> <p>また、後期は「提出課題」の評価も行う。</p>							
教科書	『セクシ関西』 リクルート (株式会社リクルートホールディングス) 価格(本体390円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	<p>パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義を実施する。</p> <p>株式会社ロイヤルホテルに43年間在籍した経験をもとに講義を行うので、実際の現場に近い業務や体験を詳しく説明する。 (執行役員、副総支配人、品質管理部長、総支配人室長、料飲部長等を歴任)</p> <p>なお、講義中の私語は講義を妨げ、他の聴講中の学生に対する迷惑行為になるため、2回目の注意で退席を通告する。</p>						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	<p>次回の授業で、提出された小レポートの特徴的な内容についてコメントする。</p>						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	80	毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、理解度を評価する				
	その他	20	授業態度不良は減点対象とする				
	自由記載		後期は「小レポート」に加えて「提出課題」も評価する				
オフィスアワー	<p>授業終了後に教室で質問を受け付ける</p> <p>また、毎授業で提出する「小レポート」に質問欄を設けており、質問があれば次の授業で回答する</p>						
担当教員E-mail	yoshi-nakamura@sumire.ac.jp (中村)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。</p> <p>(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	前期開講説明、ブライダルビジネスの演習(申込書の作成-内容検討)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
2 /	ブライダルビジネスの演習(申込書の作成-記入)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
3 /	ブライダルビジネスの演習(請書の作成-内容検討)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
4 /	ブライダルビジネスの演習(請書の作成-記入)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
5 /	ブライダルビジネスの演習(請書の作成-相互確認)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
6 /	ブライダルビジネスの演習(見積書の作成-内容検討)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
7 /	ブライダルビジネスの演習(見積書の作成-記入)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
8 /	後期開講説明、ブライダルビジネスの概要(歴史)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
9 /	ブライダルビジネスの概要(披露宴会場)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
10 /	ブライダルビジネスの概要(衣装)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
11 /	ブライダルビジネスの概要(料理)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
12 /	理想の挙式と、披露宴の作成(ブライダル雑誌ゼクシーの切り抜き:内容検討)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
13 /	理想の挙式と、披露宴の作成(ブライダル雑誌ゼクシーの切り抜き:切抜き作業)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
14 /	理想の挙式と、披露宴の作成(ブライダル雑誌ゼクシーの切り抜き:発表内容作成)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
15 /	理想の挙式と、披露宴の発表(ブライダル雑誌ゼクシーの切り抜き:発表)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>現代社会論</b>	沼口 智則(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
Studies of Contemporary Society							
資格等取得との関連		上級秘書士資格の必修、上級情報処理士資格の選択、上級秘書士（メディカル秘書）資格の選択					
<b>授業の到達目標</b> ・ 社会の様々な問題への関心をもつことができる。 ・ 心の豊かな社会への自覚をする。 ・ 上記の2つの実現のための方向性をさがす。							
<b>授業の内容</b> 21世紀の前半、日本そして世界は、いまだ混迷と模索の真只中にある。山積みする内外のさまざまな問題をかかえ、これまでの価値観や制度そのものが問い直され、新しい価値基準や枠組みが求められている。そこでは個人を軸に、ポダレスかつグローバルな視点から思考することが必要とされる。 授業では、現代社会とは何かという問いに対し、さまざまな現代の具体的な出来事に注目し、死刑制度の是非・憲法改正論議・日本の国際貢献・テロ対策・女性の人権・生命倫理問題・公害と世界環境問題・原発エネルギー問題・経済格差問題等々内外の時事的問題を取り上げながら、法的視点を中心にアプローチしていきたい。授業を通じて現代社会への認識を深め、現代社会をめぐる問題の所在と自分の立脚点を確認し、「豊かな社会」へむけてさまざまな解決の方法を考えていきたい。 5～14回の現代社会をめぐる諸問題では、時事問題（たとえば、裁判員制度（2009導入）・裁判制度と冤罪（えんざい）・少年犯罪・いじめ・体罰・死刑制度の是非・憲法改正論議・宗教問題・夫婦別氏(姓)問題・少子高齢社会問題・生命倫理問題・エネルギー問題・環境問題等々）の中から緊急度の高いものを随時とりあげ、問題を提起するとともに「豊かな社会」とは何かということを考えていく。あわせて日本・日本人とは何かといった問題や、日本人としてのあり方や日本の法文化についても考えていきたい。							
教科書	『第5版 入門法学－現代社会の羅針盤－』 竹下・沼口・角田・竹村編著（晃洋書房） 価格（本体2,400円＋税）						
参考書	時事的な資料等は随時配付する その都度紹介していく						
担当者からのメッセージ	各自1回ごとに一週間の大切なニュースをチェックする。 成績の評価については上記の評価基準を勘案して総合的に評価する。積極的な発言や、質の高いニュースチェックを受講態度として評価に加える。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、A・B・Cランキングやコメントをつけて翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験	80	15回の理解度の確認				
	レポート	20	DVD等の理解度確認のためのレポートを実施				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって －現代社会の分析視座－	沼口	講義	自分の関心のあるテーマを箇条書きレポート1	90
2 /	現代社会とは何か(1) 個人と共同体(家族・社会・国家)	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
3 /	現代社会とは何か(2) 現代社会と法	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
4 /	現代社会とは何か(3) 現代社会と人権	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
5 /	裁判のしくみとはたらき (刑事・民事・行政裁判)	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
6 /	裁判員制度(1) 理論	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
7 /	裁判員制度(2) DVD学習	沼口	最高裁の作成したDVD「審理」鑑賞(60分)	DVDの感想レポート作成2	90
8 /	裁判員制度(3) 司法への市民参加の意義	沼口	討議	討議内容をまとめる	90
9 /	冤罪とその事例	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
10 /	死刑制度(1) 存廃論	沼口	講義と討議	講義内容をまとめる	60
11 /	死刑制度(2) DVD学習	沼口	DVD「5月の14日間(NHK放送)」鑑賞(75分)	DVDの感想レポート作成3	90
12 /	男女平等(1) 憲法と民法	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
13 /	男女平等(2) 憲法14・24条とペアテ草案	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
14 /	男女平等(3) DVD学習	沼口	DVD「私は男女平等を憲法に書いた」鑑賞(80分)	DVDの感想レポート作成4	90
15 /	終講にあたって －「豊かな社会」をめざして－	沼口	講義	講義内容をまとめる	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>プレゼンテーション演習</b>	若生真理子(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar of Presentation							
資格等取得との関連	ビジネス実務士資格の選択、上級ビジネス実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・ビジネス実務における情報の基本的な伝達方法について、知識を深める。 ・伝達内容に応じた有効なプレゼンテーションが実践できる。							
<b>授業の内容</b> 総合商社での勤務経験をもつ教員が担当する。相手の注意を喚起し興味を持って聞いてもらえるように話をすることや、必要な情報を確実に伝えることは、ビジネスを遂行する際の基本である。それらが、ビジネスのどのような場面で必要とされるのかを学んだうえで、話の組み立てや資料の有効な提示方法を身につける。人前で話すための場慣れになるよう、繰り返し実践を試みる。							
教科書	なし						
参考書	当方で用意する						
担当者からのメッセージ	聞き手の理解を促すための資料の提示方法や効果的な話し方を繰り返し練習します。毎回の授業の振り返りを大切に、積極的に参加してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	発表に関しては、その都度コメントする。振り返りシートについては、特徴的な意見や全体化したい内容についてフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業への積極的な参加と課題への取り組みにより評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	プレゼンテーションの出来栄				
自由記載							
オフィスアワー	若生研究室 金曜日 11時～13時 メールでの質問や相談には件名に学生番号・氏名を入れること						
担当教員E-mail	m-wakou@sumire.ac.jp (若生)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ビジネスと表現活動	若生	講義	講義のまとめ	60
2 /	プレゼンテーションの意義と役割	若生	講義	講義のまとめ	60
3 /	プレゼンテーションの種類	若生	講義と演習	講義のまとめと演習の振り返り	120
4 /	自己PRの作成	若生	講義と演習	講義のまとめと演習の振り返り	120
5 /	プレゼンテーションの基本(1) 聞き手の分析・目的の明確化・内容と構成	若生	講義と演習	講義のまとめと演習の振り返り	120
6 /	プレゼンテーションの基本(2) 話し方チェック・評価表の作成	若生	講義と演習	自己評価をまとめる	120
7 /	プレゼンテーションの応用(1) 「ポスター」発表の準備	若生	講義と発表内容の作成	発表の準備	180
8 /	プレゼンテーションの応用(2) 「ポスター」による発表と振り返り	若生	個人発表と振り返り	発表の振り返りをまとめる	120
9 /	プレゼンテーションの応用(3) 「パワーポイント」による発表の準備	若生	発表内容の作成	発表の準備	180
10 /	プレゼンテーションの応用(4) 「パワーポイント」による発表及び評価と振り返り	若生	個人発表と評価	発表の振り返りをまとめる	120
11 /	「グループ」でのプレゼンテーション(1) 構成と準備	若生	講義と発表準備	発表の準備	180
12 /	「グループ」でのプレゼンテーション(2) グループ発表と評価	若生	グループ発表と評価	発表の振り返り	120
13 /	プレゼンテーションの実際(1) 内容・筋書・構成等の準備	若生	講義と発表内容の作成	発表に向けての準備	180
14 /	プレゼンテーションの実際(2) リハーサルと全体評価	若生	個人発表と振り返り	評価の振り返りと次回の目標の明確化	180
15 /	最終プレゼンテーションとまとめ	若生	個人発表と全体の振り返り 講義のまとめ	実施報告書の作成	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
マーケティング論 (ビジコミ)	江見 和明(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Marketing Studies							
資格等取得との関連	上級ビジネス実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・マーケティングの基礎的な知識を修得し、企業におけるマーケティングの目的を理解する。 ・マーケティング・マネジメント・プロセスについて理解する。 ・ソーシャルマーケティング、少子高齢化時代のマーケティングについて理解する。							
<b>授業の内容</b> 第二地方銀行で勤務した経験を持つ教員が担当する。今日はモノにあふれた時代である。かつてのように作れば売れるという時代ではなくなった。企業は、消費者がどのようなものを必要としているのかを調べ、消費者のニーズを満たすことのできる製品やサービスを考え提供しなければならない。ピーター・ドラッカーは、ビジネスの目的とは「顧客の創造」だと言っている。今までなかった製品やサービスを提供することで、顧客自身も気付かなかった新たな欲求を生み出すこともできる。 企業のマーケティング戦略は、市場環境や社会環境の変化に合わせて進化する。本格的な少子高齢社会を迎えた日本において求められるマーケティングについても、皆さんと一緒に考えていきたいと思っている。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本講義では、マーケティングに関する様々なテーマについて皆さんにディスカッションしてもらいます。皆さんが普段目にするテレビコマーシャルや広告など、日常生活で見聞きするすべてのものが参考になりますので、普段からマーケティングについてアンテナを張っててください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	作成したレポートを講義内でプレゼンテーションする時間を設ける。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	筆記試験を行う				
	レポート	20	レポートを作成し、講義内で発表してもらう				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	江見研究室 火・水・金 12時15分～12時50分 なお質問等は電子メールでも受け付ける（学生番号・氏名を忘れずに）						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp（江見）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション マーケティングとは何か	江見	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	顧客価値と顧客満足	江見	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	マーケティング戦略とは	江見	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	マーケティング環境の分析	江見	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	顧客関係のマネジメント 消費者行動を理解する	江見	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	マーケティングリサーチとは	江見	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	製品のマネジメント 製品ライフサイクルと製品ミックス	江見	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	ブランドのマネジメント	江見	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	価格のマネジメント	江見	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	広告のマネジメント	江見	講義	講義内容をまとめる	90
11 /	流通のマネジメント	江見	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	サービス・マーケティング	江見	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	ソーシャル・マーケティング	江見	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	レポート発表 実際に使ってみた商品・サービスのレビュー	江見	レポート発表 アクティブ・ラーニング	自分が実際に購入(利用)した製品・サービスのマーケティング戦略を分析する	90
15 /	まとめ	江見	講義	本講義で学んだことを振り返る	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>事務管理</b>	江見 和明(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Office Management							
資格等取得との関連	上級秘書士資格の必修、日本医師会認定医療秘書の必修、上級秘書士（メディカル秘書）資格の選択、上級ビジネス実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・事務管理・ビジネス実務の基礎的な知識と技術を習得する。 ・正確な事務の重要性と事務ミスのおそろしさ、事務ミスを防ぐための方法にを身につける。 ・常にもっと良いやり方、効率的なやり方を探求することの重要性について理解する。							
<b>授業の内容</b> 第二地方銀行で勤務した経験をもつ教員が担当する。 企業を経営していくうえで必要不可欠なものを経営資源といい、ヒト、モノ、カネ、情報が含まれる。事務管理はその中の「情報」に特に関わりが大きい業務である。ITの活用など情報社会が進展していく中で、事務管理は今後ますます重要な分野になるといえる。 本講義では、まず経営と事務の関わりについて学び、会社の中にはどのような仕事があるのかを見ていく。さらに、ビジネス実務の概念・基礎知識・基本的技術、コミュニケーションの重要性、事務改善、事務分析、オフィス環境の整備、リスクマネジメント、文書実務の基本などについて学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	講義ではプリントを配付する。プリントと返却したレポートは必ずファイルに綴ること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントを書いて返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	講義への参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	筆記試験で評価する				
	レポート	20	身の回りの改善、整理整頓をテーマにレポートを作成する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	江見研究室 火・水・金 12時15分～12時50分 なお質問等は電子メールでも受け付ける（学生番号・氏名を忘れずに）						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp（江見）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	経営と事務の基本的な理解	江見	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	事務管理の意義と必要性、ビジネス実務の概念	江見	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	ビジネス実務の基礎知識 会社の中の様々な仕事 経営者、管理職、総務、経理、営業、製造、製品開発、企画・広報	江見	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	ビジネス実務の基本的技術	江見	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	企業とコミュニケーション I 会議について	江見	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	企業とコミュニケーション II 命令・通達制度、稟議・決済制度	江見	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	事務分析と事務改善	江見	講義	講義内容をまとめる 自分の身の回りで改善できることを考えてみる	90
8 /	オフィス環境の整備	江見	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	レポート発表 身の回りの改善	江見	講義	講義内容をまとめる 自分が行った身の回りの改善について報告してもらう	90
10 /	社内広報と社外広報	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	90
11 /	リスクマネジメントの基礎	江見	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる 身の回りにおけるリスクについて考えてみる	90
12 /	事務ミスのおそろしさ 事務ミスを防ぐために	江見	講義・実習	講義内容をまとめる 自分がミスをした経験を振り返ってみる	90
13 /	社内文書の例と作成要領	江見	講義・実習	講義内容をまとめる 実際に書いて練習してみる	90
14 /	社交文書の例と作成要領	江見	講義・実習	講義内容をまとめる 実際に書いて練習してみる	90
15 /	Eメールの例と作成要領	江見	講義・実習	講義内容をまとめる 実際に書いて練習してみる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>総合実践論</b>	若生真理子(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Practical Studies of Office Work							
資格等取得との関連	上級秘書士資格の必修、上級情報処理士資格の必修、上級秘書士（メディカル秘書）資格の必修、上級ビジネス実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・ 仕事をすることで発生するであろう多様な課題について考え、その解決策を探る力をもつ。 ・ 働く場は一人ではなく、協働してこそ力が発揮されるということを実感する。 ・ 何事においても受け身ではなく主体的に行動できる。							
<b>授業の内容</b> 総合商社での勤務経験をもつ教員が担当する。職業人が、それぞれの持ち場で過ごす時間は、場合によっては自宅で過ごす時間より長い。それだけに、意味の深い重要な場ととらえたい。職場は新しい商品やアイデアを生み出す知的創造の場であり、求められる能力を自ら開発して働き甲斐を見出していく。仕事に対して積極的な取り組みができる人材になるために、チームによる課題解決を中心に授業を進める。							
教科書	なし						
参考書	当方で用意する						
担当者からのメッセージ	チームによる問題解決に欠かせないさまざまなスキルを学びます。学んだことをすぐ実践することを心がけてください。配付資料の管理とファイリングを怠らず、毎回持参してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題と評価については、授業内で指示する。なお、提出期限を過ぎたものは受けつけない。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な参加と課題への取り組みにより評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	授業内で指示する提出課題により評価する				
自由記載							
オフィスアワー	若生研究室 金曜日 11時～13時 メールでの質問や相談には件名に学生番号・氏名を入れること						
担当教員E-mail	m-wakou@sumire.ac.jp (若生)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 動機づけ講義	若生	講義	講義内容をまとめる	180
2 /	オフィス総論の復習 マネジメントサイクル	若生	講義	講義内容をまとめる	180
3 /	チーム作り リーダーシップとフォロワーシップ	若生	講義とグループ学習	グループ学習内容をまとめる	180
4 /	問題解決策の検討(1) 情報収集	若生	講義とグループ討議	グループ討議内容をまとめる	180
5 /	問題解決策の検討(2) 調査計画の立案	若生	講義とグループ討議	グループ討議内容をまとめる	180
6 /	問題解決策の検討(3) 収集データのまとめ	若生	講義とレポート作成	発表の準備	180
7 /	発表とフィードバック(1) 報告の発表	若生	グループ発表	発表の振り返り	180
8 /	発表とフィードバック(2) 振り返りと今後の課題	若生	講義と振り返りシートの作成	発表の振り返り	180
9 /	ワーカーの能力開発(1) 人柄と教養、心身の健康	若生	講義と個人シートの作成	講義内容をまとめる	180
10 /	ワーカーの能力開発(2) ヒューマンネットワーク	若生	講義とグループ討議・発表	討議内容をまとめる	180
11 /	ワーカーの能力開発(3) 判断力、問題解決力、想像力	若生	講義とグループ討議・発表	討議内容をまとめる	180
12 /	ケーススタディ 問題明確化の議論	若生	グループ討議	討議内容をまとめる	180
13 /	労働環境の変化	若生	講義とグループ学習	講義内容をまとめる	180
14 /	これからのキャリア形成	若生	講義とグループ討論・発表	キャリア形成ノートをまとめる	180
15 /	まとめ	若生	講義と演習	講義と演習内容を総合的にまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理</b>	林 泰子(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Information Processing							
資格等取得との関連	上級情報処理士資格の必修、ウェブデザイン実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の本質について、具体例を挙げて説明できる。</li> <li>情報倫理（情報モラル）の知識を修得し、その重要性を説明できる。</li> <li>社会生活の中で、「情報」を適切に判断し処理・活用できる。</li> <li>グループワークを通して他者との考えを共有し、自分の意見を積極的に述べることができる。</li> <li>自分の考え、意見、知識を、他者に分かりやすく表現し伝えることができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>コンピュータは、数値計算のみでなく、一般に情報とよばれる文字・文章・画像などを処理したり、それらを統合してマルチメディアとして処理する道具となり、今日の社会に広く普及している。</p> <p>本授業では、はじめに上記のコンピュータに関する基礎的な情報処理知識を修得する。そのうえで「情報」の本質・特徴について深く考察し、情報社会における諸問題を通して「情報」を適切に判断し活用する能力を育成する。また、適時実施するグループワークを通して、自分の意見を積極的に述べるコミュニケーション能力を育成する。</p> <p>毎回、ミニレポートや提出物を課し、学習内容を1つ1つ積み上げて学修していく。</p>							
教科書	なし						
参考書	『相互理解を深める コミュニケーション実践学 改訂版』沖裕貴・林徳治編著（ぎょうせい）価格（本体2,000円＋税） 『留学生のための日本語で学ぶパソコンリテラシー』橋本恵子・金子大・林泰子他著（共立出版）価格（本体2,200円＋税） 『主体的に学び意欲を育てる 教学改善のすすめ』林徳治・藤本光司・若杉祥太編著（ぎょうせい）価格（本体2,300円＋税）						
担当者からのメッセージ	毎回、ミニレポートなどの課題を課す。授業時間内、または宿題として次回授業開始前に提出することとする。このミニレポートなどの課題は、内容を評価し採点するので成績に大きく反映する。授業を良く聞き、何を回答しなければならないのかを良く考え課題に取り組むこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題提出物に関し、その中の特徴的な見解や誤解について授業内でコメントする。ミニレポートなどで内容の優れた考察・論点を提示し、コメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	アクティブ・ラーニングの取り組み内容、授業での質疑応答内容を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	60	授業内容の理解度を確認する提出物を毎回課す				
	その他	20	課題プレゼンテーションについて、内容および表現方法を評価する				
	自由記載		レポート評価は、毎回の授業内容に関するミニレポート、または課題提出物を対象とする				
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	hayashi_yasuko@nike.eonet.ne.jp（林泰）						
教員相互授業参観	公開する（事前にご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（ビDP1）【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 （ビDP2）【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 （ビDP3）【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 （ビDP4）【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	イントロダクション 情報処理士とは 「情報」のとらえ方	林	講義 グループ活動	講義内容をまとめる	40
2 /	コンピュータの歴史と仕組み	林	講義	講義内容をまとめる	60
3 /	データと情報	林	講義	講義内容をまとめる 授業終了時に示す課題についてレポートを作成する	60
4 /	アナログとデジタル	林	講義	講義内容をまとめる	60
5 /	情報の本質	林	講義 グループ討議	講義内容をまとめる 他者の意見に対する自分の考えをまとめる	60
6 /	情報のデジタル化1 文字・音声のデジタル化	林	講義	講義内容をまとめる	60
7 /	情報のデジタル化2 画像・動画のデジタル化	林	講義	講義内容をまとめる	60
8 /	情報社会の光と影	林	講義 グループ討議	講義内容をまとめる 授業終了時に示す課題についてレポートを作成する	90
9 /	ネット社会と人権	林	講義 グループ討議	講義内容をまとめる	60
10 /	情報倫理と道徳的判断	林	講義 グループで課題解決、グループ討議	グループ討議を踏まえた提出課題の作成	90
11 /	知的財産権(著作権)	林	講義	講義内容をまとめる	60
12 /	個人情報の保護と情報の信ぴょう性	林	講義 グループで課題解決、グループ討議	事前に提示された講義テーマの事例を収集 事例を討議資料としてまとめる	90
13 /	情報社会の課題解決1 論理的な課題解決方法	林	講義 グループで課題設定・作成	提出課題の作成	90
14 /	情報社会の課題解決2 ロジックツリーを用いたスライド作成	林	グループで課題作成	発表に向けて課題を完成させる	90
15 /	課題解決内容のプレゼンテーション プレゼンテーション内容に対する質疑応答 相互評価とまとめ	林	グループ発表 講義	プレゼンテーションの練習 発表内容の自己評価をまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>情報処理演習 I</b>	谷口 正博(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	実務経験
							○
Information Processing Seminar I							
資格等取得との関連	上級情報処理士資格の選択、ウェブデザイン実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>Excelのマクロ機能(VisualBasic)を用いて、より実務レベルに近い高度なExcelの使い方を身につけ、簡単なマクロ機能が使いこなせるようになる。</li> <li>VisualBasicの基本を理解し、プログラムに関する基本を身につける。</li> <li>他のオフィス系ソフトウェアにおいて、マクロを利用し、ユーザ定義関数や新たな機能の追加ができるようになる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>パソコンを用いた情報処理に関する演習のより高度なレベルを目標とした授業である。1回生時に学習してきたExcelの知識を使って、Excelの応用的な操作方法のマクロ機能を中心に学ぶ。そしてマクロ機能の中身であるVisual Basicを把握する。これは独立したプログラム言語としての利用も可能である。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし データ資料をオンライン・クラウドで配付						
担当者からのメッセージ	表計算ソフトなどにおいて、マクロを用いると非常に複雑な作業も簡単にこなせるようになります。プログラミングに興味のある方には履修をおすすめします。 受講態度は取り組みの姿勢、課題成果物などを評価します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業中に課した課題について評価し、評価結果をフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	出席、授業態度などを総合的に評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	提出課題として評価				
	その他	50	ほぼ毎回設定する提出課題による評価				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける クラウド資料内メッセージなどで対応します						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。</p> <p>(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	VBAの基礎	谷口	講義・演習	VBAの基礎を復習しておくこと	60
2 /	記録マクロの利用	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
3 /	マクロによるプログラミング1(基本操作等)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
4 /	マクロによるプログラミング2(入出力と計算式)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
5 /	マクロによるプログラミング3(データの型)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
6 /	マクロによるプログラミング4(分岐と繰り返し)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
7 /	マクロによるプログラミング5(ファイルの入出力)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
8 /	マクロによるプログラミング6(サブルーチン)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
9 /	マクロによるプログラミング7(アルゴリズム)	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
10 /	簡単なシステムの作成(1)レイアウト作成	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
11 /	簡単なシステムの作成(2)コーディング	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
12 /	簡単なシステムの作成(3)プログラミング	谷口	講義・演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
13 /	自作プログラム(1)システム設計	谷口	演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
14 /	自作プログラム(2)プログラミング	谷口	演習	次回までに、課題を完成させておくこと	60
15 /	自作プログラムのプレゼンテーションおよびまとめ	谷口	発表	未完成と評価された課題を完成させておくこと	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>データベース演習</b>	杉本 英昭(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	実務経験
Database Seminar							
資格等取得との関連	上級情報処理士資格の選択、ウェブデザイン実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・データベースの基本的な操作方法を理解し、利用できる。 ・データベースの構造を理解し、簡単なデータベースを企画・設計・構築できる。 ・データベースを管理できる。							
<b>授業の内容</b> データベースは、大量の情報を整理してコンピュータ上に蓄積したものである。本科目では、パソコンによるデータベースの作成及び管理の手法を学習し、データベースの活用法について学ぶ。社会の多くの分野で利用されているリレーショナル・データベースを基礎から理解し、データベースシステムの構築の実際を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	ほぼ毎回、その日の内容に関する課題を課す。 各回の課題の提出期限は1週間後とする。 期限を過ぎた場合は受け取らないので、計画的に課題に取り組むこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題について解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	100	各回の理解度を確認する課題で評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	021002@sumire.ac.jp (杉本)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	データベースの概念 表計算ソフトとの違い	杉本	講義	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	30
2 /	ACCESSの基本操作	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	120
3 /	テーブルの設計とデータ入力、修正	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
4 /	テーブル、データの整合性	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
5 /	データのインポート	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
6 /	クエリの基礎	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	120
7 /	条件付きクエリ	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
8 /	アクションクエリ	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
9 /	リレーションシップ	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
10 /	複数テーブルを利用したクエリ	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
11 /	ルックアップフィールド	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
12 /	単票形式、表形式、帳票形式	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
13 /	レポート作成機能	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
14 /	フォームの利用	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
15 /	メニューフォームの作成 フォームにクエリを埋め込む	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、演習で学んだ操作を自身でも使ってみること	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>デザイン論</b>	谷口 正博(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
							○
Studies of Design							
資格等取得との関連	ウェブデザイン実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・デザインを手掛けるための共通言語とルールを学習する。 ・グラフィック、タイポグラフィの基本を知る。							
<b>授業の内容</b> 現在のデザインを取り巻く状況を紹介するとともに、デジタルデザインを中心に広く一般に通用するデジタルデータを作成できるようトレーニングを行う。 デザイン業の実務経験を元にした課題設定を行い、実際の業務に沿った内容を学習する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	デザインとは自己表現のための作品制作ではありません。 求められる「デザイン」が世の中には沢山存在しており、それらを読み取り生み出す能力がデザインスキルとなります。 キレイ、カッコイイという感覚が自分本位では無く、その対象にとって良いことかどうかを判断できるよう目指します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業内で講評を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業態度などを総合的に評価する				
	授業内試験	40	授業内試験として課題成果物を評価する				
	定期試験						
	レポート	30	提出課題にともなう制作レポートを評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後教室で質問を受け付ける メール、クラウド内メッセージャーでの対応とする						
担当教員E-mail	taniguchi.yamaguchi.0203@gmail.com（谷口）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション デザイン概論1	谷口	講義	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
2 /	デザイン概論2 印刷、WEB各種データ形式	谷口	講義・演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
3 /	イラストレータのオペレーション講習 明度、色彩について	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
4 /	イラストレータのオペレーション講習 ベクトルデータ作成	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
5 /	グラフィックデザイン1 平面構成、色彩構成	谷口	講義・演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	60
6 /	グラフィックデザイン2 タイポグラフィ、文字組	谷口	講義・演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	60
7 /	ピクトグラム・サイン計画1 非言語コミュニケーション	谷口	講義・演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
8 /	ピクトグラム・サイン計画2 作図と実制作	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	60
9 /	ピクトグラム・サイン計画3 成果作品の発表、講評	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	60
10 /	DTP、紙面デザインの考え方 版面設計、レイアウト	谷口	講義・演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
11 /	名刺の制作	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
12 /	名刺の発表、講評	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
13 /	雑誌紙面を想定した課題制作1 冊子レイアウト	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	60
14 /	雑誌紙面を想定した課題制作2	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	60
15 /	雑誌紙面を想定した課題制作3 発表、講評	谷口	演習	オンラインドキュメント、イラストレーターデータ配付資料による学習	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>ウェブデザインⅡ</b>	杉本 英昭(非常勤)	2年次	前期	2	演習	選択	実務経験
Web Design II							
資格等取得との関連	ウェブデザイン実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・以下の点を十分に考慮したウェブサイトを作成することが出来る。 ・1. 閲覧する人にとって情報を得やすいように分類、整理した形での情報発信。 ・2. ユーザビリティやアクセシビリティに配慮したインターフェイス。 ・3. 多様化するウェブアクセス手段（パソコン、スマホ、タブレット等）への対応。							
<b>授業の内容</b> ウェブサイト作成ソフトを用いてウェブサイトを作成し、ウェブデザインの実際を学ぶ。 ウェブデザインの一連の流れを理解した後、各自が選んだテーマに沿ったウェブサイトを作成する。 どのようなデザインにすれば利用する人にとって使いやすいサイトになるのかを十分に考慮し、また、近年利用者が多くなっているスマートフォンやタブレット型端末での閲覧にも対応できるようなデザインへの配慮についても取り上げる。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	ほぼ毎回、その日の内容に関する課題を課す。 各回の課題の提出期限は1週間後とする。 期限を過ぎた場合は受け取らないので、計画的に課題に取り組むこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業時に、解説を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	100	各回の理解度を確認する課題で評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	021002@sumire.ac.jp (杉本)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ウェブデザインとは	杉本	講義	配付プリントを読み、講義内容を復習すること	90
2 /	ホームページビルダーの使い方(1): サイトとページの作成	杉本	講義とパソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
3 /	ホームページビルダーの使い方(2): 文字や画像の挿入	杉本	講義とパソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
4 /	ホームページビルダーの使い方(3): リンクの挿入	杉本	講義とパソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
5 /	ホームページビルダーの使い方(4): 表を利用したページデザイン	杉本	講義とパソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
6 /	ホームページビルダーの使い方(5): 画像処理	杉本	講義とパソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
7 /	ホームページビルダーの使い方(6): 動画処理	杉本	講義とパソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
8 /	ウェブデザインのワークフロー	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること また、自身で作成する際の手順を考えておくこと	150
9 /	著作権について	杉本	講義とパソコンを用いた演習	配付プリントを読み、講義内容を復習すること	150
10 /	総合演習(1): サイトの企画	杉本	パソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
11 /	総合演習(2): サイトのデザイン	杉本	パソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
12 /	総合演習(3): Webページ作成	杉本	パソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
13 /	総合演習(4): リンクの挿入	杉本	パソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	120
14 /	総合演習(5): サイト全体の仕上げ	杉本	パソコンを用いた演習	授業で学んだ方法について、配付プリントを参照しながら自身で復習すること	150
15 /	総合演習(6): まとめと評価	杉本	講義とパソコンを用いた演習	他の受講生の作品なども参考に、さらにサイトを改善するにはどうするか自分で考えてみる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>ウェブデザイン演習</b>	谷口 正博(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Web Design Seminar							
資格等取得との関連	上級情報処理士資格の選択、ウェブデザイン実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HTML、CSS、Javascriptの基本を踏まえ、ウェブページを構成する能力を身につける。</li> <li>・既存のWEBサービス、各種アプリケーションを活用して機能性、デザイン性に優れたウェブページの企画制作管理ができる。</li> <li>・オーディオや、写真・映像のビジュアル要素を自在に編集しウェブページに組み込むことができる。</li> <li>・公開情報を検証し、検索対策・SEOの基礎を身につけ、ウェブページの定量・定性解析ができる。</li> </ul>							
<b>授業の内容</b> <p>デザイン業務全般のディレクションに携わる現職（本務）の経験を反映させ、WEBデザインの応用と最新の状況までを紹介する。インターネット上で実際に機能するウェブページを作成、公開する。 制作企画の立案から実制作、公開後の運用までを含め、社会的意義のある情報を発信するサイトを目指す。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業資料は常時オンラインで確認可能なデータ配付を行います。 各自PC、スマートフォンなどで授業時間外での自習を行ってください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学校指定メールアドレスに付随するGOOGLEドライブを活用し、資料の配付、課題の提出のほぼ全てをWEBクラウド上のデータとして扱います。 紙による資料配付は一切行いませんが、PCだけでなく各自のスマートフォンからもデータ閲覧とフィードバックに対応しますので、常時学習が可能です。 提出データに対しては授業内での評価と、オンライン上でのコメント等を行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業態度などを総合的に評価				
	授業内試験	20	授業内試験としてプレゼンテーションを評価する				
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	提出課題による評価				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける もしくは、本学学生用メールアドレスからログインしたGOOGLEドライブ上の共有クラウドで対応します						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。</p> <p>(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。</p> <p>(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。</p> <p>(ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	インターネット、ウェブページの仕組みと構成 クラウドサーバと情報の在り処について	谷口	インターネットの仕組みについての概要紹介	GOOGLEスライドによる復習	90
2 /	HTML、各種ウェブページ記述言語・スクリプトについて	谷口	エディターによるHTML記述とブラウザによる確認	GOOGLEスライドによる復習	90
3 /	ウェブデザイン企画制作のための各種技法1 WEBサービス、アプリの活用	谷口	オンラインAPPによる作業	GOOGLEスライドによる復習	90
4 /	ウェブデザイン企画制作のための各種技法2 音声、音楽、写真、動画の活用	谷口	オンラインAPPによる作業	GOOGLEスライドによる復習	90
5 /	個人作業での簡易ウェブページ制作1	谷口	オンラインAPPによる作業	GOOGLEスライド、オンラインAPPによる復習	90
6 /	個人作業での簡易ウェブページ制作2 発表、プレゼンテーション	谷口	オンラインAPPによる作業	GOOGLEスライド、オンラインAPPによる復習	90
7 /	ローンチ（公開）とアクセス解析、SEO対策について	谷口	オンラインAPPによる作業	GOOGLEスライド、オンラインAPPによる復習	90
8 /	デザイン企画の立案手法1 5W1Hによるアウトライン構成	谷口	メモ書きなどによるアイデア アプロセッシング	ノート、メモ書きによる復習	90
9 /	デザイン企画の立案手法2 要件定義と企画提案	谷口	メモ書きなどによるアイデア アプロセッシング、分析作業	ノート、メモ書きによる復習	90
10 /	デザイン企画の立案手法3 ビジュアルドキュメント作成	谷口	オンラインAPPによる作業	GOOGLEスライド、オンラインAPPによる復習	90
11 /	共同作業でのウェブページ企画制作1	谷口	オンラインAPPによる作業	オンラインAPPを使用した復習	90
12 /	共同作業でのウェブページ企画制作2	谷口	オンラインAPPによる作業	オンラインAPPを使用した復習	90
13 /	共同作業でのウェブページ企画制作3	谷口	オンラインAPPによる作業	オンラインAPPを使用した復習	90
14 /	共同作業でのウェブページ企画制作4	谷口	オンラインAPPによる作業	オンラインAPPを使用した復習	90
15 /	共同作業でのウェブページ企画制作5 発表、プレゼンテーション	谷口	オンラインAPPによる作業	オンラインAPPを使用した復習	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>CG演習</b>	平野 知映(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	実務経験
							○
CG Seminar							
資格等取得との関連	上級情報処理士資格の必修、ウェブデザイン実務士資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・3DCGの基本を理解することができる。 ・3DCGのオリジナル作品を制作できるようになる。							
<b>授業の内容</b> 現在、映像、医療、建築など、多彩な分野で驚くほど大量の3DCGが溢れており、最近では3Dプリンターや、3Dプロジェクション・マッピングという言葉が流行している。 しかし、3DCG作品を実際に制作できたり、三次元の感覚を理解している人材はとても少ない。 それはなぜか。 理由のひとつとして、絵画やイラストなどと違い、感覚だけでは対応しきれない「技術」が必要だからである。 技術を身につけるには訓練が必要であるがゆえ、少し苦勞するかもしれないが、自分の中にあるクリエイティブな部分を磨いて自身の可能性を広げてほしい。 また、3DCG制作ができるようになれば、空間把握能力や、物事を冷静に見る力が身につく。 この授業では毎週3DCG作品を制作しながら、新しい感覚を養い、育てていく事を目標とする。 この授業は、映像作家、映像デザイナー（作品発表、映像コンペ審査員、受賞歴あり）の教員が担当する。							
教科書	なし						
参考書	授業内で紹介する						
担当者からのメッセージ	3DCG制作は本当に面白いですよ！ 若い皆さんに伝えたい事がいっぱいありますので、是非、履修してください。 また、根気さえあれば3DCGは誰にでも出来ます！ ゆっくり、丁寧に授業を進めますので、一緒に作品を制作しましょう。 （※受講態度について。授業中に私語・携帯電話の使用は禁止です。集中して授業に臨んでください。）						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された作品は、翌週コメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎週、課題を制作し提出する				
	授業内試験	40	授業で修得した技術を活かし、オリジナルの3DCG作品を制作する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける または電子メールによる質問を受け付ける						
担当教員E-mail	chiehirano0202@gmail.com（平野）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	3DCG参考作品鑑賞・3DCGの基本原理の説明・Shade体験ツアー(簡単な操作説明)	平野	講義と演習	身近にある3DCGを探してみよう	30
2 /	簡単な操作説明の復習・基本形状の作成・ポリゴンの基礎を学ぶ	平野	講義と演習	作品制作	90
3 /	ポリゴンで作品制作(1) (テーマ:机と椅子)	平野	講義と演習	作品制作	90
4 /	ポリゴンで作品制作(2) (テーマ:部屋)	平野	講義と演習	作品制作	90
5 /	回転体で作品制作(1) (テーマ:グラス)	平野	講義と演習	作品制作	90
6 /	回転体で作品制作(2) (テーマ:ガラス)	平野	講義と演習	作品制作	90
7 /	閉じた線形状・立体化・マッピングの基礎(1) (テーマ:ライト)	平野	講義と演習	作品制作	90
8 /	閉じた線形状・立体化・マッピングの基礎(2) (テーマ:ライトの続き)	平野	講義と演習	作品制作	90
9 /	テンプレート・光源の基礎	平野	講義と演習	作品制作	90
10 /	【中間課題】オリジナルの作品制作(1) (プラン決定・制作)	平野	講義と演習	作品制作	90
11 /	【中間課題】オリジナルの作品制作(2) (レンダリング・提出)	平野	講義と演習	作品制作	90
12 /	最終課題(1) (プラン決定)	平野	講義と演習	作品制作	90
13 /	最終課題(2) (制作)	平野	講義と演習	作品制作	90
14 /	最終課題(3) (レンダリング・提出)	平野	講義と演習	作品制作	90
15 /	最終課題(4) (合評・各自プレゼンテーション)	平野	発表会	発表会の準備	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>マルチメディア演習</b>	平野 知映(非常勤)	2年次	後期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Multi Media Seminar							
資格等取得との関連	ウェブデザイン実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・マルチメディアの理論の基礎を理解し、市販のソフトウェアを用いて、マルチメディア作品の基礎的制作ができるようになる。 ・デザイン（画像編集の基礎）を学び、オリジナルの作品を制作できるようになる。 ・映像制作の基礎を学び、オリジナルの映像作品を制作できるようになる。							
<b>授業の内容</b> はじめに、マルチメディアとはなにかを学ぶ。 さらに文字、静止画像、動画、音楽についての基礎理論と、それを処理するためのソフトウェアを用いた実習を行い、理解を深める。 最終的にそれらを統合したマルチメディア作品（映像作品）を作成し提出する。（※写真・実写・アニメーション・サウンドを駆使して、映像作品を作る。） この授業は、映像作家、映像デザイナー（作品発表、映像コンペ審査員、受賞歴あり）の教員が担当する。							
教科書	なし						
参考書	授業内で紹介する						
担当者からのメッセージ	世の中にはさまざまな芸術作品が溢れています。 例えば、絵画・彫刻・版画・イラスト・漫画などですが、その中でも「映像」は私たちの身近にある芸術です。 映像の面白いところは「動く」「音が出る」「複製できる」そして「バーチャルの存在」が目の前に出現することです。 毎年、面白い作品が生まれていますので、是非履修してください。一緒に楽しく作品を制作しましょう。 （受講態度について。授業中の私語・携帯電話の使用は禁止。集中して授業に臨んでください。）						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された作品は、翌週コメントをする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	毎週、課題を提出する				
	授業内試験	40	授業で修得した技術を活かし、オリジナルのアート作品を制作する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける または電子メールによる質問を受け付ける						
担当教員E-mail	chiehirano0202@gmail.com（平野）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	マルチメディアとは何か?:(マルチメディアの定義、歴史、意義、社会的影響を理解する)	平野	講義と演習	身近にあるメディアを探してみる	60
2 /	画像編集の理論:(Photoshopについて解説する)	平野	講義と演習	作品制作	90
3 /	画像編集の実習1 (Photoshopを用いた画像編集の演習で課題に取り組む) (レイヤーの意味を理解する)	平野	講義と演習	作品制作	90
4 /	画像編集の実習2 (Photoshopを用いた画像編集の演習で課題に取り組む) (デザインについて学ぶ)	平野	講義と演習	作品制作	90
5 /	画像編集の実習3 (Photoshopを用いた画像編集の演習で課題に取り組む) (自分のオリジナル作品を作る)	平野	講義と演習	作品制作	90
6 /	アニメーション表現の理論 (After Effectsについて解説する)	平野	講義と演習	作品制作	90
7 /	アニメーション表現の実習1 (After Effectsを用いたアニメーション表現の演習で課題に取り組む) (レイヤーの意味を理解する)	平野	講義と演習	作品制作	90
8 /	アニメーション表現の実習2 (After Effectsを用いたアニメーション表現の演習で課題に取り組む) (モーションを学ぶ)	平野	講義と演習	作品制作	90
9 /	アニメーション表現の実習3 (After Effectsを用いたアニメーション表現の演習で課題に取り組む) (時間について学ぶ)	平野	講義と演習	作品制作	90
10 /	音楽・音声の表現の実習1 (Premiereを用いた音楽・音声の表現の演習に取り組む)	平野	講義と演習	作品制作	90
11 /	音楽・音声の表現の実習2 (音楽・音声を実際に編集する)	平野	講義と演習	作品制作	90
12 /	映像制作実習1 (自分で構想した作品を作り上げる) (プラン決定)	平野	講義と演習	作品制作	90
13 /	映像制作実習2 (自分で構想した作品を作り上げる) (編集作業)	平野	講義と演習	作品制作	90
14 /	映像制作実習3 (自分で構想した作品を作り上げる) (レンダリング作業)	平野	講義と演習	作品制作	90
15 /	映像作品 合評会 (各自、プレゼンテーション)	平野	発表会	発表会の準備	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>ブライダル論</b>	中村 吉弘(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Bridal Studies							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ブライダル業界の「顧客満足」について自分の意見をのべることができる。 ・ブライダル業界の主要な商品の仕事内容や運営の流れを説明することができる。 ・ブライダル業界で必要とされている知識や概念を説明することができる。							
<b>授業の内容</b> ブライダル業界の現状や、ブライダル業界で働く人の仕事内容、結婚の歴史、ブライダル業界の将来などについて、リーガロイヤルホテル(大阪)での43年間の経験をもとに授業を行う。 実際の事例を題材として、どのように対応すればよいかなどを一緒に考え、実社会に出てからの役に立つ考え方を身につける。 毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、それを定期試験に替えて評価を行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義を実施する。 株式会社ロイヤルホテルに43年間在籍した経験をもとに講義を行うので、実際の現場に近い業務や体験を詳しく説明する。 (執行役員、副総支配人、品質管理部長、総支配人室長、料飲部長等を歴任) なお、講義中の私語は講義を妨げ、他の聴講中の学生に対する迷惑行為になるため、2回目の注意で退席を通告する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、提出された小レポートの特徴的な内容についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	80	毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、理解度を評価する				
	その他	20	授業態度不良は減点対象とする				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、毎授業で提出する「小レポート」に質問欄を設けており、質問があれば次の授業で回答する						
担当教員E-mail	yoshi-nakamura@sumire.ac.jp (中村)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講説明及び「ブライダルビジネスの概要」	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
2 /	ブライダル統計に学ぶー1 仲人、結納、記念品について	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
3 /	ブライダル統計に学ぶー2 結婚指輪、挙式会場、挙式形式	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
4 /	ブライダル統計に学ぶー3 披露宴の会場と形式	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
5 /	ブライダル統計に学ぶー4 挙式・披露宴の費用	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
6 /	ブライダル統計に学ぶー5 挙式・披露宴の演出	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
7 /	ブライダル統計に学ぶー6 挙式・披露宴の衣装	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
8 /	ブライダル統計に学ぶー7 結婚準備、ギフト(引出物他)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
9 /	ブライダル統計に学ぶー8 ブーケ、会場装花、ペーパーアイテム	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
10 /	ブライダル統計に学ぶー9 写真撮影	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
11 /	ブライダル統計に学ぶー10 ビデオ撮影、二次会	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
12 /	ブライダル統計に学ぶー11 新婚旅行、結婚式に対する考え方	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
13 /	ブライダル用語集ー1 (あ～こ)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
14 /	ブライダル用語集ー2 (さ～ん)	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
15 /	ブライダルの復習とまとめ	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>ホテル業務演習</b>	中村 吉弘(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar of Hotel Service							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ホテルの「顧客満足」について自分の意見をのべることができる。 ・ホテルの主要な商品の仕事内容や運営の流れを説明することができる。 ・ホテルのIT投資やWEB予約の仕組みなど近年必要とされている概念や知識を理解し、これからのホテルに求められる人材になる。							
<b>授業の内容</b> 本講義は、1年次後期の「ホテル業務概論」の受講を前提として講義及び演習を行う。 特に、サービスのスキルなどをリーガロイヤルホテル大阪での43年間の経験をもとに教育を行う。 また、実際のサービスの事例をとりあげ、どう対応するかホテルサービスについて考える。 毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、それを定期試験に替えて評価を行う。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義を実施する。 株式会社ロイヤルホテルに43年間在籍した経験をもとに講義を行いますので、実際の現場に近い業務や体験を詳しく説明する。 (執行役員、副総支配人、品質管理部長、総支配人室長、料飲部長等を歴任) なお、講義中の私語は講義を妨げ、他の聴講中の学生に対する迷惑行為になるため、2回目の注意で退席を通告する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、提出された小レポートの特徴的な内容についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	80	毎授業で「小レポート」の提出を必須とし、理解度を評価する				
	その他	20	授業態度不良は減点対象とする				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける また、毎授業で提出する「小レポート」に質問欄を設けており、質問があれば次の授業で回答する						
担当教員E-mail	yoshi-nakamura@sumire.ac.jp (中村)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講説明、ホテル用語説明－1（ア～ソ）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
2 /	ホテル用語説明－2（タ～ワ）、マニュアルから学ぶ（全職務共通項目：企業ビジョン他）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
3 /	マニュアルから学ぶ（宿泊：ロビーサービス、コンシェルジュ）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
4 /	マニュアルから学ぶ（宿泊：フロントオフィス、宿泊予約、ハウスキーピング）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
5 /	マニュアルから学ぶ（レストラン：レストランサービス、ルームサービス）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
6 /	マニュアルから学ぶ（レストラン：顧客管理、ソムリエ、仕入れ管理）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
7 /	マニュアルから学ぶ（宴会：宴会サービス、宴会予約・販売管理）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
8 /	マニュアルから学ぶ（マーケティング、営業）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
9 /	マニュアルから学ぶ（施設開発、施設保全、環境対策）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
10 /	マニュアルから学ぶ（危機管理、事業企画、事業管理）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
11 /	サービススキル向上（レストラン、宴会他）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
12 /	アンケートに学ぶ（アンケートと対応策）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
13 /	WEBコミに学ぶ（WEBコミと対応策）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
14 /	失敗事例に学ぶ（失敗事例と対応策）	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
15 /	まとめと復習	中村	配付資料の説明及び、パワーポイントやビデオなどの視聴覚による講義	講義内容をノートにまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療関係法規</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Medical Laws							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・医療機関及び医療従事者における医療関連法規の重要性を理解する。 ・施設関連法規・医療従事者関連法規について基礎的事項を理解する。 ・医療保険制度に関わる各種法規について基礎的事項を理解する。							
<b>授業の内容</b> 元医療事務・医療秘書の経験をもつ教員が医療関連法規について講義・指導する。 日本の医療制度の基盤となる医療法をはじめ、医療従事者に関わる各種法規、医療保険制度に関わる各種法規について分かりやすく解説する。 また、現在の医療制度の仕組みや現在抱えている問題点などを紹介し、グループワーク・グループ討議を通じて医療秘書としての資質と能力を高める。							
教科書	『医療秘書講座4 医療秘書概論・実務 医療情報処理学 医療関連法規概論』 日本医師会 (メヂカルフレンド社) 価格(本体4,700円+税)						
参考書	『新医療秘書実務シリーズ4 医療関連法規』 医療秘書全国協議会編 建帛社						
担当者からのメッセージ	医療機関は各種医療法規にそって運営されています。医療秘書として知っておかなければならない事項です。医療関連法規を学ぶとともに、現在の医療制度の良い点・問題点についても考えてみましょう。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は回収を行った後、直ちに解説を行い知識の定着に努める。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	20	復習をかねた課題への取り組みを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18時～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学生番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp (沖山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	医療関連法規について	沖山	講義	本時の内容を復習する	60
2 /	施設関連法規(1) 医療法	沖山	講義	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
3 /	施設関連法規(2) 広告規制について	沖山	講義と復習課題、グループ ワーク	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
4 /	施設関連法規(2) その他の法規	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
5 /	医療従事者関連法規(1) 医師法	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
6 /	医療従事者関連法規(2) その他の法規	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
7 /	医薬品医療機器等関連法規	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
8 /	保険・福祉関連法規(1) 医療保険	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
9 /	保険・福祉関連法規(2) 療養担当規則	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
10 /	保険・福祉関連法規(3) 介護保険	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
11 /	保険・福祉関連法規(4) 社会福祉関連	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
12 /	保健衛生関連法規(1) 疾病予防・感染症対策	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
13 /	保健衛生関連法規(2) がんその他の疾患対策、精神保健・女性健康 対策	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
14 /	医療がかかえる問題(1) 医師不足について	沖山	グループ討議	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
15 /	医療がかかえる問題(2) 医療安全について	沖山	グループ討議	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をすること	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療情報学</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Medical Informatics							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・医療領域におけるIT化と医療情報の特性について理解する。 ・病院情報システムの概要と情報のセキュリティーについて理解する。 ・コンピュータの基礎知識を身につける。							
<b>授業の内容</b> 元システムエンジニア・医療事務の経験をもつ教員が、医療情報について講義する。 医療において扱われる情報には、患者情報、検査情報、診断情報、治療情報等さまざまなものがある。コンピュータの基本を理解した上で、システムが扱うこのような情報の特性や記録方法、利用方法を解説する。医療機関で医療秘書が関わる頻度の高いオーダーリングシステム、レセプト電算処理システム、電子カルテシステムの理解に重点を置く。さらに、医療情報を扱う上でのリスク、守るべきルール等、実務上の必須知識も習得できるよう解説する。また、グループワークとして医療に関するテーマに対し医療情報の収集・分析をおこない現状と課題を発表する。							
教科書	『医療秘書講座4 医療秘書概論・実務 医療情報処理学 医療関連法規概論』 日本医師会 (メヂカルフレンド社) 価格(本体4,700円+税)						
参考書	『医事コンピュータ関連知識』 医療秘書教育全国協議会編 建帛社 『基礎から学ぶ医療情報』 共立出版						
担当者からのメッセージ	医療機関のシステム化は日々進化しています。医療情報に精通した医療秘書は医療機関ではなくてはならない存在です。積極的に取り組み、わからないことは質問してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、課題に対する見解や誤りについてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	20	復習・課題への取り組みを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18時～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学生番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp (沖山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	医療と情報	沖山	講義	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
2 /	コンピュータの基礎知識(1) コンピュータの構成要素	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
3 /	コンピュータの基礎知識(2) ネットワーク	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
4 /	コンピュータの基礎知識(3) セキュリティー対策	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
5 /	医療情報の活用	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
6 /	EBMとガイドライン	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
7 /	オーダリングシステムとレセプト電算処理システム	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
8 /	DPCデータ	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
9 /	診療録の記載と保管	沖山	講義と復習課題および演習	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
10 /	電子カルテとその運用	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
11 /	医療情報の標準化	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
12 /	医療・福祉・保健を支える情報システム	沖山	講義と復習課題	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
13 /	情報の収集・保存・加工	沖山	講義とグループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
14 /	医療統計	沖山	講義とグループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
15 /	情報化時代の医療	沖山	プレゼンテーション	本時の内容を繰り返し復習し、 理解の定着をはかること	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>患者論と医の倫理</b>	松田 和郎(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Patient-Medical Professional Relationship and Medical Ethics							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・患者さんにとりまく心理、権利、家族関係、医療者との関係などを理解し、それらにおける標準的な考え方やその根拠を身につける。 ・患者さんへの理解を通して、提供すべき情報・サービスを把握し、患者さんと接する上で必要な心構え・態度・その他の事項を理解する。 ・日本医師会認定医療秘書認定試験問題の「患者論」に関する問題については解答できる実力をつける。							
<b>授業の内容</b> 医療秘書講座1：患者論と医の倫理（日本医師会監修 メヂカルフレンド社）に沿って講義を行うが、授業内容の理解を助けるために毎回資料を配付する。 また、毎時間の学習内容に沿った演習を通して、正確な知識を身につけ、具体的な行動の選択が正しくできるようになる力を身につける。 困難な状況に対応するための柔軟な考え方・感じ方をアクティブ・ラーニングなどの助けを借りつつ理解する。							
教科書	『医療秘書講座1：患者論と医の倫理』 日本医師会監修（メヂカルフレンド社） 価格（本体4,400円＋税）						
参考書	必要に応じて授業中に資料を提供する						
担当者からのメッセージ	医療秘書・医療事務を目指す方々に知ってほしい「患者論と医の倫理」について一緒に考えましょう。演習の時間をとっていますので、実際の問題を考えることを通して、医療に携わる者としてどう考えるべきなのかという視点を発見してください。その上で自分の考え方を持つことも期待しています。授業態度も評価に含まれます。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の演習問題についてはその場で議論・解説する。積極的に質問するなどして授業に参加することを期待している。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度も評価する				
	授業内試験	80	最終日の授業内試験の結果が最も重要な評価手段とする				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	病気とは―病気と医療の歴史	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
2 /	患者の心理、患者の権利	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
3 /	患者とその家族の生活	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
4 /	ライフステージと患者像	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
5 /	患者―医療者関係	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
6 /	セルフケアとメディカルケア	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
7 /	治療・ケアの場の違いによる患者像	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
8 /	終末期患者の治療とケア	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
9 /	患者と癒やし	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
10 /	医療倫理の必要性	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
11 /	出生前診断の医療倫理・生殖補助医療の医療倫理	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
12 /	遺伝子検査の医療倫理・再生医療の医療倫理	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
13 /	脳死・臓器移植の医療倫理、積極的安楽死・尊厳死の医療倫理	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
14 /	終末期医療の医療倫理・災害時の医療倫理	松田	講義・小テスト	講義内容をまとめ演習を復習する	60
15 /	授業内試験	松田	授業内試験	演習を元に医療秘書認定試験レベルの問題を出題するのでその準備と復習を行う	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療用語</b>	堀池喜八郎(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Medical Terminology							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修、上級秘書士（メディカル秘書）資格の選択						
<b>授業の到達目標</b> ・医療の現場で使われる専門用語を理解する。 ・医師・看護師・理学療法士など、医療スタッフとのコミュニケーションができるようになる。							
<b>授業の内容</b> 医療の経験を持つ教員が担当する。 臨床医学や医療全般にかかわるさまざまな用語について解説する。							
教科書	『医療秘書講座3「医療にかかわる用語」(「コミュニケーション論」と同一巻) 日本医師会監修 (メヂカルフレンド社) 価格(本体3,800円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	いろいろな授業科目(学問分野)は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。 世の中やヒトをまるごとを理解する、という立場から学習することは大切です。 受講時、ちょっとした疑問点など何でも気軽に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された課題については翌週に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な参加(議論やコメント)を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験	80	理解度確認のため、日本医師会医療秘書認定試験と同程度のテストを実施				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	堀池研究室 水曜日 9時~14時						
担当教員E-mail	h-horiike@sumire.ac.jp (堀池)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	診察過程の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
2 /	診療録の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
3 /	全身の症状・診察を表す用語1 (あ～し)	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
4 /	全身の症状・診察を表す用語2 (せ～る)	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
5 /	頭頸部の症状・診察の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
6 /	胸腹部の症状・診察の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
7 /	神経の症状・診察の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
8 /	周産期の症状・診察の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
9 /	皮膚の症状・診察の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
10 /	精神の症状・診察の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
11 /	医療保険制度の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
12 /	介護と介護保険制度の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
13 /	医療職関連・年金・社会福祉・公衆衛生の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
14 /	身体の部位・方向・断面を表す用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
15 /	解剖学・生理学の用語	堀池	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療保険事務Ⅲ</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Studies of Medical Treatment Fees Ⅲ							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・入院に関する算定要件を理解し、平均的な入院カルテより入院レセプトが作成できる。 ・レセプトの記載要領に沿って適切な記載ができる。 ・DPC請求の概要を理解する。							
<b>授業の内容</b> 元医療事務の経験をもつ教員が医療保険事務について指導する。 医療保険事務ⅠおよびⅡで学習した知識・技能を発展させ、診療報酬点数表を活用し各区分の算定要件を解説し、講義と実技演習により診療報酬算定の技術を向上させる。診療報酬点数の各区分の適切な算定ができることを基本とし、入院カルテよりレセプトを作成することができる技術を指導内容とする。多種多様なカルテ例題を実技体験とグループワークを通じて診療報酬点数表の解釈への理解を深める。また、DPC請求の概要を理解し、ICD-10でのコーディング技術を体験し、急性期病院での医療事務への対応力を養う。							
教科書	なし						
参考書	下記テキストを使用しますので、必ず携帯してください。 テキスト：『診療報酬点数早見表 [医科] 2018年4月』 医学通信社 価格（本体4500円＋税）						
担当者からのメッセージ	医療秘書・医療事務を目指す場合は、必須科目です。算定要件をしっかりと理解しレセプトが作成できるよう、意欲的に根気よく、繰り返し取り組んでください。 分からないことはいつでも質問してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題を回収した場合は、次回の授業で模範解答を提示し、詳しく説明する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	20	復習を兼ねた課題に取り組む				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp（沖山）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	外来レセプトの作成	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
2 /	入院レセプトの作成(1)内科	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
3 /	入院レセプトの作成(2)眼科	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
4 /	入院レセプトの作成(3)虫垂炎	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
5 /	入院レセプトの作成(4)尿管結石	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
6 /	入院レセプトの作成(5)大腸癌	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
7 /	入院レセプトの作成(6)急性腹膜炎	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
8 /	入院レセプトの作成(7)胆嚢炎	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
9 /	入院レセプトの作成(8)副腎癌	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
10 /	DPC(1)概要、包括対象と出来高対象	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
11 /	DPC(2)ICD-10	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
12 /	DPC(3)診断群分類の決定とレセプト作成	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
13 /	総合演習(1)外来レセプトの作成	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
14 /	総合演習(2)入院レセプトの作成	沖山	講義・実技・グループワーク ク習	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
15 /	総合演習(3)DPCレセプトの作成	沖山	講義・実技・グループワーク	本時の内容を繰り返し復習し、理解の定着をすること	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療保険事務Ⅳ</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Studies of Medical Treatment Fees Ⅳ							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・点数の算定方法・算定条件を理解している。 ・外来・入院レセプトを作成、点検ができる。 ・医師会認定医療秘書試験に対応できる知識を修得する。							
<b>授業の内容</b> 元医療事務の経験をもつ教員が医療保険事務について指導する。 医療保険事務Ⅰ～Ⅲで学習した知識・技術を発展させ、外来・入院レセプト作成及び、レセプト点検の方法を、講義と実技演習により学ぶ。 労災・自賠責保険のレセプト作成を学習し、多様な事例への対応力を養う。また、医師会認定医療秘書を目指し演習問題を通し知識の定着を行う。							
教科書	『医療秘書講座1 健康と疾病 患者論と医の倫理』 日本医師会 (メヂカルフレンド社) 価格(本体3,800円+税) 『医療秘書講座2 からだの構造と機能 臨床検査と薬の知識』 日本医師会 (メヂカルフレンド社) 価格(本体3,800円+税) 『医療秘書講座3 医療にかかわる用語 コミュニケーション論』 日本医師会 (メヂカルフレンド社) 価格(本体3,800円+税) 『医療秘書講座4 医療秘書概論・実務 医療情報処理学 医療関連法規概論』 日本医師会 (メヂカルフレンド社) 価格(本体4,600円+税)						
参考書	下記テキストをしますので必ず携行してください テキスト：『診療報酬点数早見表 [医科] 2018年4月』 医学通信社 価格(本体4500円+税)						
担当者からのメッセージ	レセプトの点検や労災レセプト作成は、現場で必要とされる技能です。ぜひ身につけてください。また、医師会認定医療秘書を目指す方は必ず履修してください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題を回収した場合は、次回の授業で模範解答を提示し、詳しく解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	30	復習をかねた課題への取り組みを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18時～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける(件名に学生番号氏名を入れること)						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp (沖山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	外来レセプト作成	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
2 /	入院レセプト作成	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
3 /	レセプト点検(1)点検の方法	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
4 /	レセプト点検(2)点検の実際	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
5 /	労災レセプト(1)請求の流れと労災特例	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
6 /	労災レセプト(2)レセプトの作成	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
7 /	自賠責保険のレセプト	沖山	講義と実技	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
8 /	演習(1) 第38回医療・保健・福祉基礎教科	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
9 /	演習(2) 第38回医療秘書専門教科	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
10 /	演習(3) 第37回医療・保健・福祉基礎教科	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
11 /	演習(4) 第37回医療秘書専門教科	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
12 /	演習(5) 第36回医療・保健・福祉基礎教科	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
13 /	演習(6) 第36回医療秘書専門教科	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
14 /	演習(7) 医療・保健・福祉基礎教科のまとめ	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
15 /	演習(8) 医療秘書専門教科のまとめ	沖山	講義と演習	本時の内容を繰り返し復習し、 知識の定着をはかること	120
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療事務コンピュータ</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Medical Office Work Computer							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・手書きレセプトと医事コンピュータの違いを理解し、コンピュータの特性を活かした請求事務技能を身につける。 ・平均的な外来カルテ及び外来診療伝票よりレセプトを作成することができる。 ・平均的な入院カルテ及び入院診療伝票よりレセプトを作成することができる。							
<b>授業の内容</b> 元医療事務の経験をもつ教員が医事コンピュータについて指導する。 医事コンピュータの仕組みや特性を解説し、レセプト電算処理システムを用いた診療報酬請求の知識を養成する。医事コンピュータソフトを使った実技演習により現場で役立つ技能の習得を目指す。外来カルテ、外来診療伝票、入院カルテ、入院診療伝票を基に、患者情報・傷病名・診療内容等を適正に入力処理し、レセプトを作成できる技術を指導内容とする。							
教科書	なし						
参考書	下記テキストを使用しますので必ず携行してください。 テキスト：『診療報酬点数早見表 [医科] 2018年4月』 医学通信社 価格（本体4500円+税）						
担当者からのメッセージ	医療機関では医事コンピュータで医療費の計算および診療報酬請求事務を行っています。単に診療内容を入力するのではなく、診療報酬点数表で算定要件を確認し、迅速で正確な医事コンピュータでの処理技術を身につけてください。医事ソフトは学内での使用になります。他の授業で学んだ知識を活かし、授業では積極的に取り組んでください。また、授業で習得した知識や技術は必ず復習し、確実に身につけるようにしてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学生ごとに提出課題について、内容への質問を行い、誤りや問題点についてコメントし、修正をうながしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	20	復習をかねた課題への取り組みを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp（沖山）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（ビDP2）【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 （ビDP3）【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 （ビDP4）【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	請求事務とコンピュータ・医事コンピュータのしくみ	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	60
2 /	オペレーションの基礎1(患者登録、病名入力)	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
3 /	オペレーションの基礎2(初診料・再診料、医学管理料、処置料)	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
4 /	オペレーションの基礎3(手術料、投薬料、注射料)	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
5 /	オペレーションの基礎4(検査料、画像診断料、レセプトの出力)	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
6 /	オペレーションの基礎5(外来カルテ・外来診療伝票)	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
7 /	オペレーションの基礎6(入院カルテ・入院診療伝票)	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
8 /	外来カルテ・外来診療伝票のオペレーション(1) カルテNO.1	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
9 /	外来カルテ・外来診療伝票のオペレーション(2) 伝票NO.1	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
10 /	外来カルテ・外来診療伝票のオペレーション(3) カルテNO.2	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
11 /	外来カルテ・外来診療伝票のオペレーション(4) 伝票NO.2	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
12 /	外来カルテ・外来診療伝票のオペレーション(5) カルテNO.3	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
13 /	入院カルテ・入院診療伝票のオペレーション(1) カルテNO.4	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
14 /	入院カルテ・入院診療伝票のオペレーション(2) 伝票NO.3	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
15 /	入院カルテ・入院診療伝票のオペレーション(3) 伝票NO.4	沖山	コンピュータを使った実技	本時のまとめと次回の授業範囲を予習しておく	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>電子カルテ演習</b>	沖山 圭子(専 任)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Electronic Medical Records Seminar							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・電子カルテの全体像や診療録の法的根拠を理解する。 ・電子カルテシステム関連知識を理解する。 ・外来例題を元に、電子カルテ入力方法を習得する。							
<b>授業の内容</b> 元医療事務・医療秘書の経験をもつ教員が電子カルテに関する指導を行う。 電子カルテの3基準を満たしたうえで診療録等の電子的保存が認められたことにより、電子カルテを導入する医療機関が増えてきた。本講座では、外来受付での患者登録、医療秘書による診療録入力や各種文書作成の代行業務、会計業務、レセプト発行の一連の操作を、教育用電子カルテシステムを使用した実技演習の形態で学習する。							
教科書	なし						
参考書	授業内で指示する						
担当者からのメッセージ	電子カルテの普及は拡大しています。医師事務作業補助者としての医療秘書の役割はこれからますます重要になってきます。他の授業で学んだ知識や技能も活かして、医療秘書としてのスキルを身につけてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題に対し、その都度、問題点や誤りをコメントし、正しい理解を促す。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	20	復習をかねた課題への取り組みを評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18～19時 事前の連絡要 メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp（沖山）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	医師事務作業補助者とは	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、次回に備える	60
2 /	電子カルテシステムの定義と機能	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
3 /	プライバシー保護とセキュリティ	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
4 /	ソフトの操作方法(1) システムの全体像、権限設定	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
5 /	ソフトの操作方法(2) 基本メニュー、問診表、SOAP	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
6 /	ソフトの操作方法(3) 診療等の入力	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
7 /	ソフトの操作方法(4) オーダー処理	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
8 /	ソフトの操作方法(5) 医事会計処理	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
9 /	外来例題1-1 診療所・医師入力	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
10 /	外来例題1-2 診療所・代行者入力	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
11 /	外来例題2-1 病院・院内処方	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
12 /	外来例題2-2 病院・代行者入力	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
13 /	医療文書の種類と作成	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
14 /	外来例題3-1 病院・院外処方・文書作成	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
15 /	外来例題3-2 医師事務作業補助実務演習	沖山	コンピュータを使った実技	本時の内容を復習し、要点をまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療秘書実務</b>	沖山 圭子(専 任) 若生眞理子(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Medical Secretarial Practice							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修、上級秘書士（メディカル秘書）資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・医療秘書の意義や役割について理解する。 ・医療機関における医療秘書の位置づけを理解し、医療秘書に必要な基本的知識やスキルを身につける。							
<b>授業の内容</b> 元医療秘書の教員と、元企業秘書の教員が担当する。 医療が高度化するに伴い、医療秘書の役割は重要になっている。医療機関において必要とされる接遇・マナーをはじめ、文書に関する取り扱い等、医療秘書業務を円滑に遂行するための知識やスキルについて実践的に学んでいく。グループワークを多く経験し、実践力を養う。							
教科書	『現代医療秘書ワークブック』 中村健壽【監修】 田中伸代【編著】（西文社） 価格（本体1,700円＋税） 『病院事務のための 医療事務総論/医療秘書実務』 有吉澄江・沖山圭子 編著（建帛社） 価格（本体3,200円＋税）						
参考書	授業の際に指示する						
担当者からのメッセージ	医療業界に興味を持ち、医療に関する情報の収集や医療機関での観察を心がけてください。ロールプレイングやケーススタディを中心に授業を行うので、積極的に参加してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	小テストを実施した場合、授業内で解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業への参加度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他	20	復習・課題への取り組みを評価する				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18時～19時 事前の連絡要 若生研究室 月曜日 11時～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp（沖山） m-wakou@sumire.ac.jp（若生）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	医療秘書としてのマナーと心構え	沖山	講義	講義内容をまとめる	60
2 /	医療秘書としての言葉づかい	若生	講義とロールプレイング	ロールプレイングの振り返りと実践	120
3 /	医療機関での接遇と環境整備	沖山	講義とロールプレイング	ロールプレイングの振り返り	90
4 /	医療機関の受付業務	沖山	講義とロールプレイング	ロールプレイングの振り返り	90
5 /	患者対応1 受付・会計窓口業務	沖山	講義とロールプレイング	ロールプレイングの振り返り	90
6 /	患者対応2 ケース別、クレーム対応	沖山	講義とロールプレイング	ロールプレイングの振り返り	90
7 /	慶弔に関する業務	若生	講義	講義内容をまとめる	60
8 /	電話対応	若生	講義とロールプレイング	ロールプレイングの振り返りと実践	120
9 /	スケジュール管理・会議に関する業務	若生	講義とスケジュール表・議事録作成	講義内容をまとめる	60
10 /	診療録の作成と保管	沖山	講義と診療録作成・保管作業	講義内容をまとめる	60
11 /	院内文書の作成	沖山	文書作成	要点をまとめる	90
12 /	院外文書の作成	若生	文書作成	要点をまとめる	90
13 /	通信業務、受発信文書の処理と注意点	若生	講義	講義内容をまとめる	60
14 /	文書管理、ファイリングの方法	若生	講義	講義内容をまとめる	60
15 /	インバスケット	沖山 若生	ケーススタディとロールプレイング	ロールプレイングの振り返りと自己点検	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>医療経営学</b>	藤堂 隆司(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Clinical Management							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の医療機関を取り巻く社会環境を理解したうえで、医療経営管理の必要性について学ぶ。</li> <li>・「医療の質」と「経営の質」を向上するための病院経営の基本戦略並びに病院運営について学ぶ。</li> <li>・病院における基本的な経営指標の種類とポイントを理解し、具体的に経営分析の手法について修得する。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>我が国における医療環境の変貌や診療報酬や医療法など医療制度の概要について講義する。医療経営管理（メディカルマネジメント）の必要性及び医療経営管理者（メディカルマネジャー）に求められる資質やスキル、要件について説明する。病院経営管理を行うための基本戦略の手法及び人事管理、診療報酬、財務管理、物品管理など各経営管理について説明する。また、平均在院日数や病床利用率など実務に役立つ経営指標については演習をとおして修得する。</p> <p>講義では医事課長職や事務部長職としての実務経験を活かし、病院経営に生じる様々な問題点や課題など具体的な事例を交え説明する。</p>							
教科書	『医療経営概論』 吉長成恭（日本医療企画） 価格（本体2,800円＋税）						
参考書	「特になし」						
担当者からのメッセージ	この授業は、原則、講義形式で進めていくが、経営分析では、Excelソフトを使用した医療統計の演習を取り入れていく。そのため、医療統計についても興味を持って受講してほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題は、採点に加えて的確なコメントを記載し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	10	授業の理解度を確認するため、中間と終了時に復習試験を実施				
	定期試験	70	授業の内容全般の理解度を評価				
	レポート						
	その他	20	コンピュータ演習時の課題を提出				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	医療環境と医療制度 医療経営管理の必要性	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	医療経営管理者に求められる資質やスキル、 要件	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	マネジメントに必要な基本的経営手法 病院経営の基本戦略	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	医療経営指標 病院機能評価	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	統計学（医療統計）の基本	藤堂	演習 課題を提出	コンピュータ演習を修得する	90
6 /	医療事務管理（機能性）	藤堂	演習 課題を提出	コンピュータ演習を修得する	90
7 /	医療事務管理（収益性）	藤堂	演習 課題を提出	コンピュータ演習を修得する	90
8 /	財務・経営管理（貸借対照表）	藤堂	講義 小テストを実施	講義内容をまとめる	90
9 /	財務・経営管理（損益計算書・キャッシュ フロー）	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	物品管理（SPD） 施設・設備管理	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
11 /	外部委託（アウトソーシング）	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	人事・労務管理	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	診療情報管理	藤堂	演習 課題を提出	コンピュータ演習を修得する	90
14 /	リスクマネジメント クリニカルガバナンス	藤堂	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	ヘルスケア・マーケティング 近年の医療動向	藤堂	講義 小テストを実施	講義内容をまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>実技演習</b>	沖山 圭子(専 任) 若生眞理子(専 任)	2年次	前期集中	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Practical Training in Hospital							
資格等取得との関連	日本医師会認定医療秘書の必修、医療秘書実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・病院での仕事の流れを把握し、現場での業務を体験することにより、医療秘書・医療事務の仕事の実際を学ぶ。							
<b>授業の内容</b> 元医療秘書の教員と元企業秘書の教員が担当する。 専門科目で学んだ内容を基礎として、病院業務の実際を体験し理解する。 事前指導では、演習を効果的かつ円滑に進めていくために演習の目的を十分に認識して、演習に向けた心構え、意欲の向上を図る。 事後指導では、報告会を実施する。 全般を通して、アクティブ・ラーニング手法（体験、発見、問題解決、プレゼンテーション）をとり入れることにより、主体性を育てると共に現場での実践を養う。							
教科書	『医療秘書講座3 医療にかかわる用語 コミュニケーション論』 監修：日本医師会（メヂカルフレンド社） 価格（本体3,800円＋税）						
参考書	事前・事後指導時には、適宜プリントを配付する 実習時には、実習記録用紙を配付する						
担当者からのメッセージ	日本医師会の医療秘書認定試験に関わる必修科目である。 事前指導に1回でも欠席した学生は、病院実習に参加することはできません。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習先からの評価とコメントをよく読んで、今後の学びの土台としてほしい。 また報告会での発表後、受講生および本学科の教員からコメントと講評をおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	事前・事後の取り組みを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	60	実習先医療機関評価（40%）、実習の記録（20%）				
自由記載							
オフィスアワー	沖山研究室 火曜日 13時～14時 18～19時 事前の連絡要 若生研究室 月曜日 11時～13時 メールでの質問・相談を随時受け付ける 件名に学生番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	k-okiyama@sumire.ac.jp（沖山） m-wakou@sumire.ac.jp（若生）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実技演習の概要、意義と目的	冲山 若生	講義	講義内容をノートにまとめる	90
2 /	病院組織、医療倫理と守秘義務	冲山	講義	講義内容をノートにまとめる	90
3 /	医療秘書及び医療事務の専門性(関連知識)	冲山	講義	講義内容をノートにまとめる	90
4 /	医療接遇の重要性と基本的心得(身だしなみ・言葉づかい)	若生	講義とロールプレイング	講義内容をノートにまとめる	90
5 /	受付の実際	冲山	講義とロールプレイング	講義内容をノートにまとめる	90
6 /	礼状の書き方・記録の書き方	若生	講義	講義内容をノートにまとめる	90
7 /	報告会及びプレゼンの仕方	若生	講義	講義内容をノートにまとめる	90
8 /	病院実習	冲山 若生	実習	実習記録をつける	90
9 /	病院実習	冲山 若生	実習	実習記録をつける	90
10 /	病院実習	冲山 若生	実習	実習記録をつける	90
11 /	病院実習	冲山 若生	実習	実習記録をつける	90
12 /	病院実習	冲山 若生	実習	実習記録をつける	90
13 /	病院実習	冲山 若生	実習	実習記録をつける	90
14 /	報告会の準備・実習病院への礼状作成	冲山 若生	演習	パワーポイントスライドの作成・礼状の作成	90
15 /	報告会	冲山 若生	プレゼンテーション	発表とコメント	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>健康管理演習Ⅱ</b>	北條 達也(非常勤) 山村 聡(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	
							実務経験
Health Management Seminar Ⅱ							
資格等取得との関連	健康運動実践指導者の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・健康とは何かを理解し、わが国の現状を知り、健康づくりの施策を学ぶ。 ・運動を起因とする疾病や障害を知り、その対処法を学び習得する。 ・健康管理演習Ⅰで学んだ体力測定を実際に行えるようになる。							
<b>授業の内容</b> WHOの健康の定義を理解し、わが国での健康問題、生活習慣病、メタボリックシンドローム、介護等を取り上げ、それに対する健康づくり施策を学ぶ。 スポーツ外傷や運動を起因とする疾病について、それらの発生メカニズムを知り、運動中のケガと疾病の予防およびその対処方法について学ぶ。 適当な運動プログラムを提供するためにも、複数の体力要素についての測定を行い、得られた測定値を評価基準と比較して適切に評価する必要がある。形態および機能に関する種々の項目を理解するとともに得られた結果を適正に評価する手法を学ぶ。特に、心肺持久力の指標である最大酸素摂取量や無酸素性作業域値や、筋力についての様々な測定法や意義を理解し得られたデータの解析法を学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	健康運動実践指導者養成用テキスト（健康・体力づくり事業財団）						
担当者からのメッセージ	一部の演習を集中で行います。 健康運動実践指導者の資格取得試験合格のための科目でもある。 受講態度は、積極て系に演習に取り組んでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、最後に試験を行い、その結果をもとに次の時間にフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講に取り組む姿勢を評価する				
	授業内試験	60	各項目の理解度を試験によって評価する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	健康とは	山村	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	健康づくり	山村	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	生活習慣病とメタボリックシンドローム	山村	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	介護予防とメディカルチェック	山村	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	骨格筋	山村	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	呼吸器系機能	山村	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	循環器系の機能	山村	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	上肢・下肢の外傷・傷害	北條	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	内科的障害	北條	実習	実習内容をまとめる	90
10 /	救急処置・蘇生法救急	北條	実習	実習内容をまとめる	90
11 /	リハビリテーション	北條	実習	実習内容をまとめる	90
12 /	テーピング	北條	実習	実習内容をまとめる	90
13 /	体力測定・・・有酸素運動・無酸素運動能力	北條	実習	実習内容をまとめる	90
14 /	体力測定・・・柔軟性等	北條	実習	実習内容をまとめる	90
15 /	新体力テスト	北條	実習	実習内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション演習	山中 博史(専 任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Recreation Seminar							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修、健康運動実践指導者の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につける。 ・活動内容を理解し提供（支援・指導）できる能力をつける。							
<b>授業の内容</b> 1回生で受講したレクリエーション概論をベースに、レクリエーションインストラクターの資格取得に必要なレクリエーション種目を演習する。レクリエーション活動のねらい、ルールを理解し、技術を身につけることを目的とする。それと同時に活動の内容を理解し提供する（支援指導する）ことができるようにする。 なお本演習はレクリエーション・インストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	本演習で学んだことを後期のレクリエーション指導法実習で、幼児の指導に生かして欲しい。受講態度は、積極的に演習に取り組んでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	必要に応じて、フィードバックを行い、最後の試験に対応できるようにする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	70	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	30	各種目の理解度を確認するために実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 火・水・金 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	体操 (ウォーミングアップ・導入の遊び)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
2 /	体操 (クールダウンを含めた体ほぐし)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
3 /	鬼ごっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
4 /	かけっこ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
5 /	マットを使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
6 /	縄を使った遊び	山中	演習	演習内容をまとめる	90
7 /	ボール遊び (サッカーを中心に)	山中	演習	演習内容をまとめる	90
8 /	ターゲットバードゴルフ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
9 /	フライングディスク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
10 /	キャッチングザスティック・バンブーダンス	山中	演習	演習内容をまとめる	90
11 /	サツマイモの苗植え	山中	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	ペタンク	山中	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	インディアカ	山中	演習	演習内容をまとめる	90
14 /	ウォークラリー	山中	演習	演習内容をまとめる	90
15 /	ふりかえり・試験	山中	講義	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション指導法実習	山中 博史(専 任)	2年次	後期	1	実習	選択	○
							実務経験
Coaching Method of Recreation							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・附属幼稚園の園児を対象に遊びの支援、指導を行えるようになる。 ・支援力、指導力を高める。							
<b>授業の内容</b> レクリエーション概論、レクリエーション演習で学んだことをもとに、本学附属幼稚園の協力を得て、実際に園児を対象に指導の補助、そして指導を行う。 また、学外での事業に参加してレクリエーション支援の現場でのレクリエーション活動、レクリエーション提供を体験する。 なお本実習はレクリエーション・インストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	附属幼稚園の協力得て実際に幼児を対象に「遊び」の指導を行う。安全面では十分に配慮してもらいたい。 日本レクリエーション協会や滋賀県レクリエーション協会の主催する学外での行事に参加者やスタッフとして参加する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の演習の中で必要に応じてフィードバックを行う。 課題としてレポートを提出をしてもらうこともある。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	実習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	実習を振り返りレポートを提出してもらう				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 火・水・金 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 附属幼稚園との関わりの説明 園児の指導について注意事項の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
3 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
4 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
5 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
6 /	附属幼稚園児の指導補助(トランポリン・巧 技台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
7 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
8 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
9 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
10 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
11 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
12 /	附属幼稚園児の指導(トランポリン・巧技 台・ボール遊び)	山中	演習	演習内容を振り返る	90
13 /	レクリエーションスポーツ大会参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
14 /	レイカディアフェスティバル参加	山中	学外実習	実習内容を振り返る	90
15 /	ふりかえり・レポート作成	山中	講義	今までを振り返りレポート作 成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>エアロビクスダンス演習</b>	中川さやか(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	実務経験
Aerobics and Dance Seminar							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の選択、健康運動実践指導者の必修						
<b>授業の到達目標</b> ・健康・体力づくりを目的としたエアロビクスダンスを行えるようになる。 ・基本動作、正しい身体の使い方や振付方法を習得する。 ・実施上の環境や注意点を理解する。 ・目的に応じたプログラムの作成能力と実践力及び指導力を養う。							
<b>授業の内容</b> エアロビクスダンスにおける基礎的な知識を理解した上で、正しいアライメントによる安全かつ効果的動作を獲得する。また対象者や目的に応じたプログラムの構成や指導法をグループワークにより習得する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	まずは楽しみながらステップを体験することから始めます。 プログラム作成や指導は大変難しいことですが、エアロビクスダンスだけでなく、様々な指導に共通することがたくさんあります。 指導者を目指す方、楽しく体を動かしたい方、興味を持って受講してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回必要に応じて授業の中で行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	受講態度により評価				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	40	実技試験				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に体育館で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	syknkgw.7a@gmail.com（中川）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 実施要項の説明	中川	講義	実施要項の理解	90
2 /	導入 1) 運動の必要性、2) エアロビクス論 3) 歴史・種類、4) 特徴・基本構成	中川	演習	演習内容の振り返り	90
3 /	エアロビクスダンス1 1) 基本姿勢、2) 基本ステップ、3) 音楽 の役割、4) BPMについて	中川	演習	演習内容の振り返り	90
4 /	エアロビクスダンス2 1) 基本ステップ、2) ウォーミングアップ・ クールダウンについて	中川	演習	演習内容の振り返り	90
5 /	エアロビクスダンス3 1) 基本ステップ、2) メインエクササイズ について、3) 強度について	中川	演習	演習内容の振り返り	90
6 /	エアロビクスダンスエクササイズの指導に関 する基礎理論	中川	演習	演習内容の振り返り	90
7 /	指導の実際1 1) レッソンの準備、2) 指導テクニック	中川	演習	演習内容の振り返り	90
8 /	指導の実際2 シンメトリープログラム作成のためのリード チェンジムーブ	中川	演習	演習内容の振り返り	90
9 /	指導の実際3 健康運動実践指導者実技ルーティンを使って 指導実技	中川	演習	演習内容の振り返り	90
10 /	プログラム作成1 1) 動きの構成、2) 強度のコントロール 3) 動きの変化要素	中川	演習	演習内容の振り返り	90
11 /	プログラム作成2 展開方法	中川	演習	演習内容の振り返り	90
12 /	プログラム作成3 グループでの作成と演習	中川	演習	演習内容の振り返り	90
13 /	プログラム発表	中川	演習	演習内容の振り返り	90
14 /	プログラム演習	中川	演習	演習内容の振り返り	90
15 /	実技試験	中川	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>地域づくり論</b>	棕田 政春(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Studies of Community Planning							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・私たちの学び舎のある大津市や滋賀県の歴史や文化、産業についての知識を身につける。 ・県内各地の地域づくり、さまざまな地域資源について知り、県内各地のまちづくりの活動事例を学ぶことを通して、自分たちの住む町の情報スペシャリストを目指す。							
<b>授業の内容</b> 地域社会は、少子高齢化により人口減少が進むとともに、地域経済も低迷し、中心市街地、商店街の空洞化、山間部の過疎化等多くの課題を抱えている。 私たちの学んでいる大津市は、びわ湖の南北に細長いエリアを配し、都市部、農村部、工業地域を抱え、近年の社会現象を考察するのに最適な地域である。 この講義では、事例を含めて、地域づくりを多面的な角度より考察し、地域づくりに参加できる資質を醸成する。 西日本電信電話株式会社（NTT）に長年勤務した経験と大学院地域経済ゼミでの研究を参考に担当し、地域づくりの担い手を育成する。							
教科書	なし						
参考書	『地域づくり論』 大川健嗣（河北新報出版センター）						
担当者からのメッセージ	地域づくりについて、滋賀県、滋賀県内市町村をモデルに講義を進める。受講者は事前に情報収集し、実りある時間にしてほしい。また「地域づくり」について自分なりの考え方をもち、行動できるようになってほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、講義の最後に、次回のテーマについて説明を加える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への取り組み姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	30	理解度確認のため、必要に応じミニレポートの提出を求める				
	その他	50	配付したレジメへの記入内容により習熟度を確認する				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	mukuda@coral.broba.cc（棕田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 地域の定義	椋田	講義	講義内容をまとめる 次回のテーマの情報を収集し、 講義に出席のこと	60
2 /	地域づくりとは	椋田	講義	講義内容をまとめる 次回のテーマの情報を収集し、 講義に出席のこと	60
3 /	地域政策の変遷	椋田	講義	講義内容をまとめる 次回のテーマの情報を収集し、 講義に出席のこと	60
4 /	地域社会の問題点	椋田	講義	講義内容をまとめる 次回のテーマの情報を収集し、 講義に出席のこと	60
5 /	地域協働と事例	椋田	講義	講義内容をまとめる 次回のテーマの情報を収集し、 講義に出席のこと	60
6 /	地域とコミュニティと事例	椋田	講義	講義と事例をまとめる 滋賀県の地域政策について情 報収集のこと	60
7 /	滋賀県の地域施策	椋田	講義	講義内容をまとめる 大津市・草津市・長浜市のま ちづくりの情報を収集するこ と	90
8 /	大津市・草津市・長浜市のまちづくりの比較	椋田	講義	講義内容をまとめる 9回以降の講義の準備、大津市 に関する情報を調べておく	90
9 /	大津市のまちづくりと文化・産業・観光	椋田	講義	講義内容をまとめる	60
10 /	大津市 1. 歴史と文化を活かしたまちづくり	椋田	講義	講義内容をまとめる	60
11 /	大津市 2. 観光とまちづくり	椋田	講義	講義内容をまとめる	60
12 /	大津市 3. 産業とまちづくり	椋田	講義	講義内容をまとめる	60
13 /	大津市マスタープラン(都市計画プラン)の概要	椋田	グループ活動	グループ討議内容をまとめる	60
14 /	大津市のまちづくりへの若者のプラン策定	椋田	グループ活動	次回の発表準備	90
15 /	プラン発表	椋田	グループ発表	各グループの発表内容をまと める	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>地域福祉</b>	松木 宏史(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
							○
Community Development							
資格等取得との関連	医療秘書実務士資格の必修						
<b>授業の到達目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で起こる様々な生活問題を「ひとごとではない」 こととして受け止めることができる。</li> <li>・ 地域福祉の「公的責任」と「民間の地域福祉活動」の位置づけや役割の違いを理解できる。</li> <li>・ 福祉マインドを持った社会人として、どのような職場においても活躍できるようになる。</li> </ul> <b>授業の内容</b> <p>社会福祉施設で実務経験のある教員による授業である。</p> <p>この授業では、地域で起こる様々な生活問題に対して、「ひとごとではない」「ほっとけない」をキーワードに、地域福祉の視点から考察していく。受講生の多くは福祉そのものにあまりなじみがないかもしれないが、難しくとらえず、「自分の地元ではどうか」と考えをめぐらせてほしい。</p>							
教科書	なし						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	地域福祉について純粋に関心のある学生の受講を歓迎する。また、より深く社会福祉について学びたいという学生については、共通科目「現代社会と福祉」との併修を勧めたい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題については、担当教員が確認・検印のうえで返却する。返却された課題は、無くさないよう保存しておくこと。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中に課す小レポートで算出する				
	授業内試験						
	定期試験	50	地域福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメールで連絡すること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。</p> <p>(ビDP4)【態度・志向性】誠実な態度で責任感をもって行動できる。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 教員の自己紹介を兼ねた「地域福祉入門」	松木	講義	配付資料を読み返す	30
2 /	「地域福祉の視点」とは？	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
3 /	「人を支援する」とは？	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
4 /	支援を受けられない生活困窮者はどうなる？	松木	講義 生活困窮に関するドラマ視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
5 /	孤立した人をつくらない	松木	講義 社会的孤立に関するドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
6 /	地域で最期を看取る	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
7 /	支援の現場：社会福祉施設	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
8 /	短大の地元の状況を知ろう 平野学区の地域福祉の状況	松木	講義	配付資料を読み返す	30
9 /	高齢者のくらしとは	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	返却されたシートを読み返す	30
10 /	障がい児・者のくらしとは	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	返却されたシートを読み返す	30
11 /	社会的養護を必要とする子どもたち	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
12 /	ノーマライゼーションの理念	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
13 /	地域生活支援・困窮者支援の現場	ゲスト 講師	講義 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
14 /	戦争と障がい者	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
15 /	授業のまとめ	松木	講義	定期試験に向けて知識の整理 をする	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>地域貢献演習Ⅱ</b>	小山内幸治(専任)	2年次	後期集中	1	演習	選択	○
	江見 和明(専任)						実務経験
	若生真理子(専任)						
Seminar of Regional Contribution II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・ 地域におけるボランティア活動などを通して社会貢献を体験する。 ・ 地域企業などとの連携事業に参加し、実践力を身に着けるとともに、社会で必要とされる能力を理解する。 ・ 地域の住民とのコミュニケーションをとることにより、郷土意識を高める。							
<b>授業の内容</b> 地域企業との連携事業や地域のボランティア活動、地域の行事への参加をとおり、実践に自分の学んでいることを役立てる。							
教科書	なし						
参考書	必要な資料はプリントを配付する						
担当者からのメッセージ	1年の地域貢献の体験をもとに、さらに踏み込んで、自分に課された仕事ができるようにこころがけてください。また、1年生の指導もできるようになることが期待されます。 受講態度は参加度や貢献度について評価します。アクティブ・ラーニング的活動は、222教室で行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	実習後、反省会において改善点を話し合い、講評します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	80	活動への参加度、計画段階での貢献度を勘案する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	10	活動の総括				
	その他	10	発表				
	自由記載						
オフィスアワー	小山内研究室 月・火・木曜日の昼休み 12時20分～12時45分 または実習中に質問を受け付ける 江見研究室 火・水・金 12時15分～12時50分 若生研究室 月・水・金 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	osanai@sumire.ac.jp (小山内) k-emi@sumire.ac.jp (江見) m-wakou@sumire.ac.jp (若生)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	地域貢献実習ガイダンス	小山内 江見 若生	講義	実習前に、もう一度ノートを みて、気を付ける点を確認す ること	60
2 /	地域ボランティア、地域企業との連携事業、 問題把握と解決方法の策定	小山内 江見 若生	アクティブ・ラーニング	反省点をメモすること	60
3 /	地域ボランティア、地域企業との連携事業 準備	小山内 江見 若生	アクティブ・ラーニング	反省点をメモすること	60
4 /	地域ボランティア、地域企業との連携事業参 加	小山内 江見 若生	学外実習	反省点をメモすること	60
5 /	活動の中間報告	小山内 江見 若生	発表	発表資料の指摘された点を修 正し、提出すること	60
6 /	地域ボランティア、地域企業との連携事業参 加	小山内 江見 若生	学外実習	反省点をメモすること	60
7 /	地域ボランティア、地域企業との連携事業参 加	小山内 江見 若生	学外実習	反省点をメモすること	60
8 /	活動の総括 プレゼンテーション	小山内 江見 若生	発表	発表資料の指摘された点を修 正し、提出すること	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>公務員演習Ⅱ</b>	金澤 雄介(専任)	2年次	前期	1	演習	選択	○
	伊澤 亮介(非常勤)						実務経験
Seminar of Civil Servant Ⅱ							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・公務員として必要な一般知識と知能を習得する。 ・過去問を演習形式で解いていくことで、おもに事務職・警察官・消防官の採用試験合格を目指す。							
<b>授業の内容</b> この授業では過去の試験問題のうち、知能分野（文章理解、判断推理、数的推理、統計・資料解釈）を扱う。例題を使って解き方のポイントを解説した後、各自で問題を解いていく。学習内容の定着を図るため、授業の最後に小テストを課すことがある。							
教科書	なし						
参考書	テキストは初回の授業で紹介する						
担当者からのメッセージ	受験予定者と勉強会を開くなどして、教室外でも学習をするよう努めてください。その際は、ラーニング・コモンズを有効に活用してください。 「公務員演習Ⅰ」を未履修であっても受講可能です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	中間試験と提出課題は、採点をして返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	100	授業内容の理解度を測るテスト				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	ラーニング・コモンズ 金澤研究室 月曜日 10時30分～12時 伊澤：授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y-kanazawa@sumire.ac.jp（金澤） r-izawa@sumire.ac.jp（伊澤）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実力確認テスト	金澤	テストと答え合わせ	間違った問題をもう一度解く	60
2 /	文章理解(1): 要旨把握	伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
3 /	文章理解(2): 内容把握	伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
4 /	文章理解(3): 文章整序	伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
5 /	判断推理(1): 数量の関係	伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
6 /	判断推理(2): 経路と距離	伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
7 /	判断推理(3): 方位と方角	伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
8 /	中間試験	伊澤	テストと答え合わせ	間違った問題をもう一度解く	60
9 /	数的推理(1): 連立方程式の応用	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
10 /	数的推理(2): 割合・比・濃度	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
11 /	数的推理(3): 速さ	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
12 /	数的推理(4): 仕事算・時計算・年齢算	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
13 /	数的推理(5): 場合の数・順列・組み合わせ	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
14 /	数的推理(6): 確率	金澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
15 /	まとめとふりかえり	金澤 伊澤	講義と演習	間違った問題をもう一度解く	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>店舗経営 I (ビジコミ)</b>	矢嶋 聡(非常勤)	2年次	前期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Shop Management I							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・店舗の運営、品揃え、商品管理に関する実務的な知識を習得するため、販売士3級資格の取得を目指す。 ・経営管理に関する基礎的な指標の意味を理解し活用できる。 ・将来、社会人になったときに求められる初歩的なマナーや言葉遣いがきちんとできる。							
<b>授業の内容</b> 商工会議所で経営指導員を経験し、数多くの店舗の経営支援に携わった実践事例を折り込みながら授業を行う。指定の教科書をもとに、販売士3級資格試験に出題される5科目（(1)小売業の種類、(2)マーチャライジング、(3)ストアオペレーション、(4)マーケティング、(5)販売・経営管理）を学ぶ。各回の終わりに小テストを実施して、知識の定着を図る。できるだけ学生のみなさんにとって身近な事例やニュース、参考になる動画視聴をしながら楽しく勉強できる環境づくりに努める。具体的なマーケティングに関わる事例（新聞や広告、TVコマーシャルなど）を取り上げてグループディスカッションを実施するので、積極的に参加して欲しい。							
教科書	『らくらく完全攻略！リテールマーケティング(販売士)検定3級テキスト&問題集』 山口正浩 (ナツメ社) 価格(本体1,500円+税)						
参考書	『スモールビジネス・マーケティング』 岩崎邦彦 (中央経済社) 価格(本体2,000円+税)						
担当者からのメッセージ	将来自分が社会に出て働く姿を想像しながら授業を受けて欲しい。生活学科の方にとっては、製菓や製パンといった技術に加えて販売する力があると社内で重宝されることだろう。ビジネスコミュニケーション学科の方にとっては、どの業種に就職しても学んだことが現場ですぐに活かせるだろう。この授業は、小売業（アパレルやスーパーなど）やサービス業（ホテルや飲食業など）へ進みたい方には特に有益だが、これら以外の進路を目指す方にも必ずどこかで役に立つ内容が含まれている。積極的に参加して欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	小テストは、その日の授業で学んだことを択一式で10問程度出題する。結果は、次の授業の最初に解答と解説を加えて返却する。レポートは、小テストを実施しない日にその日の授業で学んだことを書いて提出すること。次回授業の冒頭に2～3事例を取り上げてみなさんと共有する。 定期試験は、7月13日（土）に商工会議所で実施される販売士3級検定試験とする。授業時間外となるので注意すること。結果は、各自に郵送で返却される。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業の最後に実施する小テストとレポートの提出をもって平常点とする				
	授業内試験	30	各回小テストを実施する（7割の正解を目指すこと）				
	定期試験	30	7月13日（土）の販売士3級検定試験とする（試験の詳細は授業中に説明する）				
	レポート	20	小テストを実施しないときはその日の授業で学んだことをレポートし提出すること				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問は大歓迎です 疑問に思ったことはメールで知らせてください						
担当教員E-mail	4726alfagt@gmail.com (矢嶋)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1) 【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 店舗経営で学ぶことの意義	矢嶋	講義	この授業の全体の流れを理解すること	0
2 /	小売業の類型1 さまざまな小売業の業種や業態	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
3 /	小売業の類型2 商店街の歴史や小売業の役割	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
4 /	マーチャндаイジング1 品揃えや商品計画の基礎	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
5 /	マーチャндаイジング2 売価決定計算、値入と粗利益との関係	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
6 /	ストアオペレーション1 包装やディスプレイの基礎	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
7 /	ストアオペレーション2 接客販売技術、商品発注の仕組み	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
8 /	マーケティング1 魅力ある店舗づくり、商圈の基礎	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
9 /	マーケティング2 商品、価格、宣伝、立地との組合せ	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
10 /	販売・経営管理1 小売業に関する主な法規	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
11 /	販売・経営管理2 決算と利益計算	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
12 /	第2回目～11回目までのまとめ	矢嶋	講義、小テスト	この授業で学んだことを普段の生活で確認すること 買い物に出かけてください	30
13 /	事例演習1 新聞や広告、TVコマーシャルなどを題材に議論する	矢嶋	講義、レポート、グループディスカッション	作る側の視点、販売する側の視点、買う側の視点から考えること	30
14 /	事例演習2 新聞や広告、TVコマーシャルなどを題材に議論する	矢嶋	講義、レポート、グループディスカッション	作る側の視点、販売する側の視点、買う側の視点から考えること	30
15 /	事例演習3 新聞や広告、TVコマーシャルなどを題材に議論する	矢嶋	講義、レポート、グループディスカッション	作る側の視点、販売する側の視点、買う側の視点から考えること	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
店舗経営Ⅱ (ビジコミ)	矢嶋 聡(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Shop Management II							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・前期の店舗経営Ⅰで学んだ知識を実践的に使えるようになる。 ・さまざまなデータやゲストスピーカーの話から、自分なりに読み取り、解釈し、考える応用力が習得できる。 ・店舗経営に関する課題についてグループディスカッションしながら、相手の話を聞く力や自分の考えを相手に伝えるコミュニケーション力を身につけること。							
<b>授業の内容</b> 商工会議所で経営指導員を経験し、数多くの店舗の経営支援に携わった実践事例を折り込みながら授業を行う。小規模な店舗が持つ強みや特徴を、さまざまなグラフ、図表で示す。みなさんは数名のグループに分かれて、こうしたデータを読み取って、解釈し、意見としてまとめて欲しい。まとめた意見は、各グループごとに発表すること。特にほかのグループと異なる意見が出たときには、なぜそう考えたのかを問い直して議論を深める。また、ゲストスピーカーをお招きして、企業の最前線で活躍されている方から店舗経営に関わるお話を聞かせていただく時間を設ける。聞いた内容は1人1人がレポートにまとめて提出する。							
教科書	なし						
参考書	『スモールビジネス・マーケティング』岩崎邦彦(中央経済社) 価格(本体2,000円+税)						
担当者からのメッセージ	前半は、小さなお店がいかに大型店に対して個性を発揮しながら差別化を図っていくべきかという視点で、たくさんのデータを見てみなさんとディスカッションを交わす。ぜひ前期で学んだ知識を引き出しているいろいろな視点から意見を出して欲しい。後半は、実務に現役で携わっている方々をお招きして店舗経営に関わるお話を聞かせていただく。前半と後半の内容はバラバラではなく、知識や情報のインプットとアウトプットを繰り返して実力を蓄えてもらうことを意図している。楽しんで参加して欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートは、その日の授業で学んだことを書いて提出すること。次回授業の冒頭に2～3事例を取り上げてみなさんと共有する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	1人につき1回のディスカッションで2つ以上の意見を出すこと				
	授業内試験						
	定期試験	40	ある事例を出題する。授業のポイントを踏まえて自分なりの意見、批判、提案を述べること				
	レポート	40	その日の授業で学んだことをレポートし提出すること				
	その他						
	自由記載	積極的に参加してください。きっと社会人になって役に立つ経験ができると思います					
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問は大歓迎です 疑問に思ったことはメールで知らせてください						
担当教員E-mail	4726alfagt@gmail.com(矢嶋)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP2)【技能】相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 小さなお店が選ばれるために必要なこと	矢嶋	講義、参考動画の視聴、レポート	自分が好きなお店をいくつかピックアップすること	30
2 /	小さなお店に惹かれる人々	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
3 /	競争を優位にする基盤 1 独自性のあるコア商品の品揃えを考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
4 /	競争を優位にする基盤 2 いかに安く売らずにすむかを考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
5 /	人的コミュニケーション1 業績と従業員の働く満足を考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
6 /	人的コミュニケーション2 口コミの影響を考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
7 /	顧客との継続的な関係づくりを考える	矢嶋	講義、グループディスカッション、レポート	自分なりのお店選びの基準や条件、こだわりを振り返ること	30
8 /	卒業生から、学びを深める	矢嶋 アンデケン廣田 外部講師	販売士の視座、経営者の視座で、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
9 /	食品研究、製品企画担当者に聞く	矢嶋 近畿製粉 ㈱ 増田 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
10 /	卒業生から、学びを深める	矢嶋 クラブハリ エ 中島	販売士の視座、経営者の視座で、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
11 /	売り場責任者から、学びを深める	矢嶋 イノブ 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
12 /	売り場責任者から、学びを深める	矢嶋 伊勢丹バ イヤー 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
13 /	売り場責任者から、学びを深める	矢嶋 ロテルド比 叡 唐沢 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
14 /	店舗を見て学びを深める	矢嶋 ㈱マールブ ランシュ 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
15 /	店舗を見て学びを深める	矢嶋 ㈱パレット 堀川 外部講師	講話、テーブルディスカッション、質疑応答、レポート	話を聞いたことを普通の生活で確認すること 授業の内容を友人や家族に話してみる	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
<b>おもしろ観光ツアー演習</b>	平田 進也(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Seminar of Enjoyable Tour							
資格等取得との関連							
<b>授業の到達目標</b> ・お客様をもてなす心であるホスピタリティ・マインドについて学ぶ。 ・旅行における添乗員の仕事と役割について知る。							
<b>授業の内容</b> 株式会社日本旅行に現役で勤務している教員が担当する。 本講義では、実際にお客様をもてなす体験を通じて、本物のホスピタリティマインドを身につけることを目的とする。 事前指導では、添乗員の仕事について理解を深めるとともに、実際の旅行でお客様をもてなすプランを立ててもらう。 実習は、日帰りバス旅行に添乗員として参加してもらう。							
教科書	なし						
参考書	拙著『カリスマ添乗員が教える 人を虜(とりこ)にする極意』KADOKAWA/中経出版、2015年3月 価格(本体1300円+税) 拙著『日本一のカリスマ添乗員のすべらない京都案内』PHP研究所、2017年3月 価格(本体950円+税)						
担当者からのメッセージ	本講義では、机上の理論だけでなく、この講義でしかできない体験をしてもらう。 このことを通じて社会の方程式を知り、これから社会で生きていくために役立てて欲しい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	皆さんが考えたプランやアイデア、事後指導におけるプレゼンテーションに対して、適宜アドバイスする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	全体を通しての自主性、積極性など参加姿勢を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	事後指導におけるプレゼンテーションを評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shinya_hirata@nta.co.jp (平田)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP1)【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2)【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3)【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4)【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						



授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	お客様をもてなす心とは ホスピタリティ・マインドについて知る	平田	講義・演習	お客様をもてなすためのアイ ディアを考える	60
2 /	添乗員の役割と心構え バス旅行のプラン作成 I	平田	講義・演習	お客様を楽しませるアイディ アを考える	60
3 /	バス旅行の事例研究 バス旅行のプラン作成 II	平田	講義・演習	実習に向けての準備	60
4 /	バス旅行 添乗員研修 I	平田	学外演習 (4回から7回同 日実施)	事前準備と事後の反省	30
5 /	バス旅行 添乗員研修 II	平田	学外演習 (4回から7回同 日実施)	事前準備と事後の反省	30
6 /	バス旅行 添乗員研修 III	平田	学外演習 (4回から7回同 日実施)	事前準備と事後の反省	30
7 /	バス旅行 添乗員研修 IV	平田	学外演習 (4回から7回同 日実施)	事前準備と事後の反省	30
8 /	実習事後指導 実習で学んだことを報告する	平田	講義・演習	全体を通して学んだことを整 理する	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					